MultiWriter 1400X
ユーザーズマニュアル［2/2］

～NMPSソフトウェアの使い方～

第2版 Final
(98/2/27)

PR-L1400X-UM(2/2)
808-877444-002-A
第２版

商標について

NMPS、PrintAgentは日本電気株式会社の商標です。
Microsoftとそのロゴ、およびWindows、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Windows 3.1はMicrosoft Windows operating system Version 3.1、Windows 95はMicrosoft Windows 95 operating systemの略です。
Windows NT 3.5/3.51/4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.5/3.51/4.0およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 3.5/3.51/4.0の略です。
i486は米国Intel Corporationの商標です。
ESC/Pはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
NetWareは米国Novell, Incの登録商標です。
Macintosh、Mac OS、QuickDraw、LocalTalk、TrueType、漢字Talkは米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
IBM、PS/V、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
UNIXオペレーティングシステムはX/Open Company, Ltd.がライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。
TranXitはPuma Technology, Incの登録商標です。
Adobe、AcrobatはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

その他記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. プリンタの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウェアによってはサポートされない場合があります。
6. 運用した結果の影響については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

MultiWriter 1400X
ユーザーズマニュアル [2/2]
～NMPSソフトウェアの使い方～

初版　1997年11月
第２版　1998年　3月



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

高調波ガイドライン適合品

この装置は、通商産業省通知の家電・汎用品
高調波抑制対策ガイドラインに適合しています。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しています。

電源の瞬時電圧低下対策について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

海外でのご使用について

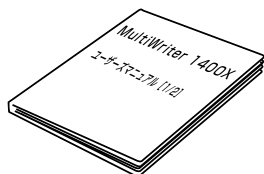
この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

はじめに

このたびはNECのプリンタをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

MultiWriter 1400Xは新しい高性能CPUを搭載し、より高速な印刷を可能にしたプリンタです。
また、Windows環境でより簡単に、より快適に使用していただけるNMPS(NEC MultiWriter Printing System)ソフトウェアを採用しています。このNMPSの機能により、プリンタの状態や印刷の進行状況を確認したり、各種設定をコンピュータ側から行うことができます。

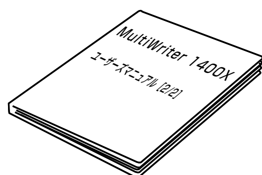
1400Xには2種類のマニュアルとCD-ROMが添付されています(枠内が本書です)。



MultiWriter 1400X　ユーザーズマニュアル［1/2］

～プリンタの取り扱い～

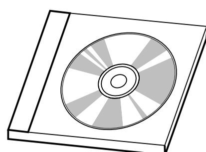
プリンタを箱から取り出し、設置し、印刷できるようにコンピュータを準備するまでの手順やオプションについて、および日常の保守、正しく動作しない場合の対処方法を説明しています。



MultiWriter 1400X　ユーザーズマニュアル［2/2］

～NMPSソフトウェアの使い方～

NMPSソフトウェアのインストールおよびその使い方をOS別に説明しています。



プリンタソフトウェアCD-ROM

プリンタドライバをはじめ、MultiWriter 1400Xで使われるNMPSソフトウェアが収録されています。また、メニューモードについての詳しい説明や、印刷範囲などの技術情報について説明しています。
詳細については「プリンタソフトウェアCD-ROMについて」(次ページ)をご覧ください。

プリンタソフトウェアCD-ROMについて

1400Xに添付されているプリンタソフトウェアCD-ROMは、Windows 95、Windows NT4.0、Windows NT3.51、Windows 3.1のコンピュータ環境に対し次のようなソフトウェアを提供しています。

ディレクトリ名	内　　容
MW2200X2	MultiWriter 2200X2用のPrintAgent/NMPSソフトウェアです。2200X2で印刷するために必要なファイルが入っています。画面上のダイアログボックスに従うことにより個々の環境に合わせた必要なファイルが自動的にインストールされます。
MW2200XE	MultiWriter 2200XE用のPrintAgent/NMPSソフトウェアです。2200XEで印刷するために必要なファイルが入っています。画面上のダイアログボックスに従うことにより個々の環境に合わせた必要なファイルが自動的にインストールされます。
MW2000X2	MultiWriter 2000X2用のPrintAgent/NMPSソフトウェアです。2000X2で印刷するために必要なファイルが入っています。画面上のダイアログボックスに従うことにより個々の環境に合わせた必要なファイルが自動的にインストールされます。
MW1400X	MultiWriter 1400X用のPrintAgent/NMPSソフトウェアです。1400Xで印刷するために必要なファイルが入っています。画面上のダイアログボックスに従うことにより個々の環境に合わせた必要なファイルが自動的にインストールされます。
FDCONV	CD-ROMに納められたPrintAgent/NMPSソフトウェアを3.5インチフロッピィディスクにコピーするツールです。詳細については本ディレクトリ内のReadmeをご覧ください。
BARCODE	NEC TrueTypeバーコードフォントとNEC TrueTypeバーコードフォントユーティリティです。このソフトウェアをインストールすることによりWindows環境でMultiWriterにバーコードフォント（5種類）の印刷をさせることができます。 1　Industrial 2 of 5（モジュール比2.2、3.0） 2　NW-7（モジュール比2.2、3.0） 3　CODE39（モジュール比2.2、3.0） 4　JAN（13桁、8桁） 5　カスタマバーコード（新郵便番号） 詳細については本ディレクトリ内のReadmeをご覧ください。
MANUAL*	メニューモードを使って設定できるプリンタの設定内容など技術情報を納めたマニュアルです。ディレクトリ内のリーダ「Adobe Acrobat Reader」を使って閲覧します。詳細については本ディレクトリ内のReadmeをご覧ください。
USBUPDT	USBプリンタケーブルを使って印刷をするために必要なUSBプリンタケーブルドライバファイルが入っています。詳細については本ディレクトリ内のReadmeをご覧ください。

*　このCD-ROMはISO 9660のフォーマットに従って作成されています。Macintoshで「MANUAL」をご覧になるためにはISO9660機能拡張ファイルが必要です。詳しくはMacintosh本体またはOSのマニュアルをご覧ください。

PrintAgent/NMPSソフトウェアをインストールするのに必要なハードディスク容量は次のとおりです。

- Windows 95 日本語版　　約2.8MB以上（プリンタドライバのみインストールする場合は約0.6MB）。
- Windows NT4.0 日本語版　　約2.8MB以上（プリンタドライバのみインストールする場合は約0.6MB）。
- Windows NT3.51 日本語版　　約2.8MB以上（プリンタドライバのみインストールする場合は約0.6MB）。
- Windows 3.1 日本語版　　プリンタドライバとして約0.6MB以上



PrintAgentをインストール時に指定するPrintAgentモジュールのディレクトリ名（指定しなければ「PrintAgent」になります）はインストール終了後に変更しないでください。Windows 3.1やDOS上でディレクトリの移動などを行うと、ディレクトリの名前が「PRINTA~1」などに変わってしまう場合があります。



ネットワーク環境で共有プリンタをお使いになるためには、コンピュータにあらかじめWindows 95の場合は、「Microsoftネットワーク共有サービス」、Windows NT4.0/3.51の場合は「サーバー」などクライアントソフトウェアを組み込んでおく必要があります。詳しくは各OSのマニュアルをご覧ください。

NMPSソフトウェアをフロッピィディスクでインストールする場合

通常NMPSソフトウェアのインストールは添付のCD-ROMにより行いますが、フロッピィディスクを使ってインストールしたい場合は、いったんCD-ROMに入っているNMPSソフトウェアをフロッピィディスクにコピーしてからインストールします。
CD-ROMからNMPSソフトウェアをフロッピィディスクにコピーして、インストールできるようにするツールがCD-ROMに入っていますので、こちらをご使用ください。

「CD-ROMドライブを持っていない」等でフロッピィディスクにコピーできない場合は、必要事項を下記宛先までFAXまたは電話でご連絡ください。NMPSソフトウェアを3.5インチのフロッピィディスクをお送りします。

必要事項

① プリンタ品名	「MultiWriter 1400X」
② プリンタの製造番号	保証書をご覧ください。9桁の英数字です。
③ フロッピィディスクタイプ	3.5インチの1.44MBタイプ*1、または1.2MBタイプ*2
④ ご住所	
⑤ ご氏名	
⑥ ご連絡先	昼間ご連絡がとれる電話番号をお知らせください。また自宅か勤務先かも明記ください。

*1 PC98-NXシリーズ用およびDOS/V機（IBM PC/AT 100%互換機）用
*2 PC-9800シリーズ用

連絡先

NEC商品サービス（株）　サプライ品販売促進部
TEL:　044-813-2400
FAX:　044-813-2610

本書の読み方

NMPSソフトウェアについて

NMPSソフトウェアの特長について説明しています。

Windows 95 日本語版をお使いの場合

Windows 95 日本語版でのNMPSソフトウェアのインストールのしかたと印刷の設定について説明しています。

Windows NT4.0 日本語版をお使いの場合

Windows NT4.0 日本語版でのNMPSソフトウェアのインストールのしかたと印刷の設定について説明しています。

Windows NT3.51 日本語版をお使いの場合

Windows NT3.51 日本語版でのNMPSソフトウェアのインストールのしかたと印刷の設定について説明しています。

Windows 3.1 日本語版をお使いの場合

Windows 3.1 日本語版でのNMPSソフトウェアのインストールのしかたと印刷の設定について説明しています。

その他のOS環境

Windows NT3.5 日本語版、MS-DOS、ESC/P、PC-PTOSなどその他の環境でのプリンタの選択について説明しています。

PrintAgentの使い方

PrintAgentおよびリモートパネルについて説明しています。

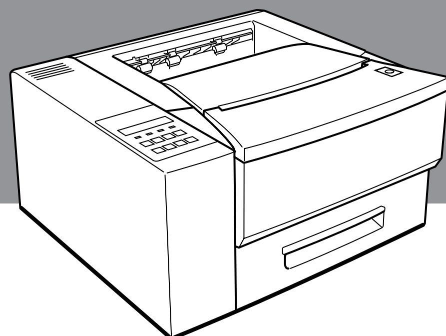
本文中で使用の記号の意味

このユーザーズマニュアル[2/2]では、本文中で次の3種類の記号を使っています。それぞれ次のように定義されています。

記　号	内　容
重要	マニュアルに記載されている注意事項および指示を守らないと、プリンタ本体が損傷するおそれがあることを示しています。
チェック	プリンタを使用する際に守っていただきたいこと、およびプリンタを正しく動作させるための注意事項や補足説明を記載しています。
ヒント	プリンタを使用する際に知っておくと便利なことや参考になることを記載しています。

目次

NMPSについて



NMPS（NEC MultiWirter Printing System）はMultiWriterをWindows環境でより簡単に、より快適に使用するためのソフトウェアです。NMPSには次のような特長があります。

□ 快適高速印刷

NMPSではNPDL（Level 2）を拡張しWindowsに対する適応性を高めることにより、印刷時、コンピュータ側およびプリンタ側で行われる変換処理を大幅に軽減しました。同時にコンピュータ本体とプリンタの処理の分担の最適化を図り、コンピュータ上での印刷開始からプリンタの印刷終了までトータルでの時間短縮を実現しました。

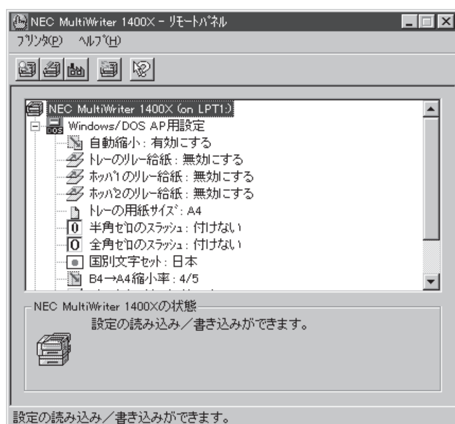
□ PrintAgentによる一歩進んだ使いやすさ

NMPSソフトウェアでサポートされるPrintAgentを使用すると、コンピュータの画面や音声によりプリンタの状態（用紙切れ、カバーオープンなど）や印刷の進行状況を確認することができます（プリンタステータスウィンドウ）。

またプリンタの各種設定もコンピュータの画面上で行うことができます（リモートパネル）。



プリンタステータスウィンドウの例



リモートパネルの例

□ 優れたネットワーク対応

PrintAgentによるプリンタの状態確認やプリンタの設定機能は、ローカルプリンタはもちろんネットワーク上のプリンタであっても区別なく使用することができます。PrintAgentが使用できるネットワーク環境については次項をご覧ください。

□ 従来の資産を継承

NMPSソフトウェアはNPDLの拡張によって実現されています。したがって、従来のNPDL(Level 2)対応プリンタと同様にお使いいただけます。

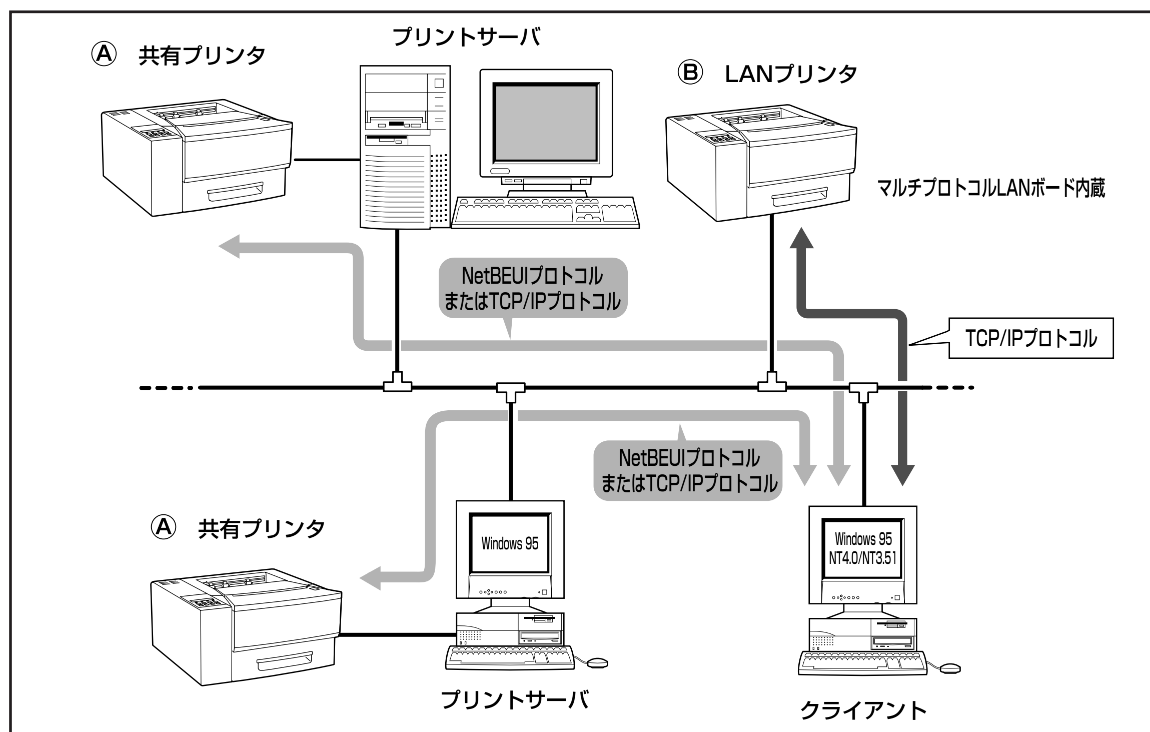
PrintAgentが使用できるネットワーク環境について

PrintAgentはネットワーク環境で、プリンタを次の形態でお使いの時に利用できます。

① Windows 95／Windows NT4.0／Windows NT3.51が動作しているプリントサーバが提供する共有プリンタⒶを、Windows 95／Windows NT4.0／Windows NT3.51が動作しているクライアントから利用する。

② ネットワークに直接接続されているLANプリンタⒷを、Windows 95／Windows NT4.0／Windows NT3.51が動作しているクライアントから直接利用する。

③ Windows 95／Windows NT4.0／Windows NT3.51が動作しているプリントサーバが共有プリンタとして提供しているLANプリンタⒷを、Windows 95／Windows NT4.0／Windows NT3.51が動作しているクライアントから利用する。



Ⓐを利用する場合、プリントサーバ、クライアントともに同じプロトコルが組み込まれていなければなりません。次のいずれかのプロトコルが利用できます。

- NetBEUIプロトコル
- TCP/IPプロトコル

ⒷはマルチプロトコルLANボードを使ってネットワークに接続されているLANプリンタですが、サーバ経由でもご利用になれます。この場合、サーバコンピュータにはTCP/IPプロトコル、NEC TCP/IP Printing System（次ページ参照）が組み込まれていなければなりません。マルチプロトコルLANボードについては、ユーザーズマニュアル[1/2]をご覧ください。

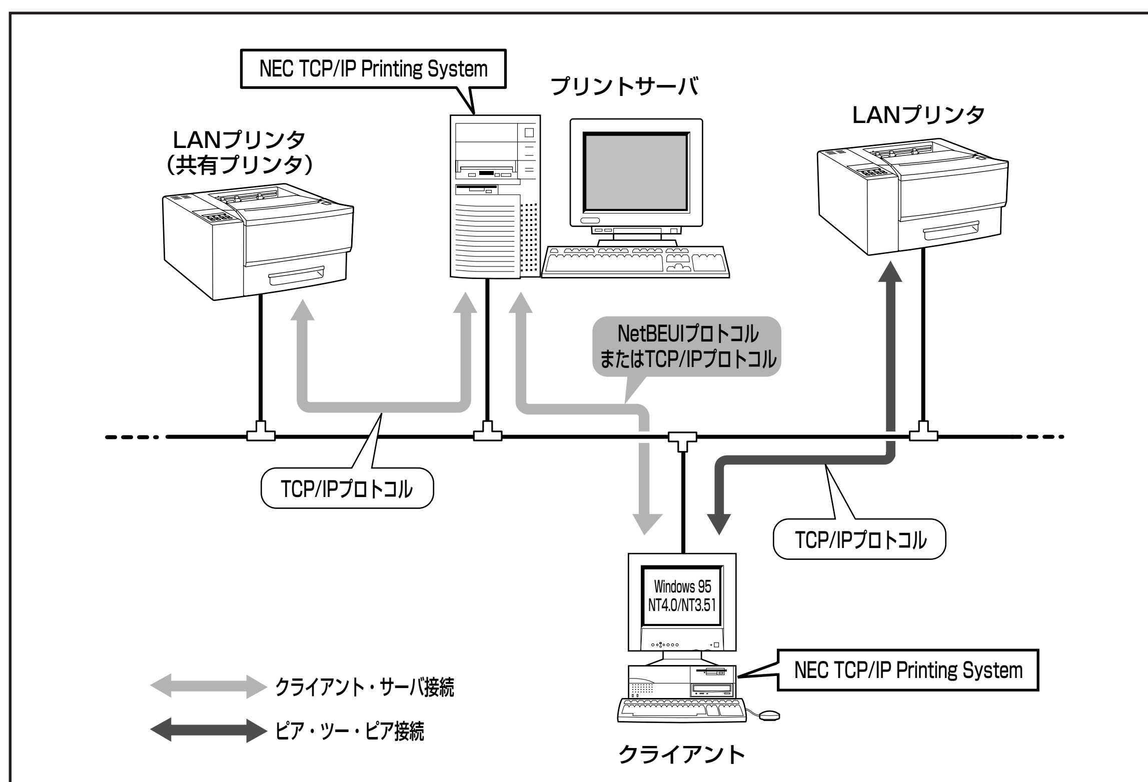


大規模なネットワークをWindows NTサーバで構築する場合、サーバのリソース量によってはクライアント側でプリンタ情報が表示されないことがあります。印刷機能についてはなんら支障はありません。詳細は、弊社メディアターミナル販売推進本部プリンタ販売推進部（TEL:03-3798-6290、FAX:03-3798-6291）にお問い合わせください。

NEC TCP/IP Printing Systemについて

「NEC TCP/IP Printing System」とはマルチプロトコルLANボードを使って、LAN接続されたプリンタに印刷するためのソフトウェアです。

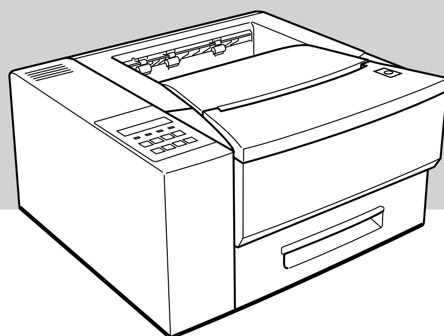
このソフトウェアをインストールすることにより、LANプリンタに対してPrintAgent機能を使った印刷が可能になります。この機能を実現するためにはピア・ツー・ピア接続の場合、自身のコンピュータに「NEC TCP/IP Printing System」をインストールするのはもちろんですが、クライアント・サーバ接続の場合はプリントサーバへもインストールが必要です。





コンピュータ本体とプリンタの接続で、NEC指定以外のプリンタケーブルやプリンタインタフェース変換アダプタ、またはプリンタバッファ、プリンタ切り替え器、プリンタセレクタなどを使用している環境では、PrintAgentはご使用になれません。既にPrintAgentをインストールされている場合、Windows 95では「プリンタスプールの設定」で「このプリンタの双方向通信機能をサポートしない」にしてください。Windows NT4.0では、プリンタプロパティの[ポート]シートで「双方向サポートを有効にする」のチェックを外してください。Windows NT3.51では、印刷先のポートを、「LPTNx:」から「LPTx：」に変更してご利用ください。

Windows 95 日本語版をお使いの場合



NMPSソフトウェアをインストールする

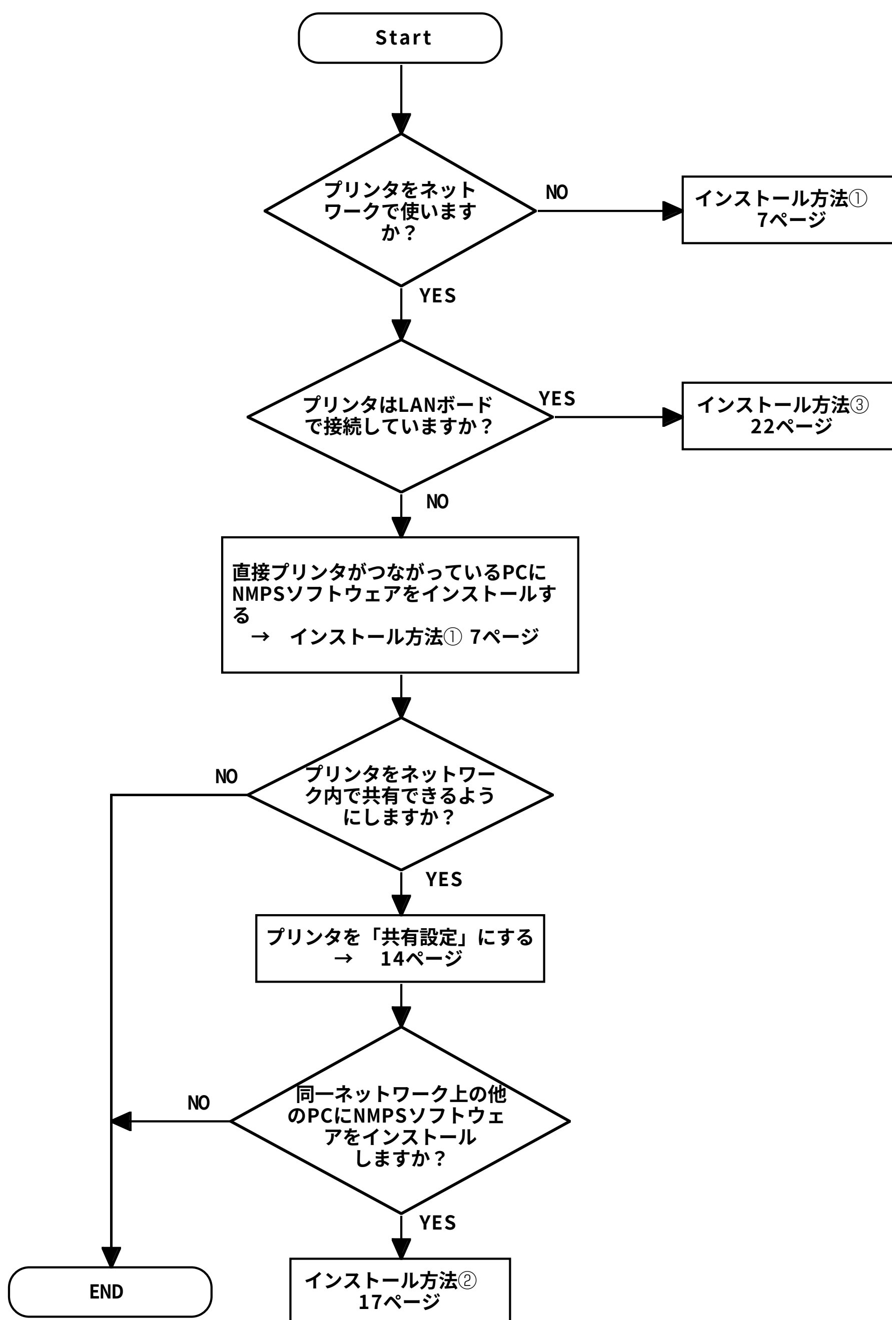
ここでは、Windows 95 日本語版にNMPSソフトウェアをインストールして、プリンタを指定するまでの方法について説明します。



本書ではCD-ROMを使った手順で説明しています。プリンタソフトウェアCD-ROMから作成したプリンタソフトウェアディスクを使用してインストールをする場合、インストールの途中でフロッピィディスクの交換を求める画面が表示されることがあります。その場合は画面の指示に従ってフロッピィディスクの入れ替えを行ってください。

インストール方法の選択

MultiWriter 1400Xの接続されている環境により、NMPSソフトウェアのインストール方法が異なります。フローチャートを参照しながら、環境に合ったインストール方法を選択してください。



Windows 95 日本語版でのインストール方法の選択

インストール方法 ①（コンピュータとプリンタが1対1で接続されているとき）

コンピュータがプリンタと1対1で接続されているとき、あるいはネットワーク接続でコンピュータがプリントサーバとしてプリンタに接続しているときは次の方法でインストールします。

Windows 95

プリントサーバ
クライアント
MultiWriter 1400X
（プリントサーバに接続・共有プリンタ）
Windows 95
Windows 95
Windows NT4.0
Windows NT3.51
プリンタケーブル
LANケーブル
クライアント
クライアント

1. Windows 95 日本語版を起動する。

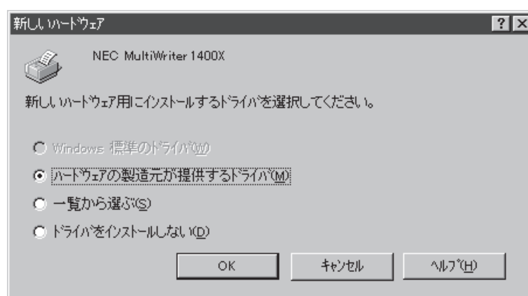
MultiWriter 1400Xの電源をONにしてから、コンピュータの電源をONにしてください。



2. 画面に表示される指示に従って操作する。

▶ [新しいハードウェア]ダイアログボックスが表示される

[ハードウェアの製造元が提供するドライバ]を選び、[OK]ボタンをクリックして、手順10に進んでください。



▶ [デバイスドライバウィザード]ダイアログボックスが表示される

29ページの「Windows 95 OSR2(日本語版)にインストールするときの注意事項」に従ってインストールしてください。



▶ 何も表示されない

手順3に進んでください。

3. [スタート]ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行]をクリックする。

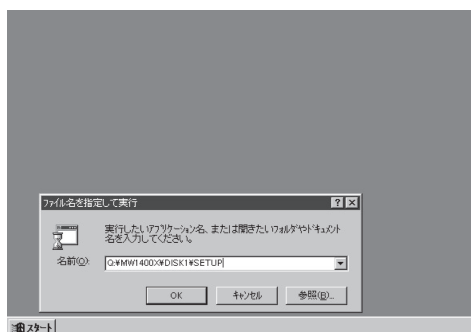


4. プリンタソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

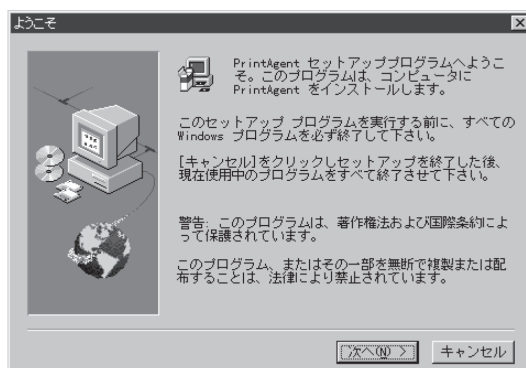
5. セットアッププログラムを起動する。

[名前]のボックスにCD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW1400X¥DISK1¥SETUP」と入力し、[OK]ボタンをクリックします。

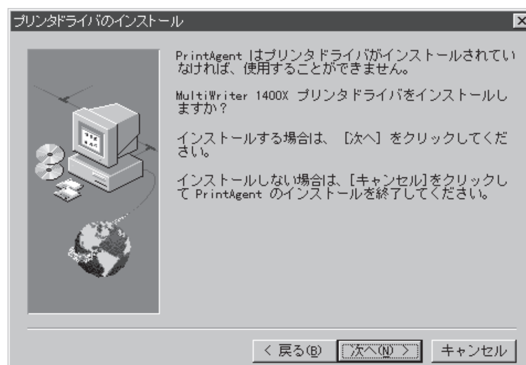
または[参照]ボタンをクリックして、[ファイルの参照]ダイアログボックスよりセットアッププログラムを選んでください。



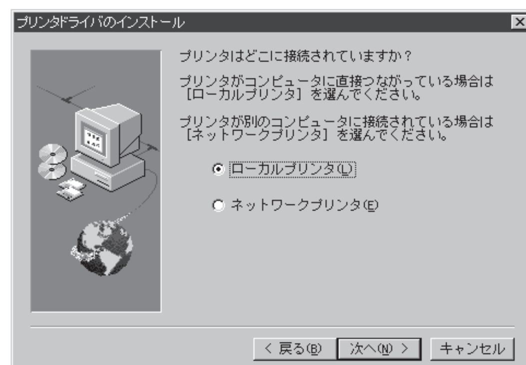
6. ［次へ＞］ボタンをクリックする。



7. ［次へ＞］ボタンをクリックする。

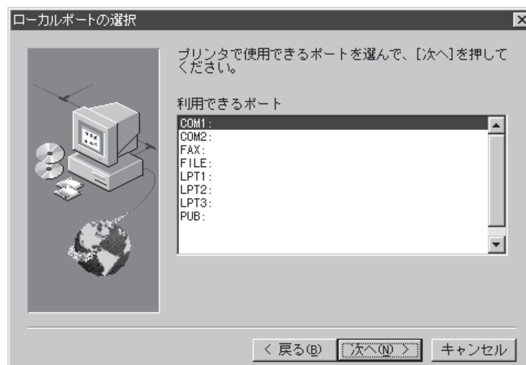


8. ［ローカルプリンタ］を選んで、［次へ＞］ボタンをクリックする。



9. 希望のポートを選んで、［次へ＞］ボタンをクリックする。

手順16へ進んでください。

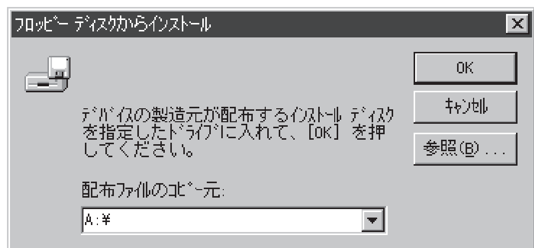


10. プリンタソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

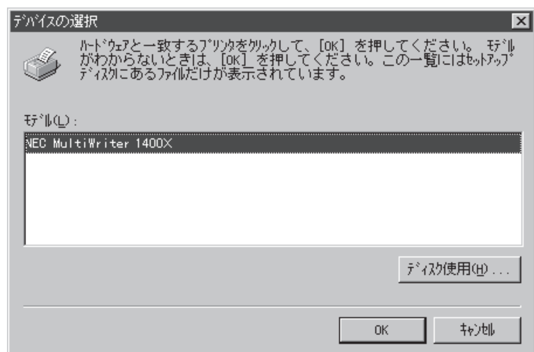
11. ドライバのファイルを指定する。

[配付ファイルのコピー元]ボックスにCD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW1400X¥DISK1」と入力し、[OK]ボタンをクリックします。

または[参照]ボタンをクリックして、[ファイルの参照]ダイアログボックスよりドライバのファイルを選んでください。



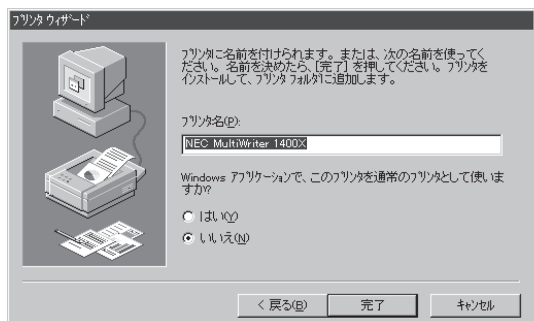
12. [OK]ボタンをクリックする。



13. プリンタの名前を確認し、[完了]ボタンをクリックする。

1400Xを通常使用するプリンタとする場合は、[はい]を選んで[完了]ボタンをクリックします。

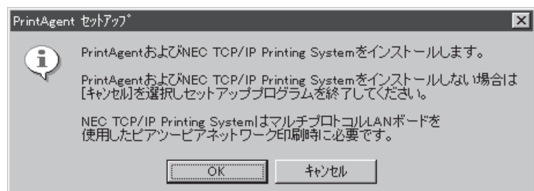
プリンタドライバのインストールが開始されます。



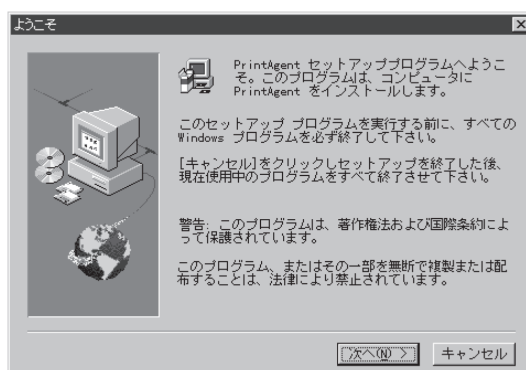
14. PrintAgentとNEC TCP/IP Printing Systemのインストールを開始する。

インストールを行う場合は、[OK]ボタンをクリックします。インストール準備が始まります。

プリンタドライバのみインストールして終了したい場合は、[キャンセル]ボタンをクリックします。



15. [次へ>]ボタンをクリックする。

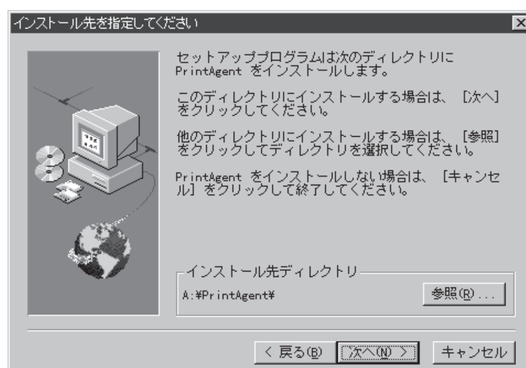


16. インストール先を指定する。

ディレクトリを確認して[次へ>]ボタンをクリックします。

ディレクトリを変更したいときは、[参照]ボタンをクリックしてください。

インストール先のディスク空き容量が少ない場合は、ディレクトリの変更を行う画面が現れます。ディレクトリを変更してください。





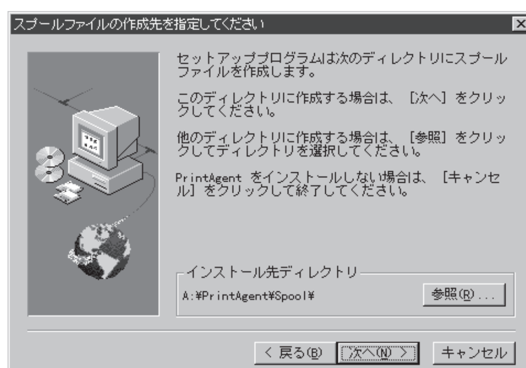
プリンタドライバのみインストールし、PrintAgentをインストールしない場合は[キャンセル]を選択します。

17. スプールファイルの作成先を指定する。

プライベートスプールファイルを作成するディレクトリを確認して[次へ>]ボタンをクリックします。

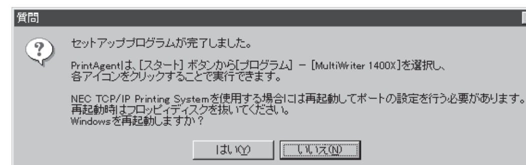
インストール先のディスク空き容量が少ない場合はディレクトリの変更を行う画面が現れます。ディレクトリを変更してください。

作成先を指定するとインストールを開始します。



18. [いいえ]ボタンをクリックする。

本手順の場合はNEC TCP/IP Printing Systemを使用しないので再起動する必要はありません。



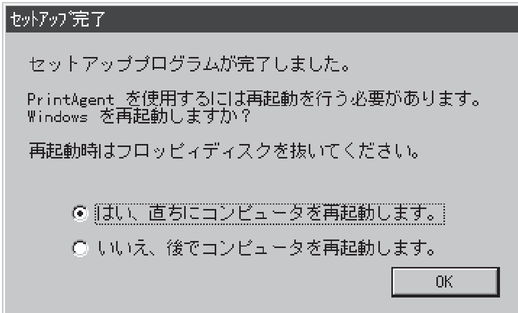


「NEC TCP/IP Printing System」とはマルチプロトコルLANボードを使って接続されたLANプリンタと双方向通信を可能にするためのソフトウェアです。LANプリンタを使用しない場合このソフトウェアは不要ですが、インストールしたままでもなんら影響はありません。



すでにMultiWriter 1400X用以外のPrintAgentがインストールされている場合、再起動を促すダイアログボックスが表示されることがあります。

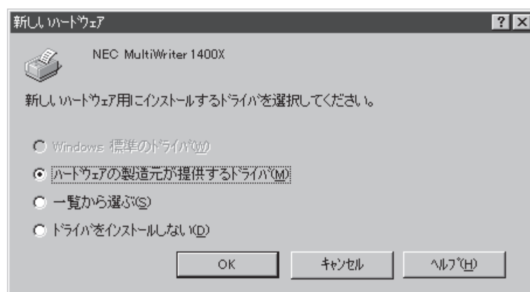
表示された場合は画面の指示に従いコンピュータの再起動を行ってください。



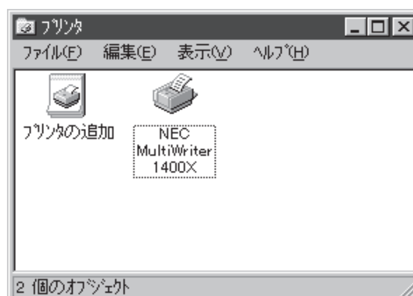


再起動すると、Ｗｉｎｄｏｗｓ９５はMultiWriter 1400Xを新しいハードウェアとして認識し、再度ＮＥＣ MultiWriter 1400Xのインストールを促すダイアログボックスが表示されることがあります。

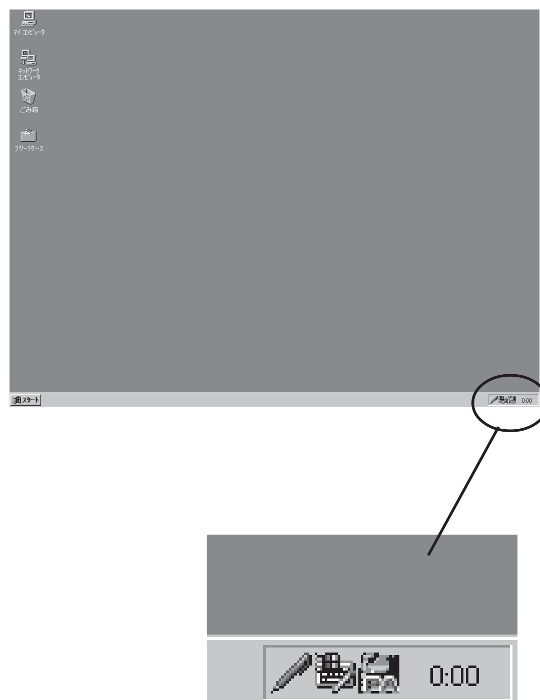
このダイアログボックスを今後表示させせないようにするためには[ドライバをインストールしない]をチェックし、[OK]ボタンをクリックして終了させてください。次から表示されなくなります。



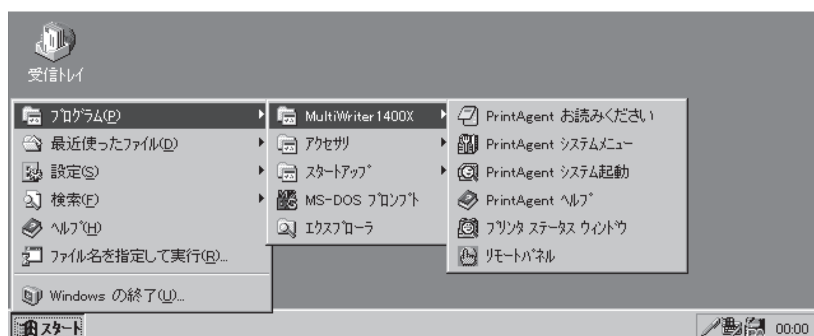
19. [プリンタ]フォルダ内に、[NEC MultiWriter 1400X]アイコンが登録されたことを確認する。



20. タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されたことを確認する。



21. スタートメニューの[プログラム]に[MultiWriter 1400X]というフォルダが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されたことを確認する。

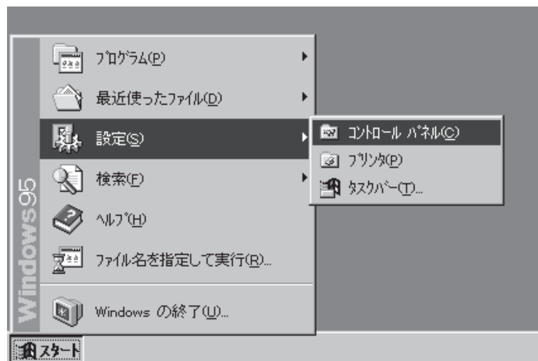


- PrintAgent　お読みください .... 使用上の注意事項などです。
- PrintAgent　システムメニュー .... PrintAgentのシステムメニューです。
- PrintAgent　システム起動 .... PrintAgentシステムを起動します。
- PrintAgent　ヘルプ .... ヘルプです。
- プリンタステータスウィンドウ .... プリンタステータスウィンドウを起動します。
- リモートパネル .... リモートパネルを起動します。

MultiWriter 1400Xを共有プリンタに設定する

1. **[スタート]ボタンをクリックし、[設定]をポイントする。次に[コントロールパネル]をクリックする。**

[コントロールパネル]ダイアログボックスが開きます。



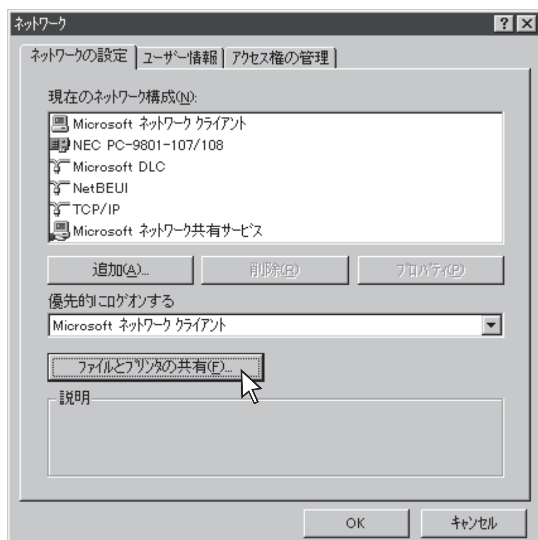
2. **[ネットワーク]アイコンをダブルクリックする。**

[ネットワーク]ダイアログが開きます。

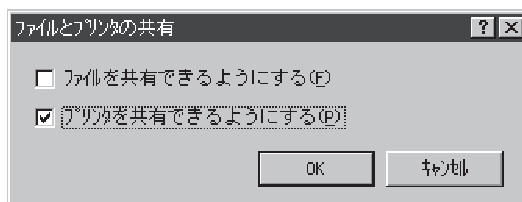


3. **[ファイルとプリンタの共有]ボタンをクリックする。**

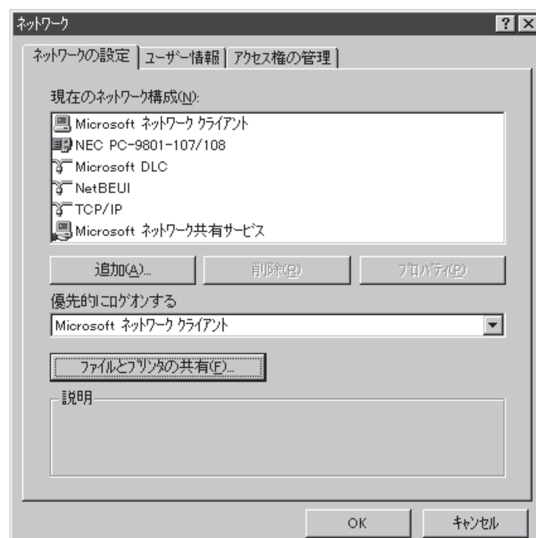
[ファイルとプリンタの共有]ダイアログボックスが開きます。



4. **[プリンタを共有できるようにする]をチェックし、[OK]ボタンをクリックする。**



5. [OK]ボタンをクリックする。



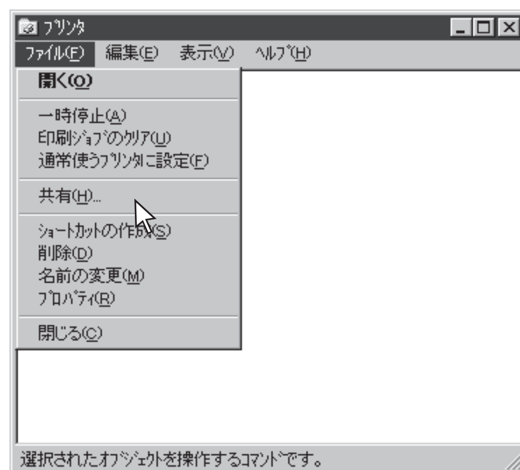
6. [プリンタ]フォルダ内の[NEC MultiWriter 1400X]アイコンをクリックする。

[プリンタ]フォルダは[スタート]ボタンから[設定]-[プリンタ]をクリックすると開きます。



7. [ファイル]メニューの[共有]をクリックする。

[NEC MultiWriter 1400Xのプロパティ]ダイアログが表示されます。

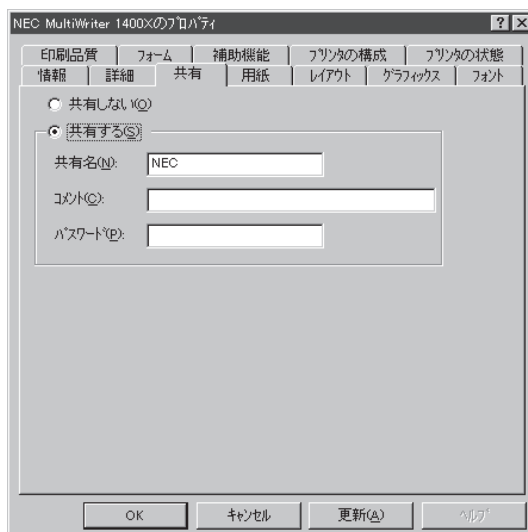


8. **[共有]タブをクリックする。**

9. **「共有」シートの設定をする。**

「共有する」を選び、そのプリンタに対して、共有名、コメント、パスワードを設定します。

[OK]または[更新]ボタンをクリックすれば共有の設定は終了です。

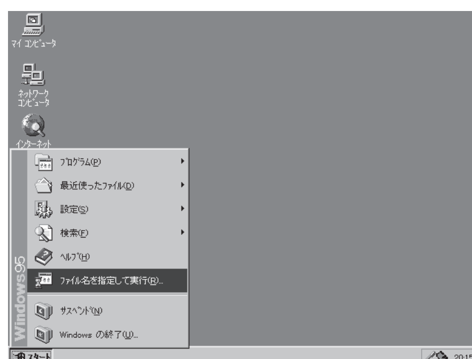


PrintAgentとNEC TCP/IP Printing Systemを追加インストールする

プリンタドライバのみインストールし、PrintAgentをインストールしなかった場合は、次の手順でPrintAgentとNEC TCP/IP Printing Systemを追加インストールすることができます。

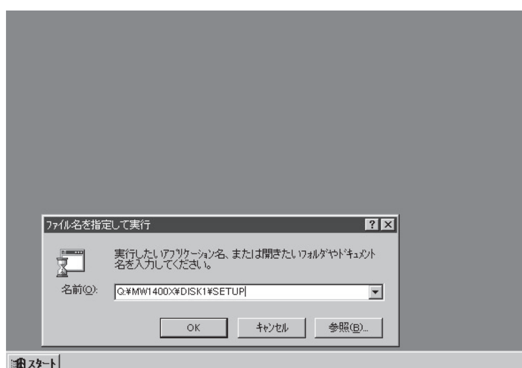
1. **プリンタソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。**

2. **[スタート]ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行]をクリックする。**



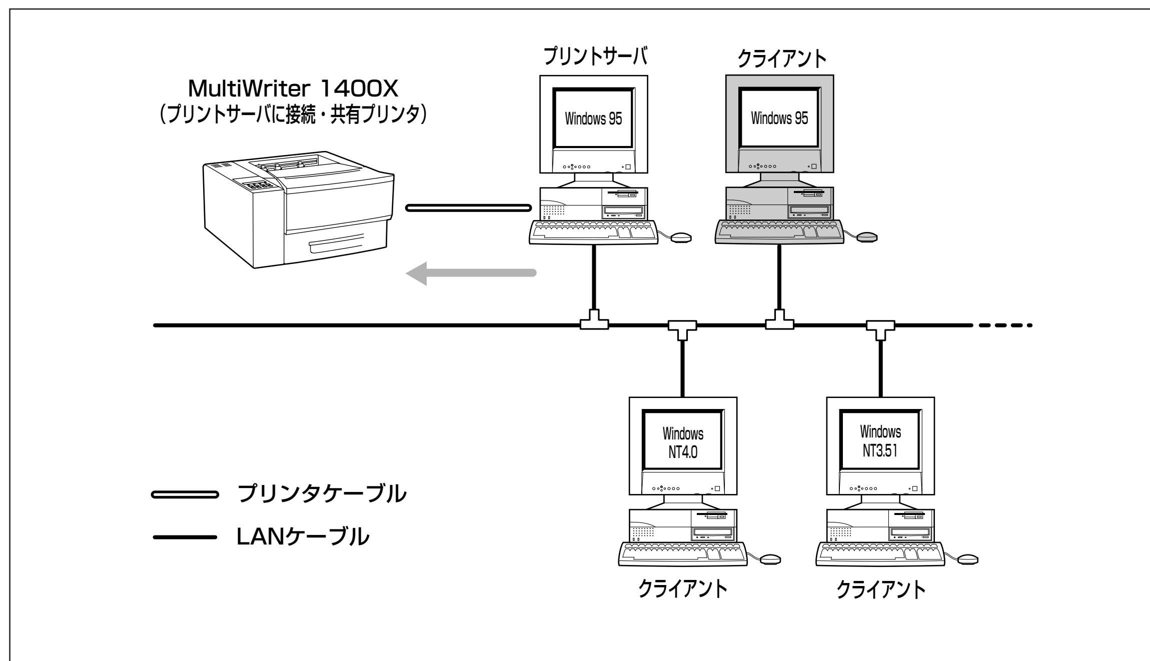
3. **[名前]のボックスにCD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW1400X¥DISK1¥SETUP」と入力し、[OK]ボタンをクリックする。**

以降は11ページの手順15から手順を続けてください。



インストール方法 ②（コンピュータがクライアントであるとき）

ネットワーク環境で、クライアントから共有プリンタへ印刷したいときは、次の方法でインストールします。



1. Windows 95 日本語版を起動する。



2. ［スタート］ボタンをクリックし、［ファイル名を指定して実行］をクリックする。

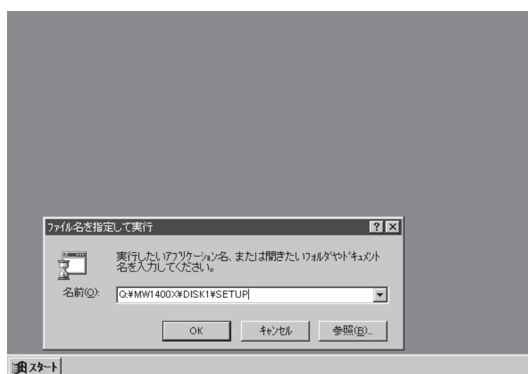


3. プリンタソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

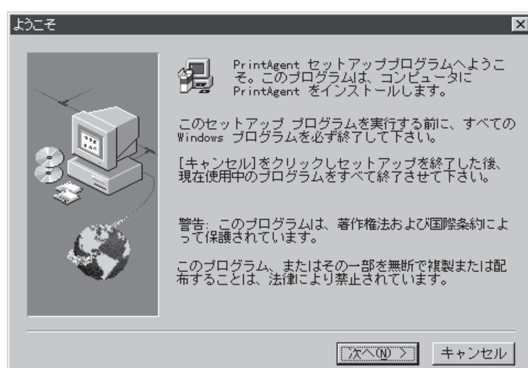
4. セットアッププログラムを起動する。

[名前]のボックスにCD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW1400X¥DISK1¥SETUP」と入力し、[OK]ボタンをクリックします。

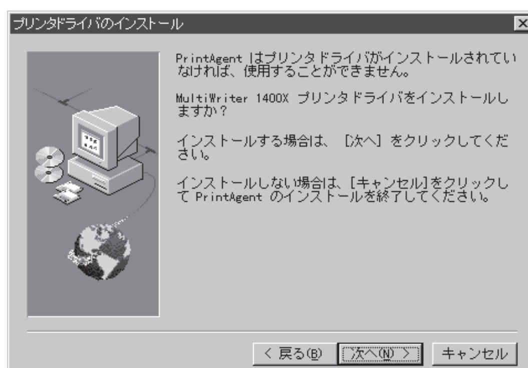
または[参照]ボタンをクリックして、[ファイルの参照]ダイアログボックスよりセットアッププログラムを選んでください。



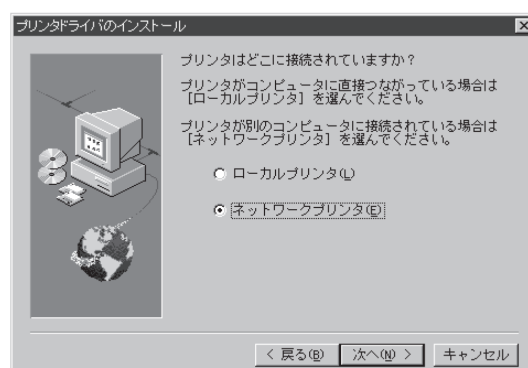
5. [次へ>]ボタンをクリックする。



6. [次へ>]ボタンをクリックする。



7. [ネットワークプリンタ]を選んで、[次へ>]ボタンをクリックする。



8. プリンタの接続先を指定し、[次へ>]ボタンをクリックする。

プリンタの接続先を[ネットワークパス名]ボックスに入力するか[参照]ボタンをクリックして現れる一覧から指定します。

プリンタドライバのインストールを開始します。



9. PrintAgentのインストール先を指定する。

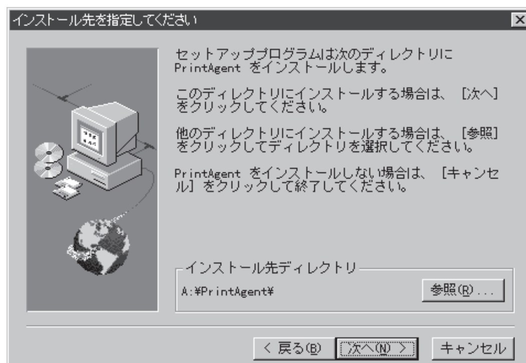
インストール先のディレクトリを確認して[次へ>]ボタンをクリックします。

ディレクトリを変更したいときは、[参照]ボタンをクリックしてください。

インストール先のディスク空き容量が少ない場合は、ディレクトリの変更を行う画面が現れます。ディレクトリを変更してください。



プリンタドライバのみインストールし、PrintAgentをインストールしない場合は[キャンセル]を選択します。

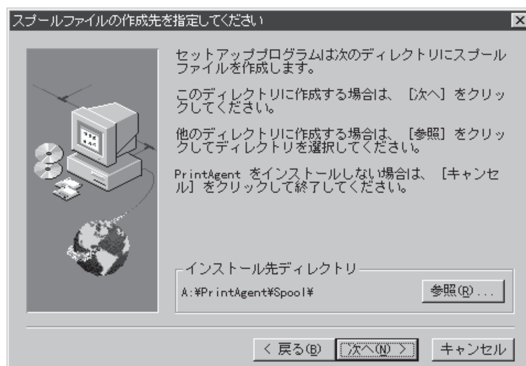


10. スプールファイルの作成先を指定する。

プライベートスプールファイルを作成するディレクトリを確認して[次へ>]ボタンをクリックします。

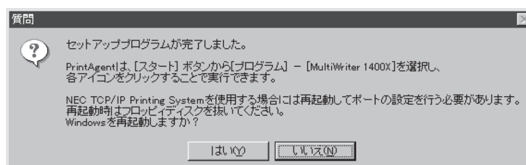
インストール先のディスク空き容量が少ない場合はディレクトリの変更を行う画面が現れます。ディレクトリを変更してください。

PrintAgentのインストールを開始します。



11. [いいえ]ボタンをクリックする。

本手順の場合はNEC TCP/IP Printing Systemを使用しないので再起動する必要はありません。



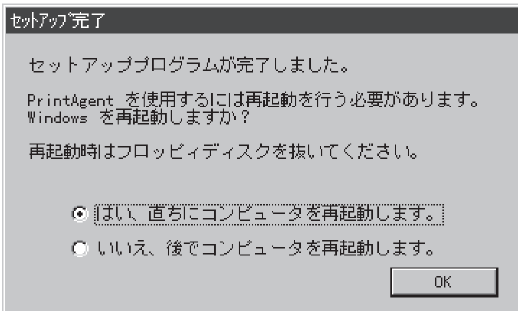


「NEC TCP/IP Printing System」とはマルチプロトコルLANボードを使って接続されたLANプリンタと双方向通信を可能にするためのソフトウェアです。LANプリンタを使用しない場合はこのソフトウェアは不要ですが、インストールしたままでもなんら影響はありません。



すでにMultiWriter 1400X用以外のPrintAgentがインストールされている場合再起動を促すダイアログボックスが表示されることがあります。

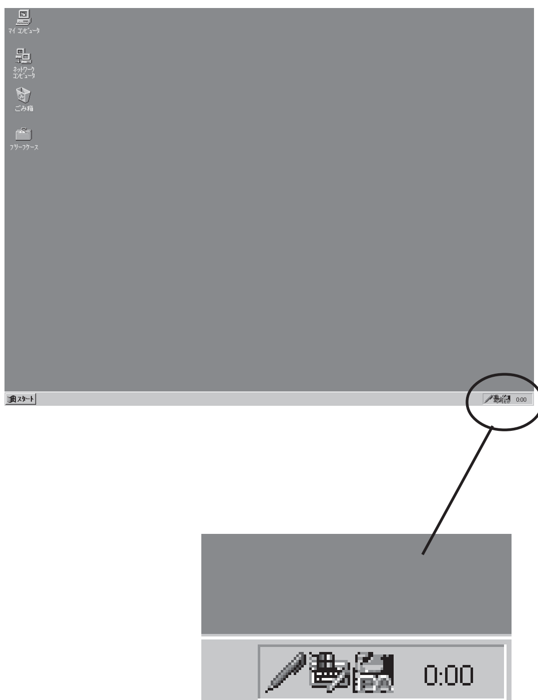
表示された場合は画面の指示に従いコンピュータの再起動を行ってください。



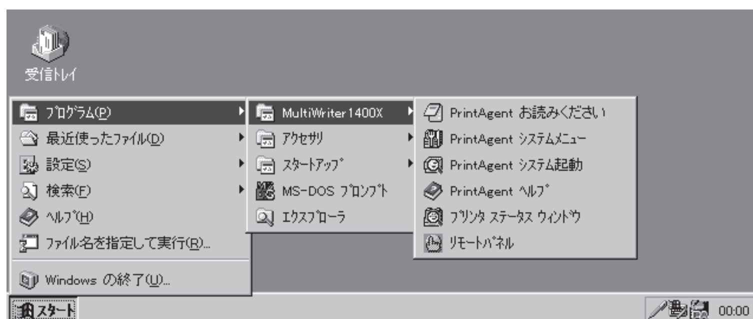
12. [プリンタ]フォルダ内に［NEC MultiWriter 1400X]アイコンが登録されたことを確認する。



13. タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されたことを確認する。



14. スタートメニューの[プログラム]に[MultiWriter 1400X]というフォルダが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されたことを確認する。



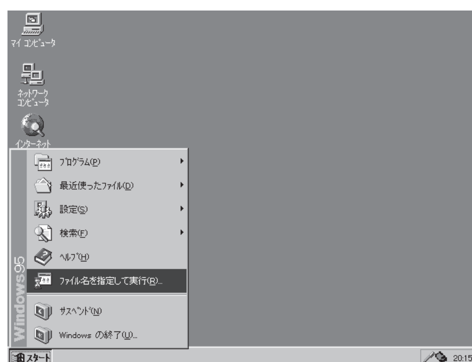
- PrintAgent　お読みください .... 使用上の注意事項などです。
- PrintAgent　システムメニュー .... PrintAgentのシステムメニューです。
- PrintAgent　システム起動 .... PrintAgentシステムを起動します。
- PrintAgent　ヘルプ .... ヘルプです。
- プリンタステータスウィンドウ .... プリンタステータスウィンドウを起動します。
- リモートパネル .... リモートパネルを起動します。

PrintAgentとNEC TCP/IP Printing Systemを追加インストールする

プリンタドライバのみインストールし、PrintAgentをインストールしなかった場合は、次の手順でPrintAgentとNEC TCP/IP Printing Systemを追加インストールすることができます。

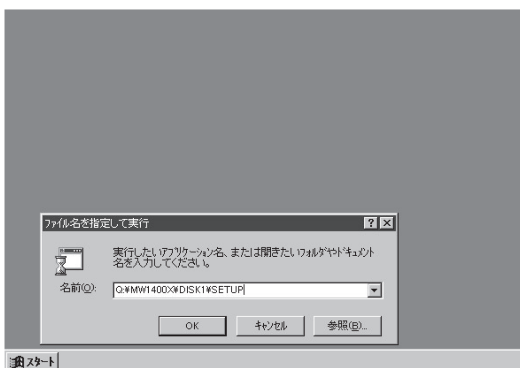
1. プリンタソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

2. [スタート]ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行]をクリックする。



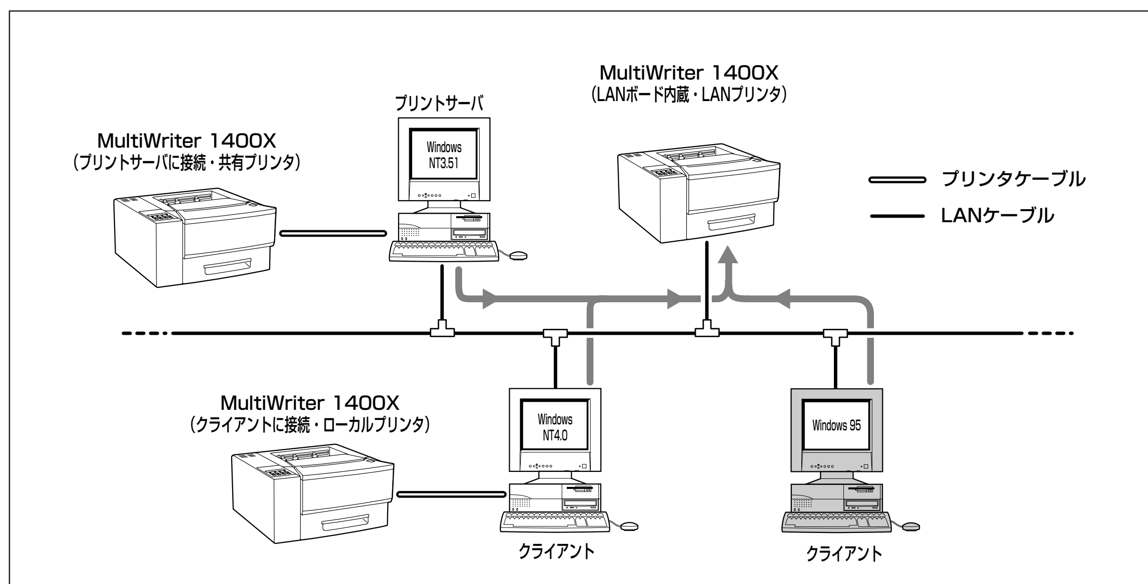
3. [名前]のボックスにCD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW1400X¥DISK1¥SETUP」と入力する。

以降は19ページの手順9から続けてください。



インストール方法 ③（LANボード内蔵プリンタへ印刷するとき）

ネットワーク内のコンピュータから、マルチプロトコルLANボードを内蔵しているLANプリンタへ印刷したいときは、次の方法でインストールします。





マルチプロトコルLANボードを使って、LANプリンタとしてご使用になる前に、次のことを確認してください。

1. マルチプロトコルLANボードが確実に取り付けられていることを、コンフィギュレーションページの印刷を行って確認してください(詳細はマルチプロトコルLANボードの取扱説明書を参照してください)。
2. マルチプロトコルLANボードに添付されている取扱説明書に従って、マルチプロトコルLANボードに割り付けてあるIPアドレスを設定してください。
3. インストールするとき、また印刷先をLANプリンタに設定するときは、LANプリンタの電源が入っていることを確認してください。

1. Windows 95 日本語版を起動する。



2. **[スタート]ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行]をクリックする。**

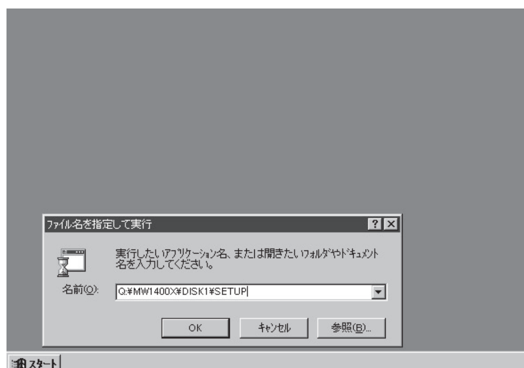


3. **プリンタソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。**

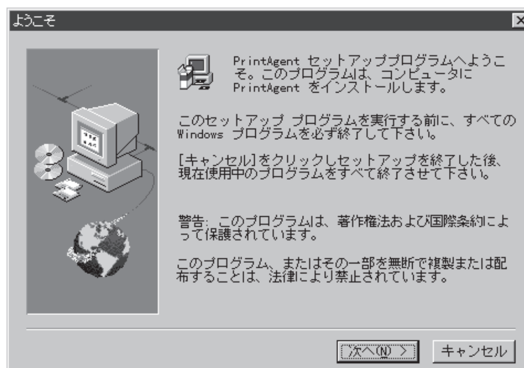
4. **セットアッププログラムを起動する。**

[名前]のボックスにCD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW1400X¥DISK1¥SETUP」と入力し、[OK]ボタンをクリックします。

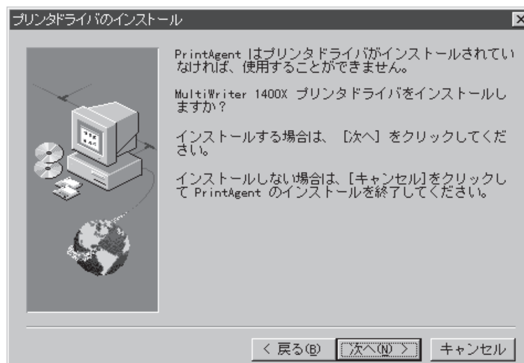
または[参照]ボタンをクリックし、[ファイルの参照]ダイアログボックスよりセットアッププログラムを選んでください。



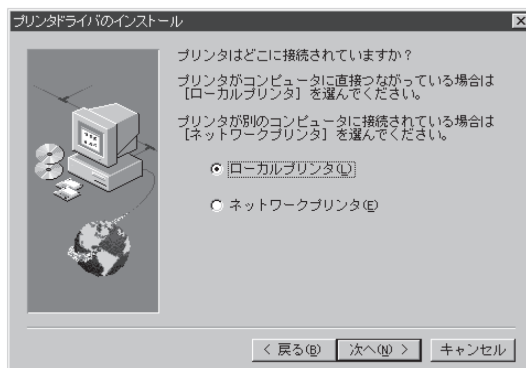
5. **[次へ>]ボタンをクリックする。**



6. **[次へ>]ボタンをクリックする。**

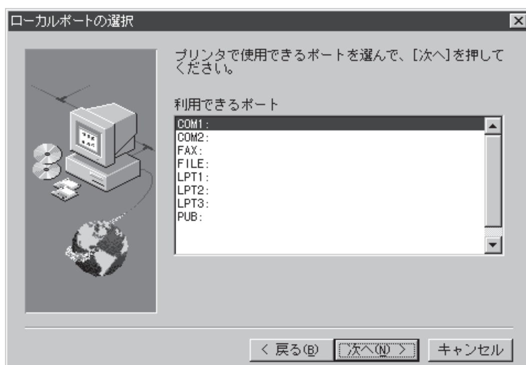


7. **[次へ＞]ボタンをクリックする。**



8. **[次へ＞]ボタンをクリックする。**

プリンタドライバのインストールを開始します。

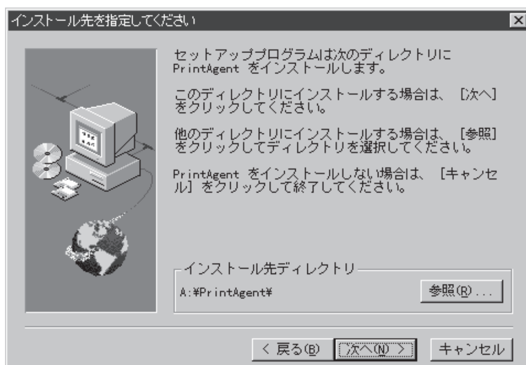


9. **PrintAgentのインストール先を指定する。**

インストール先のディレクトリを確認して[次へ＞]ボタンをクリックします。

ディレクトリを変更したいときは、[参照]ボタンをクリックしてください。

インストール先のディスク空き容量が少ない場合は、ディレクトリの変更を行う画面が現れます。ディレクトリを変更してください。

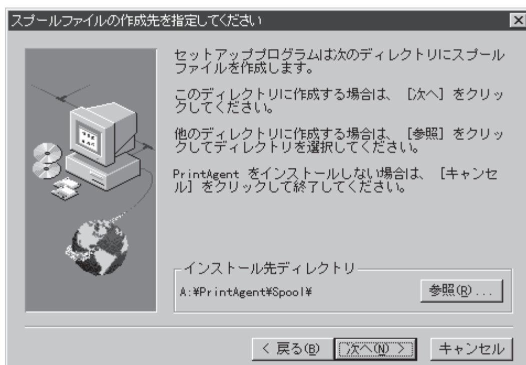


10. **スプールファイルの作成先を指定する。**

プライベートスプールファイルを作成するディレクトリを確認して[次へ＞]ボタンをクリックします。

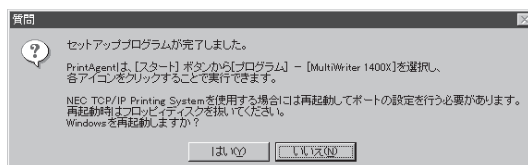
インストール先のディスク空き容量が少ない場合はディレクトリの変更を行う画面が現れます。ディレクトリを変更してください。

PrintAgentのインストールを開始します。



11. **[はい]ボタンをクリックする。**

Windows 95が再起動されます。



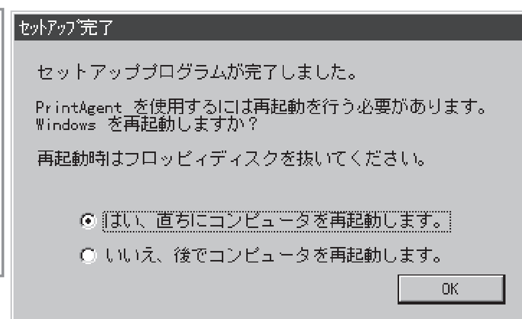


「NEC TCP/IP Printing System」とはマルチプロトコルLANボードを使って接続されたプリンタと双方向通信を可能にするためのソフトウェアです。

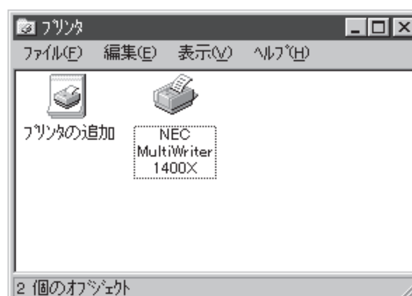


すでにMultiWriter 1400X用以外のPrintAgentがインストールされている場合、再起動を促すダイアログボックスが表示されることがあります。

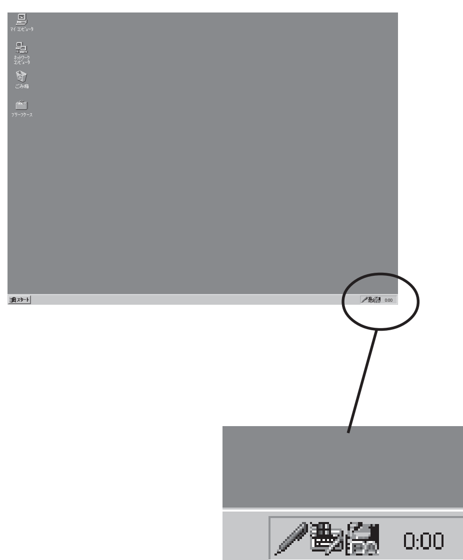
表示された場合は画面の指示に従いコンピュータを再起動してください。



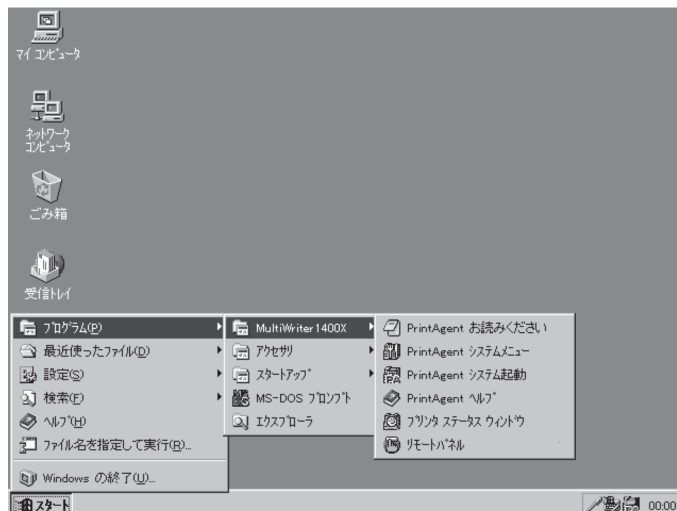
12. **[プリンタ]フォルダ内に、[NEC MultiWriter 1400X]アイコンが登録されたことを確認する。**



13. **タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されたことを確認する。**



14. **スタートメニューの[プログラム]に[MultiWriter 1400X]というフォルダが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されたことを確認する。**

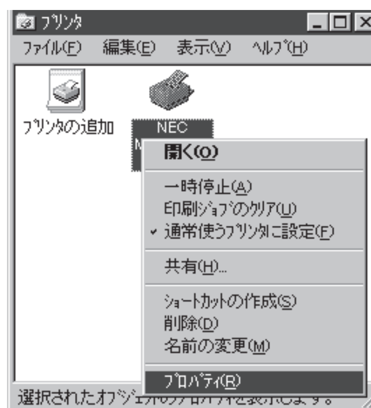


- PrintAgent　お読みください............................使用上の注意事項などです。
- PrintAgent　システムメニュー........................PrintAgentのシステムメニューです。
- PrintAgent　システム起動...............................PrintAgentシステムを起動します。
- PrintAgent　ヘルプ...ヘルプです。
- プリンタステータスウィンドウ........................プリンタステータスウィンドウを起動します。
- リモートパネル...リモートパネルを起動します。

続いて「ポートの追加」を行います。「ポートの追加」は、NMPSソフトウェアのインストールにより作成された[詳細]プロパティシート上で行います。

15. **[MultiWriter 1400Xのプロパティ]のダイアログボックスを表示させる。**

[プリンタ]フォルダの「NEC MultiWriter 1400X」アイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

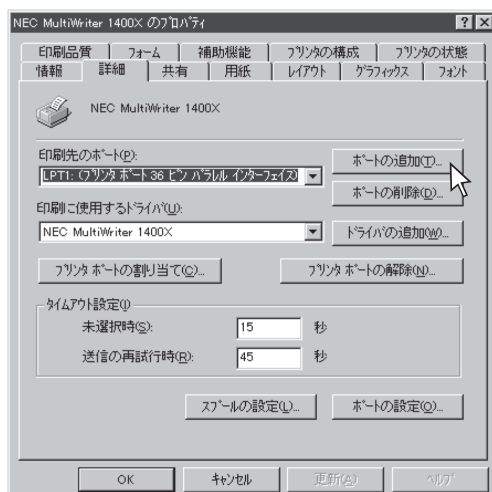


16. **[詳細]タブをクリックする。**

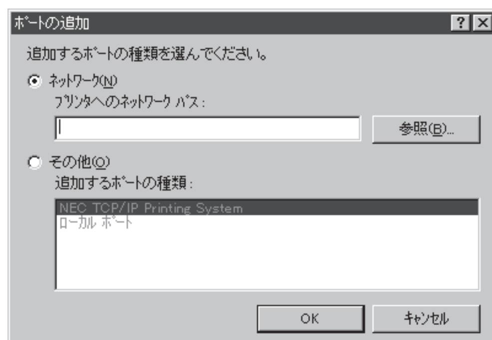
[詳細]プロパティシートが開きます。



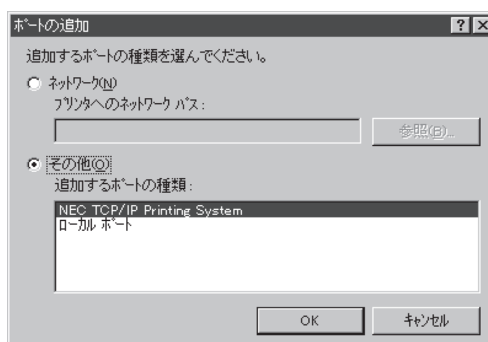
17. **[ポートの追加]ボタンをクリックする。**



18. **[その他]を選ぶ。**

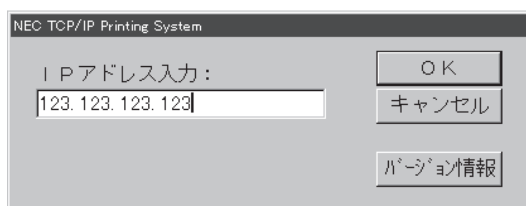


19. [NEC TCP/IP Printing System]を選んで、[OK]ボタンをクリックする。



20. マルチプロトコルLANボードの「IPアドレス」を入力し、[OK]ボタンをクリックする。

IPアドレス設定の確認は、マルチプロトコルLANボード(PC-PR-L01、PC-PR-L02)取扱説明書をご覧ください。



21. [更新]ボタンをクリックする。

これで「ポートの追加」は終了です。

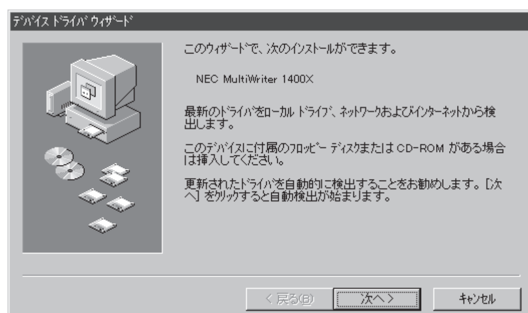


Windows 95 OSR2(日本語版)にインストールするときの注意事項

1996年10月以降に出荷されたコンピュータにプリインストールされているWindows 95 OSR2(日本語版)をお使いの場合、プリンタドライバのインストール方法が一部変更になっています。プリンタドライバをインストールされる際は以下の手順を行ってください。

Windows 95 OSR2(日本語版)を起動すると次の[デバイスドライバウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

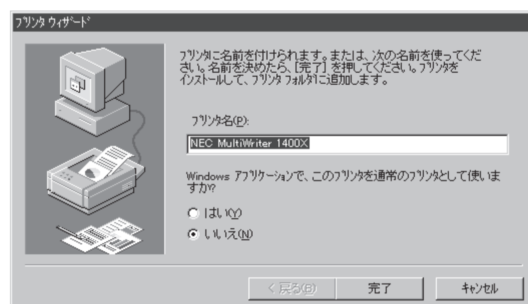
1. プリンタソフトウェアCD-ROMをセットし、[次へ>]ボタンをクリックする。



2. [完了]ボタンをクリックする。



3. プリンタ名を入力して、[完了]ボタンをクリックする。

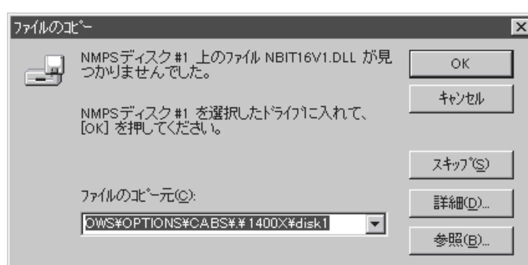


4. [OK]ボタンをクリックする。



5. ドライバのファイルを指定する。

[ファイルのコピー元]ボックスに、CD-ROMドライブのドライブ名、コロン(：)、円記号(¥)に続けて「MW1400X¥DISK1」と入力し、[OK]ボタンをクリックします。



6. [OK]ボタンをクリックする。

これでドライバのインストールが終了しました。PrintAgentおよびNEC TCP/IP Printing Systemをインストールするために以降は9ページの手順6から続けてください。

プリンタドライバのみインストールして終了したい場合は[キャンセル]ボタンをクリックしてください。



アンインストールするときは

必要なファイルが削除されてしまったなどでPrintAgentが正常に動かなくなったときはNMPSソフトウェアを再インストールすることがあります。NMPSソフトウェアを再インストールするには、一度既存のNMPSソフトウェアを削除(アンインストール)してから行います。ここでは削除方法を説明します。

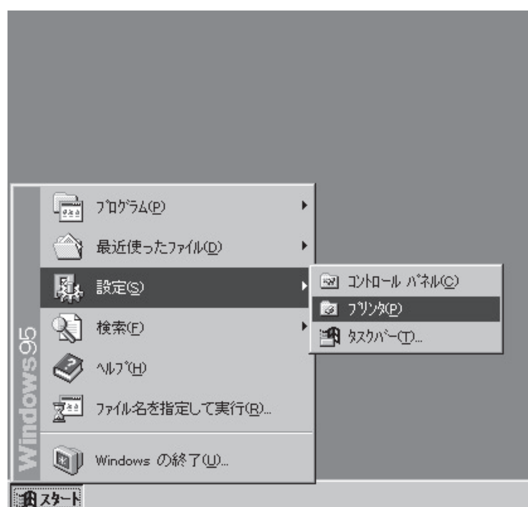


- PrintAgentのインストール時に指定したPrintAgentモジュールのディレクトリ名(指定しなければ｢PrintAgent｣になります)を変更している場合、アンインストールは正常に行えません。変更されているディレクトリ名をインストール時のディレクトリ名に戻してからアンインストールを行ってください。
- PrintAgentを削除(アンインストール)する場合は、必ずプリンタドライバを先にアンインストールしてください。プリンタドライバをアンインストールせずにPrintAgentのみアンインストールを行うと正常にアンインストールを終了できない場合があります。
- PrintAgent対応プリンタのプロパティダイアログボックスを表示しているとアンインストールを行えません。ダイアログボックスを閉じてから行ってください。
- 1400Xで印刷中はアンインストールを行えません。印刷が終了してからアンインストールを行ってください。
- PrintAgent対応機種が複数インストールされている状態で2000XのPrintAgentをアンインストールすると他の機種のPrintAgentが使用できなくなります。また2200XのPrintAgentをアンイストールすると一部の機能が使用できなくなります。このような場合まず他の機種のPrintAgentをアンインストールしてから2000X/2200Xのアンインストールをし、必要な機種のPrintAgentをインストールし直してください。

プリンタドライバのアンインストール

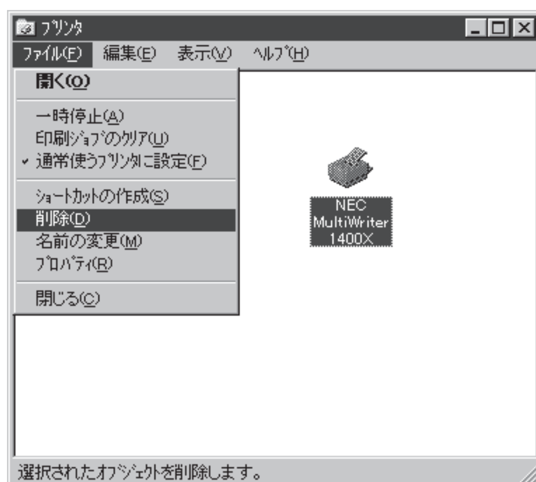
1. **[スタート]ボタンをクリックし、[設定]をポイントします。次に[プリンタ]をクリックする。**

[プリンタ]フォルダが開かれ、インストール済みのプリンタアイコンが表示されます。



2. 「NEC MultiWriter 1400X」アイコンをクリックする。

3. [ファイル]メニューの[削除]をクリックする。



4. [はい]ボタンをクリックする。

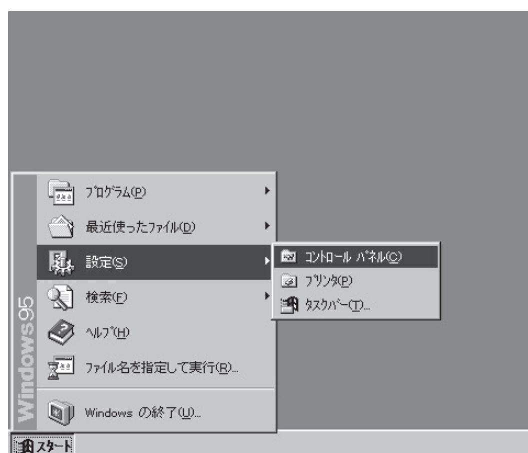
MultiWriter 1400Xのプリンタドライバが削除されます。



PrintAgentのアンインストール

1. [スタート]ボタンをクリックし、[設定]をポイントします。次に[コントロールパネル]をクリックする。

コントロールパネルフォルダが開きます。



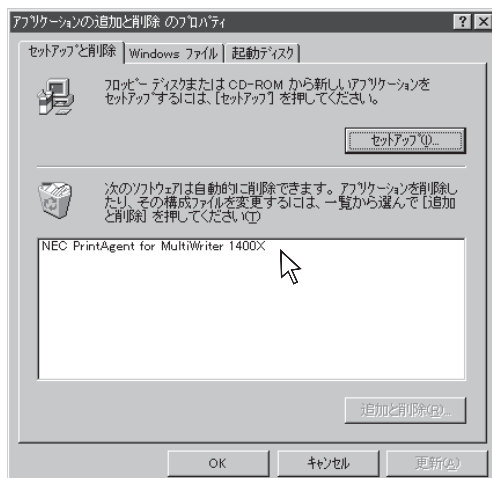
2. **[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックする。**

[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。



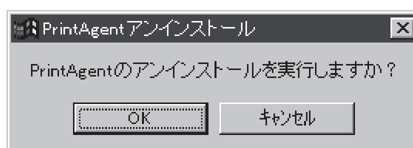
3. **[セットアップと削除]タブをクリックする。**

4. **自動的に削除できるソフトウェアの一覧から[NEC PrintAgent for MultiWriter 1400X]を選んで、[追加と削除]ボタンをクリックする。**

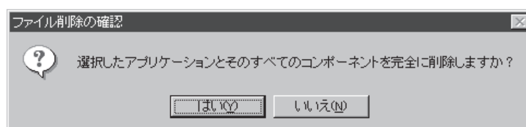


5. **[OK]ボタンをクリックする。**

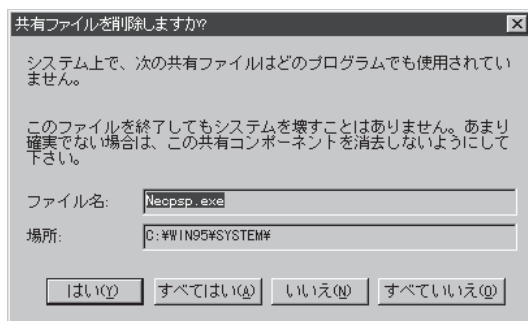
次の[ファイル削除の確認]ダイアログボックスを表示するまでに、1～2分要することがあります。



6. **[はい]ボタンをクリックする。**

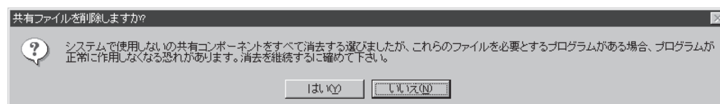


7. [すべてはい]ボタンをクリックする。

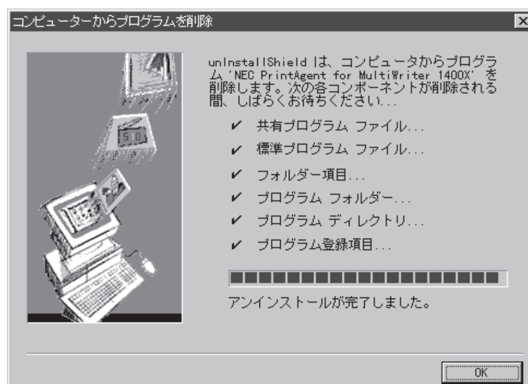


8. [はい]ボタンをクリックする。

アンイストールが開始されます。



9. アンインストールが終了したら[OK]ボタンをクリックする。



10. [OK]ボタンをクリックする。



印刷の設定

ここではNMPSソフトウェアを使った印刷の設定のしかたと実行の手順について説明します。

印刷の手順

ここでは、Windows 95に付属されている日本語ワードプロセッサ「ワードパッド」を例にとって一般的な印刷手順について説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

お使いになるアプリケーションによってはメニュー構成など多少異なる点があるかもしれません。詳細はアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

1. 「ファイル」メニューの「印刷」をクリックする。

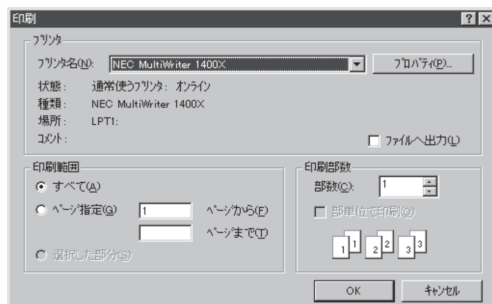
「印刷」ダイアログボックスが開きます。



2. 使用する「プリンタ名：」として「NEC MultiWriter 1400X」が選択されていることを確認する。

もし選択されていなければ選択し直します。

→「プリンタを選択する」(36ページ)参照



3. 印刷範囲、部数を指定する。

用紙サイズなど、さらに詳しい設定をしたい場合は[プロパティ]ボタンをクリックし、設定変更します。

→「印刷の詳細設定を行う」(37ページ)参照

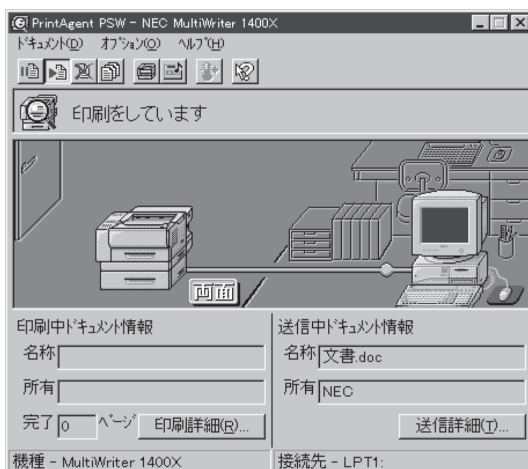


4. **印刷の設定が終わったら[OK]ボタンをクリックする。**

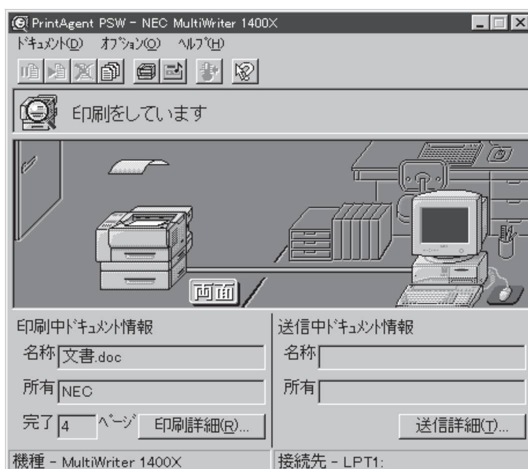
印刷が開始されると画面上にこのような「**プリンタステータスウィンドウ**」が現れます。

プリンタステータスウィンドウは印刷の状態をアニメーション表示したり、一時中断や中止を指令することができます。

→「プリンタステータスウィンドウ」(191ページ)参照



印刷が終了するとプリンタステータスウィンドウは「印刷を終了しました」の音声メッセージを通知してウィンドウを閉じます。



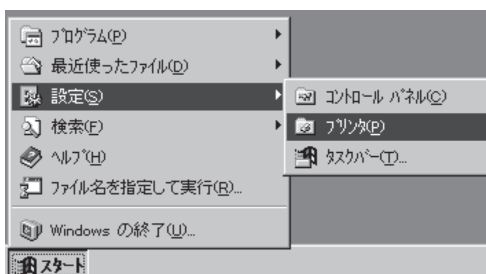
プリンタを選択する

Windows 95から印刷をするために、あらかじめMultiWriter 1400Xを「通常使うプリンタ」として選択しておく方法を説明します。



お使いになっているアプリケーションによっては「プリンタの設定」ダイアログボックスを使ってMultiWriter 1400Xを「通常使うプリンタ」として選択することができます。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

1. **[スタート]ボタンをクリックし、「設定」をポイントする。次に「プリンタ」をクリックする。**



2. 「NEC MultiWriter 1400X」アイコンを右ボタンでクリックする。

メニューが表示されます。

プリンタドライバがインストールされていないと「NEC MultiWriter 1400X」は表示されません。インストール済みのプリンタドライバは「プリンタ」ウィンドウ内にアイコンで表示されています。



3. メニューの[通常使うプリンタに設定]をクリックする。

すでに設定されている場合はチェックマークが表示されています。またこの設定は他のプリンタを選択しないかぎり変更されません。



印刷の詳細設定を行う

印刷の詳細設定は右のような「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスで行います。「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスは以下のような何枚かのプロパティシートから構成されています。



- 「情報」シート
- 「詳細」シート
- 「共有」シート
- 「用紙」シート
- 「レイアウト」シート
- 「グラフィックス」シート
- 「フォント」シート
- 「印刷品質」シート
- 「フォーム」シート
- 「補助機能」シート
- 「プリンタの構成」シート
- 「プリンタの状態」シート

プロパティダイアログボックスの開き方

「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスを呼び出す方法は次の2通りあります。

- アプリケーションのメニューから呼び出す方法
- デスクトップ上の[スタート]ボタンを使って呼び出す方法



一般的に「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスは各アプリケーションのメニューから呼び出しますがアプリケーションから呼び出した場合、用紙の設定などすべて表示できないことがあります。また設定はそのアプリケーションでのみ有効です。
これに対して[スタート]ボタンから呼び出して設定した場合、その設定内容はすべてのアプリケーションに有効です。

アプリケーションから呼び出す

Windowsのアプリケーションから「プロパティ」ダイアログボックスを呼び出す場合、「印刷」コマンドか「プリンタの設定」コマンドを使います。このコマンドはたいてい「ファイル」メニューの中にありますが、メニューの構成はアプリケーションによって違います。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

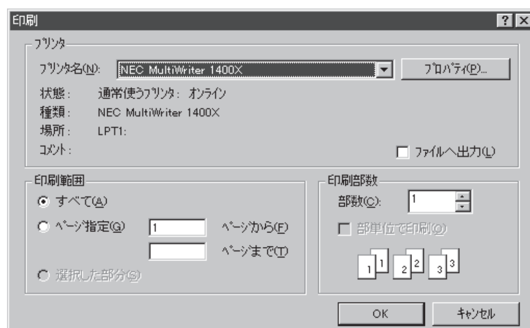
ここではWindows 95に付属されている日本語ワードプロセッサ「ワードパッド」を例にとって説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

1. **「ファイル」メニューの「印刷」をクリックする。**

「印刷」ダイアログボックスが開きます。



2. **[プロパティ]ボタンをクリックする。**

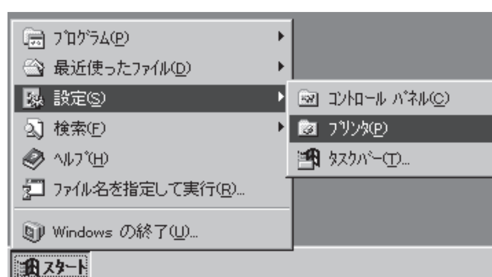


右のような「プロパティ」ダイアログボックスが表示されます。（アプリケーションから呼び出した場合プロパティシートは8枚）



［スタート］ボタンを使って呼び出す

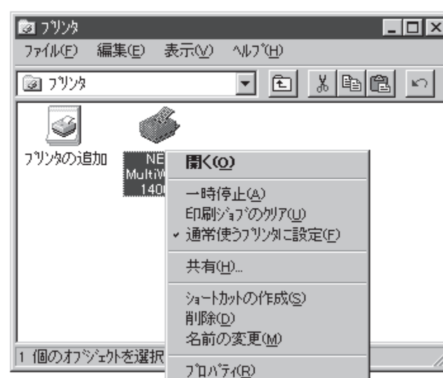
1. **［スタート］ボタンをクリックし、「設定」をポイントする。次に「プリンタ」をクリックする。**



2. **「NEC MultiWriter 1400X」アイコンを右クリックする。**

プリンタのアイコンが黒く反転し、メニューが表示されます。

3. **「プロパティ」をクリックする。**



右のような「プロパティ」ダイアログボックスが表示されます。（スタートボタンから呼び出した場合、プロパティシートは12枚）



ダイアログボックスの使い方

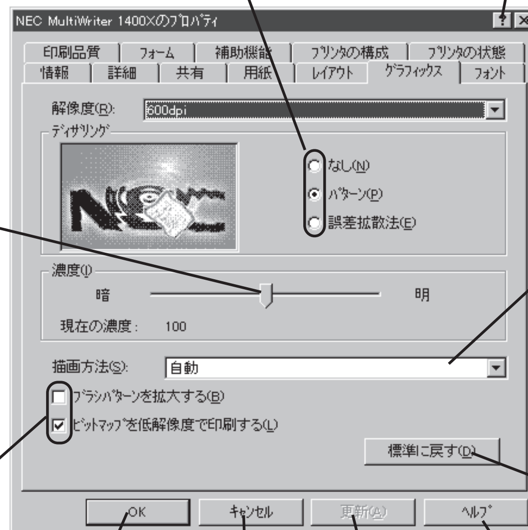
[ヘルプ]ボタン
クリックし目的の項目をクリックすると項目の説明を表示できます。または画面上の項目を直接右ボタンでクリックしても同じ説明を表示できます。

ラジオボタン
希望のボタンをクリックすることにより項目を選択できます。一度に選択できる項目は1つだけです。

[閉じる]ボタン
ダイアログボックスを閉じます。

スライドバー
直接スライドさせることにより設定量を調整します。

コンボボックス
▼ボタンをクリックすると選択肢の一覧が表示されます。さらに希望の項目をクリックすることにより選択できます。



[標準に戻す]ボタン
現在開いているプロパティシート上の設定を出荷時の設定に戻します。

チェックボックス
希望のボックスをクリックすることにより項目を選択できます。ボックスの中に印がある状態が“ON”状態です。一度に複数の項目が選択できます。

[OK]ボタン
設定した内容を保存してダイアログボックスを閉じます。

[更新]ボタン
変更した設定を保存します。

[ヘルプ]ボタン
プリンタドライバのヘルプ画面が表示されます。ヘルプの使い方、希望のキーワードの説明を表示します。

[キャンセル]ボタン
設定した内容を保存せずにダイアログボックスを閉じます。

設定の詳細

各プロパティシートのそれぞれの項目についての詳細は、プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックを行うことによりヘルプでも説明されています。

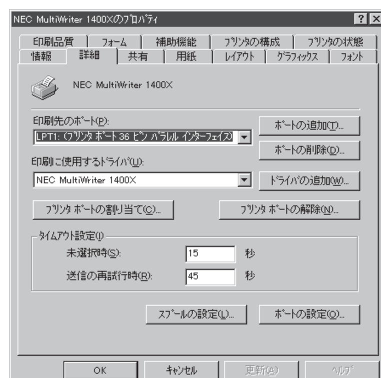
[情報]シート



このプロパティシートはWindows 95 日本語版対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更の必要はありません。詳しくはWindows 95 日本語版のヘルプをご覧ください。

[詳細]シート



このプロパティシートはWindows 95 日本語版対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更の必要はありません。詳しくはWindows 95 日本語版のヘルプをご覧ください。

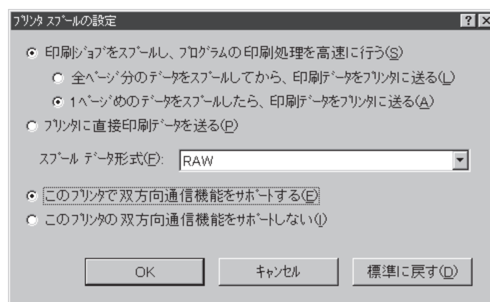
タイムアウト設定

タイムアウト設定の時間が短いと複雑なデータを送信したときなど印刷の待ち時間が長くなり、アプリケーションが印刷を中止する場合があります。その場合にはタイムアウトの設定を長くしてください。

ｽﾌﾟｰﾙの設定(L)...

[スプールの設定]ボタン

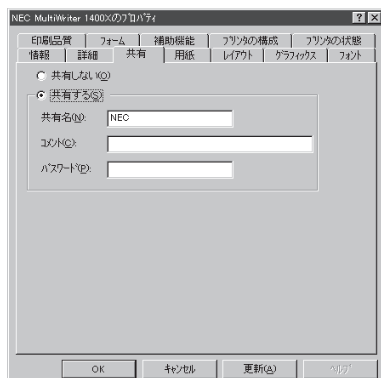
クリックすると次のダイアログボックスが表示されます。





PrintAgentを使用する場合は、「プリンタスプールの設定」ダイアログボックスで「このプリンタで双方向通信をサポートする」が選択されている必要があります。

[共有]シート



このプロパティシートはWindows 95 日本語版対応のプリンタドライバ共通のものです。

このプロパティシートはWindows 95対応のプリンタをネットワークで使用しているときのみ表示されます。プリンタを共有するときの設定を行うシートです。詳しくはWindows 95 日本語版のヘルプをご覧ください。

[用紙]シート



このプロパティシートは印刷する用紙に関する設定を行うものです。

「用紙サイズ」

印刷する用紙サイズ、縮小・拡大サイズを選択できます。コンボボックス内の用紙アイコンをクリックして選択します。

> アプリケーションによっては縮小・拡大が正しく印刷されないものがあります。

「印刷の向き」

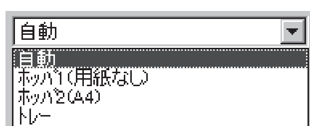
ページを縦長(ポートレート)か横長(ランドスケープ)で使用するかを設定します。枠内の用紙アイコンをクリックして選択します。

「丁合い」

複数の部数を指定した場合、丁合いの有無が有効になります。[プリンタスプールの設定]で[このプリンタで双方向通信機能をサポートする]を設定していないと使用できません。
クライアント・サーバシステムで「丁合い」の設定をご利用になる場合はクライアント、サーバともにPrintAgentのインストールが必要です。さらに「PrintAgentのプロパティ」ダイアログにおいてクライアントは「共有プリンタを利用する」が、サーバでは「共有プリンタを提供する」がチェックされている必要があります。



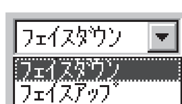
> アプリケーションの印刷機能で丁合いの指定ができる場合がありますが、アプリケーション独自の機能で実現するため、この「用紙」シートの設定とは連動しません。丁合いを利用する場合は、アプリケーションとこの「用紙」シートのどちらか一方のみ指定してください。
> この「用紙」シートで設定した場合は、NMPSの機能を利用するため、アプリケーションの処理が各ページにつき1回で済むため、アプリケーションは早く解放されます。



「給紙方法」

給紙先ホッパをコンボボックスから選択します。コンボボックスには使用できる給紙方法が表示されます。双方向通信していれば用紙サイズが表示されます。またホッパに用紙がない場合は「用紙なし」が表示されます。

- トレー　フロントトレーから給紙する。
- ホッパ1　標準ホッパから給紙する。
- ホッパ2　増設ホッパ(500)から給紙する。
- 自動　選択されている用紙サイズがセットされているホッパから給紙する。リレー給紙がONになっているとフロントトレーからも給紙されます。



「排出方法」

印刷文書の排出方法を選択します。

- フェイスダウン　印刷面を下にしてトップカバー上に排出する。
- フェイスアップ　印刷面を上にして装置背面に排出する。



フェイスアップ排出する場合、オプションのフェイスアップトレイ(PR-L1400X-01)を装着しておくと印刷済み用紙がきれいに排出できます。

「部数」

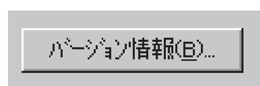
印刷時の部数(コピー枚数)を指定することができます。1~99枚まで設定可能です。



アプリケーションの印刷機能で部数を設定できる場合があります。アプリケーション側で設定できる場合は、アプリケーション側で設定するようにしてください。

「リプリント機能を使用する」

リプリント機能を使用するかしないかを選択します。リプリント機能については「リプリントの実行」(221ページ)をご覧ください。

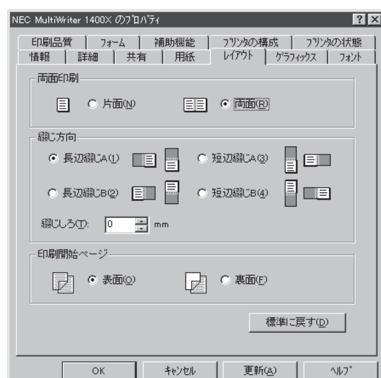


[バージョン情報]ボタン

クリックすると本プリンタドライバのバージョン情報が表示されます。



[レイアウト]シート



このプロパティシートは両面印刷機能に関する設定を行うものです。両面印刷の詳細については「両面印刷の手順」(52ページ)をご覧ください。

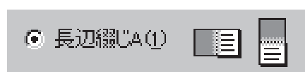
> 次の場合、両面印刷はできません。
> - [用紙]シートの[用紙サイズ]で「A4」、「Letter」以外が選択されている
> - [給紙方法]で「トレー」が選択されている
> - [プリンタの構成]シートで「両面印刷ユニット」が選択されていない

「両面印刷」

片面印刷と両面印刷の切り替えを設定します。

「綴じ方向」

用紙の綴じ方を設定します。本設定は「両面印刷」が設定されているときのみ可能です。詳しくは52ページの「両面印刷の手順」をご覧ください。



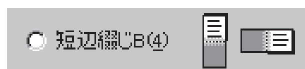
- 長辺綴じA　「印刷の向き」が「縦」の場合は長い辺の左側を綴じ、「横」の場合は長い辺の上側を綴じる。



- 長辺綴じB　「印刷の向き」が「縦」の場合は長い辺の右側を綴じ、「横」の場合は長い辺の下側を綴じる。



- 短辺綴じA　「印刷の向き」が「縦」の場合は短い辺の上側を綴じ、「横」の場合は短い辺の右側を綴じる。



- 短辺綴じB　「印刷の向き」が「縦」の場合は短い辺の下側を綴じ、「横」の場合は短い辺の左側を綴じる。

「綴じしろ」

綴じしろ(綴じ側のマージン)を設定します。0～20mmまで設定できます。本設定は「両面印刷」が設定されているときのみ可能です。詳しくは52ページの「両面印刷の手順」をご覧ください。

「印刷開始ページ」

最初のページを印刷するかどうかを設定します。「表面」を選択すると最初のページから両面印刷します。「裏面」を選択すると最初のページの裏面から印刷します。

[グラフィックス]シート



このプロパティシートは印刷解像度やグラフィックスデータに対するプリンタの処理の設定を行うものです。

「解像度」

プリンタの解像度を選択できます。

- 600dpi
- 400dpi
- 240dpi

「ディザリング」

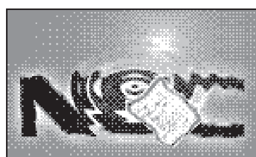
グレイスケールイメージのデータをプリンタで処理できるように変換する設定です。



アプリケーションおよび印刷データによっては効果がないことがあります。



- なし　グラフィックスのグレイを白か黒に変換します。この設定はテキストや線画などの印刷に適しています。



- パターン　グレイの濃淡を白地に黒いドットでできたパターンに変換します。ドットを周期的に集中させて印刷する方式です。



- 誤差拡散法　「パターン」と同様にドットに変換する方法ですが、ドットを分散させて印刷する方式です。

「パターン」と「誤差拡散法」は好みに応じて使い分けてください。

「濃度」

グラフィックスの明暗を設定することができます。印刷を薄くするときは「明」の方向へ、濃くするときは「暗」の方向へスライドバーを設定してください。

「描画方法」

描画方法（印刷データをプリンタ側で処理するかコンピュータ側で処理するか）を選択できます。データの内容によって印刷の速度が変わります。

- 自動　　アプリケーションの種別によりプリンタで処理するかコンピュータで処理するかを自動的に決定します。
- すべてプリンタ　　プリンタですべて処理します。簡単な図形や文字中心のドキュメントが高速に印刷できます。
- すべてビットマップ　　コンピュータ側で文字、図形などをすべてビットマップ処理します。複雑な図形が多いドキュメントが高速に印刷できます。



自動の場合、文字と図形の重ね合わせの結果が不正になる場合や反転文字などの文字修飾が不正になる場合があります。このような場合には「すべてプリンタ」か「すべてビットマップ」を指定してください。

「ブラシパターンを拡大する」

解像度に合わせてブラシパターンの大きさを変える機能です。本設定は「描画方法」で「すべてビットマップ」が選択されていると無効になります。

設定すると600dpiの解像度では網掛けパターンを3倍に、400dpiでは2倍に拡大して印刷します。解像度が240dpiではこの設定は無効です。またアプリケーションによっては効果がないことがあります。

「ビットマップを低解像度で印刷する」

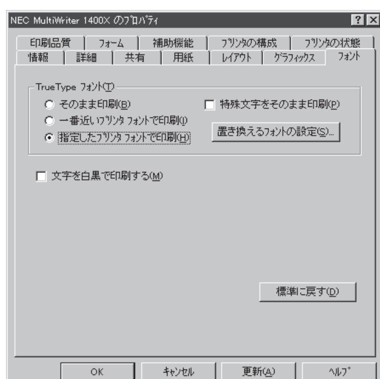
ビットマップデータを1/2の解像度で印刷します。通常の印刷より高速で出力することができます。

本設定は「描画方法」で「すべてビットマップ」が選択されていると無効になります。また解像度が240dpiの場合も、この設定は無効です。



印刷データによってはハーフトーンがきれいに出ないことがあります。そのような場合はチェックを外してください。

[フォント]シート



このプロパティシートはTrueTypeフォントに関する設定を行うものです。

「TrueTypeフォント」

TrueTypeフォントの置き換え方法を設定することができます。

- そのまま印刷
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントイメージをそのまま印刷します。
- 一番近いプリンタフォントで印刷
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを書体が似ているプリンタフォントに置き換えます。

True Typeフォント	→	プリンタフォント
FA明朝	→	明朝
FAゴシック	→	ゴシック
MS明朝	→	明朝
MSゴシック	→	ゴシック

- 指定したプリンタフォントで印刷
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを[置き換えるフォントの設定]ボタンによって設定したプリンタフォントに置き換えます。
- 特殊文字をそのまま印刷
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換える際、IBM拡張漢字などフォントのデザインが異なる特殊文字はそのまま出力するかどうかを設定します。



フォントの置き換えを設定して印刷する場合、ご使用のTrueTypeフォントの中に、プリンタフォントでは置き換えられない文字またはデザインの異なる文字が含まれていると、次のような問題が発生する場合があります。

- 一部の文字が印刷されない
- 一部の文字が画面と異なるデザインで印刷される

この場合、本項目をチェックすると上記のような文字を置き換えせずにそのまま印刷できます。

[置き換えるフォントの設定]ボタン

以下のダイアログボックスを使って置き換えるプリンタフォントを設定します。それぞれフォントを選択して[OK]ボタンをクリックすることで置き換えが設定されます。



[標準に戻す]ボタンをクリックするとフォントの置き換えに関する設定を標準設定に戻すことができます。



文字セットが異なるフォント、デザインが著しく異なるフォントへの置き換えは行わないでください。期待どおりの印刷結果にならない場合があります。またOCR-Bフォントを使用する場合はプリンタソフトウェアCD-ROMの[MANUAL]の「疑似OCR-Bフォントについて」をご覧ください。

「文字を白黒で印刷する」

文字の色を、グレイを使わずに、白か黒のどちらかで印刷します。

[印刷品質]シート



このプロパティシートは印刷品質に関する設定を行うものです。

「SET機能」

SET機能を使用するかしないかを選択します。SET機能を使用するとテキストやグラフィックのエッジのギザギザをなくし、画質を向上させることができます。

「トナー節約機能」

トナー節約モードを使用するかしないかを切り替えます。



トナー節約機能を使用すると、細い線、濃度の薄い印刷、網かけおよびグラデーションが不鮮明になることがあります。本機能は試し印刷などにご使用ください。また、1400Xは内蔵の疑似OCR-Bフォントの印刷もできますが、疑似OCR-Bフォントの印刷を行う場合にはトナー節約機能は使用しないでください。印刷がかすれ、OCR読み取り装置が読み取りエラーを起こすことがあります。

「印刷濃度の設定」

印刷濃度を5段階の中からスライドバーで設定します。EPカートリッジおよび装置にごとの濃度のバラツキを吸収するための設定です。通常の濃度設定は「グラフィック」シートの「濃度」を調整してください。

「従来互換の印刷範囲を使用する」

印刷範囲を以前のMultiWriterシリーズのプリンタと同じ印刷範囲に設定する場合に選択します。

[フォーム]シート



このプロパティシートの設定はフォーム印刷を利用しているときに使用できます。

> フォーム印刷とは見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データと重ね合わせて印刷することです。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要です。

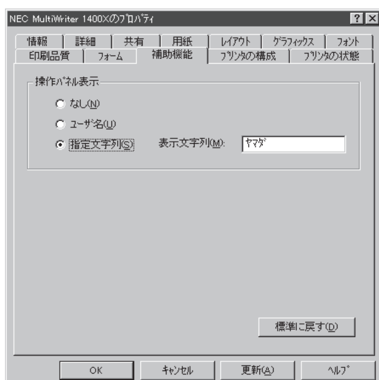
「フォーム印刷」

フォーム印刷をする場合、「ファイル」コンボボックスから使用したいフォームファイルを選びます。コンボボックスに希望のファイルがない場合は[ファイル参照]ボタンをクリックして他の場所のファイルを参照することができます。

「ファイル情報」

選択したフォームファイルの情報を表示します。

[補助機能]シート



データを受信中、処理中、印刷中の間、操作パネルのディスプレイ(下段)にユーザー名または任意の文字を表示することができます。

インサツチュウ
ヤマダ゛

- なし　　ディスプレイには何も表示されません。
- ユーザ名　　ネットワーク上にログインしたときのユーザ名がディスプレイに表示されます。「ユーザ名」をチェックすると「表示文字列」テキストボックスでユーザ名が確認できます。
- 指定文字列　「表示文字列」テキストボックスに入力された文字列(最高16文字)が表示されます。入力できる文字は次の英数カナ文字です。

ディスプレイに表示可能な文字

<table>
<tr><td>SP</td><td>!</td><td>#</td><td>$</td><td>%</td><td>&</td><td>‘</td><td>(</td><td>)</td><td>=</td></tr>
<tr><td>-</td><td>'</td><td>^</td><td>|</td><td>¦</td><td>@</td><td>{</td><td>[</td><td>+</td><td>;</td></tr>
<tr><td>*</td><td>:</td><td>}</td><td>]</td><td><</td><td>,</td><td>></td><td>.</td><td>?</td><td>/</td></tr>
<tr><td>_</td><td colspan="9"></td></tr>
<tr><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr>
<tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td><td>E</td><td>F</td><td>G</td><td>H</td><td>I</td><td>J</td></tr>
<tr><td>K</td><td>L</td><td>M</td><td>N</td><td>O</td><td>P</td><td>Q</td><td>R</td><td>S</td><td>T</td></tr>
<tr><td>U</td><td>V</td><td>W</td><td>X</td><td>Y</td><td>Z</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>a</td><td>b</td><td>c</td><td>d</td><td>e</td><td>f</td><td>g</td><td>h</td><td>i</td><td>j</td></tr>
<tr><td>k</td><td>l</td><td>m</td><td>n</td><td>o</td><td>p</td><td>q</td><td>r</td><td>s</td><td>t</td></tr>
<tr><td>u</td><td>v</td><td>w</td><td>x</td><td>y</td><td>z</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>ｱ</td><td>ｲ</td><td>ｳ</td><td>ｴ</td><td>ｵ</td><td>ｶ</td><td>ｷ</td><td>ｸ</td><td>ｹ</td><td>ｺ</td></tr>
<tr><td>ｻ</td><td>ｼ</td><td>ｽ</td><td>ｾ</td><td>ｿ</td><td>ﾀ</td><td>ﾁ</td><td>ﾂ</td><td>ﾃ</td><td>ﾄ</td></tr>
<tr><td>ﾅ</td><td>ﾆ</td><td>ﾇ</td><td>ﾈ</td><td>ﾉ</td><td>ﾊ</td><td>ﾋ</td><td>ﾌ</td><td>ﾍ</td><td>ﾎ</td></tr>
<tr><td>ﾏ</td><td>ﾐ</td><td>ﾑ</td><td>ﾒ</td><td>ﾓ</td><td>ﾔ</td><td>ﾕ</td><td>ﾖ</td><td>ﾗ</td><td>ﾘ</td></tr>
<tr><td>ﾙ</td><td>ﾚ</td><td>ﾛ</td><td>ﾜ</td><td>ｦ</td><td>ﾝ</td><td>ｧ</td><td>ｨ</td><td>ｩ</td><td>ｪ</td></tr>
<tr><td>ｫ</td><td>ｬ</td><td>ｭ</td><td>ｮ</td><td>ｯ</td><td>ﾞ</td><td>ﾟ</td><td>ｰ</td><td>｢</td><td>｣</td></tr>
<tr><td>､</td><td>｡</td><td>･</td><td colspan="7"></td></tr>
</table>

[プリンタの構成]シート



このプロパティシートはプリンタの構成を表示・設定するものです。プリンタとコンピュータで双方向通信が行われているとプリンタに装着されているメモリ、オプション装置が表示されます。

双方向通信ができない場合はそれぞれ表示される項目から選択し、プリンタの構成を設定します。

「メモリ」

- 4MB（標準）
- 12MB（標準＋8MB）
- 20MB（標準＋16MB）
- 36MB（標準＋32MB）

「オプション装置」

- ホッパ2
- 両面印刷ユニット

[プリンタの状態]シート



このプロパティシートは現在のプリンタの状態を表示するものです。プリンタの状態を次の項目で表示し、使用できる給紙装置*についてはイラストで表示されます。

- プリンタ名
- 解像度
- メモリ*
- プリンタの状態(印刷可能かどうか)

* プリンタとコンピュータで双方向通信が行われてないときは「プリンタ設定」ダイアログボックスの設定が表示されます。

[ウォームアップ開始]ボタン



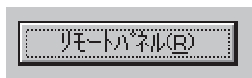
印刷を開始する前にボタンをクリックしておくと、あらかじめプリンタのウォームアップが開始され、ウォームアップによる待ち時間が少なくなります。ただし本機能はウォームアップが終了すると解除されますので、あまり長い時間放置すると(5分程度)印刷開始に効果がありません。

[PSW]ボタン



[PSW]ボタンはPrintAgentをインストールしている場合に有効です。ボタンをクリックするとプリンタステータスウィンドウ(PSW)を起動させることができます。

「リモートパネル」ボタン



[リモートパネル]ボタンはPrintAgentをインストールし、かつ使用権限のある場合でのみ有効です。このボタンをクリックするとリモートパネルが起動し、プリンタを設定変更することができます。詳細については「リモートパネル」(198ページ)をご覧ください。

使用権限の詳細は「PrintAgentヘルプ」で「プリンタのアクセス権とご利用になれるユーティリティ」および「セキュリティ」をご覧ください。



プリンタステータスウィンドウやリモートパネルが起動しない場合は、PrintAgentソフトウェアが正常にインストールされていないことが考えられます。この場合Windows 95の「コントロールパネル」の中にある「アプリケーションの追加と削除」を使って、いったんプリンタソフトウェアをすべて削除(アンインストール)して再びインストールしてください。詳細については31ページをご覧ください。

両面印刷の手順

MultiWriter 1400XはオプションのPR-L1400X-04 両面印刷ユニットを装着することにより両面印刷が可能になります。この機能はホッパ給紙のA4、レターサイズの普通紙を選択しているときに可能です。A5、B5、はがき、ラベル紙が選択されている場合は使用できません。用紙に関してはユーザーズマニュアル[1/2]の「用紙の規格」をご覧ください。



ユーザーズマニュアル[1/2]で指定している用紙を使用してください。また、両面印刷で使用する用紙は両面とも印刷されていない用紙です。指定以外の用紙を使って印刷をしたり、すでに印刷されている用紙をセットして両面印刷をすると紙づまりやプリンタの故障の原因となります。

両面印刷を行う印刷データが非常に複雑な場合、または両面印刷を行う用紙サイズがB4→A4、A3→A4サイズのように大きい場合は両面印刷が片面印刷になったり、表面が白紙になったりして正しく印刷できないことがあります。その場合には、メモリを増設しページプロテクトをONに設定することで解決できます。どの程度メモリを増設すればよいかは以下に示す一覧表を参照してください。

両面印刷時の必要メモリ容量

ページプロテクト	片面／両面	プリンタのメモリ			
		4MB（標準）	12MB（+8MB）	20MB（+16MB）	36MB（+32MB）
OFF	片面	○	◎	◎	◎
	両面	△	○	○	◎
ON	片面	—	◎	◎	◎
	両面	—	◎	◎	◎

◎：　印刷可能
○：　印刷可能（圧縮率2/5での印刷は保証。ただし、データの内容によって「メモリオーバー」「インサツフカ」になる場合があります）
△：　両面印刷が不可の場合がある（片面印刷になる）
ー：　設定不可

両面印刷ユニットを装着後、次の手順で両面印刷の設定をします。

1. **「プロパティ」ダイアログボックスで用紙シートの設定をする。**

- 両面印刷できる用紙サイズはA4とレターサイズだけです。
- トレーからの給紙はご利用になれません。
- アプリケーションで部数を設定できる場合はアプリケーションで設定してください。
- 複数の部数を指定した場合「丁合い」機能をご利用になれます。
- PrintAgentのプロパティが「リプリント機能を提供する」になっていれば「リプリント」機能が利用できます。



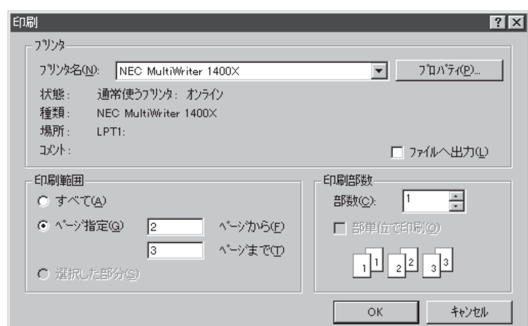
2. **「プロパティ」ダイアログボックスでレイアウトシートの設定をする。**

- 「両面印刷」で「両面」を選びます。
- 用紙の綴じ方を4つの方式から選びます。
- 綴じしろを0～20ミリの範囲で指定できます。
- 「印刷開始ページ」で「裏面」を選ぶと1ページ目を白紙にして2ページ目から印刷を始めます。

本シートの設定内容の詳細は44ページ参照。



3. **アプリケーションの印刷ダイアログボックスで指定範囲、印刷部数を指定し、印刷を開始する。**



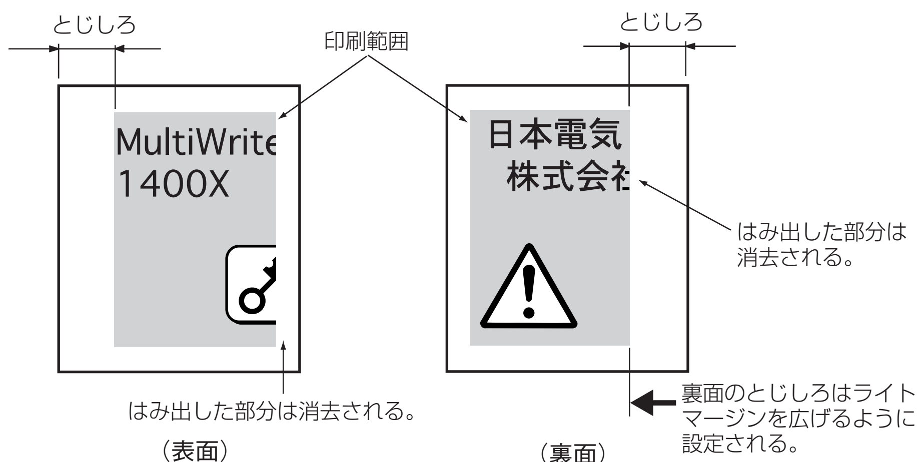
両面印刷のヒント

両面印刷する際に役に立つ情報を説明します。

クリッピング機能について

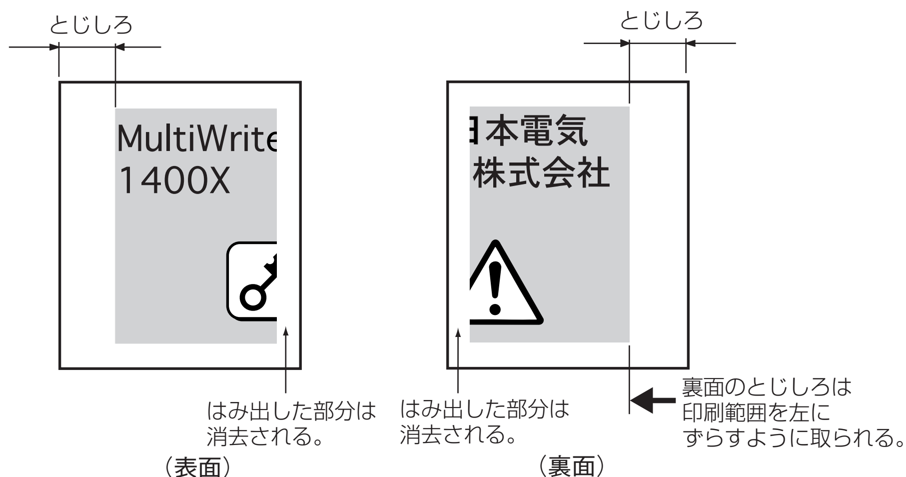
とじしろ(とじ側の余白)を多く取り過ぎると印刷データが用紙の印刷範囲を超えてしまう場合があります。クリッピング機能を利用すると、印刷範囲からはみ出した文字を次の行に印刷するか、はみ出した分を消去してそのまま残りのデータを印刷するかを選択できます。クリッピング機能はメニューモード(ユーザーズマニュアル[1/2]を参照)またはリモートパネル(198ページ)で設定できます。

「クリップ」をOFFにすると印刷範囲をはみ出した部分が消去されます。両面印刷時の裏面は、とじしろにかかった右側部分が消去されます。MS-DOSプロンプト上の印刷やアプリケーションによっては、印刷結果が異なる場合があります。詳細は207ページの「クリップ機能を使用する」を参照してください。



クリッピングOFF

「クリップ」をONにすると、やはり印刷範囲をはみ出した部分は消去されます。しかし両面印刷時の裏面は、とじしろが印刷範囲を左にずらすように設定されるので、レフトマージンにかかった部分が消去されます。



クリッピングON

ページプロテクト機能について

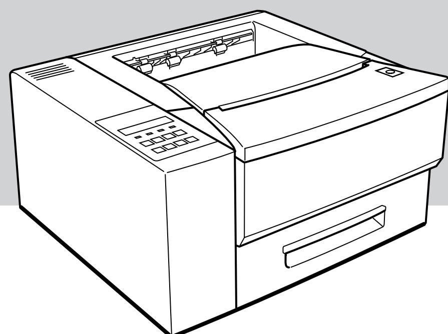
ページプロテクト機能はプリンタが受信した印刷データをメモリにどのように蓄えるかを設定するものです。ページプロテクト機能はリモートパネル（198ページ参照）かメニューモードで設定できます（ユーザーズマニュアル［1/2］参照）。

設定を「OFF」にすると、印刷データは圧縮されてメモリに蓄えられます。印刷データによるメモリ消費が少なくなり、メモリを他の処理に有効に使用できるため処理性能が向上します。しかし両面印刷設定の場合、メモリ容量が大きいのでプリンタは操作パネルに“メモリオーバー”あるいは“インサツフカ”を表示し印刷を中止したり、印刷結果が不正になることがあります。

設定を「ON」にすると、印刷データは圧縮処理されない状態で、メモリに蓄えられます。このためどんなに複雑なデータであっても、メモリオーバーあるいはインサツフカで印刷を中止することなく、印刷することができます。ただし、両面印刷の場合最低8MBの増設が必要です（52ページのメモリ容量表を参照）。

メモリを増設しても、よほどデータの内容が簡素なものでないかぎり「ページプロテクト」はONにして両面印刷することをお勧めします。

Windows NT4.0 日本語版をお使いの場合



NMPSソフトウェアをインストールする

ここでは、Windows NT4.0 日本語版にNMPS ソフトウェアをインストールして、プリンタを指定するまでの方法について説明します。



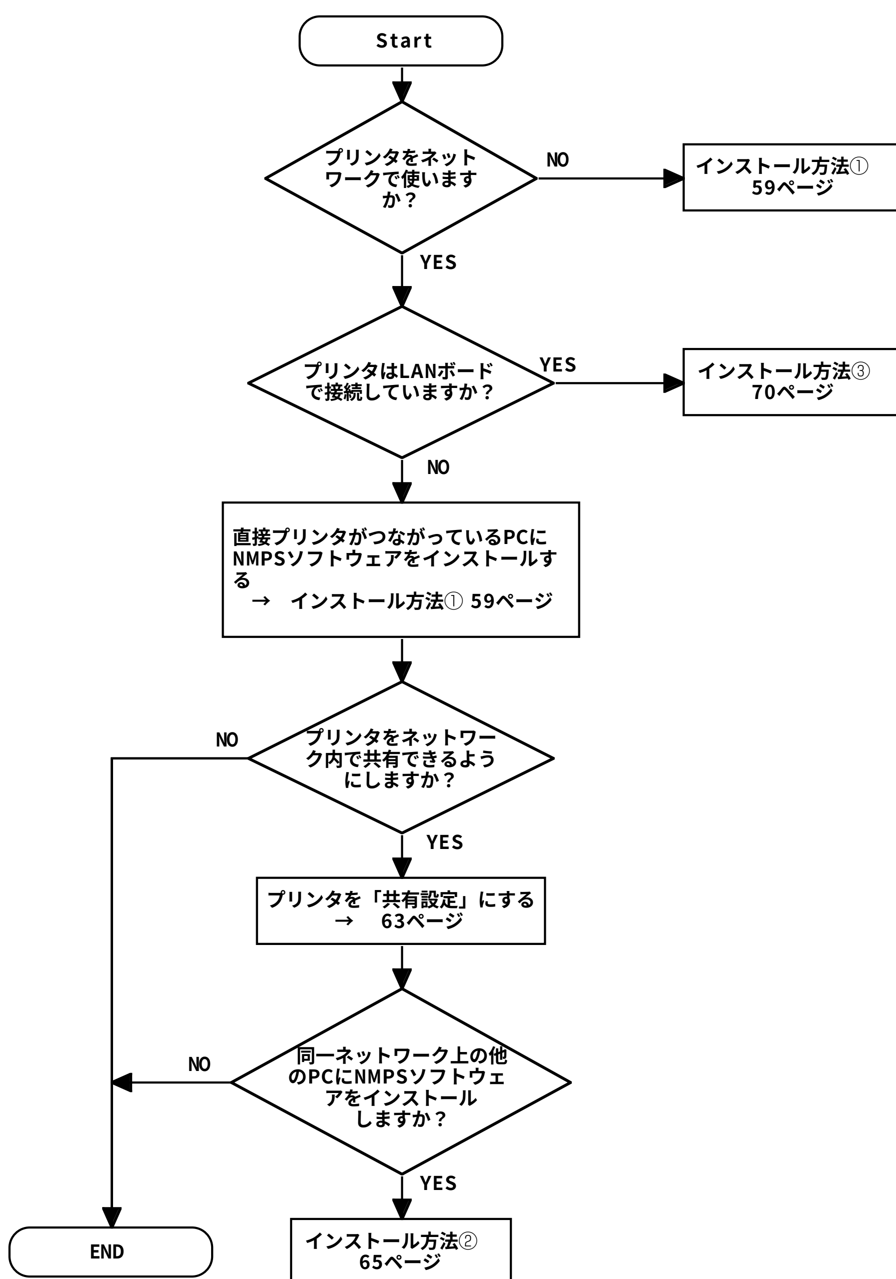
PrintAgentをインストールする場合は、実施者が「Administrators」または「DomainAdmins」グループのメンバーである必要があります。どちらのメンバーでもない場合は、インストールを行うことはできません。



本書ではCD-ROMを使った手順で説明しています。プリンタソフトウェアCD-ROMから作成したプリンタソフトウェアディスクを使用してインストールをする場合、インストールの途中でフロッピィディスクの交換を求める画面が表示されることがあります。その場合は画面の指示に従ってフロッピィディスクの入れ替えを行ってください。

インストール方法の選択

MultiWriter 1400Xの接続されている環境により、NMPSソフトウェアのインストール方法が異なります。フローチャートを参照しながら、環境に合ったインストール方法を選択してください。



Windows NT4.0 日本語版でのインストール方法の選択

インストール方法 ①（コンピュータとプリンタが1対1で接続されているとき）

コンピュータがプリンタと1対1で接続されているとき、あるいはネットワーク接続でコンピュータがプリントサーバとしてプリンタに接続しているときは次の方法でインストールします。

Windows NT4.0

MultiWriter 1400X
（プリントサーバに接続・共有プリンタ）

プリントサーバ

Windows NT4.0

クライアント

Windows 95

Windows 95

Windows NT3.51

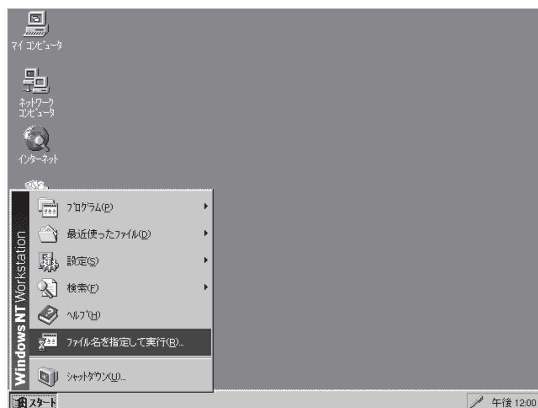
プリンタケーブル

LANケーブル

クライアント

クライアント

1. [スタート]ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行]をクリックする。

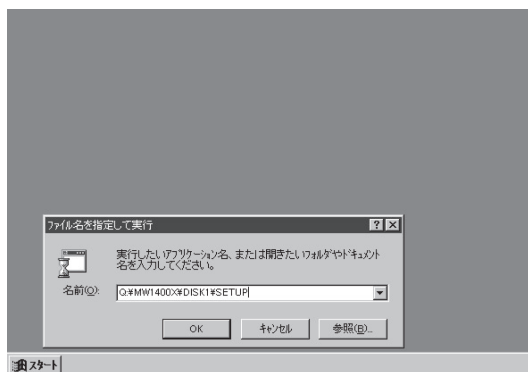


2. プリンタソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

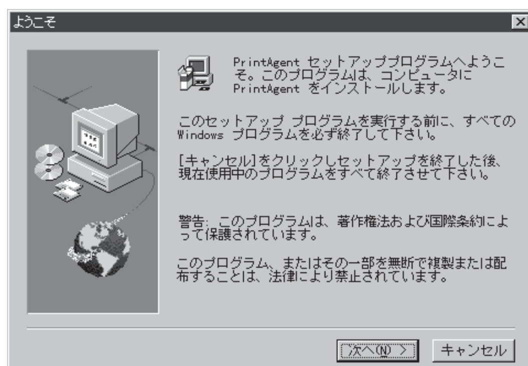
3. セットアッププログラムを起動する。

[名前]のボックスにCD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW1400X¥DISK1¥SETUP」と入力し、[OK]ボタンをクリックします。

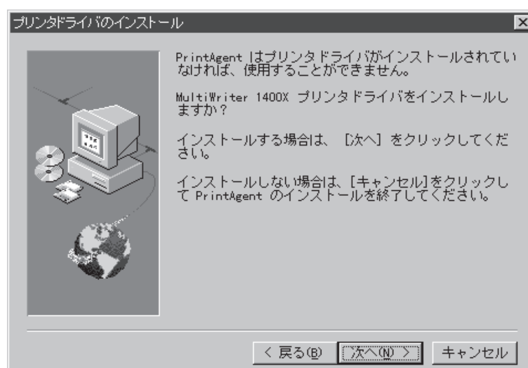
または[参照]ボタンをクリックして[ファイルの参照]ダイアログボックスよりセットアッププログラムを選択してください。



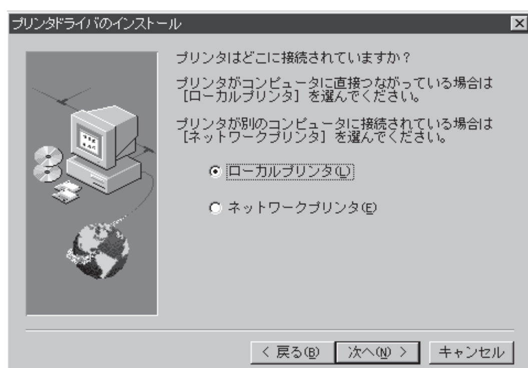
4. [次へ>]ボタンをクリックする。



5. [次へ>]ボタンをクリックする。



6. [ローカルプリンタ]を選んで、[次へ>]ボタンをクリックする。



7. 希望のポートを選んで、[次へ>]ボタンをクリックする。

プリンタドライバのインストールを開始します。



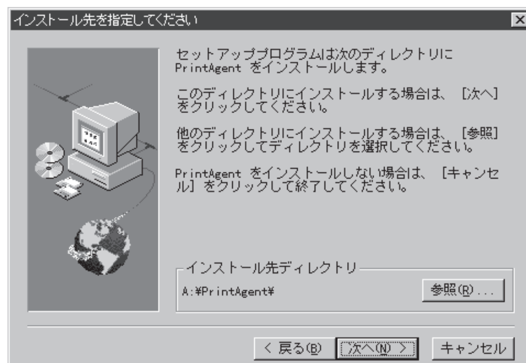
8. インストール先を指定する。

ディレクトリを変更したいときは、[参照]ボタンをクリックしてください。

インストール先のディスク空き容量が少ない場合は、ディレクトリの変更を行う画面が現れます。ディレクトリを変更してください。


チェック

プリンタドライバのみインストールし、PrintAgentをインストールしない場合は[キャンセル]を選択します。

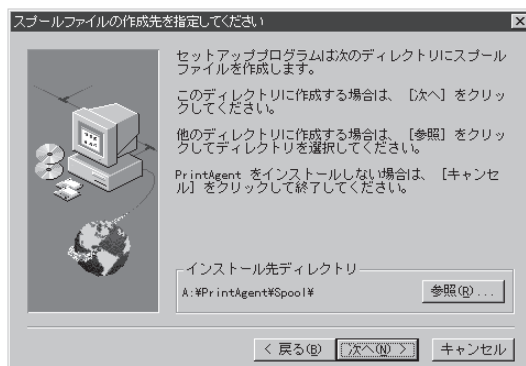


9. スプールファイルの作成先を指定する。

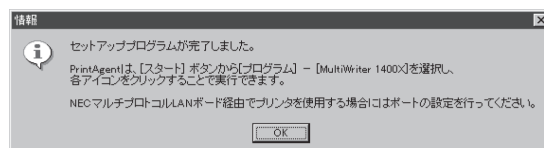
プライベートスプールファイルを作成するディレクトリを確認して[次へ>]ボタンをクリックします。

インストール先のディスク空き容量が少ない場合はディレクトリの変更を行う画面が現れます。ディレクトリを変更してください。

PrintAgentのインストールを開始します。



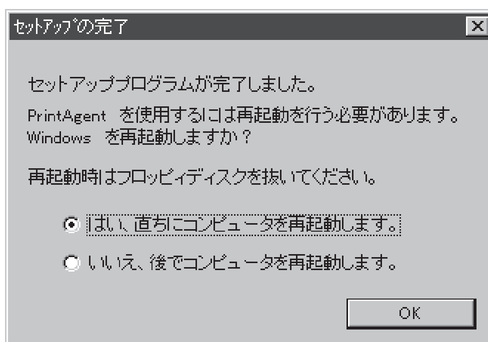
10. [OK]ボタンをクリックします。





OSの双方向通信モジュールを更新する必要がある場合、再起動を促すダイアログボックスが表示されることがあります。

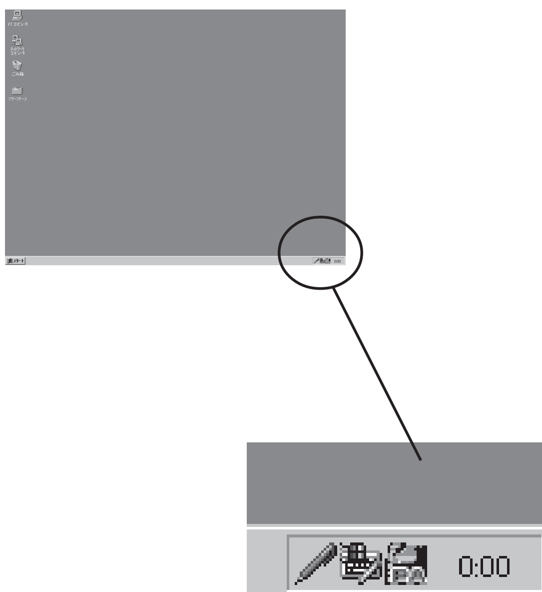
表示された場合は画面の指示に従いコンピュータの再起動を行ってください。



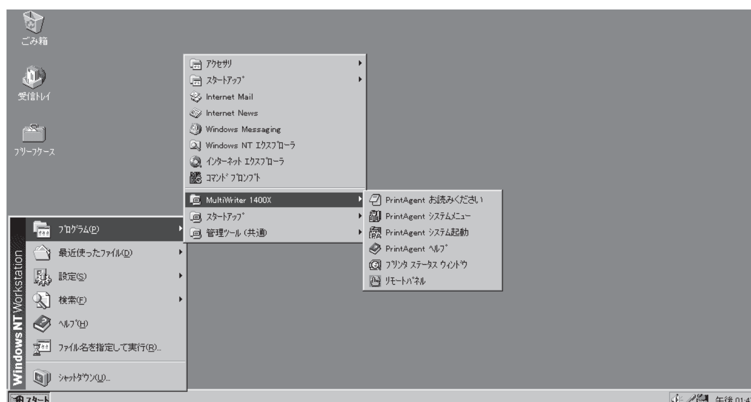
11. [プリンタ]フォルダ内に、[NEC MultiWriter 1400X]アイコンが登録されたことを確認する。



12. タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されたことを確認する。



13. **スタートメニューの[プログラム]に[MultiWriter 1400X]というフォルダが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されたことを確認する。**



- PrintAgent　お読みください............................使用上の注意事項などです。
- PrintAgent　システムメニュー.........................PrintAgentのシステムメニューです。
- PrintAgent　システム起動................................PrintAgentシステムを起動します。
- PrintAgent　ヘルプ..ヘルプです。
- プリンタステータスウィンドウ.........................プリンタステータスウィンドウを起動します。
- リモートパネル...リモートパネルを起動します。

MultiWriter 1400Xを共有プリンタに設定する

1. **[スタート]ボタンをクリックし、[設定]をポイントする。次に[プリンタ]をクリックする。**

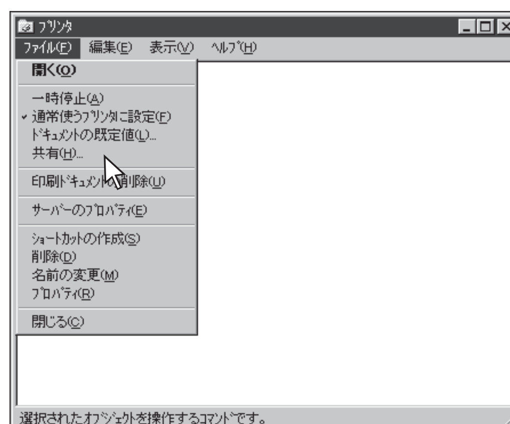
[プリンタ]フォルダが開かれ、インストール済みのプリンタアイコンが表示されます。

2. **[NEC MultiWriter 1400X]アイコンをクリックする。**



3. **[ファイル]メニューの[共有]をクリックする。**

[NEC MultiWriter 1400Xのプロパティ]ダイアログが表示されます。



4. **[共有]タブをクリックする。**

5. **[共有]シートの設定をする。**

[共有する]を選び、そのプリンタの共有名を設定します。

[OK]ボタンをクリックすれば共有の設定は終了です。

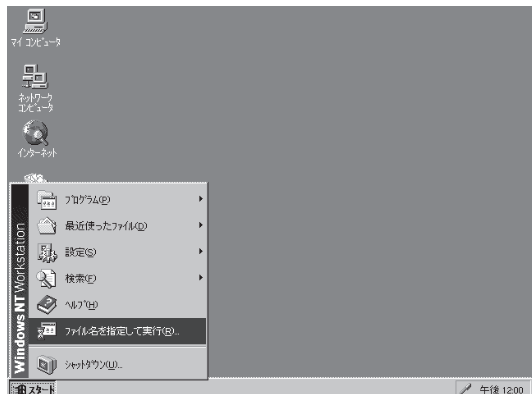


PrintAgentを追加インストールする

プリンタドライバのみインストールし、PrintAgentをインストールしなかった場合は、次の手順でPrintAgentを追加インストールすることができます。

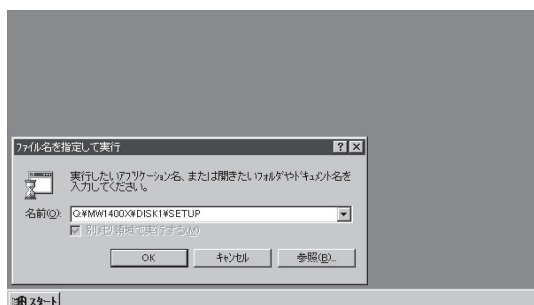
1. **プリンタソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。**

2. **[スタート]ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行]をクリックする。**



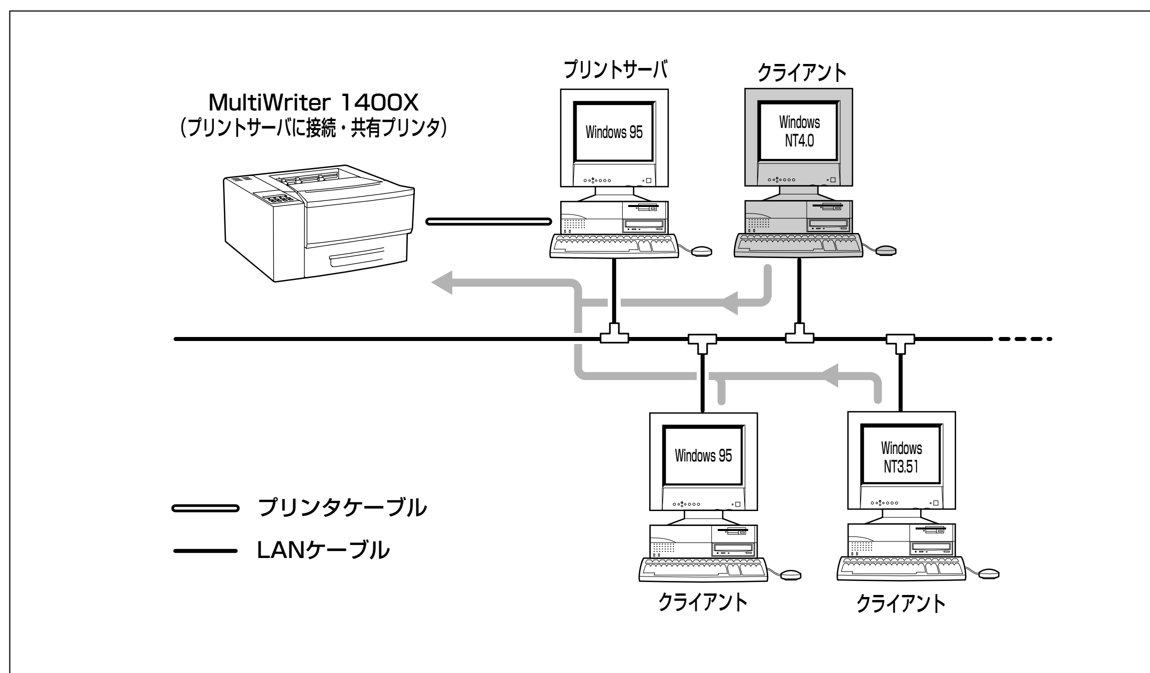
3. **[名前]のボックスにCD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW1400X¥DISK1¥SETUP」と入力する。**

以降は61ページの手順8から続けてください。



インストール方法 ② （コンピュータがクライアントであるとき）

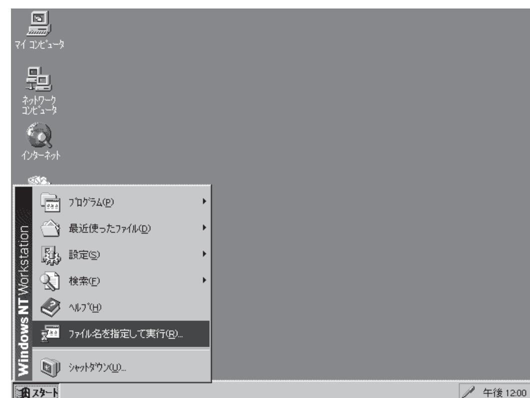
ネットワーク環境で、クライアントから共有プリンタへ印刷したいときは、次の方法でインストールします。



1. Windows NT4.0 日本語版を起動する。



2. ［スタート］ボタンをクリックし、［ファイル名を指定して実行］をクリックする。

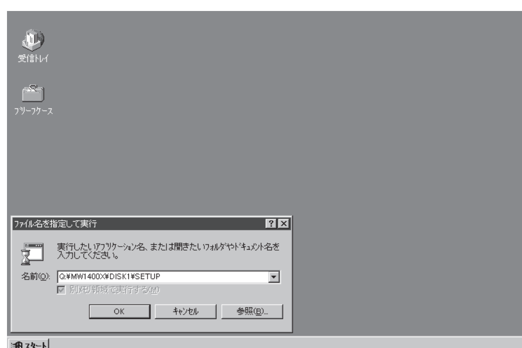


3. **プリンタソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。**

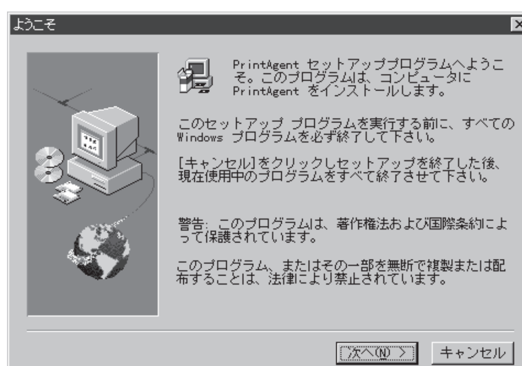
4. **セットアッププログラムを起動する。**

[名前]のボックスにCD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW1400X¥DISK1¥SETUP」と直接入力し、[OK]ボタンをクリックします。

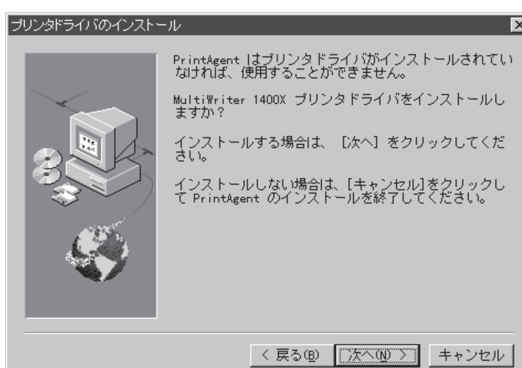
または[参照]ボタンをクリックして[ファイルの参照]ダイアログボックスよりセットアッププログラムを選択してください。



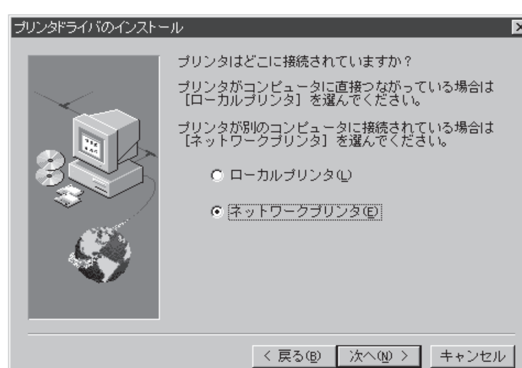
5. **[次へ>]ボタンをクリックする。**



6. **[次へ>]ボタンをクリックする。**



7. **[ネットワークプリンタ]を選んで、[次へ>]ボタンをクリックする。**



8. プリンタの接続先を指定する。

[プリンタ]ボックスにパスを入力するか、[共有プリンタ]一覧ボックスから選んで、[OK]ボタンをクリックします。

プリンタドライバのインストールを開始します。

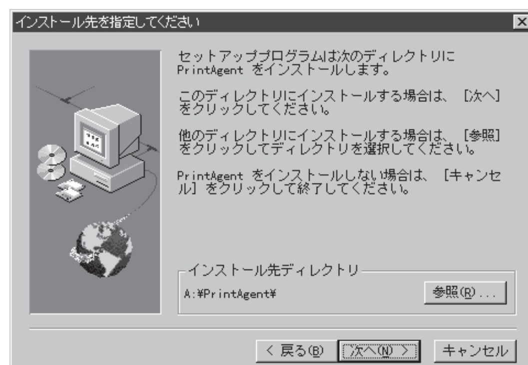


9. PrintAgentのインストール先を指定する。

インストール先のディレクトリを確認して[次へ>]ボタンをクリックします。

ディレクトリを変更したいときは、[参照]ボタンをクリックしてください。

インストール先のディスク空き容量が少ない場合は、ディレクトリの変更を行う画面が現れます。ディレクトリを変更してください。





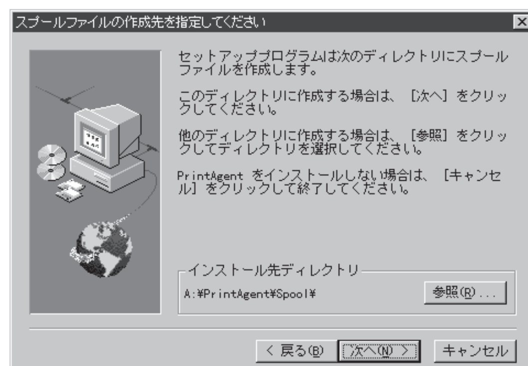
プリンタドライバのみインストールし、PrintAgentをインストールしない場合は[キャンセル]を選択します。

10. スプールファイルの作成先を指定する。

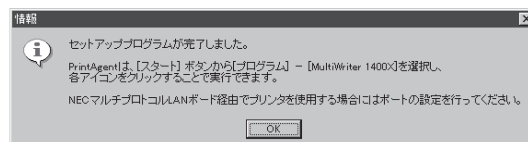
プライベートスプールファイルを作成するディレクトリを確認して[次へ>]ボタンをクリックします。

インストール先のディスク空き容量が少ない場合はディレクトリの変更を行う画面が現れます。ディレクトリを変更してください。

PrintAgentのインストールを開始します。



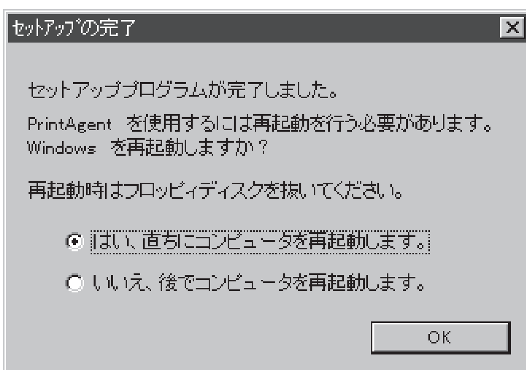
11. [OK]ボタンをクリックする。





OSの双方向通信モジュールを更新する必要がある場合には、再起動を促すダイアログボックスが表示されることがあります。

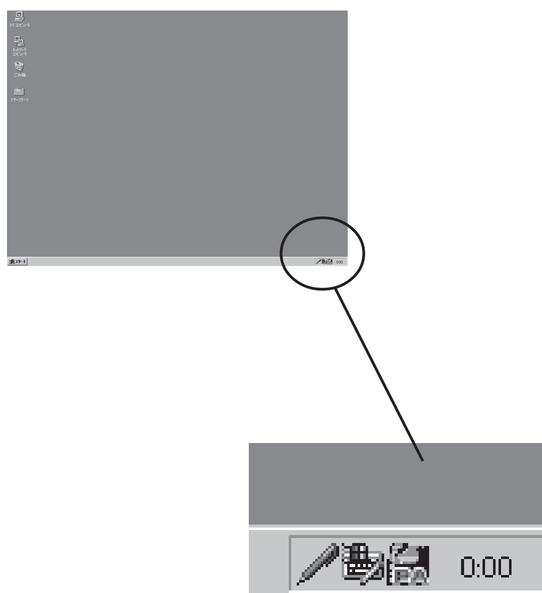
表示された場合は画面の指示に従いコンピュータの再起動を行ってください。



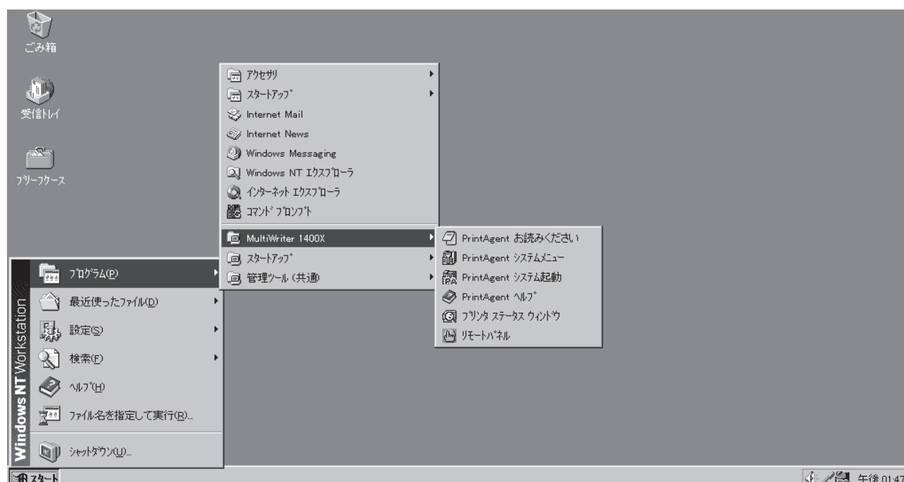
12. [プリンタ]フォルダ内に[NEC MultiWriter 1400X]アイコンが登録されたことを確認する。



13. タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されたことを確認する。



14. スタートメニューの[プログラム]に[MultiWriter 1400X]というフォルダが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されたことを確認する。



- PrintAgent　お読みください……………………使用上の注意事項などです。
- PrintAgent　システムメニュー………………PrintAgentのシステムメニューです。
- PrintAgent　システム起動………………………PrintAgentシステムを起動します。
- PrintAgent　ヘルプ…………………………………ヘルプです。
- プリンタステータスウィンドウ………………プリンタステータスウィンドウを起動します。
- リモートパネル………………………………………リモートパネルを起動します。

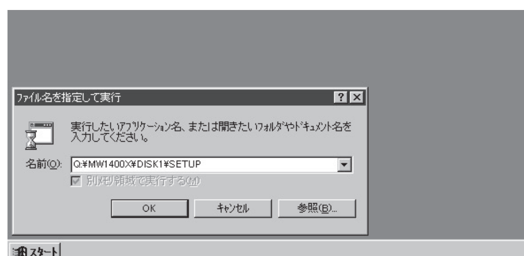
PrintAgentを追加インストールする

プリンタドライバのみインストールし、PrintAgentをインストールしなかった場合は、次の手順でPrintAgentを追加インストールすることができます。

1. プリンタソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。
2. [スタート]ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行]をクリックする。



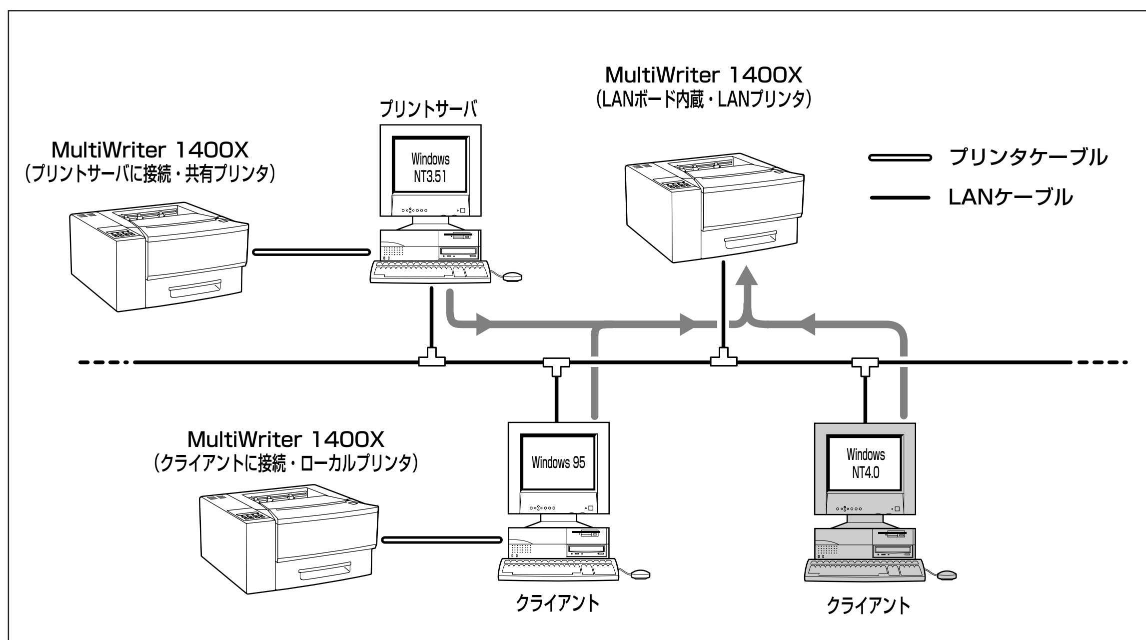
3. [名前]のボックスにCD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW1400X¥DISK1¥SETUP」と入力する。



以降は67ページ9からの手順に従ってください。

インストール方法 ③ （LANボード内蔵プリンタへ印刷するとき）

ネットワーク内のコンピュータから、マルチプロトコルLANボードを内蔵しているLANプリンタへ印刷したいときは、次の方法でインストールします。





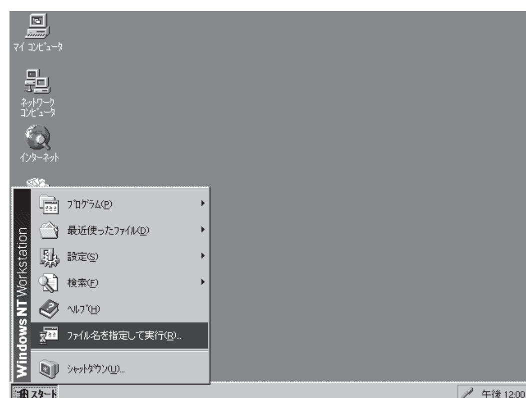
マルチプロトコルLANボードを使って、LANプリンタとしてご使用になる前に、次のことを確認してください。

1. マルチプロトコルLANボードが確実に取り付けられていることを、コンフィギュレーションページの印刷を行って確認してください（詳細はマルチプロトコルLANボードの取扱説明書を参照してください）。
2. マルチプロトコルLANボードに添付されている取扱説明書に従って、マルチプロトコルLANボードに割り付けてあるIPアドレスを設定してください。
3. インストールするとき、また印刷先をLANプリンタに設定するときは、LANプリンタの電源が入っていることを確認してください。

1. Windows NT4.0 日本語版を起動する。



2. [スタート]ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行]をクリックする。

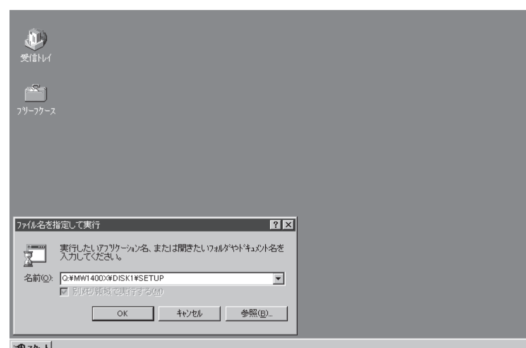


3. プリンタソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

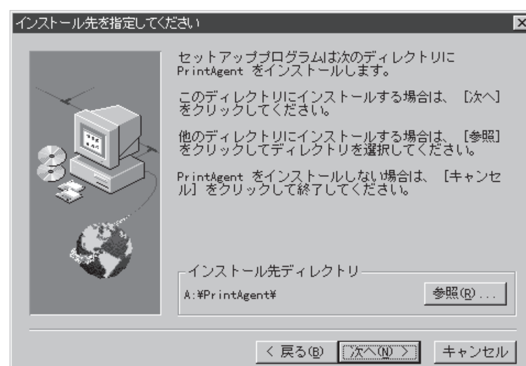
4. セットアッププログラムを起動する。

[名前]のボックスにCD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW1400X¥DISK1¥SETUP」と入力し、[OK]ボタンをクリックします。

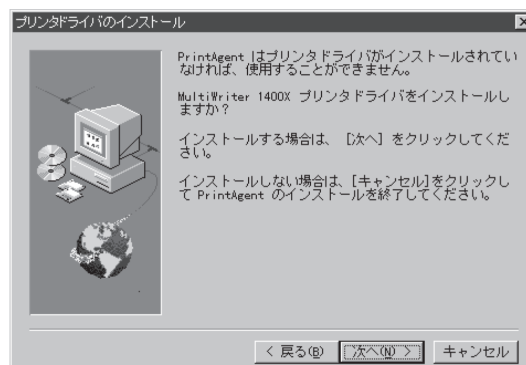
または[参照]ボタンをクリックして[ファイルの参照]ダイアログボックスよりセットアッププログラムを選んでください。



5. [次へ>]ボタンをクリックする。



6. [次へ>]ボタンをクリックする。



7. [次へ>]ボタンをクリックする。



8. [次へ>]ボタンをクリックする。

プリンタドライバのインストールを開始します。

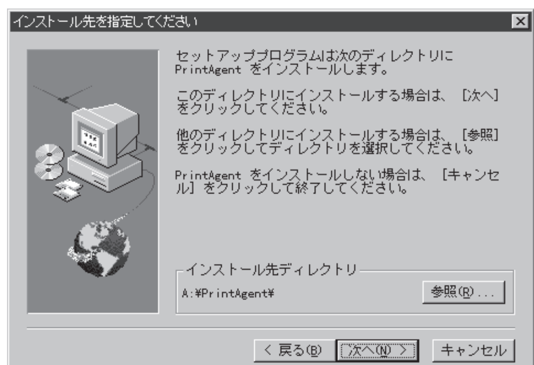


9. PrintAgentのインストール先を指定する。

インストール先のディレクトリを確認して[次へ>]ボタンをクリックします。

ディレクトリを変更したいときは、[参照]ボタンをクリックしてください。

インストール先のディスク空き容量が少ない場合は、ディレクトリの変更を行う画面が現れます。ディレクトリを変更してください。

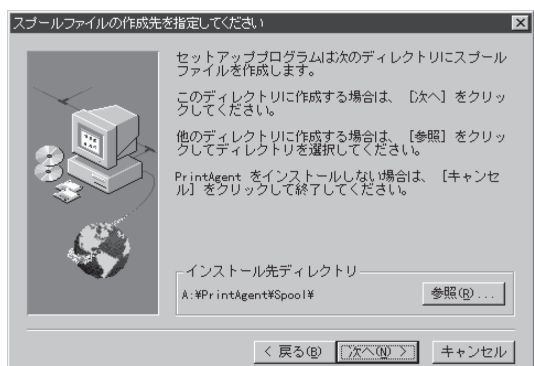


10. スプールファイルの作成先を指定する。

プライベートスプールファイルを作成するディレクトリを確認して[次へ>]ボタンをクリックします。

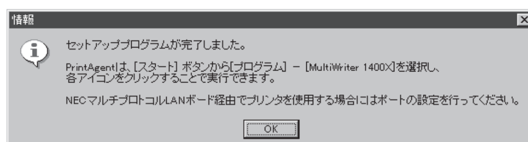
インストール先のディスク空き容量が少ない場合はディレクトリの変更を行う画面が現れます。ディレクトリを変更してください。

PrintAgentのインストールを開始します。



11. **[OK]ボタンをクリックする。**

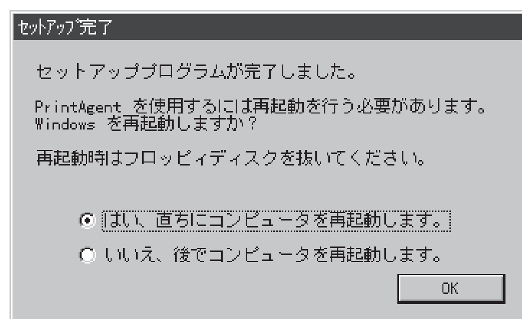
Windows NT4.0が再起動されます。




チェック

OSの双方向通信モジュールを更新する必要がある場合には、再起動を促すダイアログボックスが表示されることがあります。

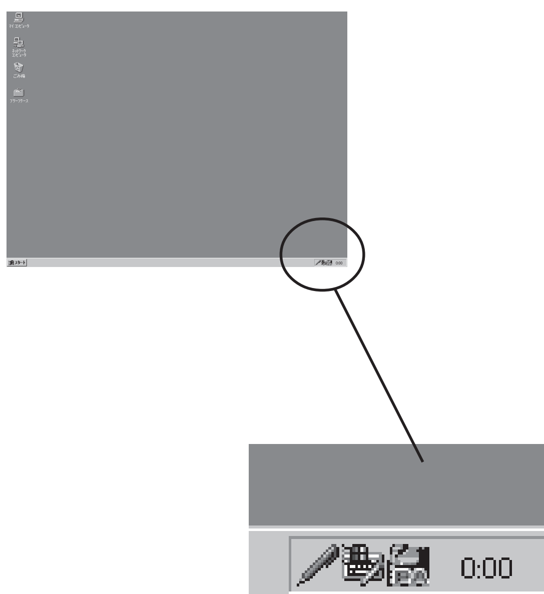
表示された場合は画面の指示に従いコンピュータの再起動を行ってください。



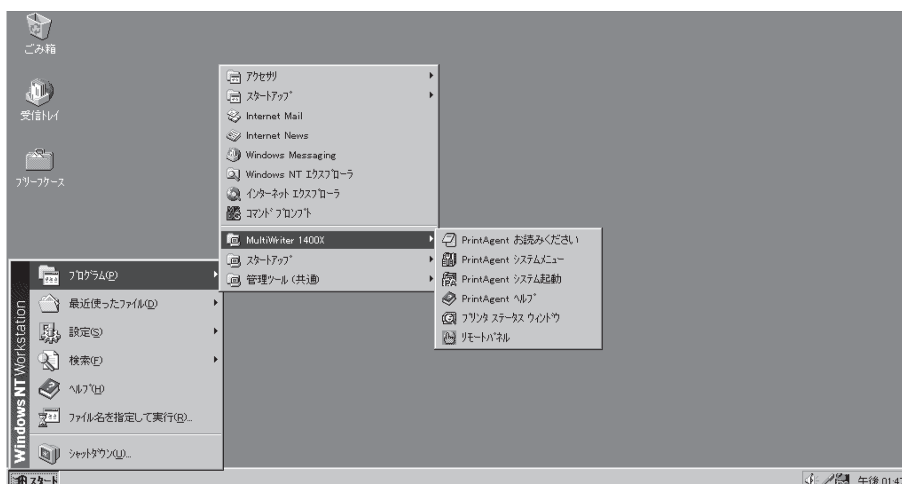
12. **[プリンタ]フォルダ内に、[NEC MultiWriter 1400X]アイコンが登録されたことを確認する。**



13. **タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されたことを確認する。**



14. スタートメニューの[プログラム]に[MultiWriter 1400X]というフォルダが追加され、その下にPrintAgnet関連のアイコンが登録されたことを確認する。



- PrintAgent お読みください .... 使用上の注意事項などです。
- PrintAgent システムメニュー .... PrintAgentのシステムメニューです。
- PrintAgent システム起動 .... PrintAgentシステムを起動します。
- PrintAgent ヘルプ .... ヘルプです。
- プリンタステータスウィンドウ .... プリンタステータスウィンドウを起動します。
- リモートパネル .... リモートパネルを起動します。

続いて「ポートの追加」を行います。「ポートの追加」は、NMPSソフトウェアのインストールにより作成されたプリンタの[プロパティ]ダイアログボックス上で行います。

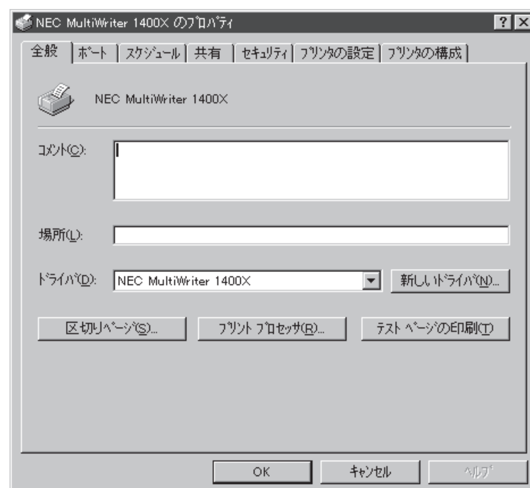
15. [MultiWriter 1400Xのプロパティ]のダイアログボックスを表示させる。

[プリンタ]フォルダの[MultiWriter 1400X]アイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

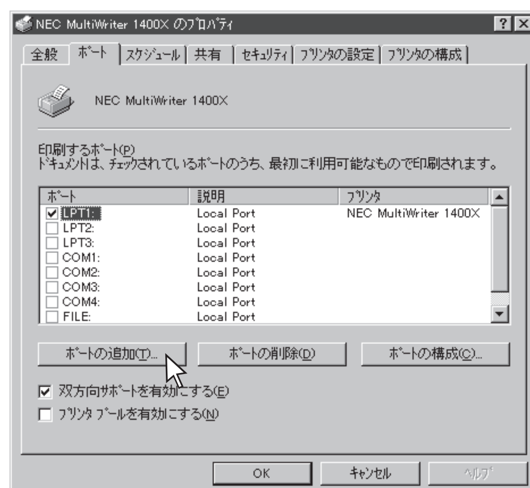


16. [ポート]タブをクリックする。

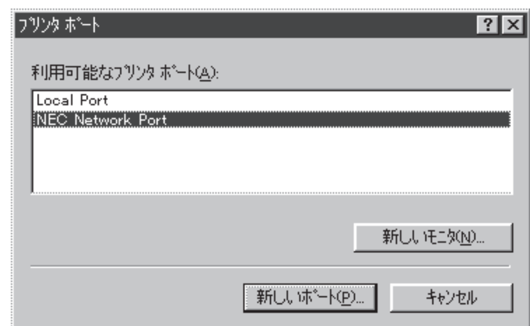
[ポート]プロパティシートが開きます。



17. [ポートの追加]ボタンをクリックする。

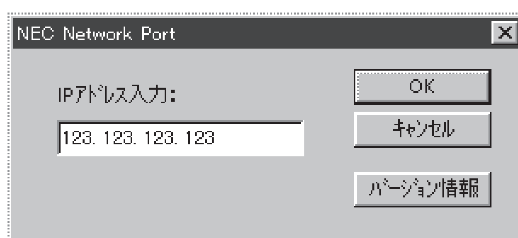


18. [NEC Network Port]を選んで、[新しいポート]ボタンをクリックする。



19. **マルチプロトコルLANボードの「IPアドレス」を入力し、[OK]ボタンをクリックする。**

IPアドレス設定の確認は、マルチプロトコルLANボード(PC-PR-L01、PC-PR-L02)取扱説明書をご覧ください。



20. **[OK]ボタンをクリックする。**

これで「ポートの追加」は終了です。



インストール方法 ④ （ネットワークサーバからインストールするとき）

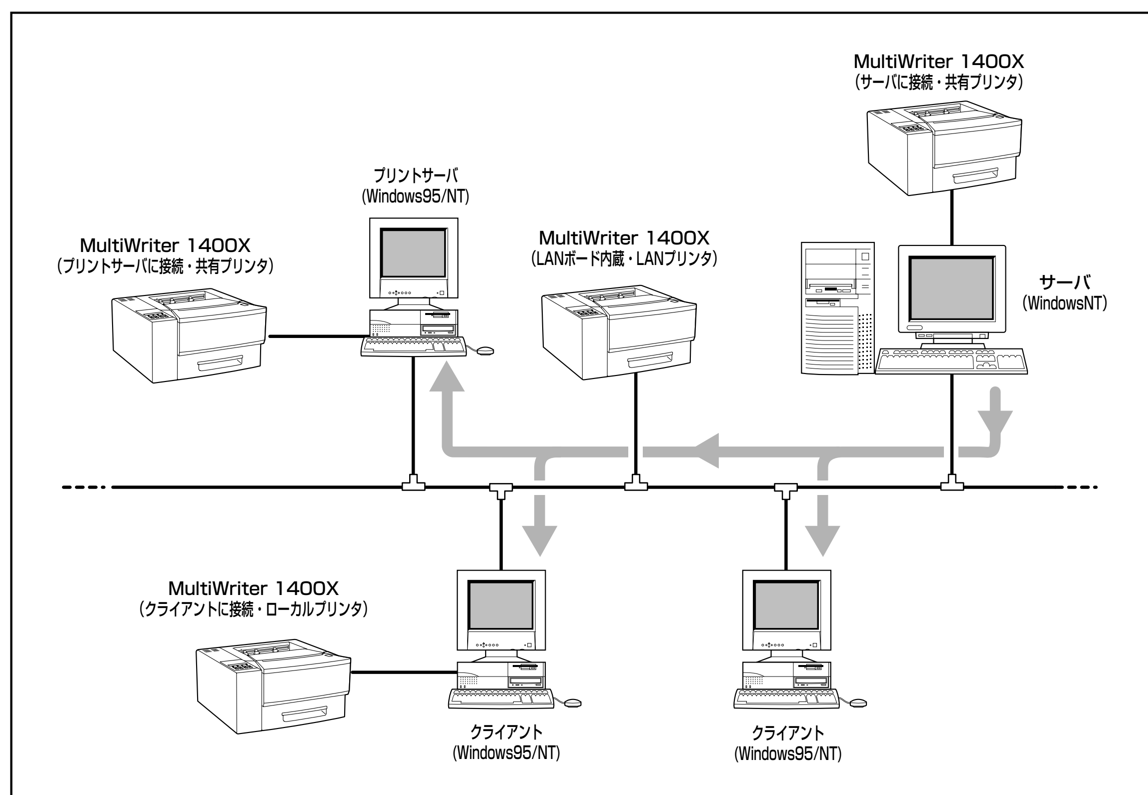
Windows NT4.0 日本語版をネットワークサーバに利用している場合、ネットワークサーバからネットワーククライアントへプリンタソフトウェアCD-ROMを使わないでNMPSソフトウェアをインストールすることができます。

この方法は、まずプリンタソフトウェアCD-ROMのデータをいったんネットワークサーバにコピーし、サーバから必要なOSのNMPSソフトウェアをクライアントにインストールするものです。

CD-ROMを使って直接各クライアントにインストールする方法に比べて時間と手間が省けます。大規模なネットワーク環境でMultiWriter 1400Xをお使いになる場合、この方法でインストールすることをお勧めします。

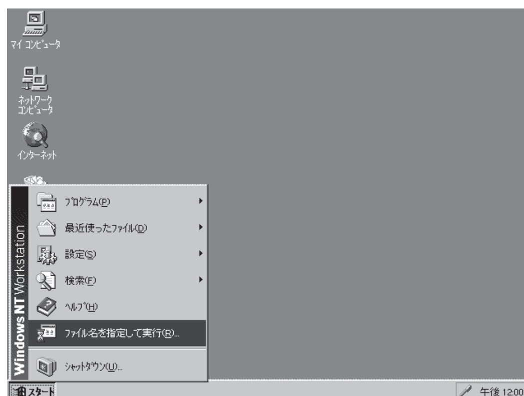


ネットワークサーバからのインストールは、「ネットワーク管理者」が行ってください。



ネットワークサーバのインストール準備

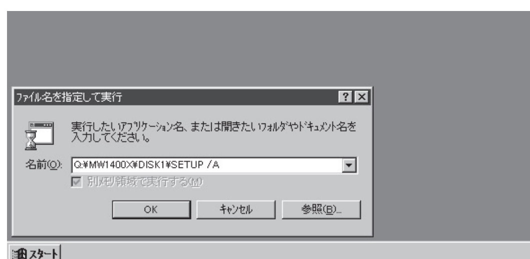
1. [スタート]ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行]をクリックする。



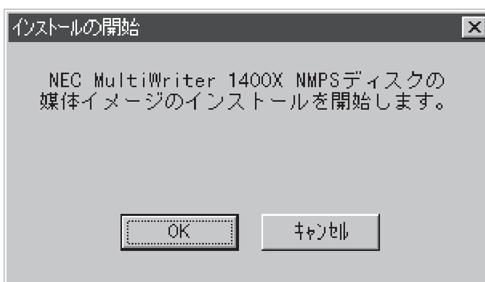
2. プリンタソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

3. セットアッププログラムを起動する。

[名前]ボックスにCD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW1400X¥DISK1¥SETUP/A」と直接入力し、[OK]ボタンをクリックするか、[ファイルの参照]ダイアログボックスより選択してください。

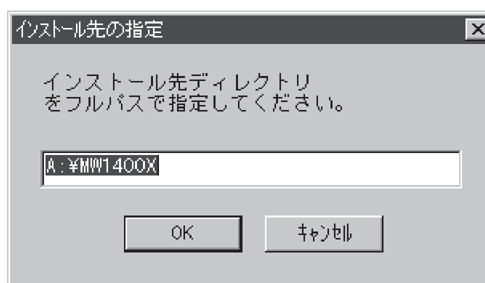


4. [OK]ボタンをクリックする。



5. インストール先を指定する。

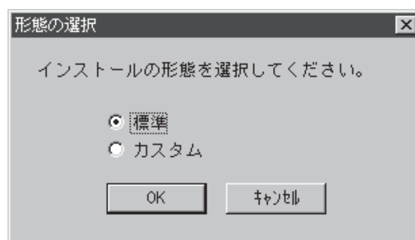
インストール先のディレクトリをフルパスで指定し、[OK]ボタンをクリックします。



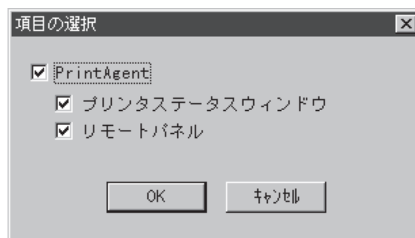
6. **インストールの形態を選ぶ。**

[標準]はNMPSソフトウェアの全部を選択します。[標準]を選択した場合は手順8に進んでください。

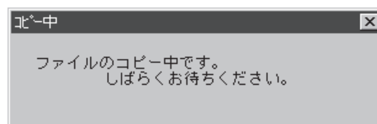
[カスタム]はインストールしたPrintAgentのプログラムを選ぶことができます。[カスタム]を選択した場合は手順7に進んでください。



7. **インストールしたい項目をチェックし、[OK]ボタンをクリックする。**

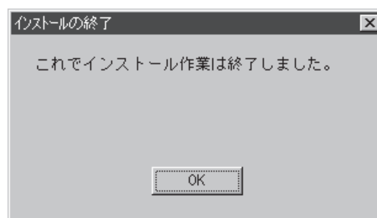


ファイルのコピーが始まります。



8. **[OK]ボタンをクリックする。**

これでインストールの準備が整いました。



ネットワーククライアントへのインストール

ネットワーククライアントへのインストールは各OSでの方法に従います。ただし、「配布ファイルのコピー元」またはドライバの[コピー元]として、インストール準備したサーバのディレクトリを選んでください。

- Windows 95 日本語版は5ページ以降を参照ください。
- Windows NT4.0 日本語版は57ページ以降を参照ください。
- Windows NT3.51 日本語版は109ページ以降を参照ください。

アンインストールするときは

必要なファイルが削除されてしまったなどでPrintAgentが正常に動かなくなったときはNMPSソフトウェアを再インストールすることがあります。NMPSソフトウェアを再インストールするには、一度既存のNMPSソフトウェアを削除(アンインストール)してから行います。ここでは削除方法を説明します。

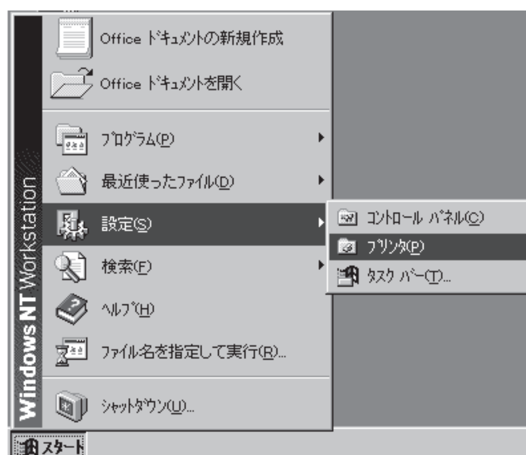


- PrintAgentをアンインストールする場合は、実施者が「Administrators」または「Domain Admins」グループのメンバーである必要があります。どちらのメンバーでもない場合は、アンインストールを行うことはできません。
- PrintAgentを削除(アンインストール)する場合は、必ずプリンタドライバを先にアンインストールしてください。プリンタドライバをアンインストールせずにPrintAgentのみアンインストールを行うと正常にアンインストールを終了できない場合があります。
- PrintAgentをインストール時に指定した、PrintAgentモジュールのディレクトリ名(指定しなければ「PrintAgent」になります)を変更している場合、アンインストールは正常に行えません。変更されているディレクトリ名をインストール時のディレクトリ名に戻してからアンインストールを行ってください。
- PrintAgent対応プリンタのプロパティダイアログボックスを表示しているとアンインストールを行えません。ダイアログボックスを閉じてから行ってください。
- どのOSでもMultiWriter 1400Xで印刷中はアンインストールを行えません。印刷が終了してからアンインストールを行ってください。
- PrintAgent対応機種が複数インストールされている状態で2000XのPrintAgentをアンインストールすると他の機種のPrintAgentが使用できなくなります。また2200XのPrintAgentをアンイストールすると一部の機能が使用できなくなります。このような場合まず他の機種のPrintAgentをアンインストールしてから2000X/2200Xのアンインストールをし、必要な機種のPrintAgentをインストールし直してください。

プリンタドライバのアンインストール

1. [スタート]ボタンをクリックし、[設定]をポイントする。次に[プリンタ]をクリックする。

   [プリンタ]フォルダが開かれ、インストール済みのプリンタアイコンが表示されます。



2. 「NEC MultiWriter 1400X」アイコンをクリックする。

3. [ファイル]メニューの[削除]をクリックする。



4. [はい]ボタンをクリックする。

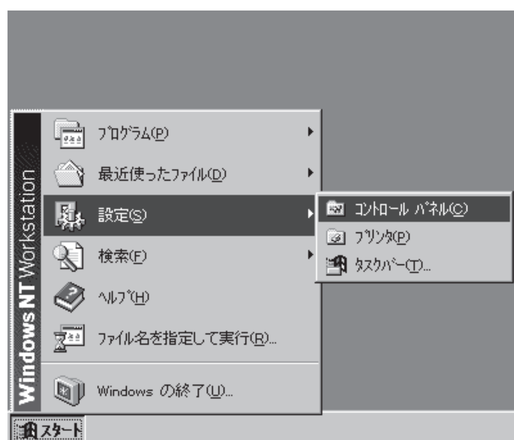
MultiWriter 1400Xプリンタドライバが削除されます。



PrintAgentのアンインストール

1. [スタート]ボタンをクリックし、[設定]をポイントする。次に[コントロールパネル]をクリックする。

コントロールパネルフォルダが開かれます。



2. [アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックする。

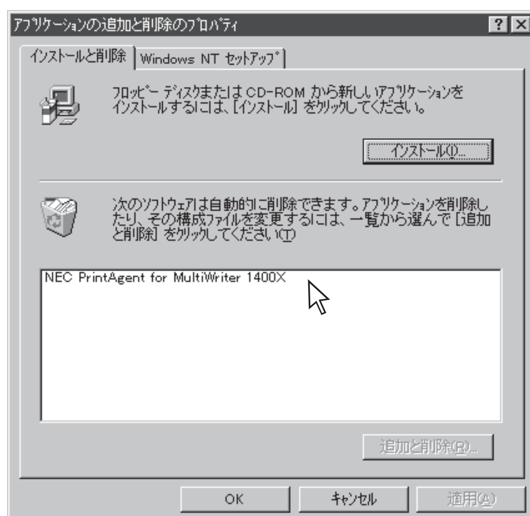
[アプリケーションの追加と削除プロパティ]ダイアログボックスが表示されます。



3. [インストールと削除]タブを選択する。

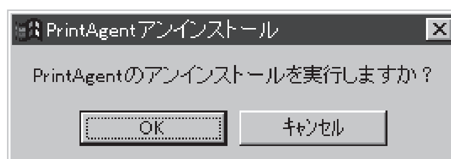
4. 自動的に削除できるソフトウェアの一覧から[NEC PrintAgent for MultiWriter 1400X]を選んで、[追加と削除]ボタンをクリックする。

次の[PrintAgentのアンインストール]ダイアログボックスを表示するまで、1〜2分要することがあります。

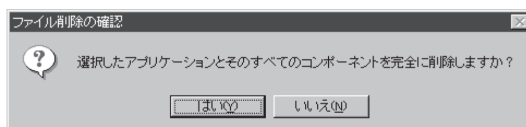


5. [OK]ボタンをクリックする。

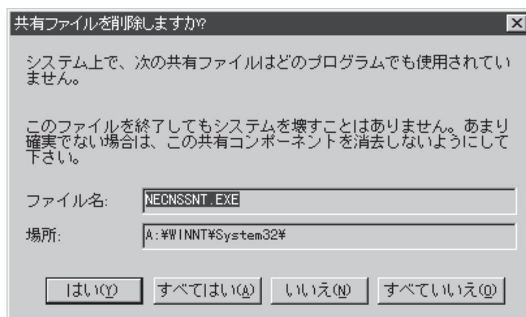
次の[ファイル削除の確認]ダイアログボックスを表示するまでに、1〜2分要することがあります。



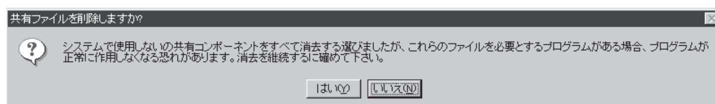
6. [はい]ボタンをクリックする。



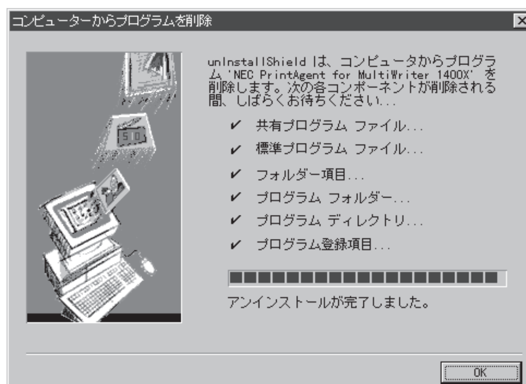
7. [すべてはい]ボタンをクリックする。



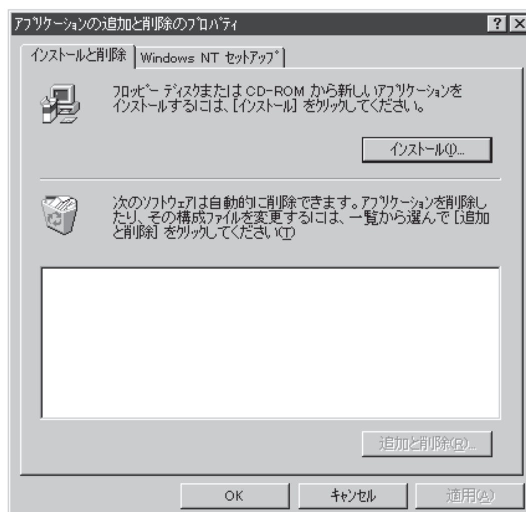
8. [はい]ボタンをクリックする。



9. アンインストールが終了したら、[OK]ボタンをクリックする。



10. [OK]ボタンをクリックする。



印刷の設定

ここではNMPSソフトウェアを使った印刷の設定のしかたと実行の手順について説明します。

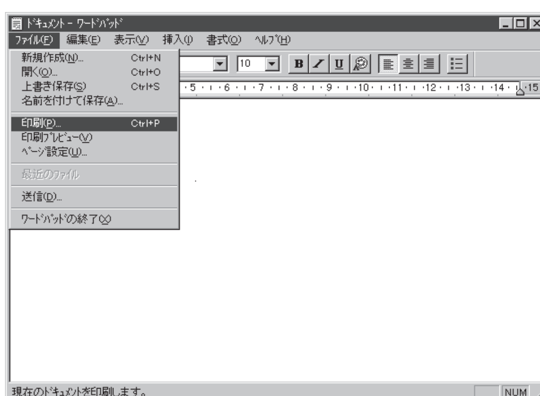
印刷の手順

ここでは、Windows NT4.0に付属されている日本語ワードプロセッサ「ワードパッド」を例にとって一般的な印刷手順について説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

お使いになるアプリケーションによってはメニュー構成など多少異なる点があるかもしれません。詳細はアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

1. **「ファイル」メニューの「印刷」をクリックする。**

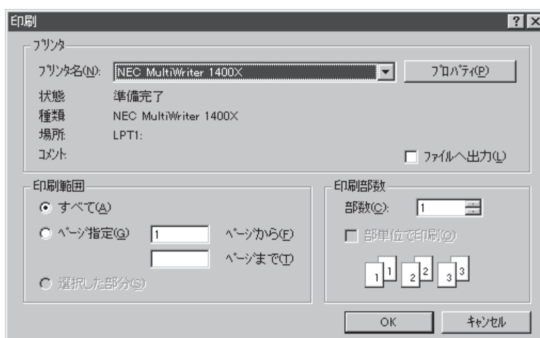
「印刷」ダイアログボックスが開きます。



2. **使用する「プリンタ名：」として「NEC MultiWriter 1400X」が選択されていることを確認する。**

もし選択されていなければ選択し直します。

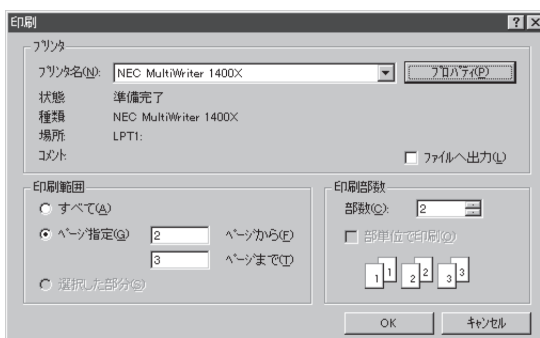
→「プリンタを選択する」(85ページ)参照



3. **印刷範囲、部数を指定する。**

用紙サイズなど、さらに詳しい設定をしたい場合は[プロパティ]ボタンをクリックし、設定変更します。

→「印刷の詳細設定を行う」(86ページ)参照

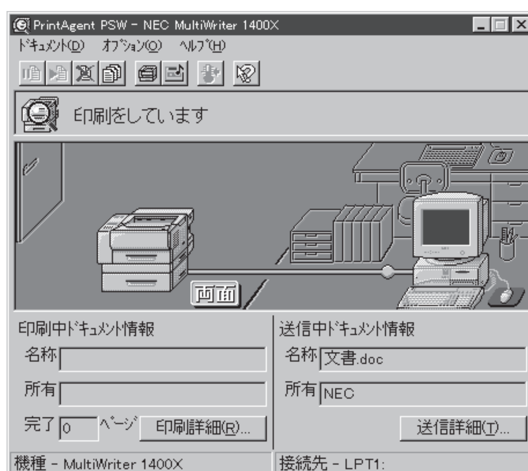


4. **印刷の設定が終わったら[OK]ボタンをクリックする。**

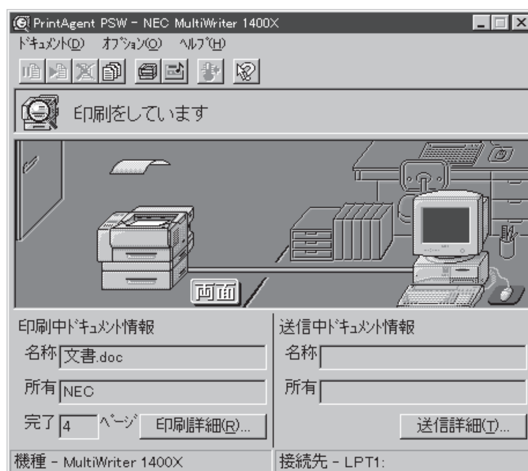
印刷が開始されると画面上にこのような「**プリンタステータスウィンドウ**」が現れます。

プリンタステータスウィンドウは印刷の状態をアニメーション表示したり、印刷中止を指令することができます。

→「プリンタステータスウィンドウ」(189ページ)参照



印刷が終了するとプリンタステータスウィンドウは「印刷を終了しました」の音声メッセージを通知してウィンドウを閉じます。



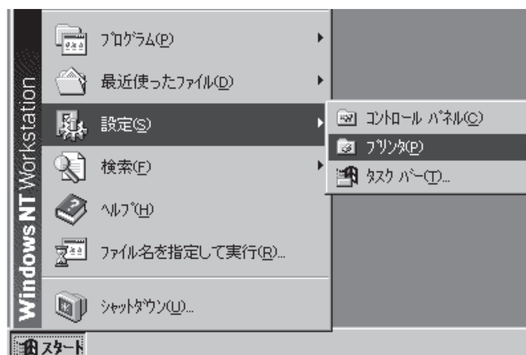
プリンタを選択する

Windows NT4.0から印刷をするために、あらかじめMultiWriter 1400Xを「通常使うプリンタ」として選択しておく方法を説明します。



お使いになっているアプリケーションによっては「プリンタの設定」ダイアログボックスを使ってMultiWriter 1400Xを「通常使うプリンタ」として選択することができます。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

1. **[スタート]ボタンをクリックし、「設定」をポイントします。次に「プリンタ」をクリックします。**



2. **「NEC MultiWriter 1400X」アイコンを右ボタンでクリックする。**

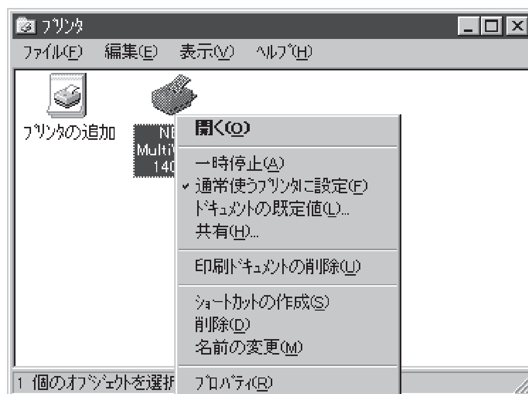
メニューが表示されます。

プリンタドライバがインストールされていないと「NEC MultiWriter 1400X」は表示されません。インストール済みのプリンタドライバは「プリンタ」ウィンドウ内にアイコンで表示されています。



3. **メニューの[通常使うプリンタに設定]をクリックする。**

すでに設定されている場合はチェックマークが表示されています。またこの設定は他のプリンタを選択しないかぎり変更されません。

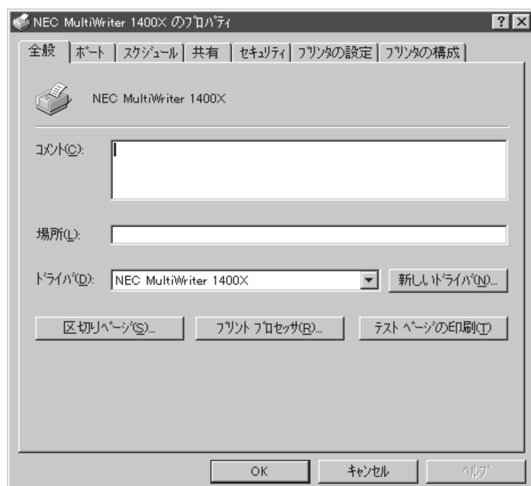


印刷の詳細設定を行う

印刷の詳細は次の2つの「プロパティ」ダイアログボックスで行います。

■ **「デバイスプロパティ」ダイアログボックス**

プリンタの物理的な設定をするプロパティダイアログボックスです。次の7枚のプロパティシートからなります。このダイアログボックスはアプリケーションからは表示されません。



- 「全般」シート
- 「ポート」シート
- 「スケジュール」シート
- 「共有」シート
- 「セキュリティ」シート
- 「プリンタの設定」シート
- 「プリンタの構成」シート

■ 「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックス

印刷の詳細な設定をするダイアログボックスです。次の7枚のプロパティシートからなります。



- 「用紙」シート
- 「レイアウト」シート
- 「グラフィックス」シート
- 「フォント」シート
- 「印刷品質」シート
- 「フォーム」シート
- 「プリンタの状態」シート

ダイアログボックスの開き方

プリンタのプロパティダイアログボックスを呼び出す方法は次の2通りあります。

- アプリケーションのメニューから呼び出す方法
- デスクトップ上の[スタート]ボタンを使って呼び出す方法



一般的に「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスは各アプリケーションのメニューから呼び出してから開けますが、アプリケーションから呼び出せるのは印刷の詳細設定を行う「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックスだけです。また、設定はそのアプリケーションでのみ有効です。

これに対して[スタート]ボタンから呼び出して設定した場合、その設定内容は「ドキュメントプロパティ」、「デバイスプロパティ」ともにすべてのアプリケーションに有効です。

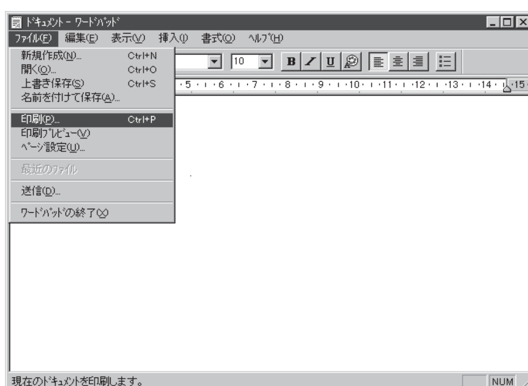
アプリケーションから呼び出す

Windowsのアプリケーションから「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックスを呼び出す場合、「印刷」コマンドか「プリンタの設定」コマンドを使います。このコマンドはたいてい「ファイル」メニューの中にありますが、「ファイル」メニューの構成はアプリケーションによって違います。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

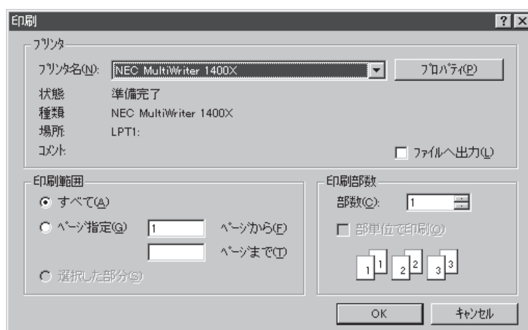
ここでは「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックスを呼び出す手順をWindows NT4.0に付属されている日本語ワードプロセッサ「ワードパッド」を例にとって説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

1. 「ファイル」メニューの「印刷」をクリックする。

「印刷」ダイアログボックスが開きます。



2. ［プロパティ］ボタンをクリックする。

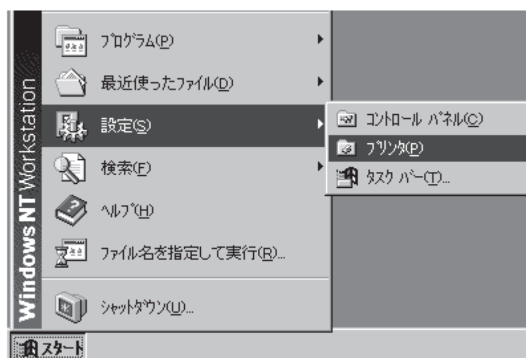


「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。



[スタート]ボタンを使って呼び出す

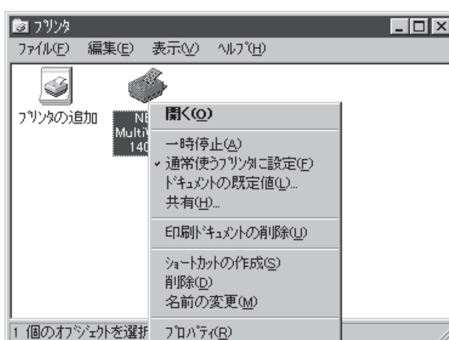
1. [スタート]ボタンをクリックし、「設定」をポイントする。次に「プリンタ」をクリックする。



2. 「NEC MultiWriter 1400X」アイコンを右クリックする。

プリンタのアイコンが黒く反転し、メニューが表示されます。

このメニューから2つの「プロパティ」ダイアログが呼び出せます。



▶ **「プロパティ」をクリックして、「デバイスプロパティ」ダイアログボックスを開く。**

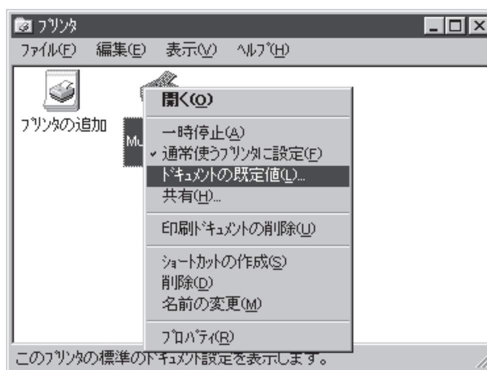


右のような「デバイスプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。



Windows NT4.0 日本語版

▶ **「ドキュメントの既定値」をクリックして、「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックスを開く。**



右のような「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。



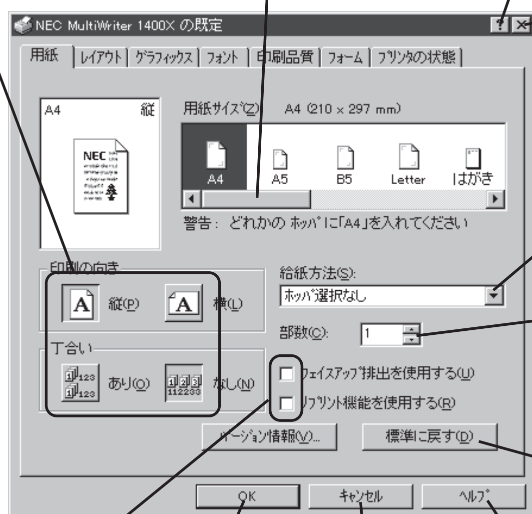
ダイアログボックスの使い方

アイコンボタン
希望のボタンをクリックすることにより項目を選択できます。選択できるのは1つだけです。

スクロールバー
バーをプレスして左右に動かすとその動きに合わせてウィンドウ内の内容がスクロールします。

[ヘルプ]ボタン
クリックし目的の項目をクリックすると項目の説明を表示できます。または画面上の項目を直接、右ボタンでクリックしても同じ説明を表示できます。

[閉じる]ボタン
ダイアログボックスが閉じます。



コンボボックス
▼ボタンをクリックすると選択肢の一覧が表示されます。さらに希望の項目をクリックすることにより選択できます。

スピンボックス
▲▼ボタンをクリックすると数字が増減します。

[標準に戻す]ボタン
現在開いているプロパティシート上の設定を出荷時の設定に戻します(「ドキュメントプロパティ」のみ表示)。

チェックボックス
希望のボックスをクリックすることにより項目を選択できます。ボックスの中に印がある状態が"ON"状態です。一度に複数の項目が選択できます。

[OK]ボタン
設定した内容を保存してダイアログボックスを閉じます。

[キャンセル]ボタン
設定した内容を保存せずにダイアログボックスを閉じます。

[ヘルプ]ボタン
プリンタドライバのヘルプ画面が表示されます。ヘルプの使い方、希望のキーワードの説明を表示します。

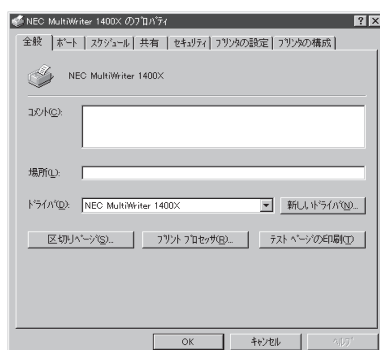
デバイスプロパティの詳細

各プロパティシートのそれぞれの項目についての詳細は、プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックを行うことによりヘルプでも説明されています。



このプロパティシートはアプリケーションから呼び出して表示させることはできません。スタートボタンを使って呼び出してください。

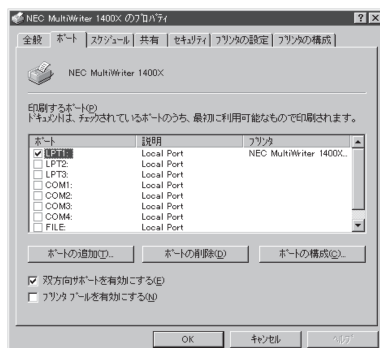
[全般]シート



このプロパティシートはWindows NT4.0 日本語版対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows NT4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。

[ポート]シート



このプロパティシートはWindows NT4.0 日本語版対応のプリンタドライバ共通のものです。

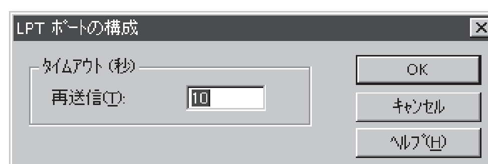
PrintAgentを使用する場合は、「双方向サポートを有効にする」が選択されている必要があります。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows NT4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。

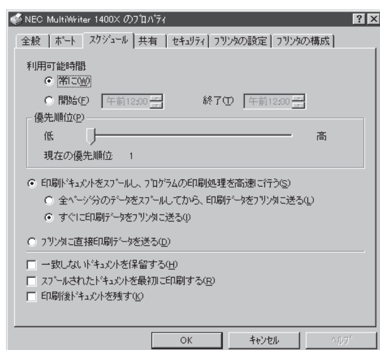
ポートの構成(C)...

[ポートの構成]ボタン

[ポートの構成]ダイアログボックスを表示し、ポートのタイムアウト時間を設定することができます。複雑なデータなどでプリンタの待ち時間が長くなると、印刷データの送信がタイムアウトで中止されることがあります。その場合にはタイムアウトの時間を長く設定してください。



[スケジュール]シート



このプロパティシートはWindows NT4.0 日本語版対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows NT4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。

[共有]シート



このプロパティシートはWindows NT4.0 日本語版対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows NT4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。

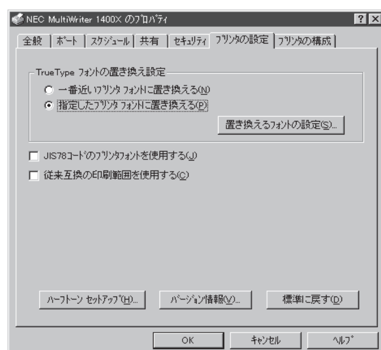
[セキュリティ]シート



このプロパティシートはWindows NT4.0 日本語版対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows NT4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。

[プリンタの設定]シート



このプロパティシートはフォントの置き換えなどプリンタの設定を行うものです。

[ハーフトーンセットアップ]ボタンをクリックすることにより、さらに「デバイスカラー/ハーフトーンのプロパティ」ダイアログボックスを表示することができます。

「TrueTypeフォントの置き換え設定」

TrueTypeフォントの置き換え方法を設定することができます。

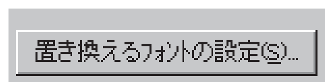
- 一番近いプリンタフォントに置き換える

True Typeフォント	→	プリンタフォント
MS明朝	→	明朝
MSゴシック	→	ゴシック

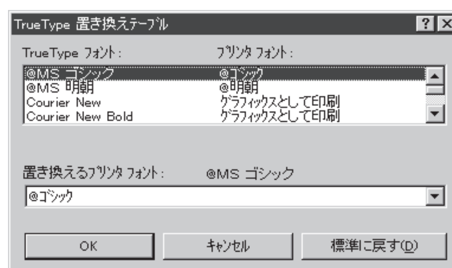
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを書体が似ているプリンタフォントに置き換えます。

- 指定したプリンタフォントに置き換える
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを[置き換えるフォントの設定]ボタンによって設定したプリンタフォントに置き換えます。

[置き換えるフォントの設定]ボタン



次のダイアログボックスを使って置き換えるプリンタフォントを設定します。それぞれフォントを選択して[OK]ボタンをクリックすることで置き換えが設定されます。
[標準に戻す]ボタンをクリックするとフォントの置き換えに関する設定を標準設定に戻すことができます。





フォントの置き換えについて
文字セットが異なるフォント、デザインが著しく異なるフォントへの置き換えは行わないでください。期待どおりの印刷結果にならない場合があります。またOCR-Bフォントを使用する場合はプリンタソフトウェアCD-ROMの[MANUAL]の「疑似OCR-Bフォントについて」をご覧ください。

「JIS78コードのプリンタフォントを使用する」

プリンタフォントをJIS78コードで印刷します。

「従来互換の印刷範囲を使用する」

印刷範囲を以前のMultiWriterシリーズのプリンタと同じ印刷範囲に設定する場合に選択します。

［ハーフトーンセットアップ］ボタン



クリックすると右のダイアログボックスが表示され、ハーフトーンと白の明るさの設定を行います。



- ハーフトーンのパターン

  ハーフトーンパターンのセルサイズを設定することができます。

- デバイスガンマ

  デバイスのガンマ補正を行うことができます。

- ピクセルの大きさ

  ピクセルの大きさを設定することができます。

- 輝度

  白の明るさの値を調整することができます。

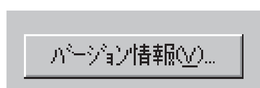
- ［戻す］ボタン

  クリックするとダイアログボックスの設定を、ダイアログボックスが表示されたときの状態に戻します。

- ［標準値］ボタン

  クリックするとダイアログボックスの設定を標準の値に戻します。

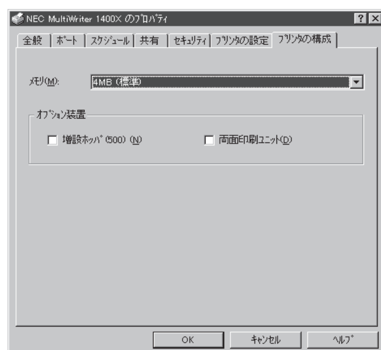
［バージョン情報］ボタン



クリックすると本プリンタドライバのバージョン情報が表示されます。



[プリンタの構成]シート



このプロパティシートはプリンタの構成を表示・設定するものです。
プリンタとコンピュータで双方向通信が行われているとプリンタに装着されているカード、メモリ、オプション装置が表示されます。双方向通信ができない場合はそれぞれ表示される項目から選択し、プリンタの構成を設定します。

「メモリ」

- 4MB(標準)
- 12MB(標準+8MB)
- 20MB(標準+16MB)
- 36MB(標準+32MB)

「オプション装置」

- 増設ホッパ(500)
- 両面印刷ユニット

ドキュメントプロパティの詳細

各プロパティシートのそれぞれの項目についての詳細は、プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックを行うことによりヘルプでも説明されています。

[用紙]シート



このプロパティシートは印刷する用紙に関する設定を行うものです。

「用紙サイズ」

印刷する用紙サイズ、縮小・拡大サイズを選択できます。リストボックス内の用紙アイコンをクリックして選択します。

> アプリケーションによっては縮小・拡大が正しく印刷されないものがあります。

「印刷の向き」

ページを縦長(ポートレート)か横長(ランドスケープ)で使用するかを設定します。枠内の用紙アイコンをクリックして選択します。

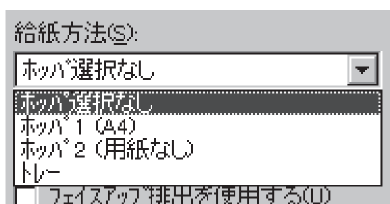
「丁合い」

複数の部数を指定した場合、丁合いの有無が有効になります。
「デバイスプロパティ」ダイアログボックスの「ポート」シートで「双方向サポートを有効にする」がチェックされている必要があります。

クライアント・サーバシステムにおいて「丁合い」の機能をご利用になるためにはWindows NT4.0の場合を除いて、クライアント、サーバともにPrintAgentのインストールが必要です。さらにPrintAgentのプロパティにおいてクライアントでは「共有プリンタを利用する」が、サーバでは「共有プリンタを提供する」がチェックされている必要があります。



アプリケーションの印刷機能で丁合いの指定ができる場合がありますが、アプリケーション独自の機能で実現するため、この「用紙」シートの設定とは連動しません。
丁合いを利用する場合は、アプリケーションとこの「用紙」シートのどちらか一方のみ指定してください。この「用紙」シートで設定した場合は、NMPSの機能を利用するため、アプリケーションの処理が各ページにつき1回で済むため、アプリケーションは早く解放されます。



「給紙方法」

給紙先ホッパをコンボボックスから選択します。コンボボックスには使用できる給紙方法が表示されます。「ホッパ選択なし」にしておくと、選択されている用紙サイズがセットされているホッパまたはトレーから自動的に給紙されます。

「部数」

印刷時の部数(コピー枚数)を指定することができます。1～99枚まで設定可能です。



アプリケーションの印刷機能で部数を設定できる場合があります。アプリケーション側で設定できる場合は、アプリケーション側で設定するようにしてください。

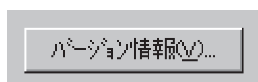
「フェイスアップ排出を使用する」

印刷面を上にして装置背面にに印刷結果を排出するかしないかを切り替えます。

「リプリント機能を使用する」

リプリント機能を使用するかしないかを選択します。リプリント機能の詳細については221ページをご覧ください。

［バージョン情報］ボタン



クリックすると本プリンタドライバのバージョン情報が表示されます。



[レイアウト]シート



このプロパティシートは両面印刷に関する設定を行うものです。
両面印刷の詳細については「両面印刷の手順」(104ページ)をご覧ください。

> [用紙]シートの[用紙サイズ]で「A4」、「Letter」以外が選択されている場合、[給紙方法]で「トレー」が選択されている場合、[プリンタの構成]シートで「両面印刷ユニット」が選択されていない場合には両面印刷はできません。

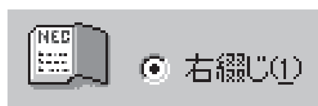
「両面印刷」

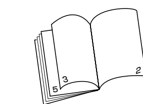
両面印刷の種類を選択できます。「片面」、「長辺綴じ」、「短辺綴じ」から選択できます。

「綴じ方向」

用紙の綴じ方向を設定します。「用紙」シートで設定されている印刷の向きと「両面印刷」の設定によって次のように指定されます。

- 右綴じ



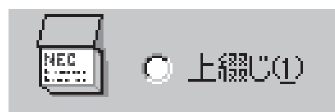


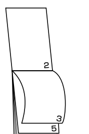
「印刷の向き」が「縦」で、「長辺綴じ」を選んでいると1ページ目の右側を綴じる。



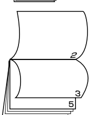
「印刷の向き」が「横」で、「短辺綴じ」を選んでいると1ページ目の右側を綴じる。

- 上綴じ



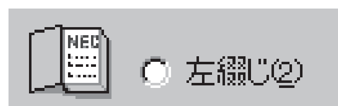


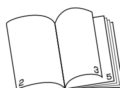
「印刷の向き」が「縦」で、「短辺綴じ」を選んでいると1ページ目の上側を綴じる。



「印刷の向き」が「横」で、「長辺綴じ」を選んでいると1ページ目の上側を綴じる。

- 左綴じ



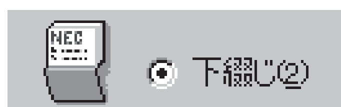


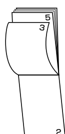
「印刷の向き」が「縦」で、「長辺綴じ」を選んでいると1ページ目の左側を綴じる。



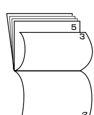
「印刷の向き」が「横」で、「短辺綴じ」を選んでいると1ページ目の左側を綴じる。

- 下綴じ





「印刷の向き」が「縦」で、「短辺綴じ」を選んでいると1ページ目の下側を綴じる。



「印刷の向き」が「横」で、「長辺綴じ」を選んでいると1ページ目の下側を綴じる。



綴じしろ

綴じしろ(綴じ側のマージン)を設定します。0〜20mmまで設定できます。本設定は「長辺綴じ」または「短辺綴じ」が設定されているときのみ可能です。

「印刷開始ページ」

両面印刷の1ページ目を印刷するかどうかを設定します。「裏面」を選択すると1ページ目を白紙にして裏面から印刷します。

[グラフィックス]シート



このプロパティシートは印刷解像度やグラフィックスデータに関するプリンタの処理の設定を行うものです。

「解像度」

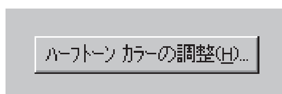
解像度を600dpi、300dpiから選択できます。

「ブラシパターンを拡大する」

解像度に合わせてブラシパターンの大きさを変える機能です。600dpi、300dpiの解像度では網掛けパターンを3倍に拡大して印刷します。またアプリケーションによっては効果がないことがあります。

「すべてビットマップで印刷する」

文字、図形などをすべてビットマップで印刷できます。



[ハーフトーンカラーの調整]ボタン

クリックすると次のダイアログボックスが表示され、ハーフトーンと白の明るさの設定を行います。



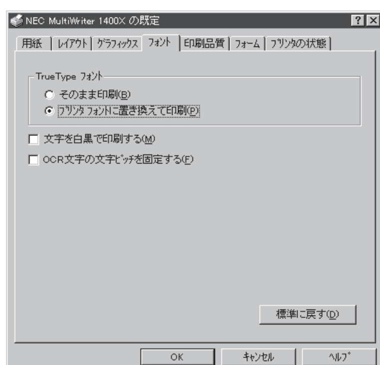


> 本ダイアログボックス中の設定でカラー印刷に適用される項目は1400Xのようなモノクロプリンタでは無効です。

- 測光用の光
  照度を調整して、イメージの表示を調整します。
- コントラスト
  明暗の色調の差を調整することができます。
- 明るさ
  光の輝度を調整することができます。

- 色
  色の鮮やかさを調整することができます。
- 濃淡
  色合いを調整することができます。
- 暗い色
  露出過度のグラフィックを調整することができます。
- 反転
  色を反転することができます。
- RGBガンマの入力
  入力イメージの明るさのアンバランスを修正することができます。赤、緑、青をまとめて調整するときは、それぞれのボックスをチェックします。個別に調整するときは希望のボックスのみチェックします。「リニア」ボックスをチェックすると入力イメージに等しい明るさを設定できます。
- 黒/白の混合率
  モノクロの混合率により、イメージの最も暗い点から明るい点までの範囲を設定することができます。
- テストパターン
  参照色またはグラフィックを選択することができます。
- 表示
  テストパターンで選択した参照色またはグラフィックを表示させます。
- 最大化
  フルスクリーンを使ってグラフィックを表示させます。
- パレット
  グラフィックのカラーパレットを表示させます。
- スケール
  グラフィックを元の比率で表示させます。
- Xフリップ
  イメージを水平軸に沿って反転させます。
- Yフリップ
  イメージを垂直軸に沿って反転させます。
- [標準値]ボタン
  クリックするとダイアログボックスの設定を標準の値に戻します。
- [戻す]ボタン
  クリックするとダイアログボックスの設定を、ダイアログボックスが表示されたときの状態に戻します。
- [開く]ボタン
  クリックするとグラフィックファイルを選択することができます。
- [名前を付けて保存]ボタン
  クリックすると開いたグラフィックファイルを保存します。

[フォント]シート



このプロパティシートはTrueTypeフォントに関する設定を行うものです。

「TrueTypeフォント」

TrueTypeフォントの印刷方法を設定することができます。

- そのまま印刷
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントイメージをそのまま印刷します。

- プリンタフォントに置き換えて印刷
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを「プリンタの構成」プロパティシートによって設定したプリンタフォントで印刷します。



フォントの置き換えについて
文字セットが異なるフォント、デザインが著しく異なるフォントへの置き換えは行わないでください。期待どおりの印刷結果にならない場合があります。またOCR-Bフォントを使用する場合はプリンタソフトウェアCD-ROMの[MANUAL]の「疑似OCR-Bフォントについて」をご覧ください。

「文字を白黒で印刷する」

文字の色を、グレイを使わずに、白か黒のどちらかで印刷します。

「OCR文字の文字ピッチを固定する」

OCR文字をOCRで読み取れるよう文字ピッチを固定して印刷します。

[印刷品質]シート



このシートは印刷品質に関する設定を行うものです。

「SET機能」

SET機能を使用するかしないかを選択します。SET機能を使用するとテキストやグラフィックのエッジのギザギザをなくし、画質を向上させることができます。

「トナー節約機能」

トナー節約モードを使用するかしないかを切り替えます。

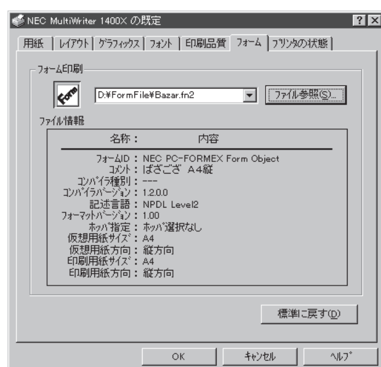


トナー節約機能を使用すると、細い線、濃度の薄い印刷、網かけおよびグラデーションが不鮮明になることがあります。本機能は試し印刷などにご使用ください。また、1400Xは内蔵の疑似OCR-Bフォントの印刷もできますが、疑似OCR-Bフォントの印刷を行う場合にはトナー節約機能は使用しないでください。印刷がかすれ、OCR読み取り装置が読み取りエラーを起こすことがあります。

「印刷濃度の設定」

印刷濃度を5段階の中からスライドバーで設定します。EPカートリッジおよび装置ごとの濃度のバラツキを吸収するための設定です。通常の濃度設定は[グラフィックス]シートの[ハーフトーンカラーの調整]で行ってください。

[フォーム]シート



このプロパティシートの設定はフォーム印刷を利用しているときに使用できます。

フォーム印刷とは見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データと重ね合わせて印刷することです。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要です。

「フォーム印刷」

フォーム印刷をする場合、「ファイル」コンボボックスから使用したいフォームファイルを選びます。コンボボックスに希望のファイルがない場合は[ファイル参照]ボタンをクリックして他の場所のファイルを参照することができます。

「ファイル情報」

選択したフォームファイルの情報を表示します。

[プリンタの状態]シート



このプロパティシートは現在のプリンタの状態を表示するものです。プリンタの状態を次の項目で表示し、使用できる給紙装置*についてはイラストで表示されます。

- プリンタ名
- 解像度
- メモリ*
- プリンタの状態(印刷可能かどうか)

* プリンタとコンピュータで双方向通信が行われてないときは「プリンタ設定」ダイアログボックスの設定が表示されます。

[ウォームアップ開始]ボタン



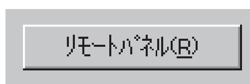
印刷を開始する前にボタンをクリックしておくと、あらかじめプリンタのウォームアップが開始され、ウォームアップによる待ち時間が少なくなります。ただし本機能はウォームアップが終了すると解除されますのであまり長い間(5分程度)放置すると印刷開始に効果がありません。

[PSW]ボタン



[PSW]ボタンはPrintAgentをインストールしている場合に有効です。ボタンをクリックするとプリンタステータスウィンドウ(PSW)を起動させることができます。

「リモートパネル」ボタン



[リモートパネル]ボタンはPrintAgentをインストールし、かつ使用権限のある場合でのみ有効です。このボタンをクリックするとリモートパネルが起動し、プリンタを設定変更することができます。詳細については「リモートパネル」(198ページ)をご覧ください。

使用権限の詳細は「PrintAgentヘルプ」で「プリンタのアクセス権とご利用になれるユーティリティ」および「セキュリティ」をご覧ください。



> プリンタステータスウィンドウやリモートパネルが起動しない場合は、PrintAgentソフトウェアが正常にインストールされていないことが考えられます。この場合Windows NT4.0の「コントロールパネル」の中にある「アプリケーションの追加と削除」を使っていったんプリンタソフトウェアをすべて削除(アンインストール)して、再びインストールしてください。詳細については80ページをご覧ください。

両面印刷の手順

MultiWriter 1400XはオプションのPR-L1400X-04 両面印刷ユニットを装着することにより両面印刷が可能になります。この機能はホッパ給紙でA4、レターサイズの普通紙を選択しているときに可能です。
A5、B5、はがきが選択されている場合は使用できません。用紙に関してはユーザーズマニュアル[1/2]の「用紙の規格」をご覧ください。



ユーザーズマニュアル[1/2]で指定している用紙を使用してください。また、両面印刷で使用する用紙は両面とも印刷されていない用紙です。指定以外の用紙を使って印刷をしたり、すでに印刷されている用紙をセットして両面印刷をすると紙づまりやプリンタの故障の原因となります。

両面印刷を行う印刷データが非常に複雑な場合、または両面印刷を行う用紙サイズがB4→A4、A3→A4サイズのように大きい場合は、両面印刷が片面印刷になったり、表面が白紙になったりして正しく印刷できないことがあります。その場合には、メモリを増設しページプロテクトをONに設定することで解決できます。どの程度メモリを増設すればよいかは以下に示す一覧表を参照してください。

両面印刷時の必要メモリ容量

ページプロテクト	片面／両面	プリンタのメモリ			
		4MB（標準）	12MB（+8MB）	20MB（+16MB）	36MB（+32MB）
OFF	片面	○	◎	◎	◎
	両面	△	○	○	◎
ON	片面	—	◎	◎	◎
	両面	—	◎	◎	◎

◎：　印刷可能
○：　印刷可能（圧縮率2/5での印刷は保証。ただし、データの内容によって「メモリオーバー」「インサツフカ」になる場合があります）
△：　両面印刷が不可の場合がある（片面印刷になる）
−：　設定不可

両面印刷ユニットを装着後、次の手順で両面印刷の設定をします。

1. 「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックスで用紙シートの設定をする。

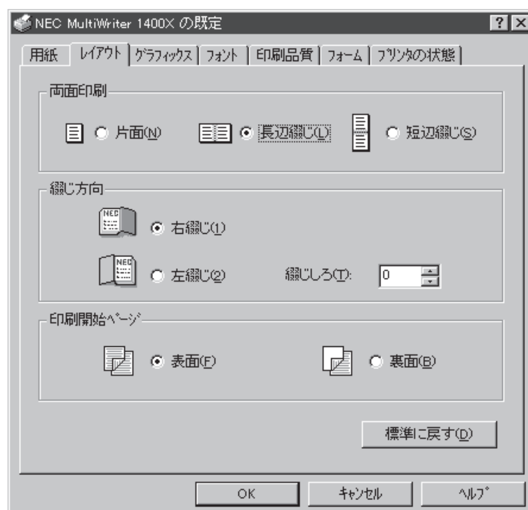
- 両面印刷できる用紙サイズはA4とレターサイズだけです。
- トレーからの給紙はご利用になれません。
- アプリケーションで部数を設定できる場合はアプリケーションで設定してください。
- 複数の部数を指定した場合「丁合い」機能をご利用になれます。
- PrintAgentのプロパティが「リプリント機能を提供する」になっていれば「リプリント」機能が利用できます。



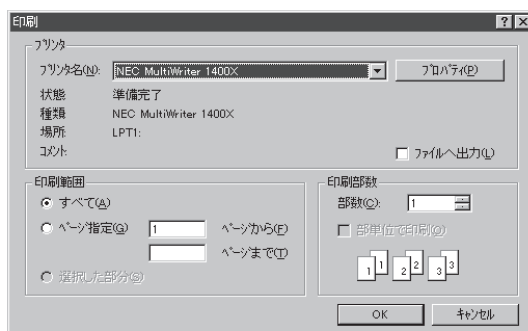
2. **「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックスでレイアウトシートの設定をする。**

- 「長辺綴じ」または「短辺綴じ」を選びます。
- 用紙の綴じ方を4つの方式から選びます。
- 綴じしろを0〜20ミリの範囲で指定できます。
- 「印刷開始ページ」で「裏面」を選ぶと1ページ目を白紙にして2ページ目から印刷を始めます。

本シートの設定内容の詳細は98ページ参照。



3. **アプリケーションの印刷ダイアログボックスで指定範囲、印刷部数を指定し、印刷を開始する。**



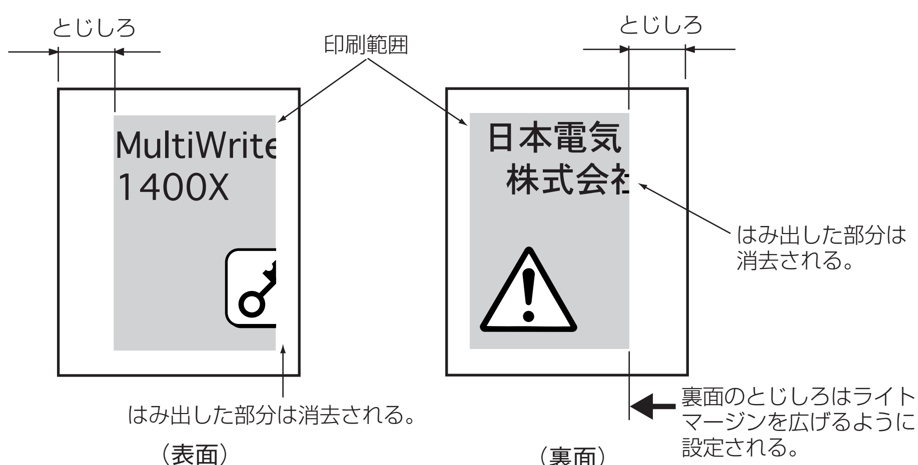
両面印刷のヒント

両面印刷する際に役に立つ情報を説明します。

クリッピング機能について

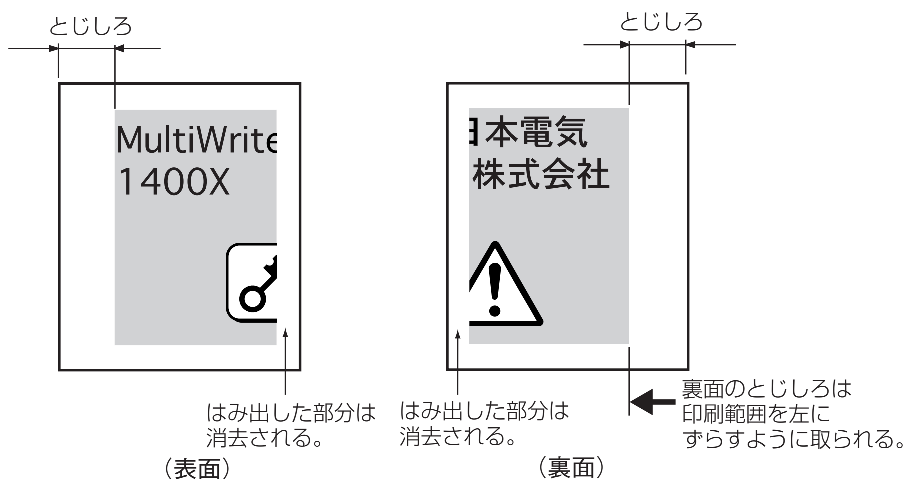
とじしろ(とじ側の余白)を多く取り過ぎると印刷データが用紙の印刷範囲を超えてしまう場合があります。クリッピング機能を利用すると、印刷範囲からはみ出した文字を次の行に印刷するか、はみ出した分を消去してそのまま残りのデータを印刷するかを選択できます。クリッピング機能はメニューモード(ユーザーズマニュアル[1/2]を参照)またはリモートパネル(198ページ)で設定できます。

「クリップ」をOFFにすると印刷範囲をはみ出した部分が消去されます。両面印刷時の裏面は、とじしろにかかった右側部分が消去されます。MS-DOSプロンプト上の印刷やアプリケーションによっては、印刷結果が異なる場合があります。詳細は207ページの「クリップ機能を使用する」を参照してください。



クリッピングOFF

「クリップ」をONにすると、やはり印刷範囲をはみ出した部分は消去されます。しかし両面印刷時の裏面は、とじしろが印刷範囲を左にずらすように設定されるので、レフトマージンにかかった部分が消去されます。



クリッピングON

ページプロテクト機能について

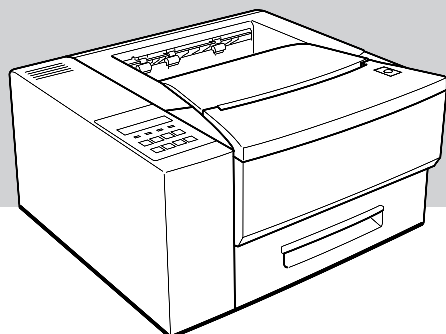
ページプロテクト機能はプリンタが受信した印刷データをメモリにどのように蓄えるかを設定するものです。ページプロテクト機能はリモートパネル（198ページ参照）かメニューモードで設定できます（ユーザーズマニュアル[1/2]参照）。

設定を「OFF」にすると、印刷データは圧縮されてメモリに蓄えられます。印刷データによるメモリ消費が少なくなり、メモリを他の処理に有効に使用できるため処理性能が向上します。しかし両面印刷設定の場合、メモリ容量が大きいのでプリンタは操作パネルに“メモリオーバー”あるいは“インサツフカ”を表示し印刷を中止したり、印刷結果が不正になることがあります。

設定を「ON」にすると、印刷データは圧縮処理されない状態で、メモリに蓄えられます。このためどんなに複雑なデータであっても、メモリオーバーあるいはインサツフカで印刷を中止することなく、印刷することができます。ただし、両面印刷の場合最低8MBの増設が必要です（104ページのメモリ容量表を参照）。

メモリを増設しても、よほどデータの内容が簡素なものでないかぎり「ページプロテクト」はONにして両面印刷することをお勧めします。

Windows NT3.51 日本語版をお使いの場合



NMPSソフトウェアをインストールする

ここでは、Windows NT3.51 日本語版に NMPS ソフトウェアをインストールして、プリンタを指定するまでの方法について説明します。



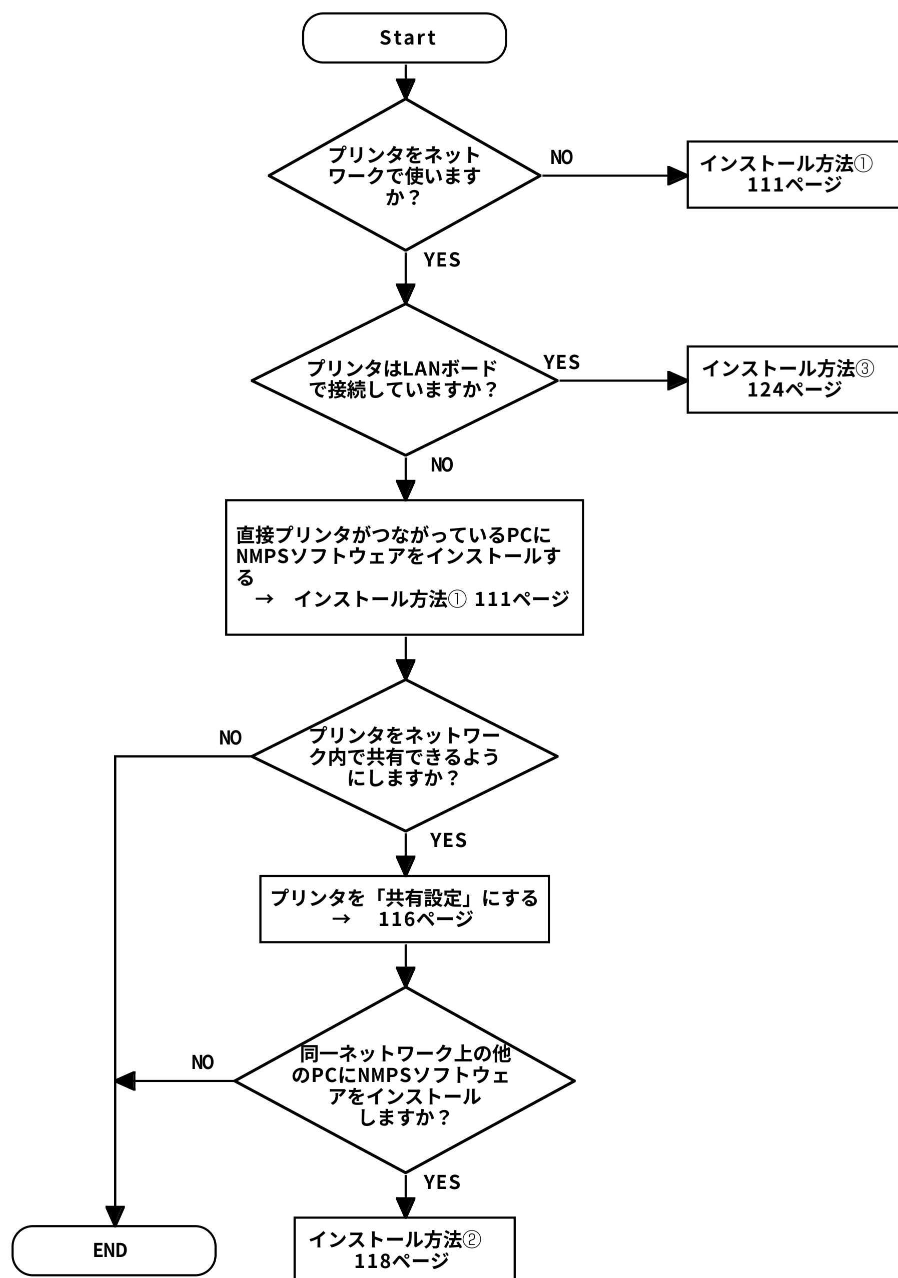
PrintAgentをインストールする場合は、実施者が「Administrators」または「DomainAdmins」グループのメンバーである必要があります。どちらのメンバーでもない場合は、インストールを行うことはできません。



本書ではCD-ROMを使った手順で説明しています。プリンタソフトウェアCD-ROMから作成したプリンタソフトウェアディスクを使用してインストールをする場合、インストールの途中でフロッピィディスクの交換を求める画面が表示されることがあります。その場合は画面の指示に従ってフロッピィディスクの入れ替えを行ってください。

インストール方法の選択

MultiWriter 1400Xの接続されている環境により、NMPSソフトウェアのインストール方法が異なります。フローチャートを参照しながら、環境に合ったインストール方法を選択してください。



Windows NT3.51 日本語版でのインストール方法の選択

インストール方法 ①（コンピュータとプリンタが1対1で接続されているとき）

コンピュータがプリンタと1対1で接続されているとき、あるいはネットワーク接続でコンピュータがプリントサーバとしてプリンタに接続しているときは次のでインストールします。

Windows NT3.51

プリントサーバ
またはクライアント

クライアント

MultiWriter 1400X
（プリントサーバに接続・共有プリンタ）

Windows NT3.51

Windows 95

Windows 95

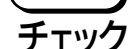
Windows NT4.0

プリンタケーブル

LANケーブル

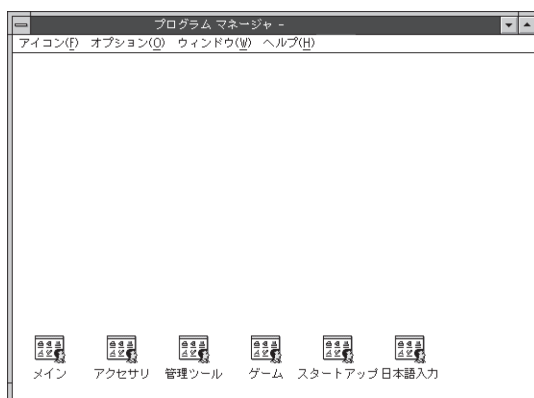
クライアント

クライアント



- PrintAgentをインストールすると、プリンタドライバをインストールしたときの[LPT1:]などの[印刷先]が、自動的にプリンタと双方向通信を可能とする[LPTN1:]などの[印刷先]に変更されます。[LPT1:]と[LPTN1:]とでは、実際にプリンタを接続する物理的な印刷先は同じものです。
  PrintAgentをお使いになる場合は、[印刷先]を[LPTN1:]などのままでお使いください。
- 手順の冒頭でプリンタドライバとは別に「CTL3D32.DLL」モジュールのインストール方法を説明しています。このモジュールは、プリンタダイアログボックスを立体表示させるもので、プリンタドライバの機能になんら影響はありません。立体表示をする必要がない場合は、インストールしなくてもかまいません。

1. **Windows NT3.51 日本語版を起動する。**

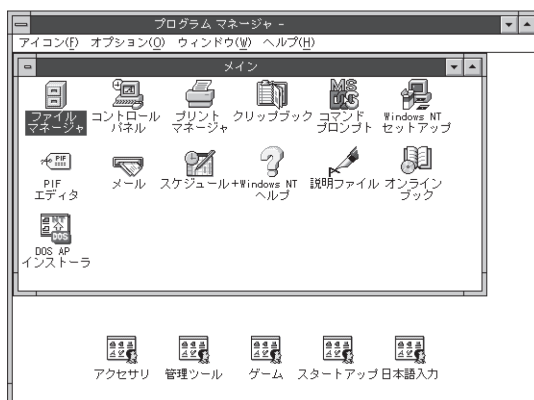


2. **プリンタソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。**

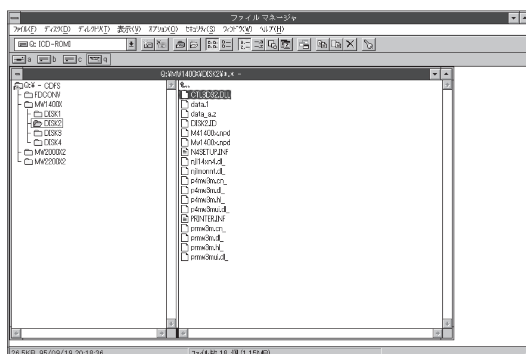
「CTL3D32.DLL」モジュールをインストールする場合は手順3へ、このモジュールをインストールする必要がない場合は、手順7へ進んでください。

3. **プログラムマネージャ中の[メイン]グループから[ファイルマネージャ]をダブルクリックする。**

[ファイルマネージャ]ウィンドウが表示されます。

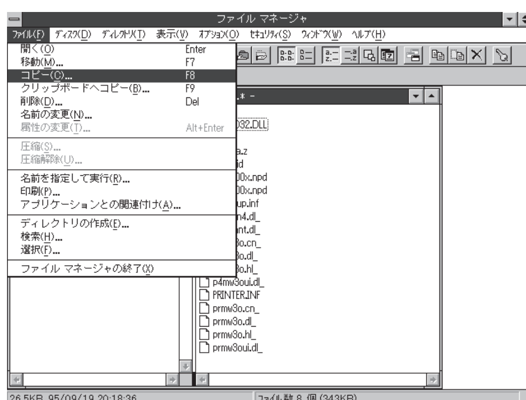


4. **CD-ROMを挿入したドライブを選択し、「MW1400X」ディレクトリ内の「DISK2」の中から「CTL3D32. DLL」を選ぶ。**



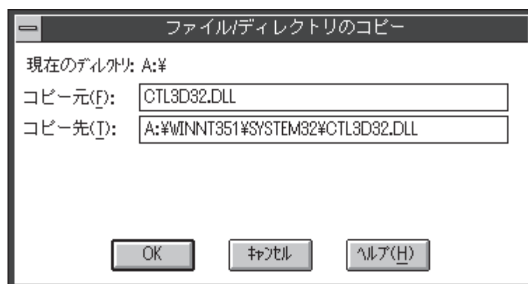
5. **[ファイル]メニューから[コピー]をクリックする。**

[ファイル／ディレクトリのコピー]ダイアログボックスが表示されます。



6. コピー先を入力して、[OK]ボタンをクリックする。

[コピー先]ボックスにWindows NT3.51をインストールしたドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)、WindowNT3.51をインストールしたディレクトリ名、円記号(¥)、「SYSTEM32」、円記号(¥)、「CTL3D32.DLL」と入力します。

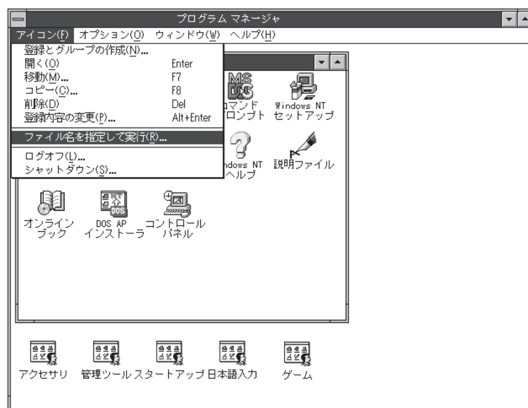




すでに「CTL3D32.DLL」がシステム中にある場合は、このモジュールをコピーできない場合があります。この場合は、このモジュールをシステムにコピーする必要はありません。

7. [アイコン]メニューの[ファイル名を指定して実行]をクリックする。

[ファイル名を指定して実行]ダイアログボックスが表示されます。



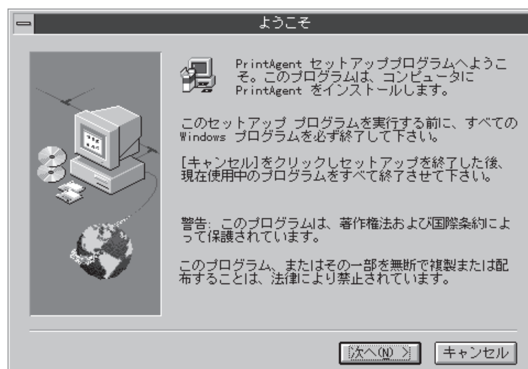
8. セットアッププログラムを起動する。

[コマンドライン]ボックスにCD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW1400X¥DISK1¥SETUP」と入力し、[OK]ボタンをクリックします。

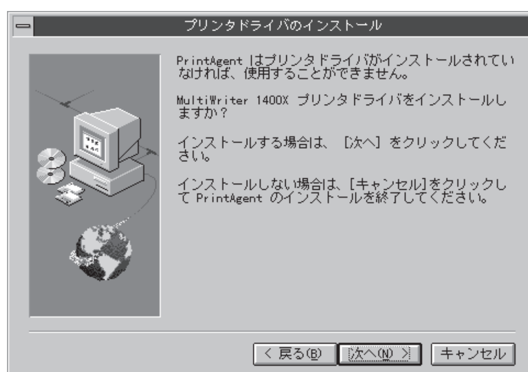
または[参照]ボタンをクリックして[ファイルの参照]ダイアログボックスからセットアッププログラムを選んでください。



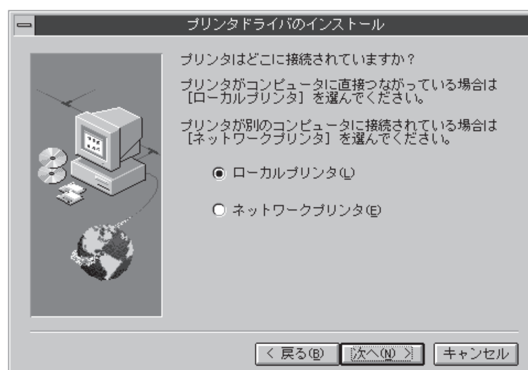
9. [次へ>]ボタンをクリックする。



10. [次へ>]ボタンをクリックする。



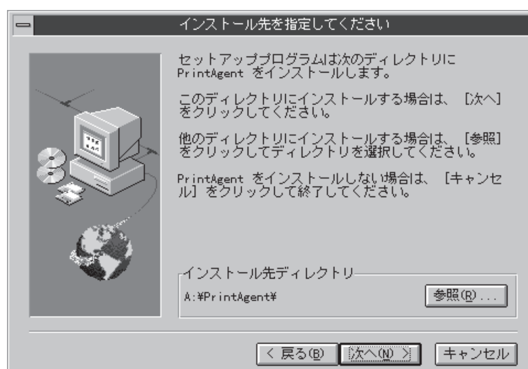
11. [ローカルプリンタ]を選んで、[次へ>]ボタンをクリックする。



12. 希望のポートを選んで、[次へ>]ボタンをクリックする。



13. インストール先を指定する。



ディレクトリを変更する場合は[参照]ボタンをクリックしてください。

インストール先のディスク空き容量が少ない場合は、ディレクトリの変更を行う画面が現れますのでディレクトリを変更してください。

プリンタドライバのインストールを開始します。



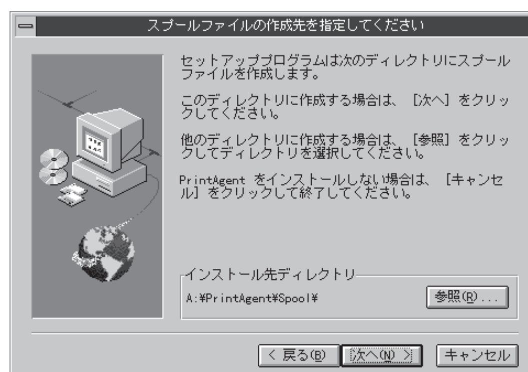
プリンタドライバのみインストールし、PrintAgentをインストールしない場合は[キャンセル]を選択します。

14. スプールファイルの作成先を指定する。

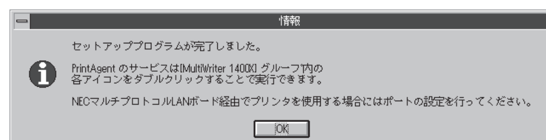
プライベートスプールファイルを作成するディレクトリを確認して[次へ>]ボタンをクリックします。

インストール先のディスク空き容量が少ない場合は、ディレクトリの変更を行う画面が現れますのでディレクトリを変更してください。

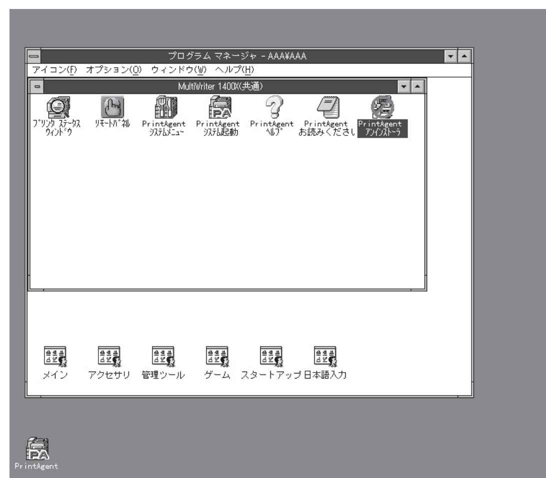
PrintAgentのインストールを開始します。



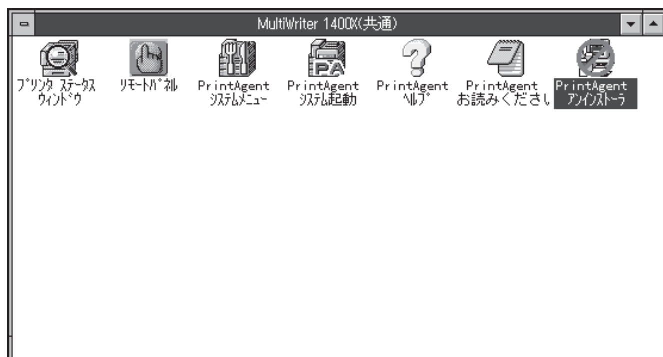
15. [OK]ボタンをクリックする。



16. デスクトップ上に[PrintAgentシステム]アイコンが存在することを確認する。



17. **プログラムマネージャに[MultiWriter 1400X]というグループが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されたことを確認する。**

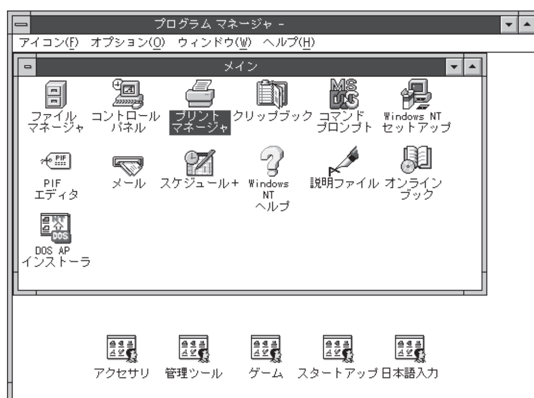


- プリンタステータスウィンドウ .... プリンタステータスウィンドウを起動します。
- リモートパネル .... リモートパネルを起動します。
- PrintAgent　システムメニュー .... PrintAgentのシステムメニューです。
- PrintAgent　システム起動 .... PrintAgentシステムを起動します。
- PrintAgent　ヘルプ .... ヘルプです。
- PrintAgent　お読みください .... 使用上の注意事項などです。
- PrintAgent　アンインストーラ .... PrintAgentのアンインストール(削除)を行います。

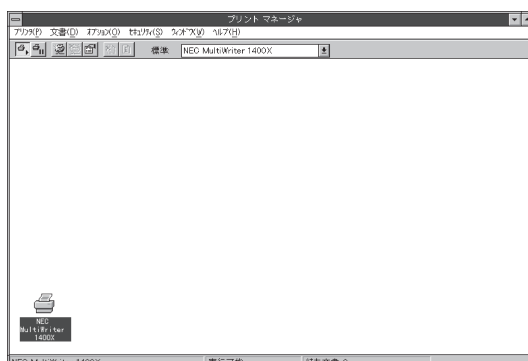
MultiWriter 1400Xを共有プリンタに設定する

1. **[プログラムマネージャ]の[メイン]グループから[プリントマネージャ]をダブルクリックする。**

[プリントマネージャ]ウィンドウが表示されます。

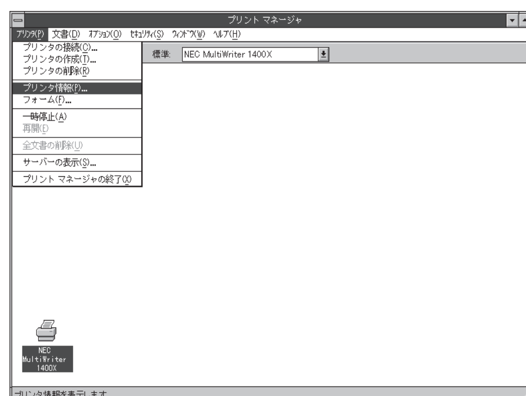


2. **[MultiWriter 1400X]アイコンをクリックする。**



3. **［プリンタ］メニューの［プリンタの情報］をクリックする。**

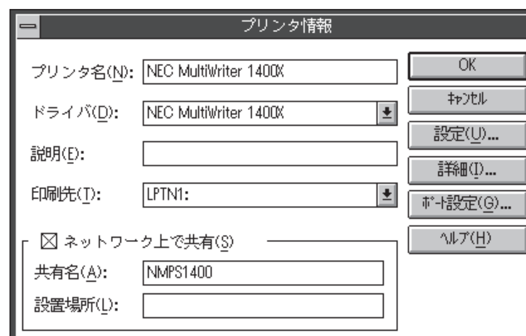
［プリンタの情報］ダイアログボックスが表示されます。



4. **ネットワークの設定をする。**

［ネットワーク上で共有］をオンにし、［共有名］テキストボックスにネットワーク上で参照されるプリンタの名前（例：NMPS1400）を入力し、［OK］ボタンをクリックします。

［設定場所］テキストボックスは、必要に応じて入力してください。



PrintAgentを追加インストールする

プリンタドライバのみインストールし、PrintAgentをインストールしなかった場合は、次の手順でPrintAgentを追加インストールすることができます。

1. **プリンタソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。**
2. **［アイコン］メニューの［ファイル名を指定して実行］をクリックする。**



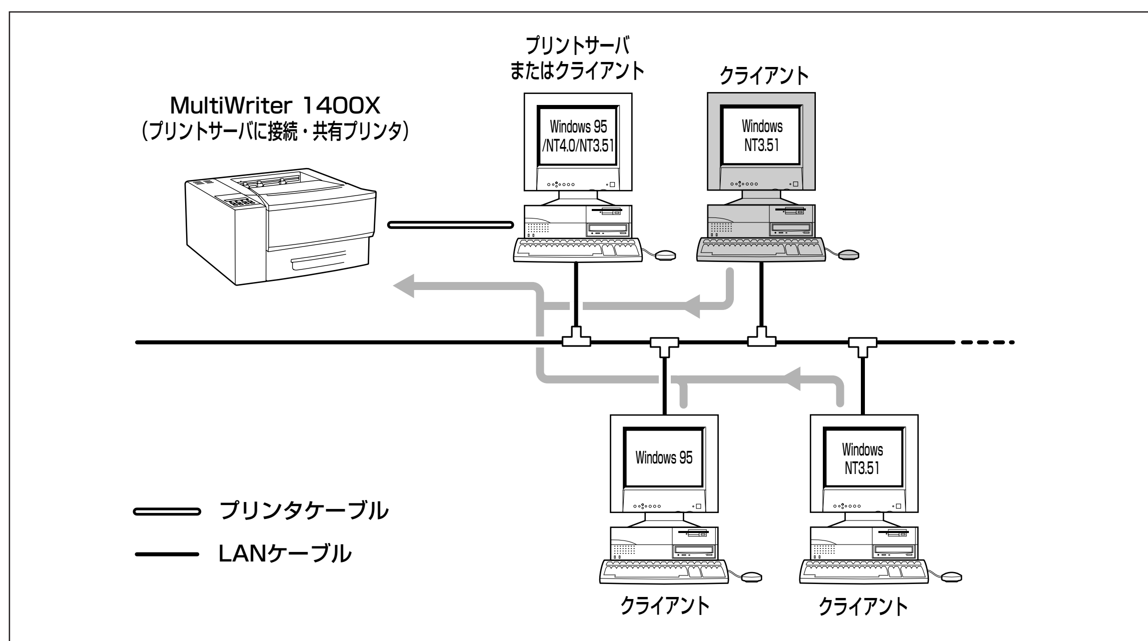
3. **［名前］のボックスにCD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（:）、円記号（¥）に続けて「MW1400X¥DISK1¥SETUP」と入力する。**

以降は114ページの13からの手順に従ってください。



インストール方法 ②（コンピュータがクライアントであるとき）

ネットワーク環境で、クライアントから共有プリンタへ印刷したいときは、次の方法でインストールします。



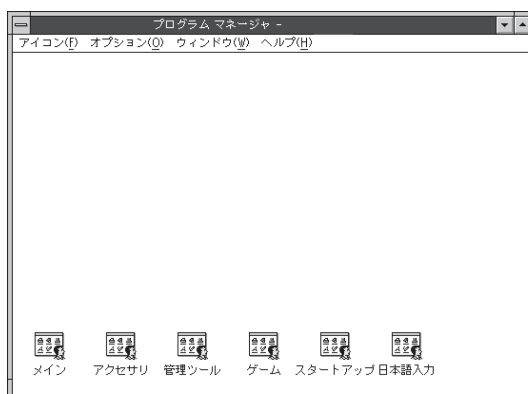


手順の冒頭でプリンタドライバとは別に「CTL3D32.DLL」モジュールのインストール方法を説明しています。このモジュールは、プリンタダイアログボックスを立体表示させるもので、プリンタドライバの機能になんら影響はありません。立体表示をする必要がない場合は、インストールしなくてもかまいません。

1. Windows NT3.51 日本語版を起動する。

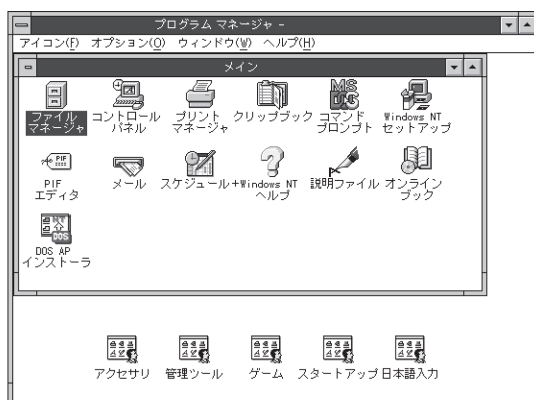
2. プリンタソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

「CTL3D32.DLL」モジュールをインストールする場合は手順3へ、このモジュールをインストールする必要がない場合は、手順7へ進んでください。

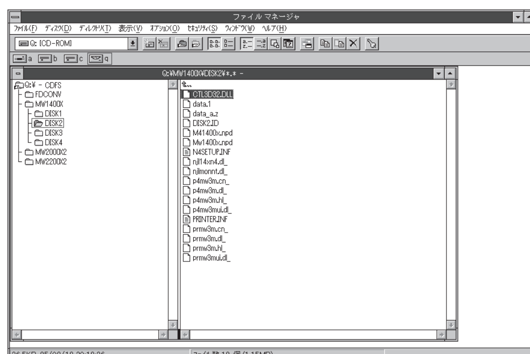


3. **プログラムマネージャ中の[メイン]グループから[ファイルマネージャ]をダブルクリックする。**

[ファイルマネージャ]ウィンドウが表示されます。



4. **CD-ROMを挿入したドライブを選択し、「MW1400X」ディレクトリ内の「DISK2」の中から「CTL3D32. DLL」を選ぶ。**



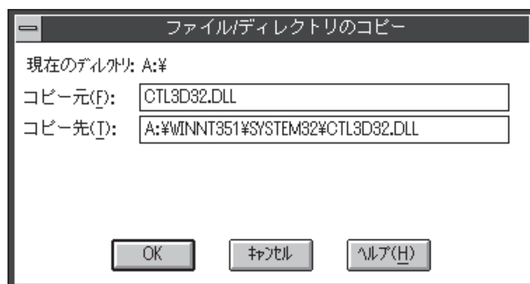
5. **[ファイル]メニューの[コピー]をクリックする。**

[ファイル／ディレクトリのコピー]ダイアログボックスが表示されます。



6. **コピー先を指定して、[OK]ボタンをクリックする。**

[コピー先]ボックスにWindows NT3.51をインストールしたドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)、WindowNT3.51をインストールしたディレクトリ名、円記号(¥)、「SYSTEM32」、円記号(¥)、「CTL3D32.DLL」と入力します。

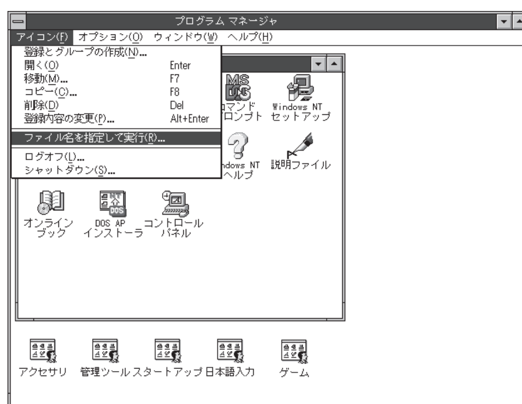




すでに「CTL3D32.DLL」がシステム中にある場合は、このモジュールをコピーできない場合があります。この場合は、このモジュールをシステムにコピーする必要はありません。

7. ［アイコン］メニューの［ファイル名を指定して実行］をクリックする。

［ファイル名を指定して実行］ダイアログボックスが表示されます。



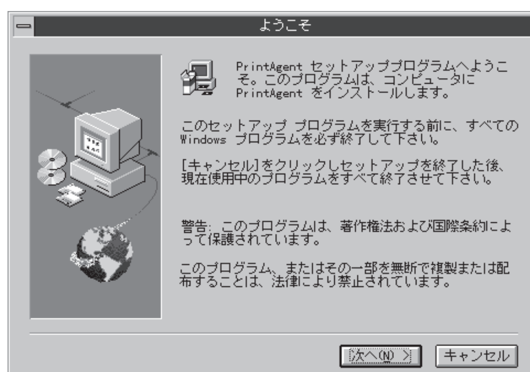
8. セットアッププログラムを起動する。

［コマンドライン］ボックスにCD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW1400X¥DISK1¥SETUP」と入力し、［OK］ボタンをクリックします。

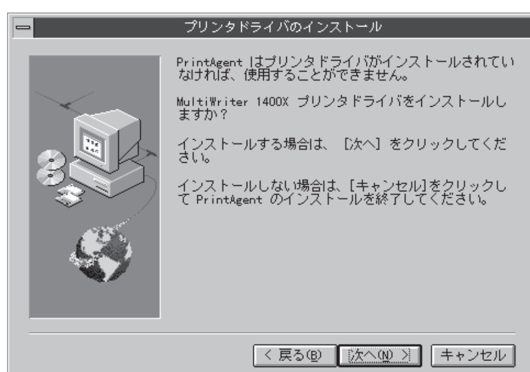
または［参照］ボタンをクリックして［ファイルの参照］ダイアログボックスからセットアッププログラムを選んでください。



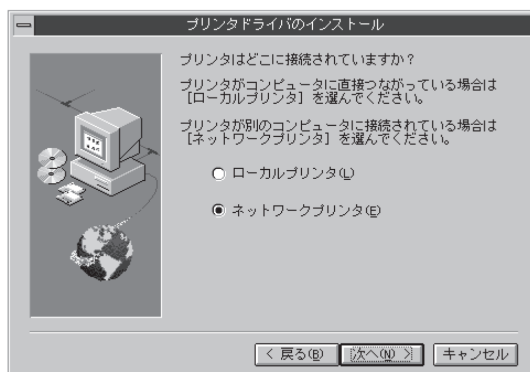
9. ［次へ＞］ボタンをクリックする。



10. ［次へ＞］ボタンをクリックする。



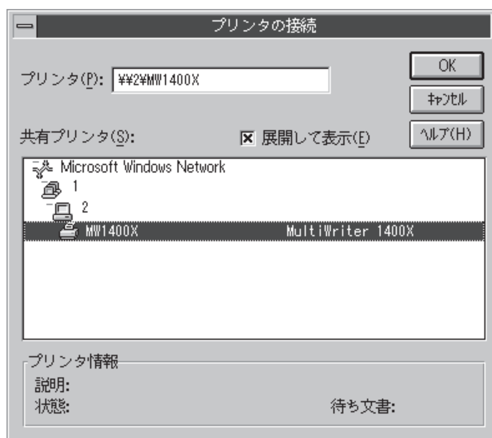
11. [ローカルプリンタ]を選んで、[次へ>]ボタンをクリックする。



12. プリンタの接続先を指定する。

[プリンタ]ボックスにパスを入力するか、[共有プリンタ]一覧ボックスから選んで、[OK]ボタンをクリックします。

プリンタドライバのインストールを開始します。

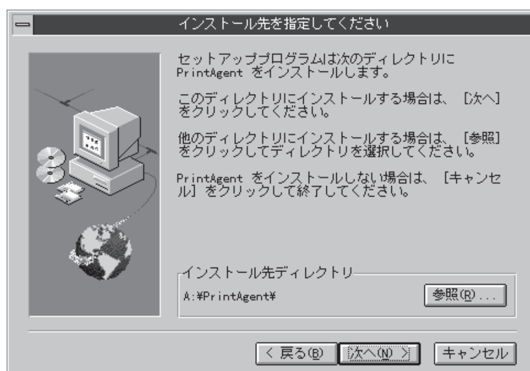


13. PrintAgentのインストール先を指定する。

インストール先のディレクトリを確認して[次へ>]ボタンをクリックします。

ディレクトリを変更する場合は[参照]ボタンをクリックしてください。

インストール先のディスク空き容量が少ない場合は、ディレクトリの変更を行う画面が現れます。ディレクトリを変更してください。





プリンタドライバのみインストールし、PrintAgentをインストールしない場合は[キャンセル]を選択します。

14. **スプールファイルの作成先を指定する。**

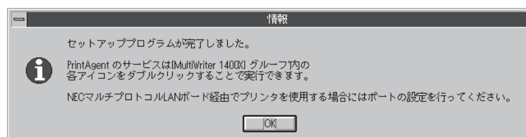
プライベートスプールファイルを作成するディレクトリを確認して[次へ>]ボタンをクリックします。

インストール先のディスク空き容量が少ない場合は、ディレクトリの変更を行う画面が現れますのでディレクトリを変更してください。

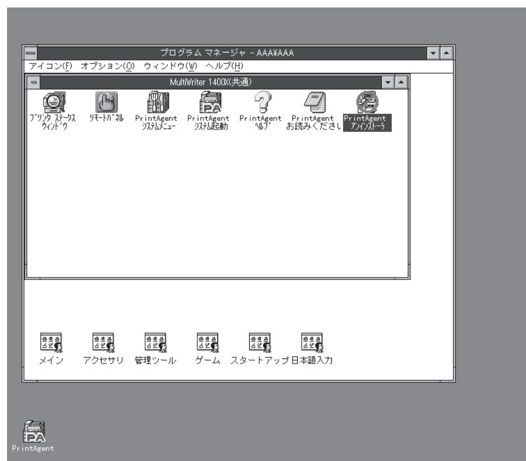
PrintAgentのインストールを開始します。



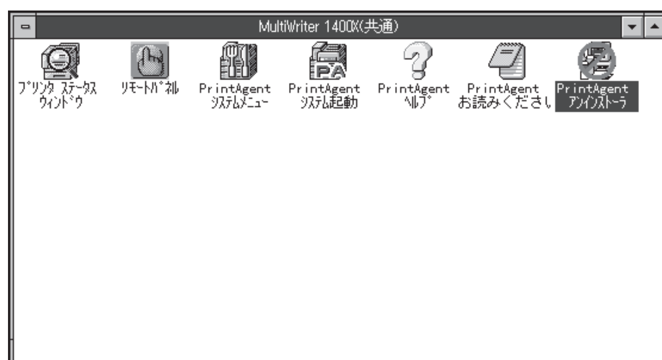
15. **[OK]ボタンをクリックする。**



16. **デスクトップ上に[PrintAgentシステム]アイコンが存在することを確認する。**



17. **プログラムマネージャに[MultiWriter 1400X]というグループが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されたことを確認する。**



- プリンタステータスウィンドウ .... プリンタステータスウィンドウを起動します。
- リモートパネル .... リモートパネルを起動します。
- PrintAgent　システムメニュー .... PrintAgentのシステムメニューです。
- PrintAgent　システム起動 .... PrintAgentシステムアイコンを起動します。
- PrintAgent　ヘルプ .... ヘルプです。
- PrintAgent　お読みください .... 使用上の注意事項などです。
- PrintAgent　アンインストーラ .... PrintAgentのアンインストール（削除）を行います。

PrintAgentを追加インストールする

プリンタドライバのみインストールし、PrintAgentをインストールしなかった場合は、次の手順でPrintAgentを追加インストールすることができます。

1. **プリンタソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。**
2. **[アイコン]メニューの[ファイル名を指定して実行]をクリックする。**



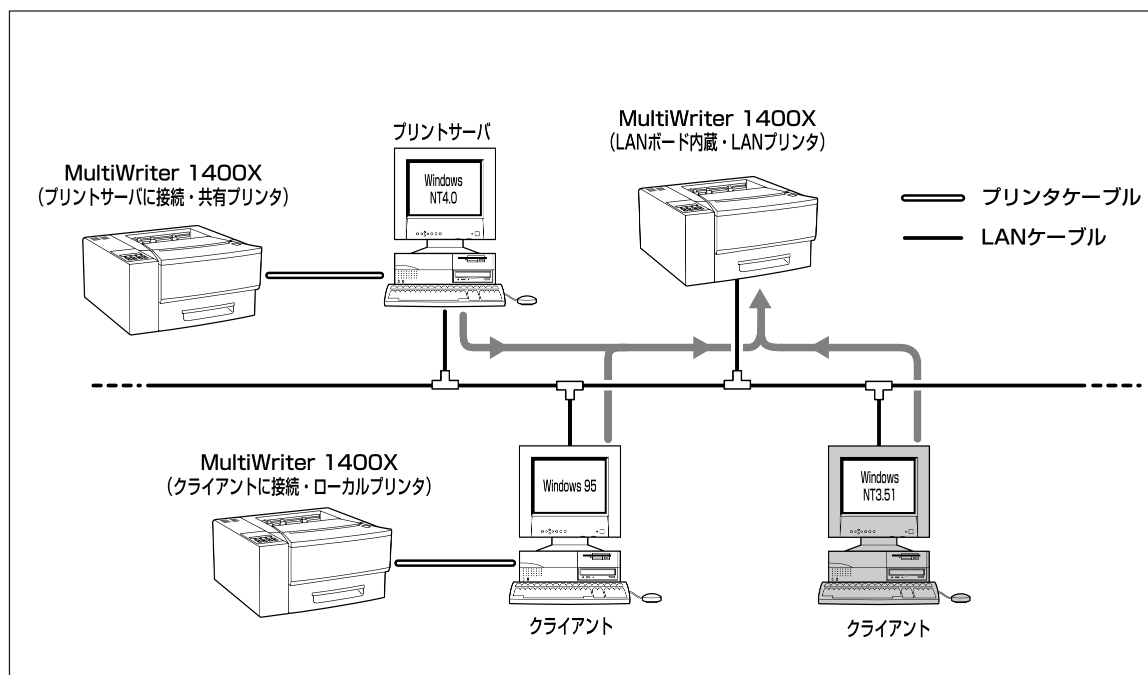
3. **[名前]のボックスにCD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW1400X¥DISK1¥SETUP」と入力する。**



以降は121ページ13からの手順に従ってください。

インストール方法 ③（LANボード内蔵プリンタへ印刷するとき）

ネットワーク内のコンピュータから、LAN ボードを内蔵している LAN プリンタに印刷したいときは、次の方法でインストールします。





- マルチプロトコルLANボードを使って、LANプリンタとしてご使用になる前に、次のことを確認してください。
  1. マルチプロトコルLANボードが確実に取り付けられていることを、コンフィギュレーションページの印刷を行って確認してください(詳細はマルチプロトコルLANボードの取扱説明書を参照してください)。
  2. マルチプロトコルLANボードに添付されている取扱説明書に従って、マルチプロトコルLANボードに割り付けてあるIPアドレスを設定してください。
  3. インストールするとき、また印刷先をLANプリンタに設定するときは、LANプリンタの電源が入っていることを確認してください。
- 手順の冒頭でプリンタドライバとは別に「CTL3D32.DLL」モジュールのインストール方法を説明しています。このモジュールは、プリンタダイアログボックスを立体表示させるもので、プリンタドライバの機能になんら影響はありません。立体表示をする必要がない場合は、インストールしなくてもかまいません。

1. Windows NT3.51 日本語版を起動する。

2. プリンタソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

「CTL3D32.DLL」モジュールをインストールする場合は手順3へ、このモジュールをインストールする必要がない場合は、手順7へ進んでください。

3. プログラムマネージャ中の[メイン]グループから[ファイルマネージャ]をダブルクリックする。

[ファイルマネージャ]ウィンドウが表示されます。

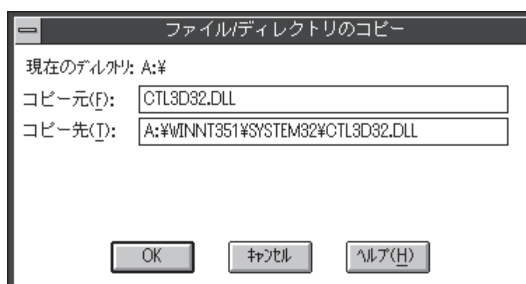
4. CD-ROMを挿入したドライブを選択し、「MW1400X」ディレクトリ内の「DISK2」の中から「CTL3D32. DLL」を選ぶ。

5. [ファイル]メニューの[コピー]をクリックする。

[ファイル/ディレクトリのコピー]ダイアログボックスが表示されます。

6. コピー先を入力して、[OK]ボタンをクリックする。

[コピー先]ボックスにWindows NT3.51をインストールしたドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)、WindowNT3.51をインストールしたディレクトリ名、円記号(¥)、「SYSTEM32」、円記号(¥)、「CTL3D32.DLL」と入力します。

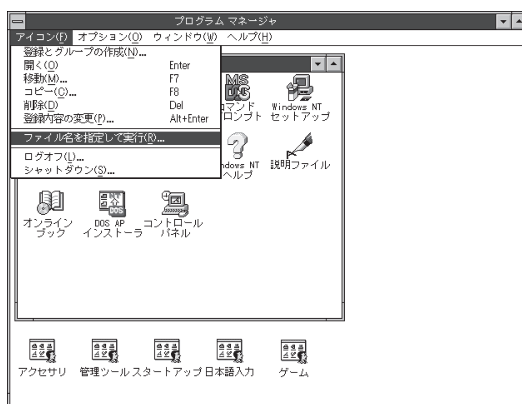




すでに「CTL3D32.DLL」がシステム中にある場合は、このモジュールをコピーできない場合があります。この場合は、このモジュールをシステムにコピーする必要はありません。

7. [アイコン]メニューの[ファイル名を指定して実行]をクリックする。

[ファイル名を指定して実行]ダイアログボックスが表示されます。



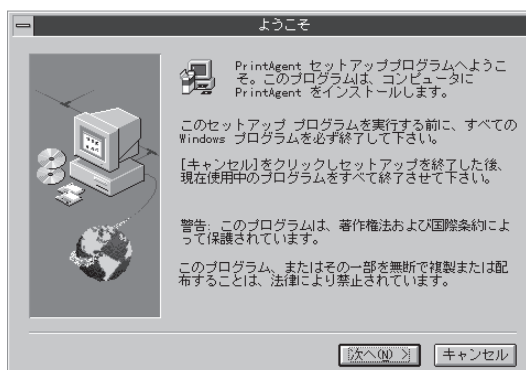
8. セットアッププログラムを起動する。

[コマンドライン]ボックスにCD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW1400X¥DISK1¥SETUP」と入力し、[OK]ボタンをクリックします。

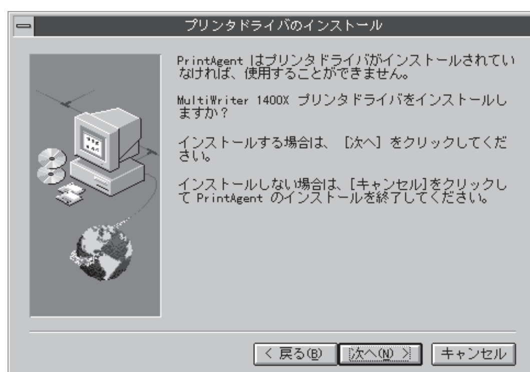
または[参照]ボタンをクリックして[ファイルの参照]ダイアログボックスからセットアッププログラムを選んでください。



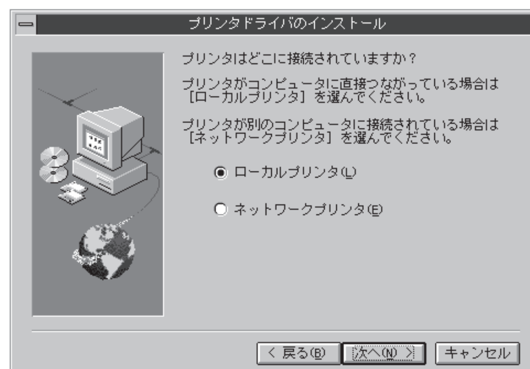
9. [次へ>]ボタンをクリックする。



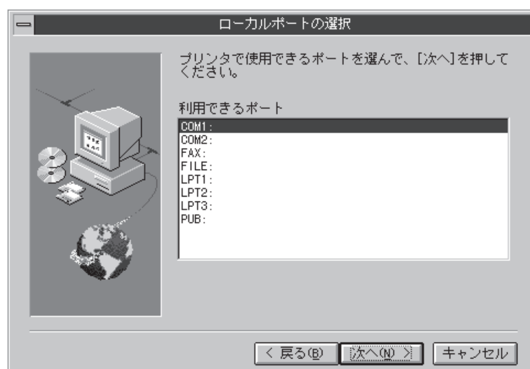
10. [次へ>]ボタンをクリックする。



11. [ローカルプリンタ]を選んで、[次へ>]ボタンをクリックする。



12. [次へ>]ボタンをクリックする。

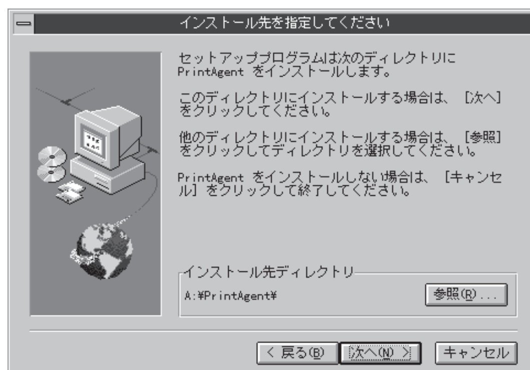


13. PrintAgentのインストール先を指定する。

インストール先のディレクトリを確認して[次へ>]ボタンをクリックします。

ディレクトリを変更する場合は[参照]ボタンをクリックしてください。

インストール先のディスク空き容量が少ない場合は、ディレクトリの変更を行う画面が現れます。ディレクトリを変更してください。





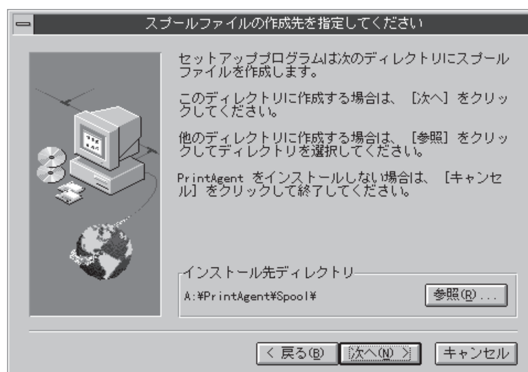
プリンタドライバのみインストールし、PrintAgentをインストールしない場合は[キャンセル]を選択します。

14. スプールファイルの作成先を指定する。

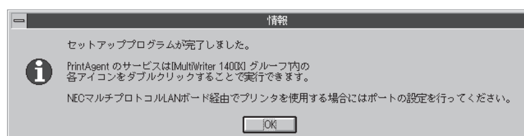
プライベートスプールファイルを作成するディレクトリを確認して[次へ>]ボタンをクリックします。

インストール先のディスク空き容量が少ない場合は、ディレクトリの変更を行う画面が現れますのでディレクトリを変更してください。

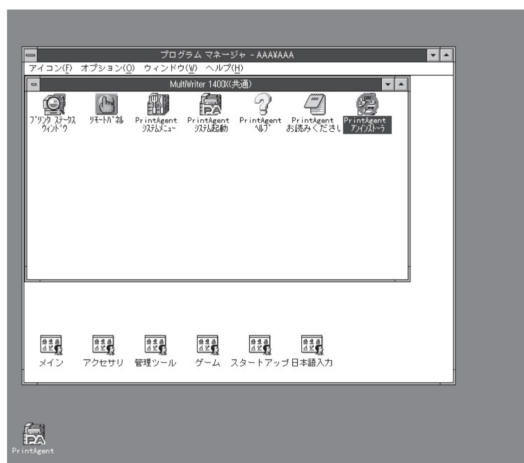
PrintAgentのインストールを開始します。



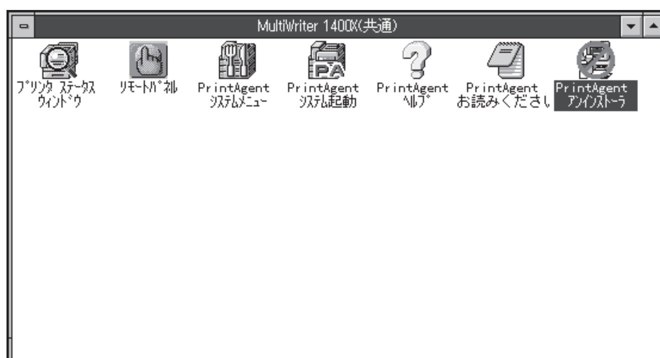
15. [OK]ボタンをクリックする。



16. デスクトップ上に[PrintAgentシステム]アイコンが存在することを確認する。



17. プログラムマネージャに[MultiWriter 1400X]というグループが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されたことを確認する。

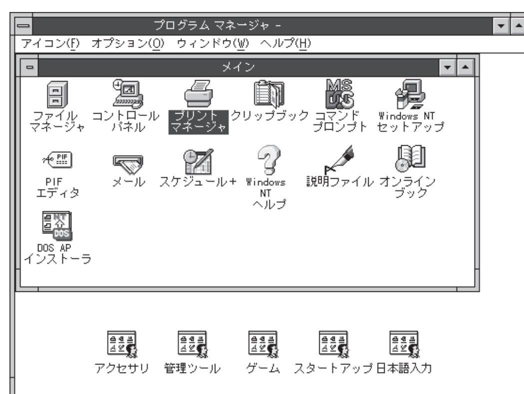


- プリンタステータスウィンドウ .... プリンタステータスウィンドウを起動します。
- リモートパネル .... リモートパネルを起動します。
- PrintAgent　システムメニュー .... PrintAgentのシステムメニューです。
- PrintAgent　システム起動 .... PrintAgentシステムを起動します。
- PrintAgent　ヘルプ .... ヘルプです。
- PrintAgent　お読みください .... 使用上の注意事項などです。
- PrintAgent　アンインストーラ .... PrintAgentのアンインストール(削除)を行います。

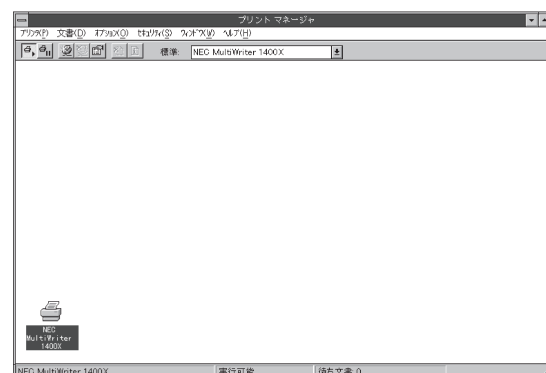
続いて「印刷先」の変更を行います。「印刷先」の変更は、プリンタドライバのインストールにより作成されたプリンタの[プリンタ情報]ダイアログボックス上で行います。

18. [プログラムマネージャ]の[メイン]グループから[プリントマネージャ]をダブルクリックする。

[プリントマネージャ]ウィンドウが表示されます。

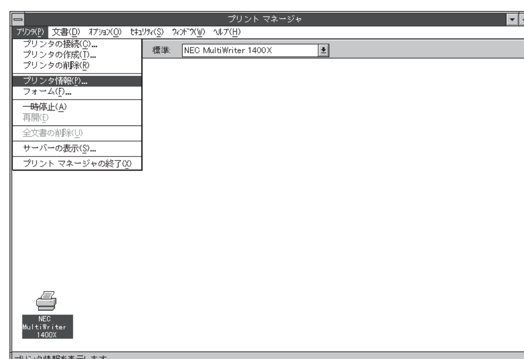


19. [MultiWriter 1400X]アイコンをクリックする。

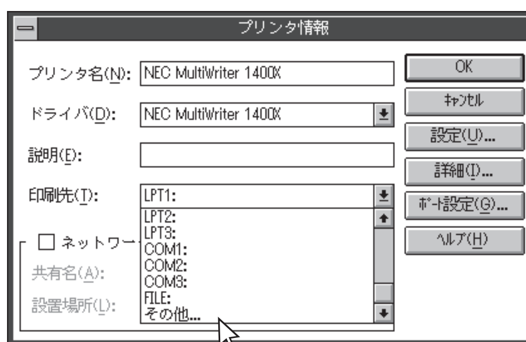


20. [プリンタ]メニューの[プリンタ情報]をクリックする。

[プリンタ情報]ダイアログボックスが表示されます。



21. **[印刷先]コンボボックスから[その他]を選び、[OK]ボタンをクリックする。**



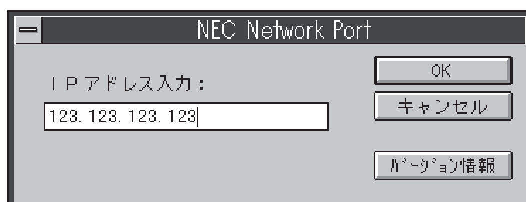
22. **[利用可能な印刷モニタ]リストボックスから[NEC Network Port]を選び、[OK]ボタンをクリックする。**



23. **マルチプロトコルLANボードの「IPアドレス」を入力する。**

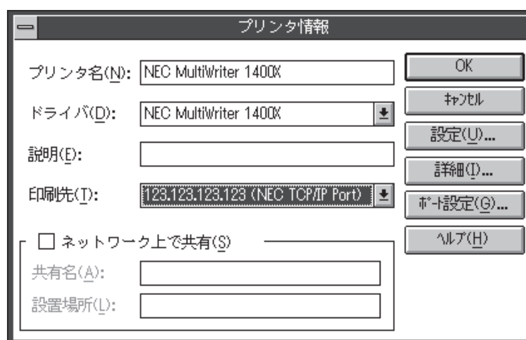
IPアドレス設定の確認は、マルチプロトコルLANボード(PC-PR-L01、PC-PR-L02)取扱説明書をご覧ください。

[OK]ボタンをクリックします。[プリンタ情報]ダイアログボックスに戻ります。



24. **[OK]ボタンをクリックする。**

これで設定は終了です。



インストール方法 ④（ネットワークサーバからインストールするとき）

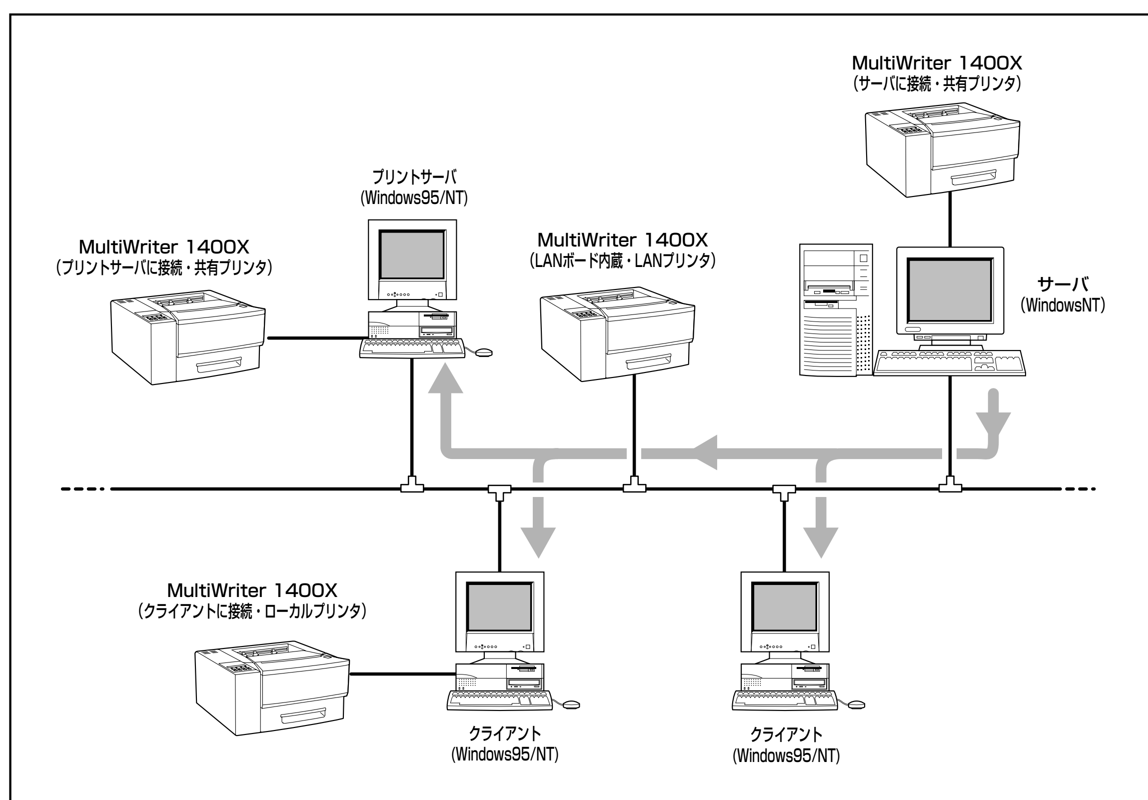
Windows NT3.51 日本語版をネットワークサーバに利用している場合、ネットワークサーバからネットワーククライアントへプリンタソフトウェアCD-ROMを使わないでNMPSソフトウェアをインストールすることができます。

この方法は、まずプリンタソフトウェアCD-ROMのデータをいったんネットワークサーバにコピーし、サーバから必要なOSのNMPSソフトウェアをクライアントにインストールするものです。

ディスクを使って直接各クライアントにインストールする方法に比べて時間と手間が省けます。大規模なネットワーク環境でMultiWriter 1400Xをお使いになる場合、この方法でインストールすることをお勧めします。



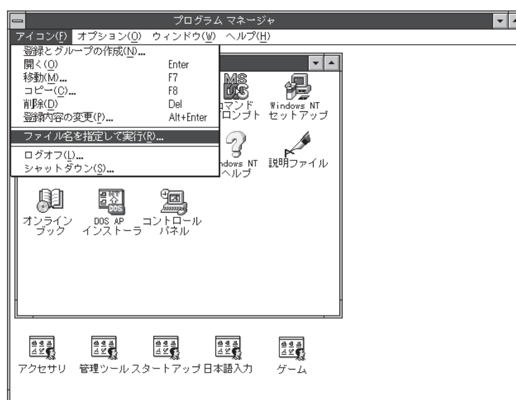
ネットワークサーバからのインストールは、「ネットワーク管理者」が行ってください。



ネットワークサーバのインストール準備

1. **[アイコン]メニューの[ファイル名を指定して実行]をクリックする。**

[ファイル名を指定して実行]ダイアログボックスが表示されます。

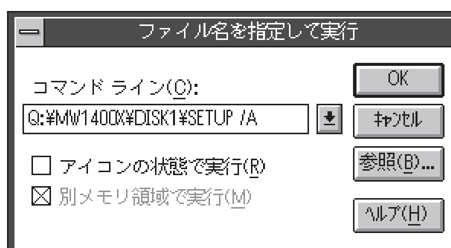


2. **プリンタソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。**

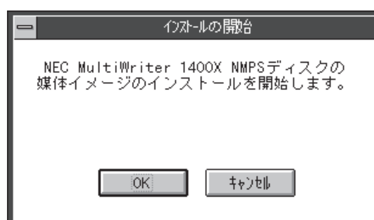
3. **セットアッププログラムを起動する。**

[コマンドライン]ボックスにCD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW1400X¥DISK1¥SETUP/A」と入力し、[OK]ボタンをクリックします。

または[参照]ボタンをクリックして[ファイルの参照]ダイアログボックスより選択してください。

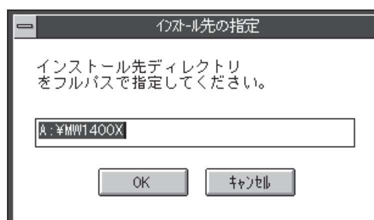


4. **[OK]ボタンをクリックする。**



5. **インストール先を指定する。**

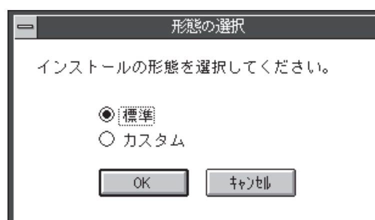
インストール先のディレクトリをフルパスで指定し、[OK]ボタンをクリックします。



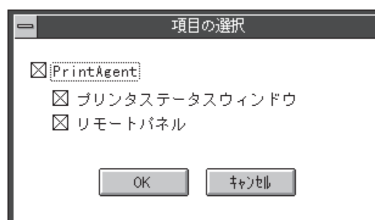
6. インストールの形態を選ぶ。

[標準]はNMPSソフトウェアの全部を選択します。[標準]を選択した場合は手順8に進んでください。

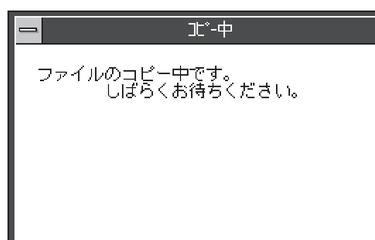
[カスタム]はインストールしたPrintAgentのプログラムを選ぶことができます。[カスタム]を選択した場合は手順7に進んでください。



7. インストールしたい項目をチェックし、[OK]ボタンをクリックする。

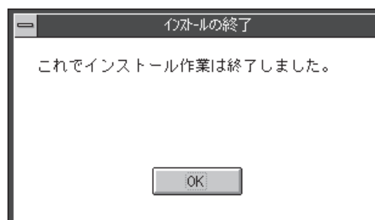


ファイルのコピーが始まります。



8. [OK]ボタンをクリックする。

これでインストールの準備が整いました。



ネットワーククライアントへのインストール

ネットワーククライアントへのインストールは各OSでの方法に従います。ただし、「配布ファイルのコピー元」またはドライバの[コピー元]として、インストール準備したサーバのディレクトリを選んでください。

- Windows 95 日本語版は5ページ以降を参照してください。
- Windows NT4.0 日本語版は57ページ以降を参照してください。
- Windows NT3.51 日本語版は109ページ以降を参照してください。

アンインストールするときは

必要なファイルが削除されてしまったなどでPrintAgentが正常に動かなくなったときはNMPSソフトウェアを再インストールすることがあります。NMPSソフトウェアを再インストールするには、一度既存のNMPSソフトウェアを削除(アンインストール)してから行います。ここでは削除方法を説明します。



- PrintAgentをアンインストールする場合は、実施者が「Administrators」または「Domain Admins」グループのメンバーである必要があります。どちらのメンバーでもない場合は、アンインストールを行うことはできません。
- PrintAgentを削除(アンインストール)する場合は、必ずプリンタドライバを先にアンインストールしてください。プリンタドライバをアンインストールせずにPrintAgentのみアンインストールを行うと正常にアンインストールを終了できない場合があります。
- PrintAgentをインストール時に指定した、PrintAgentモジュールのディレクトリ名(指定しなければ「PrintAgent」になります)を変更している場合、アンインストールは正常に行えません。変更されているディレクトリ名をインストール時のディレクトリ名に戻してからアンインストールを行ってください。
- PrintAgent対応プリンタのプロパティダイアログボックスを表示しているとアンインストールを行えません。ダイアログボックスを閉じてから行ってください。
- どのOSでも1400Xで印刷中はアンインストールを行えません。印刷が終了してからアンインストールを行ってください。
- PrintAgent対応機種が複数インストールされている状態で2000XのPrintAgentをアンインストールすると他の機種のPrintAgentが使用できなくなります。また2200XのPrintAgentをアンイストールすると一部の機能が使用できなくなります。このような場合まず他の機種のPrintAgentをアンインストールしてから2000X/2200Xのアンインストールをし、必要な機種のPrintAgentをインストールし直してください。

プリンタドライバのアンインストール

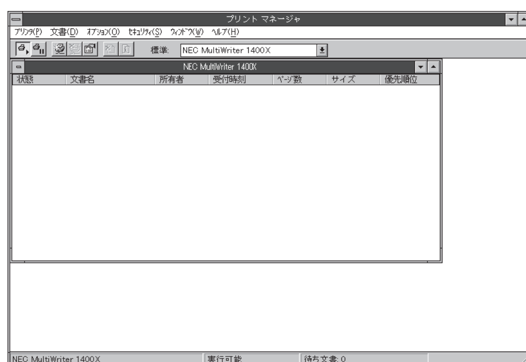
1. [プログラムマネージャ]の[メイン]グループから[プリントマネージャ]をダブルクリックする。

[プリントマネージャ]ウィンドウが表示されます。



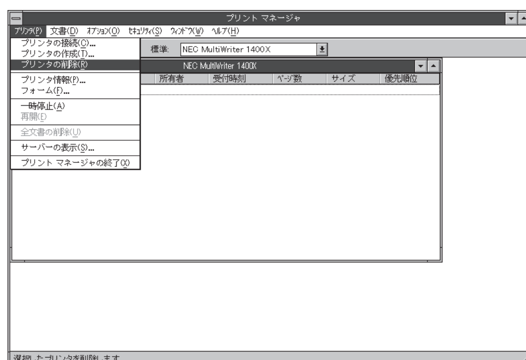
2. [MultiWriter 1400X]アイコンをダブルクリックする。

[MultiWriter 1400X]ウィンドウが表示されます。



3. [プリンタ]メニューの[プリンタの削除]をクリックする。

MultiWriter 1400Xプリンタドライバが削除されます。



PrintAgentのアンインストール

1. プログラムマネージャ中の[MultiWriter 1400X]グループ内の[PrintAgentアンインストーラ]アイコンをダブルクリックする。

アンインストールプログラムが起動します。

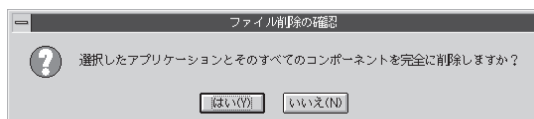


2. [OK]ボタンをクリックする。

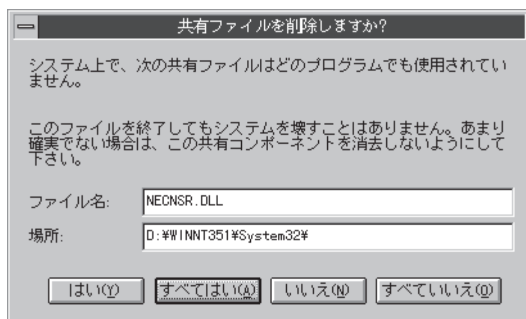
次の[ファイル削除の確認]ダイアログボックスを表示するまでに、1〜2分要することがあります。



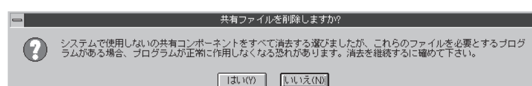
3. [はい]ボタンをクリックする。



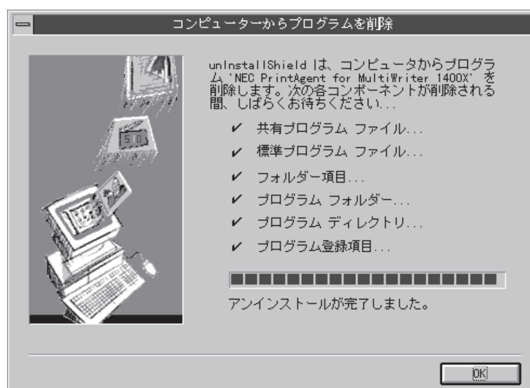
4. [すべてはい]ボタンをクリックする。



5. [はい]ボタンをクリックする。



6. アンインストールが完了したら[OK]ボタンをクリックする。



7. Windows NTを再起動させる。

印刷の設定

ここではNMPSソフトウェアを使った印刷の設定のしかたと実行の手順について説明します。

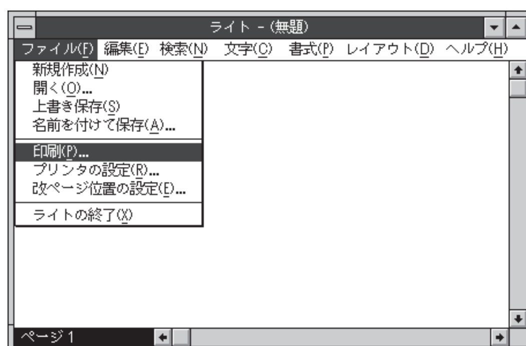
印刷の手順

一般的な印刷の手順をWindows NT3.51に付属されている日本語ワードプロセッサ「ライト」を例にとって説明します。任意のライト文書を表示させて次の手順を確認してください。

お使いになるアプリケーションによってはメニュー構成など多少異なる点があるかもしれません。詳細はアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

1. **「ファイル」メニューの「印刷」をクリックする。**

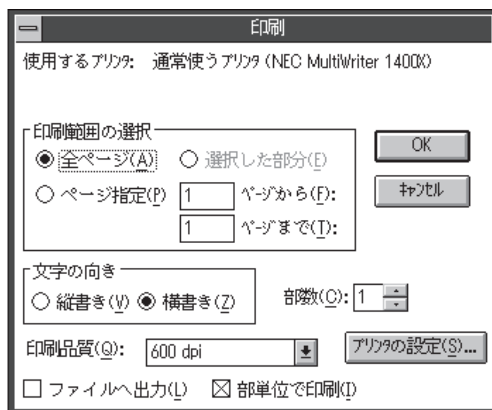
   「印刷」ダイアログボックスが開きます。



2. **「使用するプリンタ：」として「通常使うプリンタ(NEC MultiWriter 1400X)」が選択されていることを確認する。**

   もし選択されていなければ選択し直します。

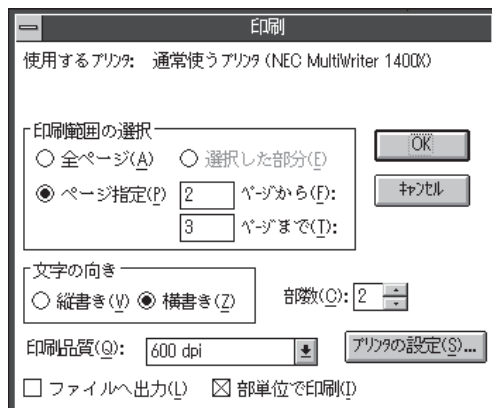
   →「プリンタを選択する」参照(138ページ)



3. **印刷範囲、部数を指定する。**

   さらに詳しい設定をしたい場合は[プリンタの設定]ボタンおよび[プロパティ]ボタンをクリックし、「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスを開き、設定を行ってください。

   →詳細については「印刷の詳細設定を行う」(139ページ)をご覧ください。

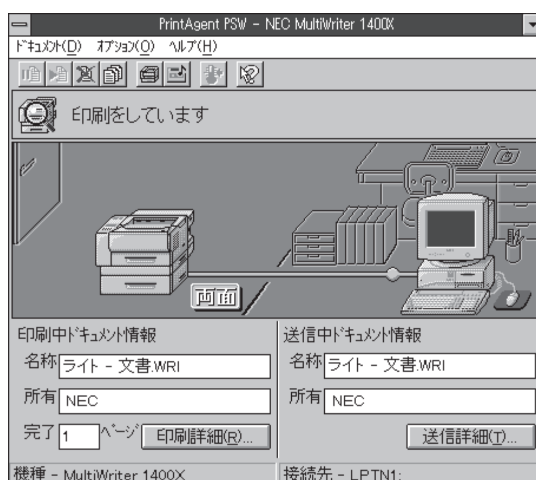


4. 印刷の設定が終わったら[OK]ボタンをクリックする。

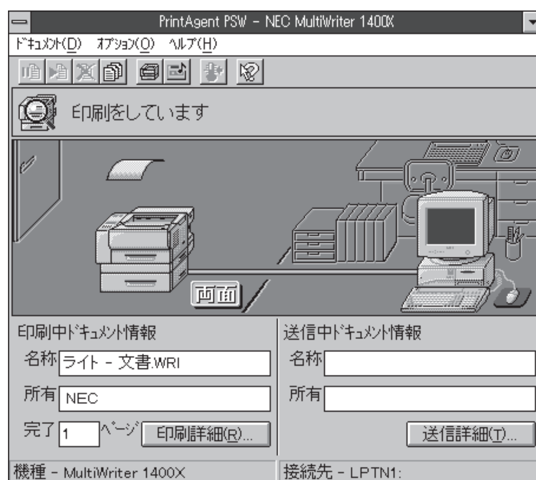
印刷が開始されると画面上にこのような「**プリンタステータスウィンドウ**」が現れます。

プリンタステータスウィンドウは印刷の状態をアニメーション表示したり、印刷中止を指令することができます。

→「プリンタステータスウィンドウ」(191ページ)参照



印刷が終了するとプリンタステータスウィンドウは「印刷を終了しました」の音声メッセージを通知してウィンドウを閉じます。



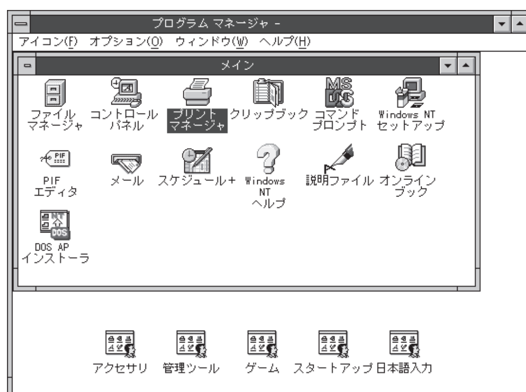
プリンタを選択する

Windows NT3.51から印刷をするために、あらかじめMultiWriter 1400Xを「通常使うプリンタ」として選択しておく方法を説明します。



お使いになっているアプリケーションによっては「プリンタの設定」ダイアログボックスを使ってMultiWriter 1400Xを「通常使うプリンタ」として選択することができます。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

1. [プログラムマネージャ]の[メイン]グループにある[プリントマネージャ]をダブルクリックする。



2. ツールバーの「標準：」コンボボックスから「NEC MultiWriter 1400X」を選ぶ。

プリンタドライバがインストールされていないと「NEC MultiWriter 1400X」は表示されません。



印刷の詳細設定を行う

Wndows NT3.51では以下の2つの「プロパティ」ダイアログボックスで行います。

■ 「デバイスプロパティ」ダイアログボックス

プリンタの物理的な設定をするプロパティダイアログボックスです。次の2枚のプロパティシートからなります。このダイアログボックスはアプリケーションからでは表示されません。



- 「プリンタの設定」シート
- 「プリンタの構成」シート

■ 「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックス

印刷の詳細な設定をするダイアログボックスです。次の7枚のプロパティシートからなります。



- 「用紙」シート
- 「レイアウト」シート
- 「グラフィックス」シート
- 「フォント」シート
- 「印刷品質」シート
- 「フォーム」シート
- 「プリンタの状態」シート

ダイアログボックスの開き方

プリンタのプロパティダイアログボックスを呼び出す方法は次の2通りあります。

- アプリケーションのメニューから呼び出す方法
- Windows付属の「プリントマネージャ」を使って呼び出す方法



一般的に「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスは各アプリケーションのメニューから呼び出してから開けます。ただし、アプリケーションから呼び出せるのは、印刷の詳細設定を行う「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックスだけです。また、設定はそのアプリケーションでのみ有効です。
これに対して「プリントマネージャ」から呼び出して設定した場合、その設定内容はすべてのアプリケーションに有効です。

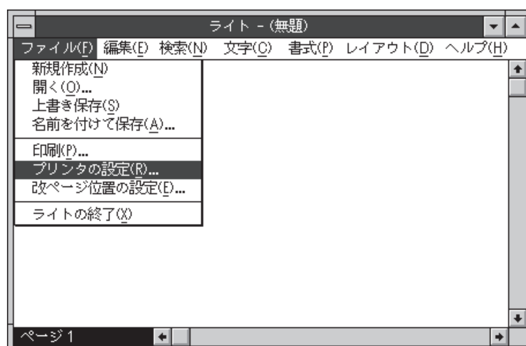
アプリケーションから呼び出す

Windowsのアプリケーションから「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックスを呼び出す場合、「印刷」コマンドか「プリンタの設定」コマンドを使います。このコマンドは「ファイル」メニューの中にありますが、「ファイル」メニューの構成はアプリケーションによって違います。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

ここでは印刷の操作手順をWindows NT3.51に付属されている日本語ワードプロセッサ「ライト」を例にとって説明します。任意のライト文書を表示させて次の手順を確認ください。

1. [ファイル]メニューの[プリンタの設定]をクリックする。

「プリンタの設定」ダイアログボックスが開きます。



2. 「プロパティ」ボタンをクリックする。

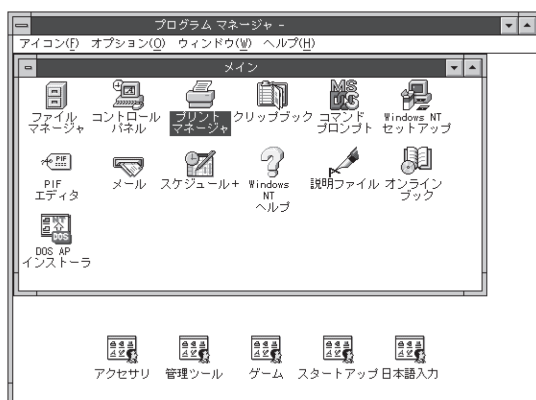


このような「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。



「プリントマネージャ」を使って呼び出す

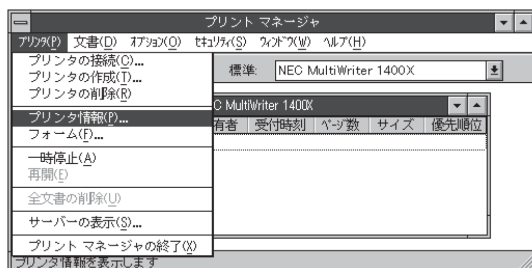
1. **[プログラムマネージャ]の[メイン]グループの中の[プリントマネージャ]をダブルクリックする。**



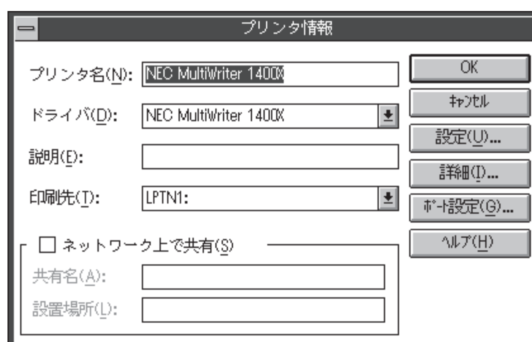
2. **「プリンタ」メニューの「プリンタ情報」をクリックする。**

「プリンタ情報」ダイアログボックスが表示されます。

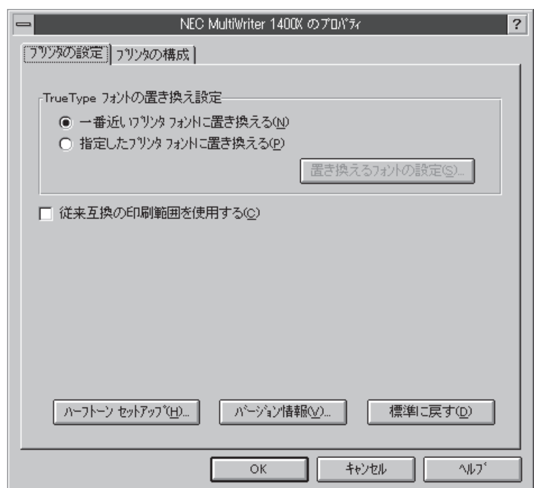
「デバイスプロパティ」ダイアログボックスを開きたい場合は手順3を、「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックスを開きたい場合は手順4および5を行ってください。



3. **[設定]ボタンをクリックして、「デバイスプロパティ」ダイアログボックスを開く。**

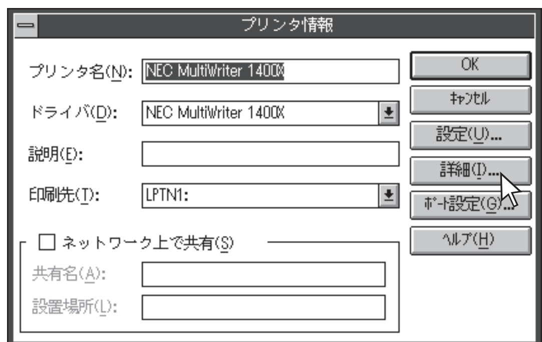


このような「デバイスプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

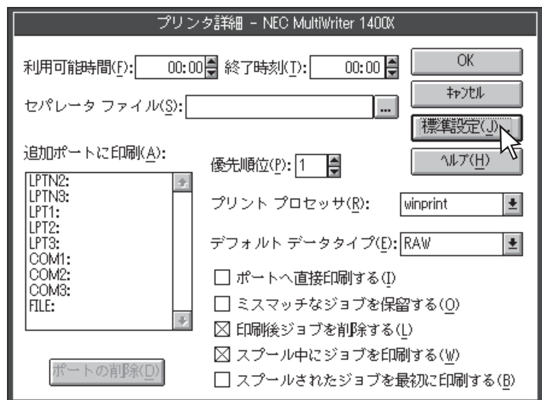


4. **「詳細」ボタンをクリックする。**

「プリンタ詳細」ダイアログボックスが表示されます。



5. **［標準設定］ボタンをクリックする。**



このような「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。



ダイアログボックスの使い方

[閉じる]ボタン
ダイアログボックスが閉じます。

スクロールバー
バーをプレスして左右に動かすとその動きに合わせてウィンドウ内の内容がスクロールします。

[ヘルプ]ボタン
クリックし目的の項目をクリックすると項目の説明を表示できます。または画面上の項目を直接、右ボタンでクリックしても同じ説明を表示できます。

アイコンボタン
希望のボタンをクリックすることにより項目を選択できます。選択できるのは1つだけです。

コンボボックス
▼ボタンをクリックすると選択肢の一覧が表示されます。さらに希望の項目をクリックすることにより選択できます。

スピンボックス
▲▼ボタンをクリックすると数字が増減します。

[標準に戻す]ボタン
現在開いているプロパティシート上の設定を出荷時の設定に戻します(「ドキュメントプロパティ」のみ表示)。

チェックボックス
希望のボックスをクリックすることにより項目を選択できます。ボックスの中に印がある状態が“ON”状態です。一度に複数の項目が選択できます。

[OK]ボタン
設定した内容を保存してダイアログボックスを閉じます。

[キャンセル]ボタン
設定した内容を保存せずにダイアログボックスを閉じます。

[ヘルプ]ボタン
プリンタドライバのヘルプ画面が表示されます。ヘルプの使い方、希望のキーワードの説明を表示します。

デバイスプロパティの詳細

各プロパティシートのそれぞれの項目についての詳細は、プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックを行うことによりヘルプでも説明されています。



このプロパティシートはアプリケーションから呼び出して表示させることはできません。プログラムマネージャを使って呼び出してください。

[プリンタの設定]シート



このプロパティシートはフォントの置き換えなどプリンタの設定を行うものです。
[ハーフトーンセットアップ]ボタンをクリックすることにより、さらに「デバイスカラー/ハーフトーンのプロパティ」ダイアログボックスを表示することができます。

「TrueTypeフォントの置き換え設定」

TrueTypeフォントの置き換え方法を設定することができます。

- 一番近いプリンタフォントに置き換える
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを書体が似ているプリンタフォントに置き換えます。

True Typeフォント	→	プリンタフォント
MS明朝	→	明朝
MSゴシック	→	ゴシック

- 指定したプリンタフォントに置き換える
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを[置き換えるフォントの設定]ボタンによって設定したプリンタフォントに置き換えます。

[置き換えるフォントの設定]ボタン

置き換えるﾌｫﾝﾄの設定(S)...

次のダイアログボックスを使って置き換えるプリンタフォントを設定します。それぞれフォントを選択して[OK]ボタンをクリックすることで置き換えが設定されます。
[標準に戻す]ボタンをクリックするとフォントの置き換えに関する設定を標準設定に戻すことができます。

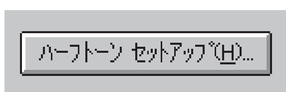




フォントの置き換えについて
文字セットが異なるフォント、デザインが著しく異なるフォントへの置き換えは行わないでください。期待どおりの印刷結果にならない場合があります。またOCR-Bフォントを使用する場合はプリンタソフトウェアCD-ROMの[MANUAL]の「疑似OCR-Bフォントについて」をご覧ください。

- 従来互換の印刷範囲を使用する
  印刷範囲を以前のMultiWriterシリーズのプリンタと同じ印刷範囲に設定する場合に選択します。

[ハーフトーンセットアップ]ボタン

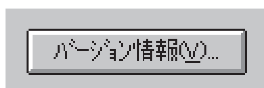


クリックすると右のダイアログボックスが表示され、ハーフトーンと白の明るさの設定を行います。



- ハーフトーンのパターン
  ハーフトーンパターンのセルサイズを設定することができます。
- デバイスガンマ
  デバイスのガンマ補正を行うことができます。
- ピクセルの大きさ
  ピクセルの大きさを設定することができます。
- 輝度
  白の明るさの値を調整することができます。
- [リセット]ボタン
  クリックするとダイアログボックスの設定を、ダイアログボックスが表示されたときの状態に戻します。
- [標準値]ボタン
  クリックするとダイアログボックスの設定を標準の値に戻します。

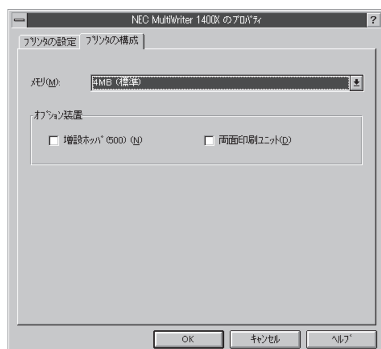
[バージョン情報]ボタン



クリックすると本プリンタドライバのバージョン情報が表示されます。



[プリンタの構成]シート



このプロパティシートはプリンタの構成を表示・設定するものです。
プリンタとコンピュータで双方向通信が行われているとプリンタに装着されているカード、メモリ、オプション装置が表示されます。双方向通信ができない場合はそれぞれ表示される項目から選択し、プリンタの構成を設定します。

「メモリ」

- 4MB(標準)
- 12MB(標準+8MB)
- 20MB(標準+16MB)
- 36MB(標準+32MB)

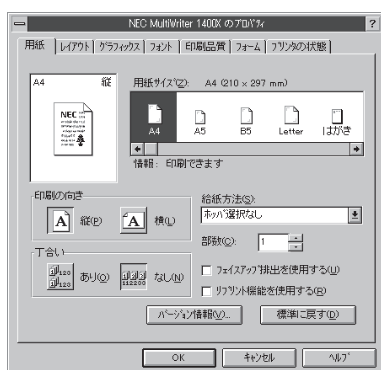
「オプション装置」

- 増設ホッパ(500)
- 両面印刷ユニット

ドキュメントプロパティの詳細

各プロパティシートのそれぞれの項目についての詳細は、プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックを行うことによりヘルプでも説明されています。

[用紙]シート



このプロパティシートは印刷する用紙に関する設定を行うものです。

「用紙サイズ」

印刷する用紙サイズ、縮小・拡大サイズを選択できます。リストボックス内の用紙アイコンをクリックして選択します。

> アプリケーションによっては縮小・拡大が正しく印刷されないものがあります。

「印刷の向き」

ページを縦長(ポートレート)か横長(ランドスケープ)で使用するかを設定します。枠内の用紙アイコンをクリックして選択します。

「丁合い」

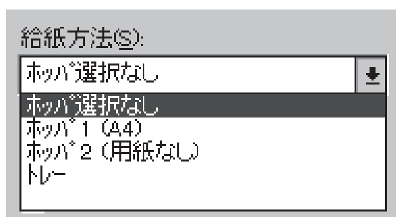
複数の部数を指定した場合、丁合いの有無が有効になります。この機能をご利用になるためにはPrintAgentのインストールが必要です。クライアント・サーバシステムにおいてはクライアント、サーバともにPrintAgentのインストールが必要です。さらに

「PrintAgentのプロパティ」においてクライアントでは「共有プリンタを利用する」が、サーバでは「共有プリンタを提供する」がチェックされている必要があります。



アプリケーションの印刷機能で丁合いの指定ができる場合がありますが、アプリケーション独自の機能で実現するため、この「用紙」シートの設定とは連動しません。
丁合いを利用する場合は、アプリケーションとこの「用紙」シートのどちらか一方のみ指定してください。
この「用紙」シートで設定した場合は、NMPSの機能を利用するため、アプリケーションの処理が各ページにつき1回で済むため、アプリケーションは早く解放されます。

「給紙方法」



給紙先ホッパをコンボボックスから選択します。コンボボックスには使用できる給紙方法が表示されます。「ホッパ選択なし」にしておくと、選択されている用紙サイズがセットされているホッパから自動的に給紙されます。リレー給紙がONの場合はトレーからも給紙できます。

「部数」

印刷時の部数（コピー枚数）を指定することができます。1〜99枚まで設定可能です。



アプリケーションの印刷機能で部数を設定できる場合があります。アプリケーション側で設定できる場合は、アプリケーション側で設定するようにしてください。

「フェイスアップ排出を使用する」

印刷面を上にして装置背面に印刷結果を排出をするかしないかを切り替えます。

「リプリント機能を使用する」

リプリント機能を使用するかしないかを選択します。リプリント機能については「リプリントの実行」(221ページ)をご覧ください。

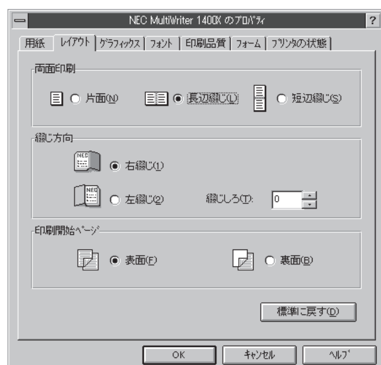
[バージョン情報]ボタン



クリックすると本プリンタドライバのバージョン情報が表示されます。



[レイアウト]シート



このプロパティシートは両面印刷に関する設定を行うものです。
両面印刷の詳細については「両面印刷の手順」(154ページ)をご覧ください。

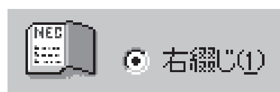
> [用紙]シートの[用紙サイズ]で「A4」、「Letter」以外が選択されている場合、[給紙方法]で「トレー」が選択されている場合、[プリンタの構成]シートで「両面印刷ユニット」が選択されていない場合には両面印刷はできません。

「両面印刷」

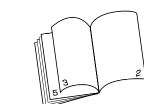
両面印刷の種類を選択できます。「片面」、「長辺綴じ」、「短辺綴じ」から選択できます。

「綴じ方向」

用紙の綴じ方向を設定します。「用紙」シートで設定されている印刷の向きと「両面印刷」の設定によって次のように指定されます。



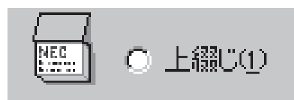
- 右綴じ



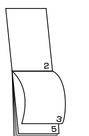
「印刷の向き」が「縦」で、「長辺綴じ」を選んでいると1ページ目の右側を綴じる。



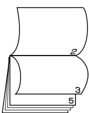
「印刷の向き」が「横」で、「短辺綴じ」を選んでいると1ページ目の右側を綴じる。



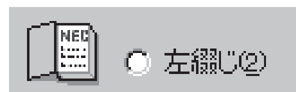
- 上綴じ



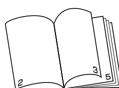
「印刷の向き」が「縦」で、「短辺綴じ」を選んでいると1ページ目の上側を綴じる。



「印刷の向き」が「横」で、「長辺綴じ」を選んでいると1ページ目の上側を綴じる。



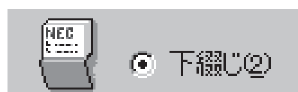
- 左綴じ



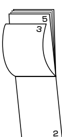
「印刷の向き」が「縦」で、「長辺綴じ」を選んでいると1ページ目の左側を綴じる。



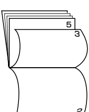
「印刷の向き」が「横」で、「短辺綴じ」を選んでいると1ページ目の左側を綴じる。



- 下綴じ



「印刷の向き」が「縦」で、「短辺綴じ」を選んでいると1ページ目の下側を綴じる。



「印刷の向き」が「横」で、「長辺綴じ」を選んでいると1ページ目の下側を綴じる。

綴じしろ



綴じしろ（綴じ側のマージン）を設定します。0〜20mmまで設定できます。「長辺綴じ」または「短辺綴じ」が設定されているときのみ可能です。

「印刷開始ページ」

両面印刷の1ページ目を印刷するかどうかを設定します。「裏面」を選択すると1ページ目を表紙用に白紙にして裏面から印刷します。

[グラフィックス]シート



このプロパティシートは印刷解像度やグラフィックスデータに関するプリンタの処理の設定を行うものです。

「解像度」

解像度を600dpi、300dpiから選択できます。

「ブラシパターンを拡大する」

解像度に合わせてブラシパターンの大きさを変える機能です。600dpi、300dpiの解像度では網掛けパターンを3倍に拡大して印刷します。またアプリケーションによっては効果がないことがあります。

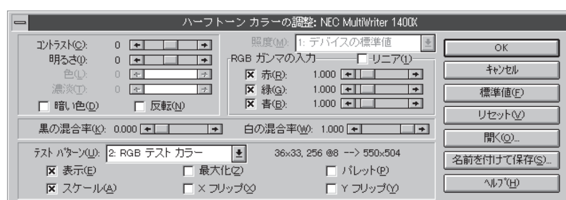
「すべてビットマップで印刷する」

文字、図形などをすべてビットマップで印刷できます。



[ハーフトーンカラーの調整]ボタン

クリックすると右のダイアログボックスが表示され、ハーフトーンと白の明るさの設定を行います。





> 設定できる項目はプリンタによって異なります。カラー印刷に適用される項目はMultiWriter 1400Xのようなモノクロプリンタでは無効です。

- 照度
  照度を調整して、イメージの表示を調整します。
- コントラスト
  明暗の色調の差を調整することができます。
- 明るさ
  光の輝度を調整することができます。

- 色
  色の鮮やかさを調整することができます。
- 濃淡
  色合いを調整することができます。
- 暗い色
  露出過度のグラフィックを調整することができます。
- 反転
  色を反転することができます。
- RGBガンマの入力
  入力イメージの明るさのアンバランスを修正することができます。赤、緑、青をまとめて調整するときは、それぞれのボックスをチェックします。個別に調整するときは希望のボックスのみチェックします。「リニア」ボックスをチェックすると入力イメージに等しい明るさを設定できます。
- 黒/白の混合率
  モノクロの混合率により、イメージの最も暗い点から明るい点までの範囲を設定することができます。
- テストパターン
  参照色またはグラフィックを選択することができます。
- 表示
  テストパターンで選択した参照色またはグラフィックを表示させます。
- 最大化
  フルスクリーンを使ってグラフィックを表示させます。
- パレット
  グラフィックのカラーパレットを表示させます。
- スケール
  グラフィックを元の比率で表示させます。
- Xフリップ
  イメージを水平軸に沿って反転させます。
- Yフリップ
  イメージを垂直軸に沿って反転させます。
- [標準値]ボタン
  クリックするとダイアログボックスの設定を標準の値に戻します。
- [リセット]ボタン
  クリックするとダイアログボックスの設定を、ダイアログボックスが表示されたときの状態に戻します。
- [開く]ボタン
  クリックするとグラフィックファイルを選択することができます。
- [名前を付けて保存]ボタン
  クリックすると開いたグラフィックファイルを保存します。

[フォント]シート



このプロパティシートはTrueTypeフォントに関する設定を行うものです。

「TrueTypeフォント」

TrueTypeフォントの印刷方法を設定することができます。

- そのまま印刷
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントイメージをそのまま印刷します。

- プリンタフォントに置き換えて印刷
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを「プリンタの構成」プロパティシートによって設定したプリンタフォントで印刷します。



フォントの置き換えについて
文字セットが異なるフォント、デザインが著しく異なるフォントへの置き換えは行わないでください。期待どおりの印刷結果にならない場合があります。またOCR-Bフォントを使用する場合はプリンタソフトウェアCD-ROMの[MANUAL]をご覧ください。

「文字を白黒で印刷する」

文字の色を、グレイを使わずに、白か黒のどちらかで印刷します。

「OCR文字の文字ピッチを固定する」

OCR文字をOCRで読み取れるよう文字ピッチを固定して印刷します。

[印刷品質]シート



このプロパティシートは印刷品質に関する設定を行うものです。

「SET機能」

SET機能を使用するかしないかを選択します。SET機能を使用するとテキストやグラフィックのエッジのギザギザをなくし、画質を向上させることができます。

「トナー節約機能」

トナー節約モードを使用するかしないかを切り替えます。



トナー節約機能を使用すると、細い線、濃度の薄い印刷、網かけおよびグラデーションが不鮮明になることがあります。本機能は試し印刷などにご使用ください。また、1400Xは内蔵の疑似OCR-Bフォントの印刷もできますが、疑似OCR-Bフォントの印刷を行う場合にはトナー節約機能は使用しないでください。印刷がかすれ、OCR読み取り装置が読み取りエラーを起こすことがあります。

「印刷濃度の設定」

印刷濃度を5段階の中からスライドバーで設定します。EPカートリッジおよび装置ごとの濃度のバラツキを吸収するための設定です。通常の濃度設定は[グラフィックス]シートの[ハーフトーンカラーの調整]で行ってください。

[フォーム]シート



このプロパティシートの設定はフォーム印刷を利用しているときに使用できます。

フォーム印刷とは見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データと重ね合わせて印刷することです。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要です。

「フォーム印刷」

フォーム印刷をする場合、「ファイル」コンボボックスから使用したいフォームファイルを選びます。コンボボックスに希望のファイルがない場合は[ファイル参照]ボタンをクリックして他の場所のファイルを参照することができます。

「ファイル情報」

選択したフォームファイルの情報を表示します。

[プリンタの状態]シート



このプロパティシートは現在のプリンタの状態を表示するものです。
プリンタの状態を次の項目で表示し、使用できる給紙装置*についてはイラストで表示されます。

- プリンタ名
- 解像度
- メモリ*
- プリンタの状態(印刷可能かどうか)

* プリンタとコンピュータで双方向通信が行われてないときは「プリンタ設定」ダイアログボックスの設定が表示されます。

[ウォームアップ開始]ボタン



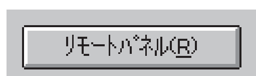
印刷を開始する前にボタンをクリックしておくと、あらかじめプリンタのウォームアップが開始され、ウォームアップによる待ち時間が少なくなります。ただし本機能はウォームアップが終了すると解除されますのであまり長い間(5分程度)放置すると印刷開始に効果がありません。

[PSW]ボタン



[PSW]ボタンはPrintAgentをインストールしている場合に有効です。ボタンをクリックするとプリンタステータスウィンドウ(PSW)を起動させることができます。

「リモートパネル」ボタン



[リモートパネル]ボタンはPrintAgentをインストールし、かつ使用権限のある場合でのみ有効です。このボタンをクリックするとリモートパネルが起動し、プリンタを設定変更することができます。詳細については「リモートパネル」(198ページ)をご覧ください。

使用権限の詳細は「PrintAgentヘルプ」で「プリンタのアクセス権とご利用になれるユーティリティ」および「セキュリティ」をご覧ください。



プリンタステータスウィンドウやリモートパネルが起動しない場合は、PrintAgentソフトウェアが正常にインストールされていないことが考えられます。この場合Windows NT3.51の「プログラムマネージャ」の中にある「MultiWriter 1400X」グループ内の「PrintAgentアンインストーラ」を使っていったんプリンタソフトウェアをすべて削除(アンインストール)して、再びインストールしてください。詳細については134ページをご覧ください。

両面印刷の手順

MultiWriter 1400XはオプションのPR-L1400X-04 両面印刷ユニットを装着することにより両面印刷が可能になります。この機能はホッパ給紙のA4、レターサイズの普通紙を選択しているときに可能です。
A5、B5、はがきが選択されている場合は使用できません。用紙に関してはユーザーズマニュアル[1/2]の「用紙の規格」をご覧ください。



ユーザーズマニュアル[1/2]で指定している用紙を使用してください。また、両面印刷で使用する用紙は両面とも印刷されていない用紙です。指定以外の用紙を使って印刷をしたり、すでに印刷されている用紙をセットして両面印刷をすると紙づまりやプリンタの故障の原因となります。

両面印刷を行う印刷データが非常に複雑な場合、または両面印刷を行う用紙サイズがB4→A4、A3→A4サイズのように大きい場合は両面印刷が片面印刷になったり、表面が白紙になったりして正しく印刷できないことがあります。その場合には、メモリを増設しページプロテクトをONに設定することで解決できます。どの程度メモリを増設すればよいかは以下に示す一覧表を参照してください。

両面印刷時の必要メモリ容量

ページプロテクト	片面／両面	プリンタのメモリ			
		4MB（標準）	12MB（+8MB）	20MB（+16MB）	36MB（+32MB）
OFF	片面	○	◎	◎	◎
	両面	△	○	○	◎
ON	片面	—	◎	◎	◎
	両面	—	◎	◎	◎

◎：　印刷可能
○：　印刷可能（圧縮率2/5での印刷は保証。ただし、データの内容によって「メモリオーバー」「インサツフカ」になる場合があります）
△：　両面印刷が不可の場合がある（片面印刷になる）
－：　設定不可

両面印刷ユニットを装着後、次の手順で両面印刷の設定をします。

1.「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックスで用紙シートの設定をする。

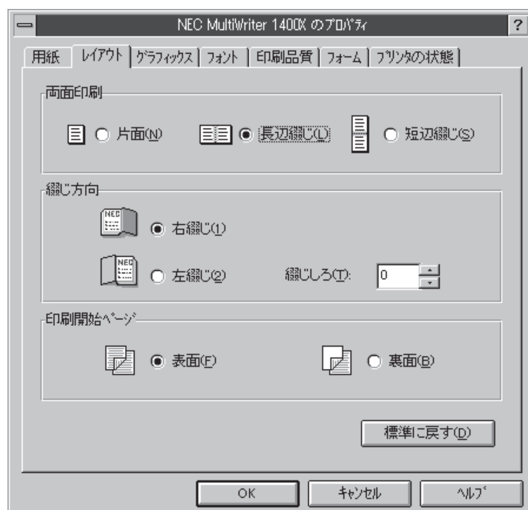
- 両面印刷できる用紙サイズはA4とレターサイズだけです。
- トレーからの給紙はご利用になれません。
- アプリケーションで部数を設定できる場合はアプリケーションで設定してください。
- 複数の部数を指定した場合「丁合い」機能をご利用になれます。
- PrintAgentのプロパティが「リプリント機能を提供する」になっていれば「リプリント」機能が利用できます。



2. **「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックスでレイアウトシートの設定をする。**

- 「長辺綴じ」または「短辺綴じ」を選びます。
- 用紙の綴じ方を4つの方式から選びます。
- 綴じしろを0〜20ミリの範囲で指定できます。
- 「印刷開始ページ」で「裏面」を選ぶと1ページ目を白紙にして2ページ目から印刷を始めます。

本シートの設定内容の詳細は148ページ参照。



3. **アプリケーションの印刷ダイアログボックスで指定範囲、印刷部数を指定し、印刷を開始する。**



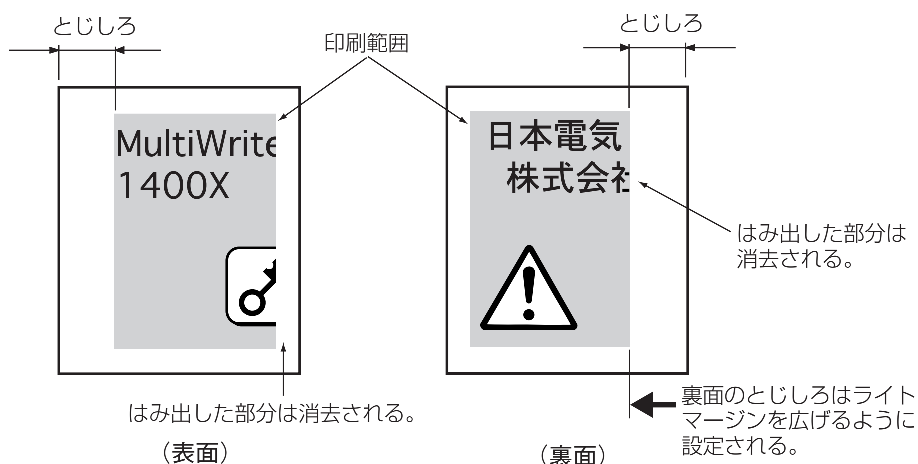
両面印刷のヒント

両面印刷する際に役に立つ情報を説明します。

クリッピング機能について

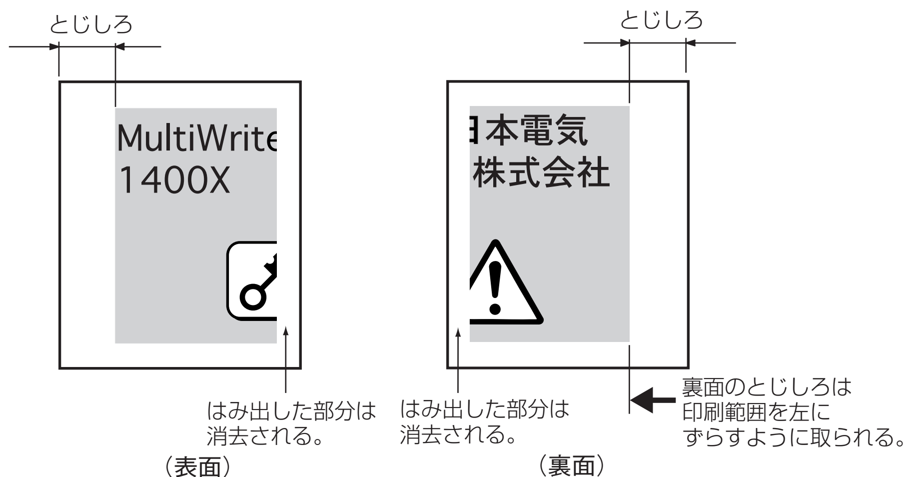
とじしろ(とじ側の余白)を多く取り過ぎると印刷データが用紙の印刷範囲を超えてしまう場合があります。クリッピング機能を利用すると、印刷範囲からはみ出した文字を次の行に印刷するか、はみ出した分を消去してそのまま残りのデータを印刷するかを選択できます。クリッピング機能はメニューモード(ユーザーズマニュアル[1/2]を参照)またはリモートパネル(198ページ)で設定できます。

「クリップ」をOFFにすると印刷範囲をはみ出した部分が消去されます。両面印刷時の裏面は、とじしろにかかった右側部分が消去されます。MS-DOSプロンプト上の印刷やアプリケーションによっては、印刷結果が異なる場合があります。詳細は207ページの「クリップ機能を使用する」を参照してください。



クリッピングOFF

「クリップ」をONにすると、やはり印刷範囲をはみ出した部分は消去されます。しかし両面印刷時の裏面は、とじしろが印刷範囲を左にずらすように設定されるので、レフトマージンにかかった部分が消去されます。



クリッピングON

ページプロテクト機能について

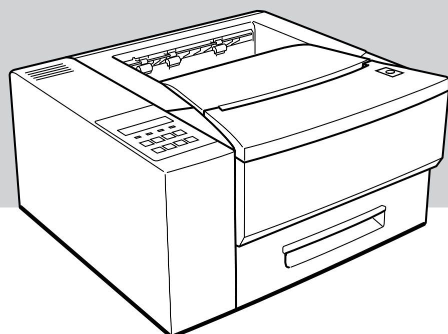
ページプロテクト機能はプリンタが受信した印刷データをメモリにどのように蓄えるかを設定するものです。ページプロテクト機能はリモートパネル(198ページ参照)かメニューモードで設定できます(ユーザーズマニュアル[1/2]参照)。

設定を「OFF」にすると、印刷データは圧縮されてメモリに蓄えられます。印刷データによるメモリ消費が少なくなり、メモリを他の処理に有効に使用できるため処理性能が向上します。しかし両面印刷設定の場合、メモリ容量が大きいのでプリンタは操作パネルに"メモリオーバー"あるいは"インサツフカ"を表示し印刷を中止したり、印刷結果が不正になることがあります。

設定を「ON」にすると、印刷データは圧縮処理されない状態で、メモリに蓄えられます。このためどんなに複雑なデータであっても、メモリオーバーあるいはインサツフカで印刷を中止することなく、印刷することができます。ただし、両面印刷の場合最低8MBの増設が必要です(154ページのメモリ容量表を参照)。

メモリを増設しても、よほどデータの内容が簡素なものでないかぎり「ページプロテクト」はONにして両面印刷することをお勧めします。

Windows 3.1 日本語版をお使いの場合



NMPSソフトウェアをインストールする

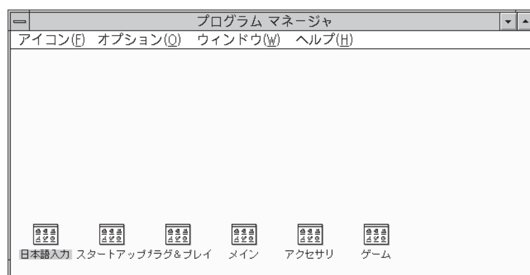
ここでは、Windows 3.1 日本語版にプリンタドライバをインストールして、プリンタを指定するまでの方法について説明します。



本書ではCD-ROMを使った手順で説明しています。プリンタソフトウェアCD-ROMから作成したプリンタソフトウェアディスクを使用してインストールをする場合、インストールの途中でフロッピィディスクの交換を求める画面が表示されることがあります。その場合は画面の指示に従ってフロッピィディスクの入れ替えを行ってください。

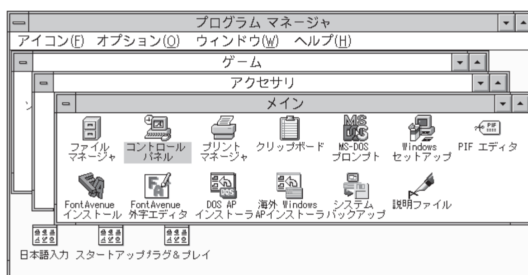
1. Windows 3.1 日本語版を起動する。

MultiWriter 1400Xの電源をONにしてから、コンピュータの電源をONにしてください。



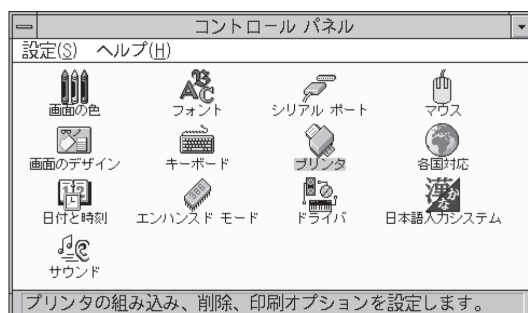
2. **プログラムマネージャ中の[メイン]グループ内の[コントロールパネル]をダブルクリックする。**

[コントロールパネル]フォルダが開きます。

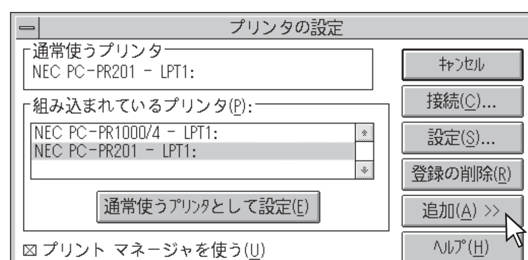


3. **[プリンタ]アイコンをダブルクリックする。**

[プリンタの設定]ダイアログボックスが表示されます。

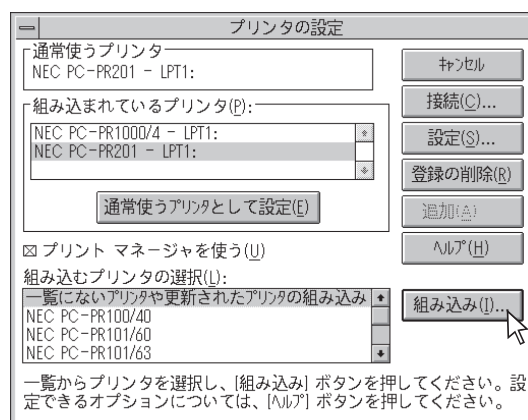


4. **[追加 >>]ボタンをクリックする。**

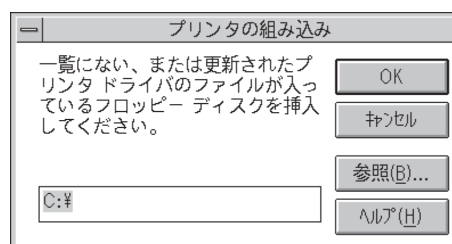


5. **[組み込むプリンタの選択]一覧から「一覧にないプリンタや更新されたプリンタの組み込み」を選択し、[組み込み]ボタンをクリックする。**

[プリンタの組み込み]ダイアログボックスが表示されます。



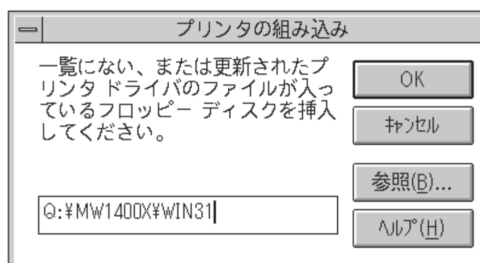
6. **プリンタソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。**



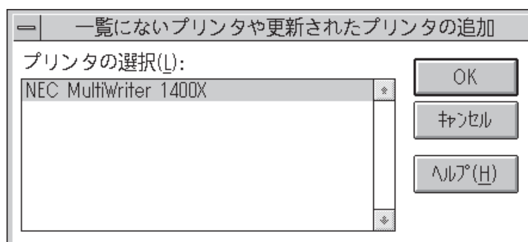
7. ドライバファイルを指定する。

テキストボックスにCD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)に続けて「¥MW1400X¥WIN31」と入力し、[OK]ボタンをクリックします。

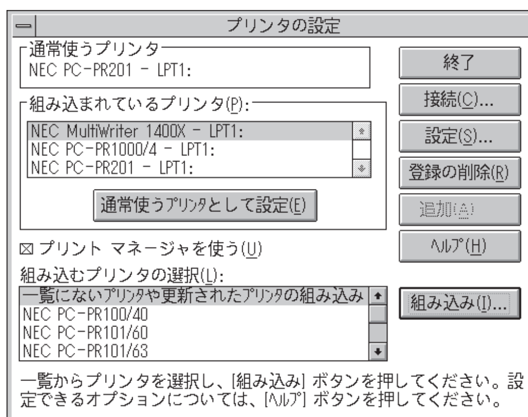
または[参照]ボタンをクリックしてCD-ROMを挿入したドライブを指定し、[ディレクトリ]の中から「MW1400X」の下にある「WIN31」を指定し、[OK]ボタンをクリックします。



8. [プリンタの選択]一覧から「NEC MultiWriter 1400X」を選択し、[OK]ボタンをクリックする。

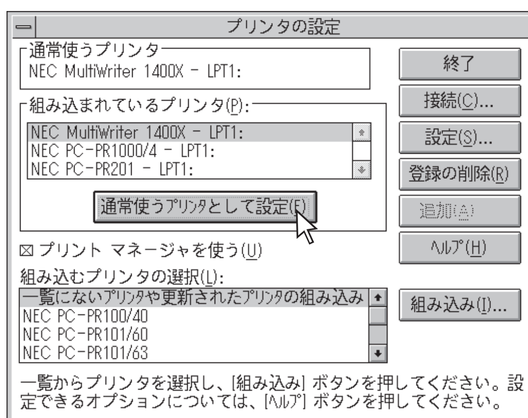


9. [組み込まれているプリンタ]に「NEC MultiWriter 1400X」が表示されていることを確認する。



10. [通常使うプリンタとして設定]ボタンをクリックする。

11. [終了]ボタンをクリックする。



アンインストールするときは

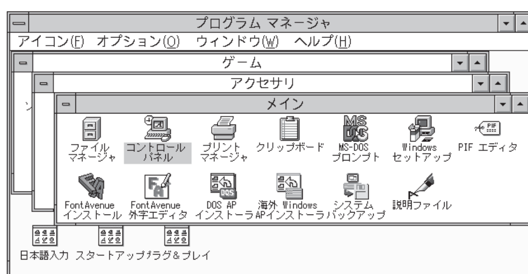
必要なファイルが削除されてしまったなどでプリンタが正常に動かなくなったときはNMPSソフトウェアを再インストールすることがあります。NMPSソフトウェアを再インストールするには、一度既存のNMPSソフトウェアを削除(アンインストール)してから行います。ここでは削除方法を説明します。



1400Xが通常印使うプリンタに設定されている場合は、すべてのアプリケーションを終了してからアンインストールを行ってください。

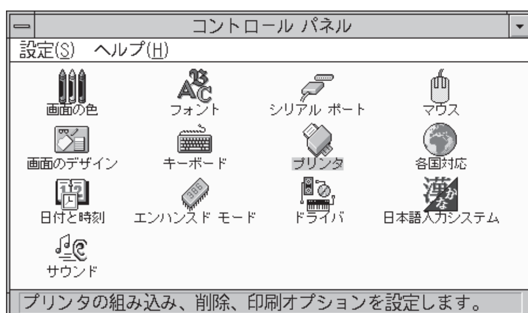
1. **[プログラムマネージャ]の[メイン]ウィンドウ内の[コントロールパネル]アイコンをダブルクリックする。**

   [コントロールパネル]フォルダが開きます。

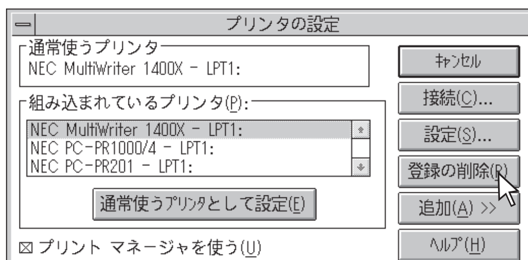


2. **[コントロールパネル]内の[プリンタ]アイコンをダブルクリックする。**

   [プリンタの設定]ダイアログボックスが表示されます。

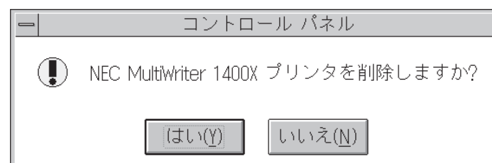


3. **[組み込まれているプリンタ]リストボックス内の[NEC MultiWriter 1400X]を選んで、[登録の削除]ボタンをクリックする。**



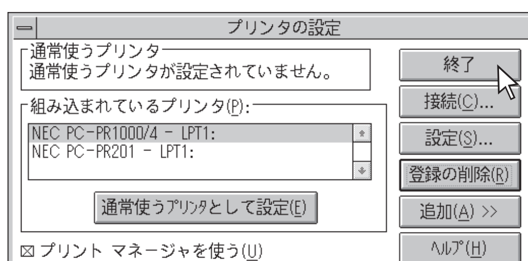
4. **[はい]ボタンをクリックする。**

   これでMultiWriter 1400Xプリンタドライバは削除されます。



5. **［終了］ボタンをクリックする。**

［プリンタの設定］ダイアログボックスを閉じます。



印刷の設定

ここではNMPSソフトウェアを使った印刷の設定のしかたと実行の手順について説明します。

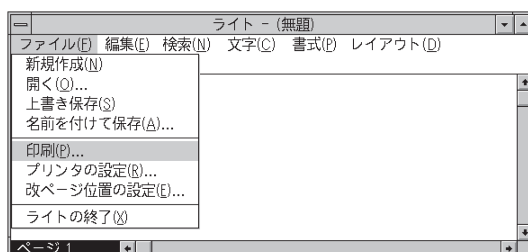
印刷する

一般的な印刷の手順をWindows 3.1に付属されている日本語ワードプロセッサ「ライト」を例にとって説明します。任意のライト文書を表示させて次の手順を確認してください。

お使いになるアプリケーションによってはメニュー構成など多少異なる点があるかもしれません。詳細はアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

1. **「ファイル」メニューの「印刷」をクリックする。**

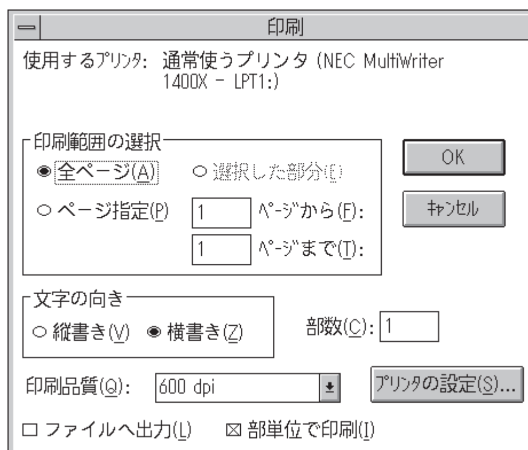
「印刷」ダイアログボックスが開きます。



2. **「使用するプリンタ名：」として「NEC MultiWriter 1400X」が選択されていることを確認する。**

もし選択されていなければ選択し直します。

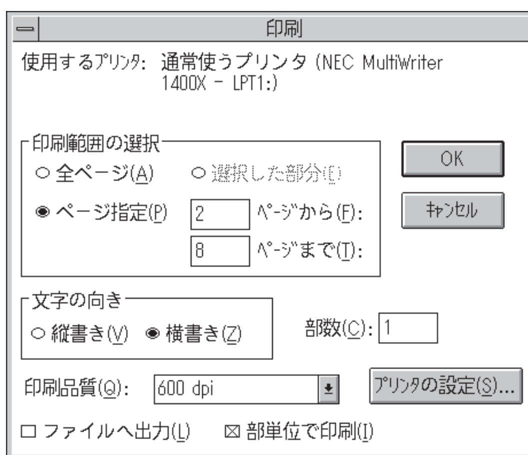
→「プリンタを選択する」参照（164ページ）



3. **印刷範囲、部数を指定する。**

用紙サイズなど、さらに詳しい設定を変更したい場合は[プリンタの設定]ボタンをクリックします。

→詳細は「印刷の詳細設定を行う」参照(165ページ)



4. **[OK]ボタンをクリックする。**

印刷が開始されます。

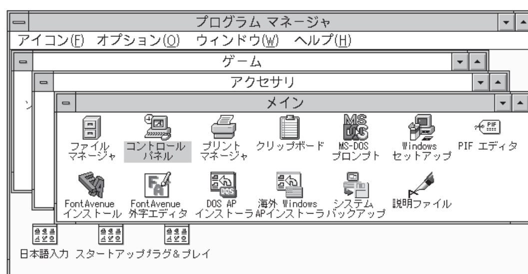
プリンタを選択する

Windows 3.1から印刷するために、あらかじめMultiWriter 1400Xを「通常使うプリンタ」として選択しておく必要があります。


ヒント

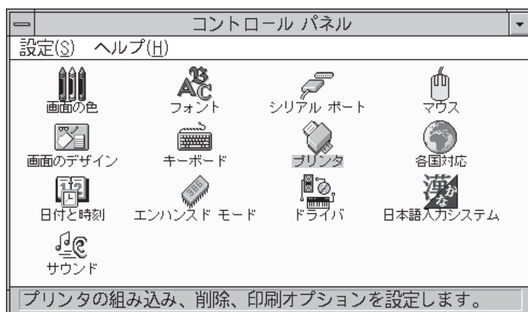
お使いになっているアプリケーションによっては「プリンタの設定」ダイアログボックスを使ってMultiWriter 1400Xを「通常使うプリンタ」として選択することができます。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

1. **[プログラムマネージャ]の[メイン]グループの中の[コントロールパネル]をダブルクリックする。**



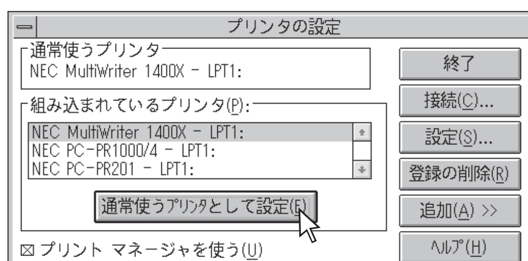
2. **「プリンタ」アイコンをダブルクリックする。**

「プリンタの設定」ダイアログボックスが表示されます。



3. ［組み込まれているプリンタ］リストボックスから「NEC MultiWriter 1400X」を選ぶ。

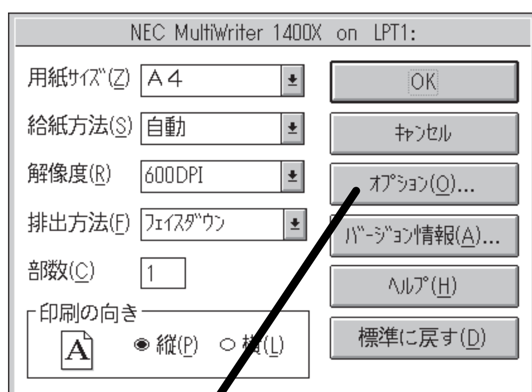
4. 「通常使うプリンタとして設定」ボタンをクリックし、「終了」ボタンをクリックする。



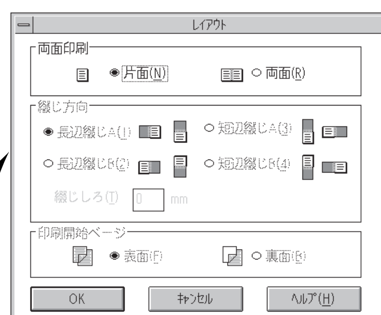
印刷の詳細設定を行う

Windows 3.1では、次のような「印刷設定」ダイアログボックスで印刷に関する詳細な設定を行うことができます。

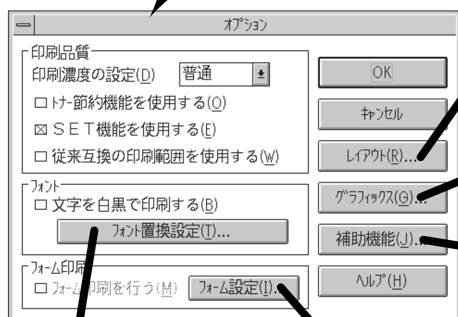
「印刷設定」ダイアログボックス



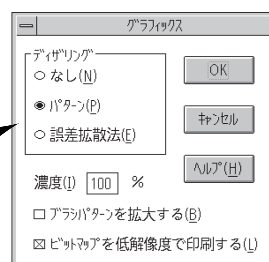
「レイアウト」ダイアログボックス



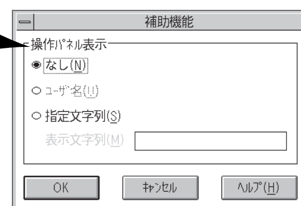
「オプション」ダイアログボックス



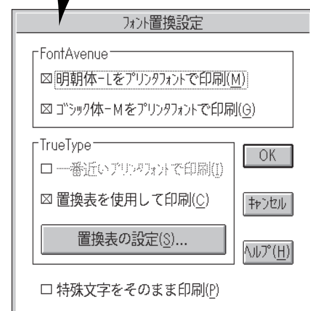
「グラフィックス」ダイアログボックス



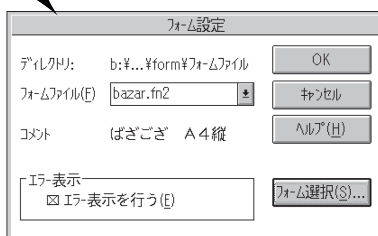
「補助機能」ダイアログボックス



「フォント置換設定」ダイアログボックス



「フォーム設定」ダイアログボックス



ダイアログボックスの開き方

「印刷設定」ダイアログボックスを呼び出す方法は次の2通りあります。

- アプリケーションのメニューから呼び出す方法
- Windows付属の「コントロールパネル」を使って呼び出す方法



一般的に「印刷設定」ダイアログボックスは各アプリケーションの「ファイル」メニューから呼び出してから開けます。ただし、その設定はそのアプリケーションでのみ有効です。
これに対して「コントロールパネル」から呼び出して設定した場合、その設定内容はすべてのアプリケーションに有効です。

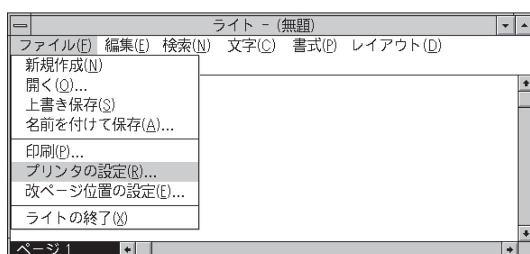
アプリケーションから呼び出す

Windowsのアプリケーションから「印刷設定」ダイアログボックスを呼び出す場合、「印刷」コマンドか「プリンタの設定」コマンドを使います。このコマンドは「ファイル」メニューの中にありますが、「ファイル」メニューの構成はアプリケーションによって違います。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

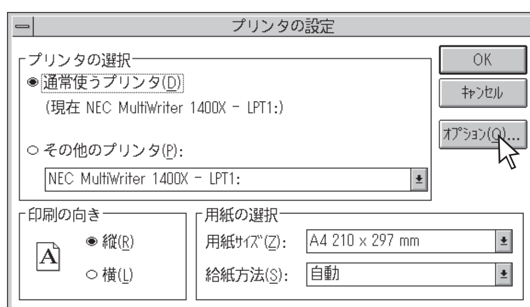
ここではWindows 3.1に付属されている日本語ワードプロセッサ「ライト」を例にとって説明します。任意のライト文書を表示させて次の手順を確認してください。

1. **[ファイル]メニューの[プリンタの設定]をクリックする。**

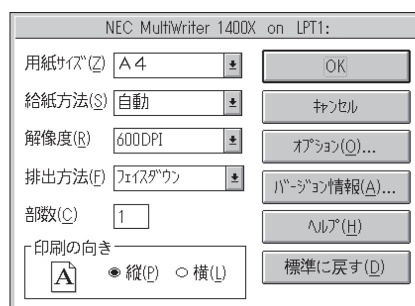
「プリンタの設定」ダイアログボックスが開きます。



2. **[オプション]ボタンをクリックする。**

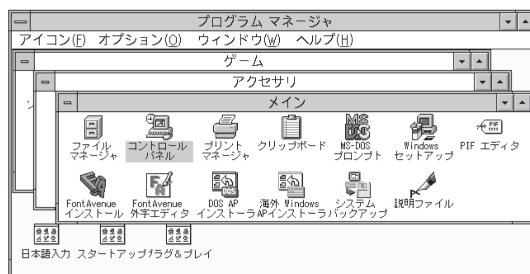


このような「印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。



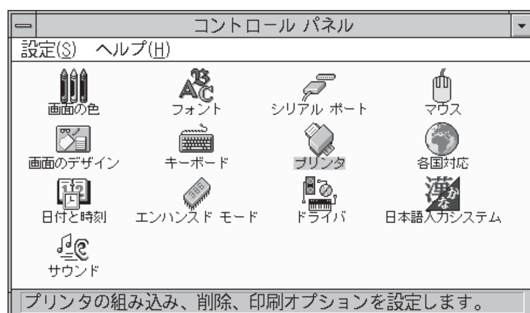
「コントロールパネル」を使って呼び出す

1. **［プログラムマネージャ］の［メイン］グループを開き、［コントロールパネル］をダブルクリックする。**

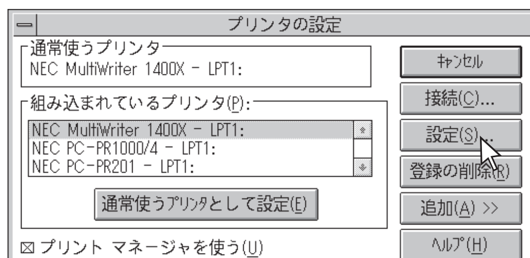


2. **「プリンタ」アイコンをダブルクリックする。**

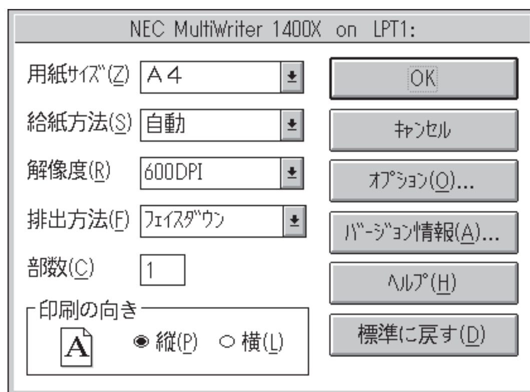
「プリンタの設定」ダイアログボックスが表示されます。



3. **「設定」ボタンをクリックする。**



このような「印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。



ダイアログボックスの使い方

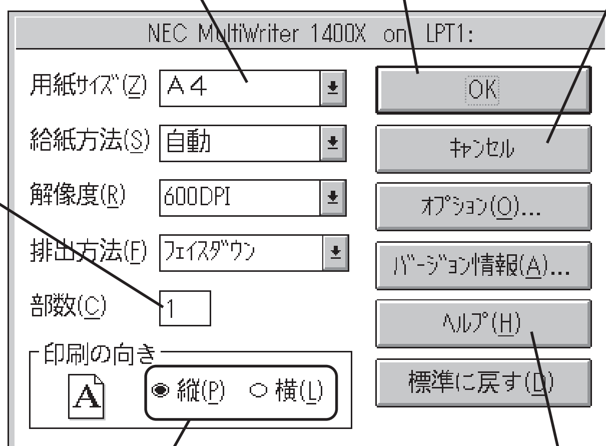
ダイアログボックスで共通に使うボタン類の機能について説明します。

コンボボックス
矢印ボタンをクリックすると選択肢の一覧が表示されます。さらに希望の項目をクリックすることにより選択できます。

[OK]ボタン
設定した内容を保存してダイアログボックスを閉じます。

[キャンセル]ボタン
設定した内容を保存せずにダイアログボックスを閉じます。

テキストボックス
このボックスの中に直接数値をタイプして設定します。



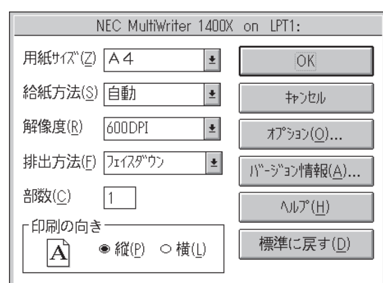
ラジオボタン
希望のボタンをクリックすることにより項目を選択できます。一度に選択できる項目は1つだけです。

[ヘルプ]ボタン
プリンタドライバのヘルプ画面が表示されます。ヘルプの使い方、希望のキーワードの説明を表示します。

設定の詳細

ダイアログボックス内の項目なら直接右クリックすることにより、それぞれの項目についての説明を表示させせることができます。

［印刷設定］ダイアログボックス



このダイアログボックスは用紙や印刷品質に関する設定を行うものです。

さらにグラフィックやフォントなど詳細な設定を行いたい場合は「オプション」ダイアログボックスから設定することができます。

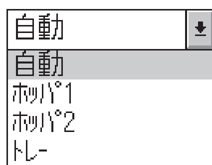
「用紙サイズ」

印刷する用紙サイズ、縮小・拡大サイズを選択できます。コンボボックス内をクリックして選択します。



> アプリケーションによっては縮小・拡大が正しく印刷されないものがあります。

「給紙方法」



給紙先ホッパをコンボボックスから選択します。コンボボックスには使用できる給紙方法が表示されます。自動にしておくと、選択されている用紙サイズがセットされているホッパから自動的に給紙されます。リレー給紙がONになっているとフロントトレーからも給紙されます。

「解像度」

解像度を600dpi、400dpi、240dpiから選択できます。

「部数」

印刷時の部数（コピー枚数）を指定することができます。1～99枚まで設定可能です。



> アプリケーションによってはアプリケーションの部数設定もダイアログボックスでの部数設定も有効にするものがあります。たとえばアプリケーションで3部、ダイアログボックスで2部と設定すると、6(3×2)部印刷してしまいます。このような結果を避けるためにもアプリケーションの設定は常に1部にしておいて、部数の設定はダイアログボックスで行うようにしてください。

「印刷の向き」

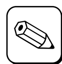
ページを縦長（ポートレート）で使用するか横長（ランドスケープ）で使用するかを設定するものです。［縦］を選択すると縦長方向で、［横］を選択すると横長方向で印刷します。



「用紙サイズ」で「LP→A4」が設定されていると[縦]は設定できません。

「排出方法」

印刷文書の排出先を選択します。



フェイスアップ排出する場合、オプションのフェイスアップトレイ(PR-L1400X-01)を装着しておくと印刷済み用紙がきれいに排出できます。

[バージョン情報]ボタン



クリックするとプリンタドライバのバージョン情報が表示されます。

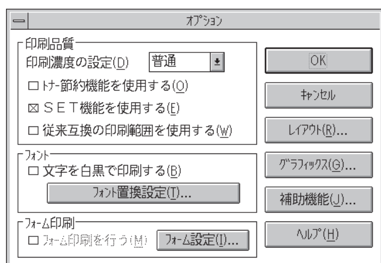
「標準に戻す」

クリックすると各設定がインストール時の設定に戻ります。



「標準に戻す」をクリックしても一部元に戻らないものがあります。詳しくはヘルプを参照ください。

[オプション]ダイアログボックス



このダイアログボックスは印刷品質、フォント、およびフォーム印刷に関する設定を行うものです。

「印刷濃度の設定」

「濃い」、「やや濃い」、「普通」、「やや淡い」、「淡い」から選択します。EPカートリッジおよび装置ごとの濃度のバラツキを吸収するための設定です。

「トナー節約機能を使用する」

トナー節約機能を使用するかしないかを切り替えます。



トナー節約機能を使用すると、細い線、濃度の薄い印刷、網かけおよびグラデーションが不鮮明になることがあります。この機能は試し印刷などにご使用ください。また、1400Xは内蔵の疑似OCR-Bフォントの印刷もできますが、疑似OCR-Bフォントの印刷を行う場合にはトナー節約機能は使用しないでください。印刷がかすれ、OCR読み取り装置が読み取りエラーを起こすことがあります。

「SET機能」

SET機能を使用するかしないかを選択します。SET機能を使用するとテキストやグラフィックのエッジのギザギザをなくし、画質を向上させることができます。

「従来互換の印刷範囲を使用する」

印刷範囲を以前のMultiWriterシリーズのプリンタと同じ印刷範囲に設定する場合に選択します。

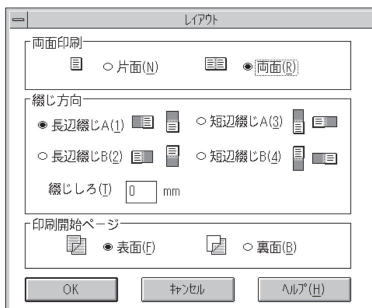
「文字を白黒で印刷する」

文字の色を、グレイを使わずに、白か黒のどちらかで印刷します。

「フォーム印刷を行う」

このボックスをチェックすると、フォーム印刷を行うことができます。
[フォーム設定]ボタンについては「[フォーム設定]ダイアログボックス」(175ページ)をご覧ください。

[レイアウト]ダイアログボックス



このダイアログボックスは両面印刷機能に関する設定を行うものです。
両面印刷の詳細については「両面印刷の手順」(177ページ)をご覧ください。

> [印刷設定]ダイアログボックスの[用紙サイズ]で「Ａ４」、「Letter」以外が選択されている場合や、[給紙方法]で「トレー」が選択されている場合には、両面印刷はできません。

「両面印刷」

片面印刷と両面印刷の切り替えを設定します。

「綴じ方向」

用紙の綴じ方を設定します。本設定は「両面印刷」が設定されているときのみ可能です。詳しくは177ページの「両面印刷の手順」をご覧ください。



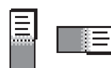
- 長辺綴じA　「印刷の向き」が「縦」の場合は長い辺の左側を綴じ、「横」の場合は長い辺の上側を綴じる。



- 長辺綴じB　「印刷の向き」が「縦」の場合は長い辺の右側を綴じ、「横」の場合は長い辺の下側を綴じる。



- 短辺綴じA　「印刷の向き」が「縦」の場合は短い辺の上側を綴じ、「横」の場合は短い辺の右側を綴じる。



- 短辺綴じB　「印刷の向き」が「縦」の場合は短い辺の下側を綴じ、「横」の場合は短い辺の左側を綴じる。

綴じしろ(T) 0 mm

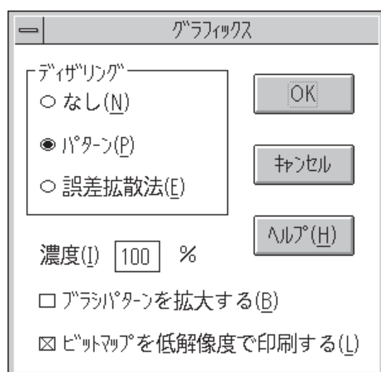
「綴じしろ」

綴じしろ（綴じ側のマージン）を設定します。0〜20mmまで設定できます。本設定は「両面印刷」が設定されているときのみ可能です。詳しくは177ページの「両面印刷の手順」をご覧ください。

「印刷開始ページ」

最初のページを両面印刷するかどうかを設定します。「表面」を選択すると最初のページから印刷します。「裏面」を選択すると最初のページの裏面から印刷します。

［グラフィックス］ダイアログボックス



このダイアログボックスは印刷解像度やグラフィックスデータに対するプリンタの処理の設定を行うものです。

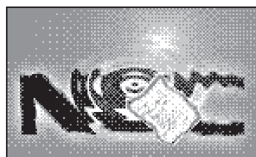
「ディザリング」

グレイスケールイメージのデータをプリンタで処理できるように変換する設定です。

> アプリケーションおよび印刷データによっては効果がないことがあります。



- なし　グラフィックスのグレイを白か黒に変換します。この設定はテキストや線画などの印刷に適しています。



- パターン　グレイの濃淡を白地に黒いドットでできたパターンに変換します。ドットを周期的に集中させて印刷する方式です。



- 誤差拡散法　「パターン」と同様にドットに変換する方法ですが、ドットを分散させて印刷する方式です。

「パターン」と「誤差拡散法」は好みに応じて使い分けてください。

「濃度」

グラフィックスの明暗を設定することができます。印刷を薄くするときは「明」の方向へ、濃くするときは「暗」の方向へスライドバーを設定してください。

「ブラシパターンを拡大する」

解像度に合わせてブラシパターンの大きさを変える機能です。設定すると600dpiの解像度では網掛けパターンを3倍に、400dpiでは2倍に拡大して印刷します。240dpiではこの設定は無効です。またアプリケーションによっては効果がないことがあります。

「ビットマップを低解像度で印刷する」

ビットマップデータを1/2の解像度で印刷します。通常の印刷より高速で出力することができます。240dpiではこの設定は無効です。



印刷データによってはハーフトーンがきれいに出ないことがあります。そのような場合はチェックを外してください。

[フォント置換設定]ダイアログボックス



このダイアログボックスはFontAvenueフォント、TrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換えて印刷する設定を行うものです。

「FontAvenue」

FontAvenueフォントの置き換え方法を設定します。

- 明朝体-Lをプリンタフォントで印刷
  アプリケーションから送られたFontAvenueの明朝体をプリンタフォントの明朝体に置き換えて印刷します。

- ゴシック体-Mをプリンタフォントで印刷
  アプリケーションから送られたFontAvenueのゴシック体をプリンタフォントのゴシック体に置き換えて印刷します。

「TrueType」

TrueTypeフォントの置き換え方法を設定します。

- 一番近いプリンタフォントで印刷
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを書体が似ているプリンタフォントで置き換えます。

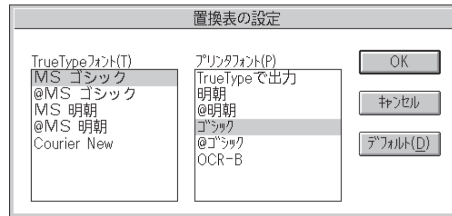
- 置換表を使用して印刷
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを[置換表の設定]ボタンによって設定したプリンタフォントで印刷します。

True Typeフォント	→	プリンタフォント
MS明朝	→	明朝
MSゴシック	→	ゴシック

置換表の設定(S)...

[置換表の設定]ボタン

以下のダイアログボックス置き換えられるプリンタフォントを設定します。それぞれフォントをクリックして[OK]ボタンをクリックすることで置き換えが設定されます。



- [デフォルト]ボタン

  クリックするとフォントの置き換えに関する設定を標準設定に戻すことができます。



フォントの置き換えについて
文字セットが異なるフォント、デザインが著しく異なるフォントへの置き換えは行わないでください。期待どおりの印刷結果にならない場合があります。またOCR-Bフォントを使用する場合はプリンタソフトウェアCD-ROMの[MANUAL]の「疑似OCR-Bフォントについて」をご覧ください。

- 「特殊文字をそのまま印刷」

  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換える際、IBM拡張漢字などフォントのデザインが異なる特殊文字はそのまま出力するかどうかを設定します。



フォントの置き換えを設定して印刷する場合、ご使用のTrueTypeフォントの中に、プリンタフォントでは置き換えられない文字またはデザインの異なる文字が含まれていると、次のような問題が発生する場合があります。

- 一部の文字が印刷されない
- 一部の文字が画面と異なるデザインで印刷される

この場合、本項目をチェックすると上記のような文字を置き換えせずにそのまま印刷できます。

[フォーム設定]ダイアログボックス

フォーム設定

ディレクトリ: b:¥...¥form¥フォームファイル

フォームファイル(F) bazar.fn2

コメント ばざござ Ａ４縦

エラー表示

☒ エラー表示を行う(E)

OK

キャンセル

ヘルプ(H)

フォーム選択(S)...

このダイアログボックスの設定はフォーム印刷を利用しているときに使用できます。
フォームファイルを指定するためのダイアログボックスです。

> フォーム印刷について
> フォーム印刷とは見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データと重ね合わせて印刷することです。フォームデータの作成をするには別売のアプリケーションが必要です。

「ディレクトリ」

フォームファイルを指定するために現在開かれているディレクトリを表示します。この表示は[フォーム選択]ボタンによって指定されたディレクトリです。

「フォームファイル」

リストボックスから使用するファイルを選択します。リストボックスに希望のファイルがない場合は[フォーム選択]ボタンをクリックして他の場所のファイルを参照することができます。

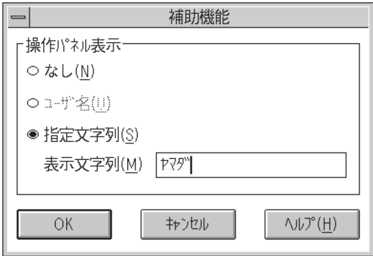
「コメント」

選択したフォームファイルのコメントを表示します。

「エラー表示を行う」

フォームファイルが壊れている場合、フォームファイルが見つからない場合、およびフオームファイルがサポートされていない用紙サイズで構成されている場合にエラーメッセージを表示するかどうかを設定します。

[補助機能]ダイアログボックス



データを受信中、処理中、印刷中の間、操作パネルのディスプレイ(下段)にユーザー名または任意の文字を表示することができます。

インサツチュウ
ヤマダ

- なし　ディスプレイには何も表示されません。
- ユーザ名　ネットワーク上にログインしたときのユーザ名がディスプレイに表示されます。「ユーザ名」をチェックすると「表示文字列」テキストボックスでユーザ名が確認できます。
- 指定文字列　「表示文字列」テキストボックスに入力された文字列(最高16文字)が表示されます。入力できる文字は以下の英数カナ文字です。

<table>
<tr><td>SP</td><td>!</td><td>#</td><td>$</td><td>%</td><td>&</td><td>‘</td><td>(</td><td>)</td><td>=</td></tr>
<tr><td>-</td><td>'</td><td>^</td><td>|</td><td>¦</td><td>@</td><td>{</td><td>[</td><td>+</td><td>;</td></tr>
<tr><td>*</td><td>:</td><td>}</td><td>]</td><td><</td><td>,</td><td>></td><td>.</td><td>?</td><td>/</td></tr>
<tr><td>_</td><td colspan="9"></td></tr>
<tr><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr>
<tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td><td>E</td><td>F</td><td>G</td><td>H</td><td>I</td><td>J</td></tr>
<tr><td>K</td><td>L</td><td>M</td><td>N</td><td>O</td><td>P</td><td>Q</td><td>R</td><td>S</td><td>T</td></tr>
<tr><td>U</td><td>V</td><td>W</td><td>X</td><td>Y</td><td>Z</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>a</td><td>b</td><td>c</td><td>d</td><td>e</td><td>f</td><td>g</td><td>h</td><td>i</td><td>j</td></tr>
<tr><td>k</td><td>l</td><td>m</td><td>n</td><td>o</td><td>p</td><td>q</td><td>r</td><td>s</td><td>t</td></tr>
<tr><td>u</td><td>v</td><td>w</td><td>x</td><td>y</td><td>z</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>ｱ</td><td>ｲ</td><td>ｳ</td><td>ｴ</td><td>ｵ</td><td>ｶ</td><td>ｷ</td><td>ｸ</td><td>ｹ</td><td>ｺ</td></tr>
<tr><td>ｻ</td><td>ｼ</td><td>ｽ</td><td>ｾ</td><td>ｿ</td><td>ﾀ</td><td>ﾁ</td><td>ﾂ</td><td>ﾃ</td><td>ﾄ</td></tr>
<tr><td>ﾅ</td><td>ﾆ</td><td>ﾇ</td><td>ﾈ</td><td>ﾉ</td><td>ﾊ</td><td>ﾋ</td><td>ﾌ</td><td>ﾍ</td><td>ﾎ</td></tr>
<tr><td>ﾏ</td><td>ﾐ</td><td>ﾑ</td><td>ﾒ</td><td>ﾓ</td><td>ﾔ</td><td>ﾕ</td><td>ﾖ</td><td>ﾗ</td><td>ﾘ</td></tr>
<tr><td>ﾙ</td><td>ﾚ</td><td>ﾛ</td><td>ﾜ</td><td>ｦ</td><td>ﾝ</td><td>ｧ</td><td>ｨ</td><td>ｩ</td><td>ｪ</td></tr>
<tr><td>ｫ</td><td>ｬ</td><td>ｭ</td><td>ｮ</td><td>ｯ</td><td>ﾞ</td><td>ﾟ</td><td>ｰ</td><td>｢</td><td>｣</td></tr>
<tr><td>､</td><td>｡</td><td>･</td><td colspan="7"></td></tr>
</table>

両面印刷の手順

MultiWriter 1400Xはオプションの PR-L1400X-04 両面印刷ユニットを装着することにより両面印刷が可能になります。この機能はホッパ給紙のA4、レターサイズの普通紙を選択しているときに可能です。
A5、B5、はがき、ラベル紙が選択されている場合は使用できません。用紙に関してはユーザーズマニュアル[1/2]の「用紙の規格」をご覧ください。



ユーザーズマニュアル[1/2]で指定している用紙を使用してください。また、両面印刷で使用する用紙は両面とも印刷されていない用紙です。指定以外の用紙を使って印刷をしたり、すでに印刷されている用紙をセットして両面印刷をすると紙づまりやプリンタの故障の原因となります。

両面印刷を行う印刷データが非常に複雑な場合、両面印刷を行う用紙サイズがB4→A4、A3→A4サイズのように大きい場合は両面印刷が片面印刷になったり、表面が白紙になったりして正しく印刷できないことがあります。その場合には、メモリを増設しページプロテクトをONに設定することで解決できます。どの程度メモリを増設すればよいかは以下に示す一覧表を参照してください。

両面印刷時の必要メモリ容量

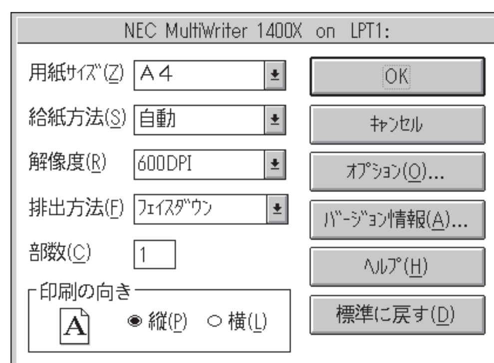
ページプロテクト	片面／両面	プリンタのメモリ			
		4MB（標準）	12MB（+8MB）	20MB（+16MB）	36MB（+32MB）
OFF	片面	○	◎	◎	◎
	両面	△	○	○	◎
ON	片面	—	◎	◎	◎
	両面	—	◎	◎	◎

◎： 印刷可能
○： 印刷可能（圧縮率2/5での印刷は保証。ただし、データの内容によって「メモリオーバー」「インサツフカ」になる場合があります）
△： 両面印刷が不可の場合がある（片面印刷になる）
ー： 設定不可

両面印刷ユニットを装着後、次の手順で両面印刷の設定をします。

1. 「印刷設定」ダイアログボックスで用紙の設定をする。

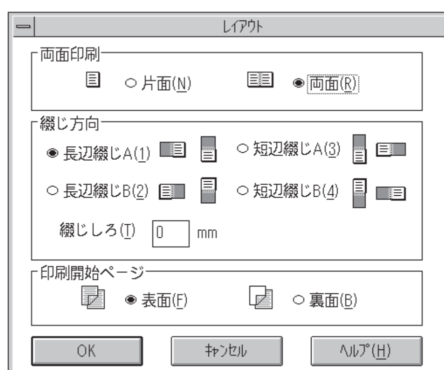
- 両面印刷できる用紙サイズはA4とレターサイズだけです。
- トレーからの給紙はご利用になれません。
- アプリケーションで部数を設定できる場合はアプリケーションで設定してください。



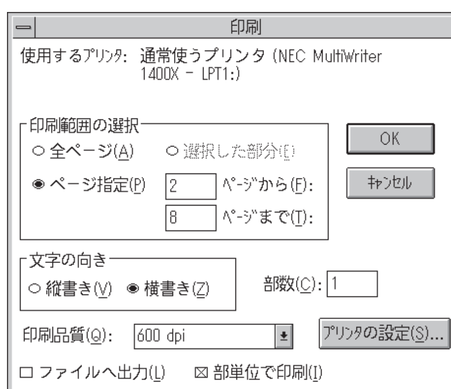
2. **「レイアウト」ダイアログボックスで両面印刷の設定をする。**

- 「両面印刷」で「両面」を選びます。
- 用紙の綴じ方を4つの方式から選びます。
- 綴じしろを0〜20ミリの範囲で指定できます。
- 「印刷開始ページ」で「裏面」を選ぶと1ページ目を白紙にして2ページ目から印刷を始めます。

本シートの設定内容の詳細は171ページ参照。



3. **アプリケーションの印刷ダイアログボックスで指定範囲、印刷部数を指定し、印刷を開始する。**



両面印刷のヒント

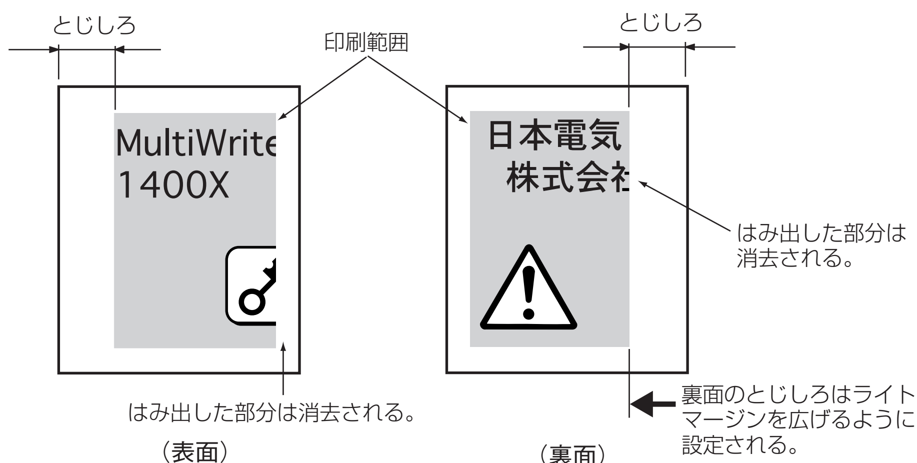
両面印刷する際に役に立つ情報を説明します。

クリッピング機能について

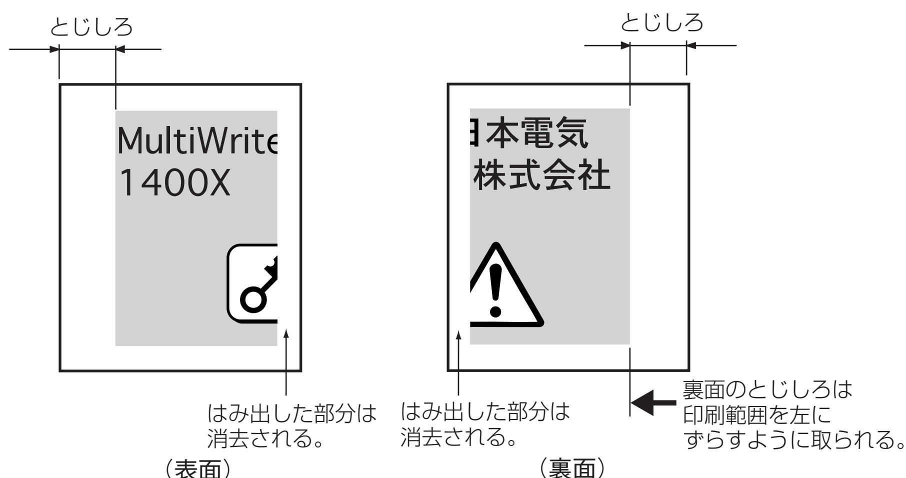
とじしろ（とじ側の余白）を多く取り過ぎると印刷データが用紙の印刷範囲を超えてしまう場合があります。クリッピング機能を利用すると、印刷範囲からはみ出した文字を次の行に印刷するか、はみ出した分を消去してそのまま残りのデータを印刷するかを選択できます。クリッピング機能はメニューモード（ユーザーズマニュアル[1/2]を参照）またはリモートパネル（198ページ）で設定できます。

「クリップ」をOFFにすると印刷範囲をはみ出した部分が消去されます。両面印刷時の裏面は、とじしろにかかった右側部分が消去されます。MS-DOSプロンプト上の印刷やアプリケーションによっては、印刷結果が異なる場合があります。詳細は207ページの「クリップ機能を使用する」を参照してください。

「クリップ」をONにすると、やはり印刷範囲をはみ出した部分は消去されます。しかし両面印刷時の裏面は、とじしろが印刷範囲を左にずらすように設定されるので、レフトマージンにかかった部分が消去されます。



クリッピングOFF



クリッピングON

ページプロテクト機能について

ページプロテクト機能はプリンタが受信した印刷データをメモリにどのように蓄えるかを設定するものです。ページプロテクト機能はメニューモードで設定できます（ユーザーズマニュアル[1/2]参照）。

設定を「OFF」にすると、印刷データは圧縮されてメモリに蓄えられます。印刷データによるメモリ消費が少なくなり、メモリを他の処理に有効に使用できるため処理性能が向上します。しかし両面印刷設定の場合、メモリ容量が大きいのでプリンタは操作パネルに“メモリオーバー”あるいは“インサツフカ”を表示し印刷を中止したり、印刷結果が不正になることがあります。

設定を「ON」にすると、印刷データは圧縮処理されない状態でメモリに蓄えられます。このためどんなに複雑なデータであっても、メモリオーバーあるいはインサツフカで印刷を中止することなく、印刷することができます。ただし、両面印刷の場合最低8MBの増設が必要です（177ページのメモリ容量表を参照）。

メモリを増設しても、よほどデータの内容が簡素なものでないかぎり「ページプロテクト」はONにして両面印刷することをお勧めします。

IBM DOS J5.0/Vでの設定

IBM社製のDOSでWindows 3.1を使用する場合、正常に印刷されないことがあります。その場合、以下の手順でDOS上のプリンタ設定を「なし」にしてください。（Windows 上では使用するプリンタを設定します。）

1. コンピュータの電源を入れる。

2. コンピュータを「DOSモード」に設定する。

設定の仕方については、コンピュータの取扱説明書を参照してください。

WindowsのDOSプロンプトモードからの設定は操作が複雑となりますのでお勧めできません。

3. 次のコマンドを入力し、セットアッププログラムを立ち上げる。

>setupv ⏎

4. 「プリンター」を選択する。

```
フォント
表示
キーボード
入力
プリンター   ← これを選択して「Enter」を押す
```

5. 「プリンター１(LPT1)」を選択する。

```
プリンター
─────────────────
プリンター１（ＬＰＴ１）   ← これを選択して「Enter」を押す
プリンター２（ＬＰＴ２）
プリンター３（ＬＰＴ３）
```

6. 「プリンタードライバー」を選択する。

ここで、現在の設定が「なし」になっている場合は、設定を変える必要はありません。F3を押して、操作を終了してください。

プリンター１（ＬＰＴ１）	現在の設定
プリンタードライバー	ＸＸＸ ← これを選択して「Enter」を押す
ドライバー状況	ＸＸＸ
・	
・	

7. 「なし」を選択する。

```
プリンター
─────────────────
なし   ← これを選択して「Enter」を押す
ＩＢＭ　ＰＳ／５５プリンター
日本語ＥＳＣ／Ｐプリンター
英語プリンター
  ・
  ・
```

8. 次のような表示が出るので、プリンタードライバーが「なし」になっていることを確認し、F10を押す。

プリンター１（ＬＰＴ１）	現在の設定
プリンタードライバー	なし

9. ⏎を押して、変更を保存する。

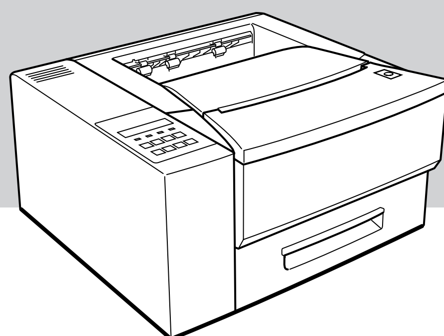
```
変更を保存して終了します。
よろしいですか？
  Enter（改行）    ：実行
  ESC              ：取消
```

10. Yを押して、システムを再始動させる。

```
システムを再起動しますか？
  Y：再起動する
  N：プロンプトに戻る
```

これで、設定は終了です。

その他のOS環境



ここでは、Windows NT3.5、MS-DOS、ESC/P、PC-PTOSなどその他の環境で印刷するときのプリンタの選択方法を説明します。

Windows NT3.5 日本語版/MS-DOS環境

ここではWindows NT3.5 日本語版またはMS-DOS環境から印刷をするために必要なプリンタの設定内容を説明します。

プリンタを選択する

1400XをWindows NT3.5環境で使用する場合は、OSにバンドルされているドライバを次の表に示す優先順位で指定してください。

1400XをMS-DOS環境で使用する場合は、使用しているアプリケーション上で印刷するときに、1400Xの名称「NEC MultiWriter 1400X」を指定します。1400Xの名称が指定できない場合は、次の表に示す優先順位で指定してください。（ただしアプリケーションによっては1400Xの機能の一部が使用できないことがあります。）

<table>
<tr><th>優先順位</th><th>プリンタ名称</th><th>動作モード*4</th></tr>
<tr><td>1</td><td>MultiWriter 2200X*1</td><td rowspan="9">ページプリンタ</td></tr>
<tr><td>2</td><td>MultiWriter 2000X*1</td></tr>
<tr><td>3</td><td>MultiWriter 2000FW*1</td></tr>
<tr><td>4</td><td>PC-PR2000/6W</td></tr>
<tr><td>5</td><td>MultiWriter 1000EW</td></tr>
<tr><td>6</td><td>PC-PR1000E/4W、PC-PR1000/4R、PC-PR1000E/4、PC-PR1000/4、PC-PR2200NW、PC-PR2000/2、PC-PR2000/4あるいはNPDL Level 2</td></tr>
<tr><td>7</td><td>PC-PR1000、PC-PR1000/2</td></tr>
<tr><td>8</td><td>PC-PR2000あるいはNPDL Level 2</td></tr>
<tr><td>9*2,*3</td><td>PC-PR602R、PC-PR602、PC-PR601</td></tr>
<tr><td>10*5</td><td>PC-PR201/47、PC-PR201/45L、PC-PR201/60 、PC-PR201/80A、PC-PR201/65A、PC-PR201/60A、PC-PR101/60あるいは201PL、PC-PR201X、PC-PR201J、PC-PR201GS、PC-PR201/45、PC-PR1-01GS</td><td rowspan="3">201PLエミュレーション</td></tr>
<tr><td>11*3,*5</td><td>PC-PR201G、PC-PR201V、PC-PR201V2、PC-PR201H3、PC-PR101G、PC-PR101G2</td></tr>
<tr><td>12*5</td><td>上記以外のPC-PR201系、PC-PR101系プリンタ</td></tr>
</table>

*1　400dpiは指定しないでください。

*2　A4ポートレート桁数が80桁のとき、用紙の左側の余白量が異なるときは、アプリケーション上で余白量を変更してください。

*3　文字を縮小したときの印刷結果が異なるときは、プリンタ設定を優先順位の10または12の機種を指定してください。

*4　ほとんどのアプリケーションでは、プリンタの動作モードを自動的に切り替えています。したがって、 1400Xの動作モードは201PLエミュレーションモード（お買い上げ時の設定）のままご使用になれます。

*5　機種によっては印刷結果が元となるプリンタと異なる場合があります。その場合には他の機種に変更してみてください。

プリンタを設定する

MS-DOS環境でコンピュータをお使いの場合、プリンタの設定はメニューモードを使って行います。メニューモードの操作方法、メニューツリーについてはユーザーズマニュアル[1/2]の48ページに、各設定項目についてはプリンタソフトウェアCD-ROMの[MANUAL]を参照してください。

Windows 95、Windows NT4.0/NT3.51から「MS-DOSプロンプト」や「DOS互換ボックス」を使ってMS-DOSアプリケーションを使っている場合、リモートパネルを使えばそのままWindowsの画面上でプリンタの設定ができます。リモートパネルの操作、設定内容については「PrintAgentの使い方」(187ページ)で説明しています。

PC-PR201系、101系プリンタを選択した場合

プリンタの指定でPC-PR201系あるいは101系プリンタを選択した場合は、アプリケーションと1400Xを次のような設定にするのが標準的です。

ソフトウェア：　シートフィーダ付き、単票(カット紙)、連続送り
プリンタ：　201PLエミュレーションモード、136桁モード有効、用紙位置中央

両面印刷の設定

MS-DOSアプリケーションを使って両面印刷する場合、次の設定変更が必要です。

両面印刷のために必要な設定項目

リモートパネル設定項目	メニューモード設定項目	備考
トレーのリレー給紙 ● 有効にする ● 無効にする	リレー給紙設定 ● トレーリレーOFF ● トレーリレーON	フロントトレーのリレー給紙は不可。
ページプロテクト ● 有効にする ● 無効にする	ページプロテクト ● ON ● OFF	通常は有効にする。ただし8MB以上のメモリ増設が必要。
給紙方法 ● ホッパ1 ● ホッパ2 ● トレー	――――――――――――	フロントトレーからの給紙は不可。ホッパ2は増設ホッパを装着時のみ表示される。
――――――――――――	印字位置設定メニュー ● 表面微調整 ● 裏面微調整	表面、裏面ともに TM: +3.9 ～ -3.9ミリ LM: +3.9 ～ -3.9ミリ
両面印刷 ● する ● しない	両面印刷メニュー ● 初期設定ON ● 初期設定OFF	有効のこと。
とじしろ ● 長辺とじ1 ● 長辺とじ2 ● 短辺とじ1 ● 短辺とじ2	両面印刷メニュー ● とじしろロング1 ● とじしろショート1 ● とじしろロング2 ● とじしろショート2	198ページまたはプリンタソフトウェアCD-ROMの［MANUAL］を参照のこと。
とじしろ付加サイズ	両面印刷メニュー：余白	0 ～ 20ミリ
クリップ機能 ● 利用する ● 利用しない	クリップ ● ON ● OFF	余白を多くとりすぎた場合、印刷からはみ出たデータを次ページに印刷する（ON）か、消去する（OFF）かを設定する。

ESC/Pエミュレーションでプリンタを選択する

ESC/P エミュレーションで使用する場合、次の手順でプリンタの選択をしてください。

1. プリンタのメニューモード（ユーザーズマニュアル[1/2]参照）またはリモートパネル（198ページ参照）で「エミュレーション」を「ESC/Pエミュレーション」にします。

プリンタの動作エミュレーションをメニューモードを使用してESC/PエミュレーションとNPDLエミュレーションを切り替えることができます。

“ドウサジドウ”は、コンピュータからプリンタに送られてくる印刷データのエミュレーションを自動的に決定し切り替えて印刷を行います。ただし、印刷データによっては印刷結果が不正になる場合があります。印刷結果が不正になる場合は、“ドウサエミュレーション”で設定し直してください。

2. 操作パネルの液晶ディスプレイは、ESC/Pエミュレーションを選択している表示になります。

```
ホッパ゜       A4 ポ゜ート
                  ESC/P
```

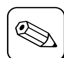
ESC/Pエミュレーションで印刷方向にポートレートを選択しています。

```
ホッパ゜       A4 ランド゛
                  ESC/P
```

ESC/Pエミュレーションで印刷方向にランドスケープを選択しています。

3. アプリケーションで次の表に示す優先順位でプリンタを指定してください。セイコーエプソンの24ピン漢字シリアルプリンタのほとんどが以下の分類に含まれます。

優先順位	プリンタ機種
1	ESC/P 24-J84
2	ESC/P 24-J84準拠の各プリンタ
3	ESC/P 24-J83
4	ESC/P 24-J83準拠の各プリンタ


ヒント

その他メニューモードの設定がESC/Pエミュレーションで可能かどうかをユーザーズマニュアルの[1/2]の「メニューモード設定項目一覧」（44ページ）にまとめてあります。参照してください。

PC-PTOS環境でプリンタを選択する

MultiWriter 1400Xは、PC-9800シリーズのPTOSインストールモデルなどのPC-PTOSに対応しています。PC-PTOSから使用する場合、次の手順でプリンタを選択してください。

1. **プリンタのメニューモードでメモリスイッチ5-1「同期コードの有効/無効の切り替え」を「有効(ON)」にします。**

   詳しくはユーザーズマニュアル[1/2]の46ページを参照してください。リモートパネルを使って設定することもできます。詳しくは198ページを参照してください。

   PC-PTOSから使用する場合、プリンタのメニューモードでメモリスイッチ5-1「同期コードの有効/無効の切り替え」を「有効(ON)」に設定する必要があります。このスイッチをONにしないとPTOSとの同期が取れないため、アプリケーションによっては用紙切れ、紙づまり等の処理が正常に行えない場合があります。なお、このスイッチをONにするとWindowsからの印刷およびPrintAgentの使用はできません。また、両面印刷ユニットを使った両面印刷も使えなくなります。

2. **OSの設定で「PC-PR1000E/4W」を指定してください。**

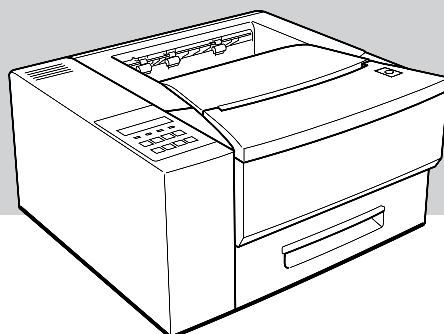
   PC-PTOS VER.2.4よりも前のバージョンで使用する場合には「PTOS IV プリンタOS支援パッケージPX」が必要です。

   なお、制御コード、文字コード、印刷範囲等については「PC-PR PTOS入出力装置説明書」をご覧ください。(PC-PTOS出入力装置説明書の入手については、PTOS関連商品取り扱い店にお問い合わせください。)



- PC-PTOSから使用する場合、1400XはNPDLモードの拡張モードである「PTOS対応モード」で動作します。このモード切り替えは、PTOSが自動的に行いますので切り替えのための操作は必要ありません。
- プリンタのモード切り替えは自動的に行なわれますが、使い方によってこの切り替えが正しく行なわれないときがあります。PC-PTOSでお使いの場合は下記の点にご注意ください。
  - プリンタケーブルは指定のものを使用してください。正しいプリンタケーブルを使用していない場合、モードの切り替えが正しく行なわれないことがあります。
  - 上位装置とプリンタの間にプリンタバッファ、プリンタ切り替え器、プリンタネットワーク等を接続していると、モードの切り替えが正しく行なわれません。上位装置とプリンタは指定のケーブルで直接接続してください。
  - 一部の上位装置で本体およびプリンタの電源を入れたままOSの変更を行うとプリンタのモードの切り替えが正しく行なわれないことがあります。この場合はプリンタの電源を入れ直すか、プリンタの操作パネルからリセット操作(シフトを押しながらリセットを2回押す)を行うと復旧させることができます。
  - 1400XはNPDL、ESC/Pの各言語をサポートしています。「PTOS対応モード」への自動切り替えが可能ですが、PC-PTOSから使用する場合はそのインタフェースにはNPDLを設定しておいてください。詳しくはユーザーズマニュアル[1/2]の45ページを参照してください。
- プリンタのデータ受信の速度が速すぎて、PC-PTOSからのデータ受信が間に合わなくなり、印刷が正常に行われない場合があります。このような場合は、データストローブのデータラッチタイミング(メモリスイッチ7-1)を後縁ラッチに変更したり、アクノリッジの幅(メモリスイッチ8-3、8-4)を広げてください。詳細についてはプリンタソフトウェアCD-ROMの「MANUAL」をご覧ください。

PrintAgentの使い方



PrintAgentとはコンピュータ・プリンタ間の双方向通信を利用した機能で次のふたつのソフトウェアにより提供されます。これらのソフトウェアは「NMPSソフトウェアのインストール」でプリンタドライバとともにインストールされます。

- **プリンタステータスウィンドウ**　コンピュータの画面上のアニメーションや音声でプリンタの状態（用紙切れやカバーオープン）や印刷の状況を確認することができます。
- **リモートパネル**　メニューモードのようにプリンタの操作パネルを使わずにWindows 95、NT4.0/NT3.51の画面上でプリンタや印刷の設定を行ったりするソフトウェアです。おもにMS-DOS用のアプリケーションに対して有効な設定ができます。

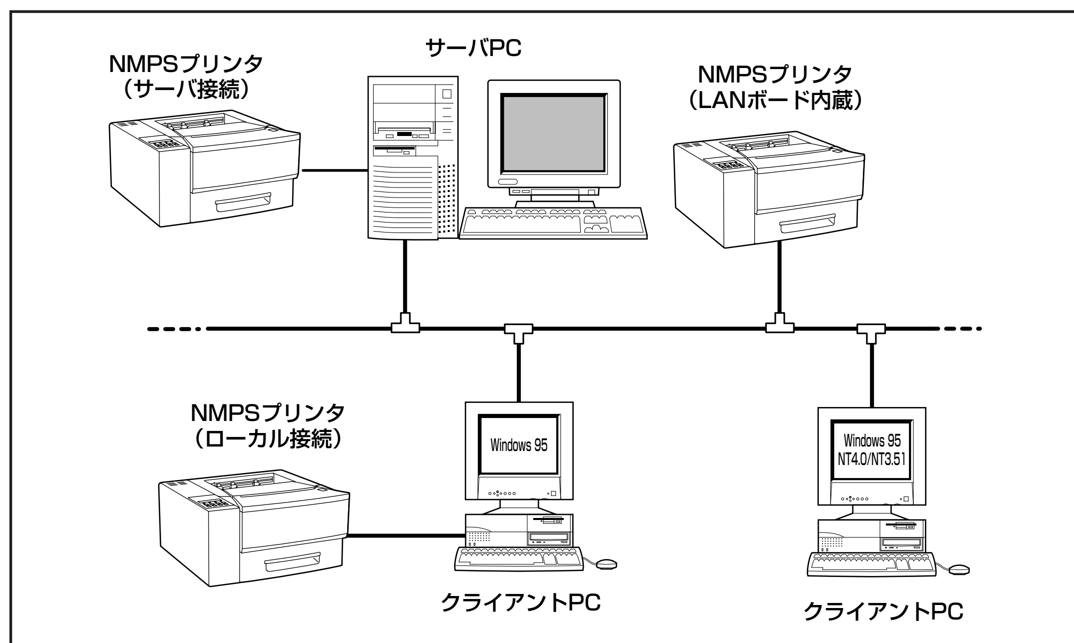
本章ではPrintAgentが正常に機能するための注意事項、PrintAgentの起動方法、それぞれのソフトウェアの機能を説明します。なお説明は原則としてWindows 95またはWindows NT4.0の画面を使っています。Windows NT3.51とは基本的にタイトルバーなどの形状が異なるだけです。OSの違いによる機能の違い、制限事項があった場合はそのつど説明を付け加えています。

PrintAgentを正常に機能させるために

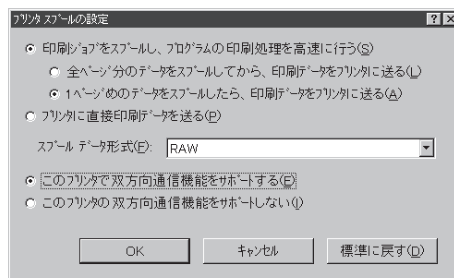
PrintAgentはネットワーク環境で使用することで、より効果を発揮します。以下はPrintAgentを正常に機能させるための注意事項をネットワーク関連の設定を中心に説明します。

PrintAgentを動作させる前に

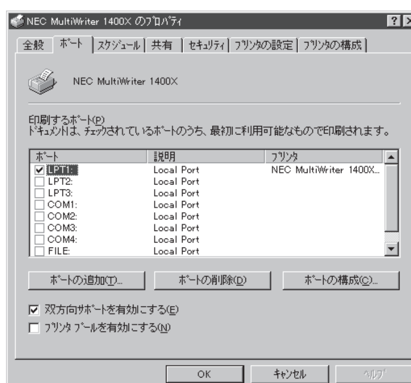
- PrintAgentはローカルプリンタに対してもネットワーク上の共有プリンタに対しても使用できます。ただしネットワーク上で使われる場合PrintAgentソフトウェアはサーバ、クライアント両者にインストールされている必要があります。



- Windows 95の場合PrintAgentの機能を十分に発揮させるためには、「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスで「双方向通信機能」をサポートするように設定しておく必要があります。



- Windows NT4.0の場合PrintAgentの機能を十分に発揮させるためには、「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスで「ポート」シートの「双方向サポートを有効にする」をチェックしておく必要があります。



- ネットワーク共有プリンタが直接つながっているコンピュータのOSがWindows NT4.0の場合のプリンタプールはサポートしていません。サーバコンピュータのプリンタプールを無効にするにはサーバコンピュータ上ですべてのプリンタの「プリンタのプ

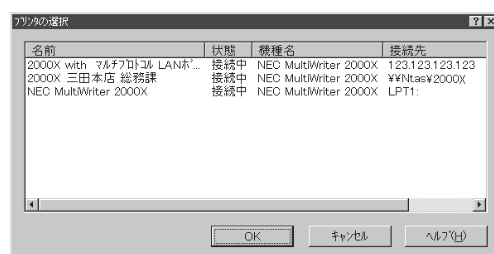
ロパティ」―「ポート」タブの「プリンタプールを有効にする」のチェックを外してください。「プリンタプールを有効にする」をチェックした場合、プリンタの状態が正しく表示されません。権限がない場合は管理者に連絡してください。

- Windows NT3.51でローカルプリンタをお使いになる場合、印刷先を「LPTNx」に設定しておかないとPrintAgentが正常に機能しません。

- PrintAgentをクライアント・サーバシステムでご使用の場合、1台のサーバに接続されたクライアントの中でPrintAgentを使用するクライアントは30台以下を推奨します。サーバの性能やネットワークトラフィックによっては、印刷時にプリンタの状態情報が取得できなくなったり、クライアントでオフライン作業になる場合があります。このような場合、印刷時以外は「PrintAgentのプロパティ」の設定の「共有プリンタを利用する」のチェックを外してPrintAgentを動作させないようにするか(218ページ参照)、PrintAgentを終了させて運用してください。

PrintAgentの動作中は

- 一つのコンピュータに複数のNMPS対応プリンタドライバがインストールされている場合、プリンタステータスウィンドウまたはリモートパネルを表示させるとき、ダイアログボックスで「プリンタの選択」を要求されることがあります。Windows NT3.51の場合、「プリンタの選択」ダイアログボックスは「システムアイコン」をクリックしたときのメニューから表示させることができます。



PrintAgentの制限事項

- プリンタのメモリスイッチ5-1(同期コードの有効/無効の切り替え)がONになっていると、PrintAgentが正しく機能しないばかりか印刷が正常に行えない場合があります。すでにPrintAgentをインストールしている場合はアンインストールしてから使用してください。
- Windows 95、Windows NT3.51/4.0とPC-PTOSで同一プリンタを共有している場合はPrintAgentが正常に機能しません。
- PrintAgentとプリンタポートを直接アクセスしてプリンタの状態を監視するユーティリティ(DMITOOLなど)を同時に使用すると正しく動作しない場合があります。このような場合は、お使いのユーティリティに応じて、プリンタの監視を行わないように設定してください。
- 一部コンピュータのパラレルポートの設定(例：ECPモードなど)によっては、PrintAgentの動作に不具合が生じる場合があります。このような場合は、お使いのコンピュータの取扱説明書を参照し、パラレルポートの設定を変更していただくことにより、PrintAgentが正常に動作できるようになる場合があります。

赤外線通信インタフェースアダプタをご使用の場合は

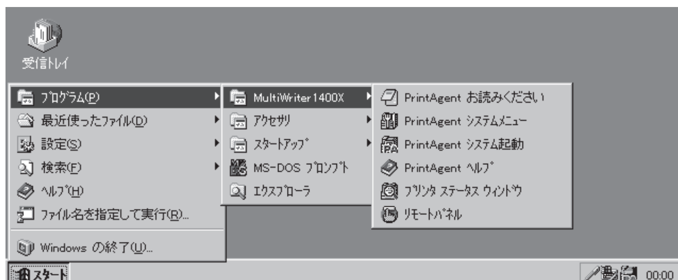
Windows 95で赤外線通信(IrDA準拠)を使って1400Xに接続している場合、PrintAgentの機能はご利用になれません。

USBプリンタケーブルで接続している場合は

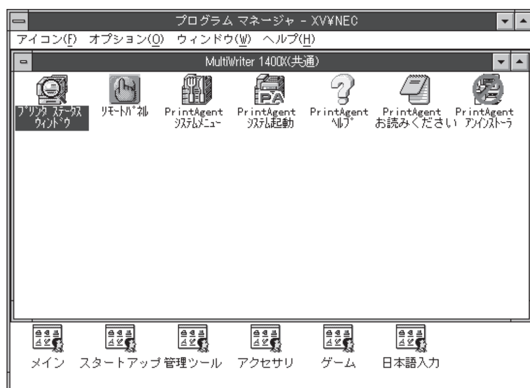
Windows 95(OSR2.1以降)でUSBケーブルを使って1400Xに接続している場合、双方向通信については一部使用できない機能があります。

PrintAgentの起動

PrintAgentを起動させるには、Windows 95またはWindows NT4.0なら[スタート]ボタンから、Windows NT3.51なら「プログラムマネージャ」から「MultiWriter 1400X」を開いてください。以下のようなPrintAgentのソフトウェアが表示されます。



Windows 95/Windows NT4.0の場合



Windows NT3.51の場合

プリンタステータスウィンドウ:	プリンタステータスウィンドウを表示させプリンタの状態を確認することができます。
リモートパネル:	リモートパネルを表示させ、プリンタの各種設定を変更することができます。
システムメニュー:	「システムメニュー」ダイアログボックスを表示させ、PrintAgentの各種機能を呼び出すことができます。
システム起動:	PrintAgentシステムを起動させます。通常はWindows 95の場合は起動時に、Windows NTの場合はログオン時に自動的に立ち上がる設定になっています。
ヘルプ:	PrintAgentに関する説明が参照/印刷できます。
お読みください:	PrintAgentをお使いになるときの参考情報が表示されます。
アンインストーラ:	Windows NT3.51の場合これを使ってPrintAgentを削除することができます。

プリンタステータスウィンドウ

通常プリンタが印刷を開始したり印刷中にエラーが発生するとプリンタステータスウィンドウ(以下PSWと呼びます)ソフトウェアが自動的に起動し、画面上に次のようなウィンドウを表示します。



Windows 95またはWindows NT4.0の場合、タスクバーのトレーにあるシステムアイコンをダブルクリックするとPSWをすぐに表示することができます。

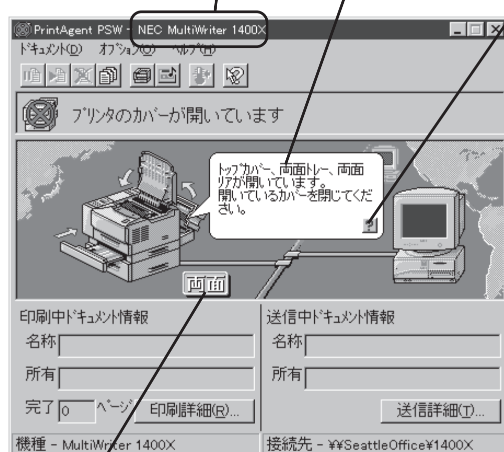
PSWは印刷の進行状況やプリンタの状態を画面と音声によるメッセージで通知します。また、印刷の一時停止やとりやめなどの指示もこのウィンドウから行うことができます。

メニュー&ツールバー
処理中ドキュメントを制御することができます。またPSWの通知形式の変更やリプリント機能、ウォームアップ開始機能が利用できます。(ツールバーについては下図参照)

プリンタ名
プリンタに付けられた名前が表示されます。ここに表示されるのは「プリンタ」フォルダや「プリントマネージャ」で設定した名前です。

メッセージ

ステータスヘルプボタン



ステータス情報エリア
アイコンとメッセージでプリンタの状態などを表示します。(192ページ参照)

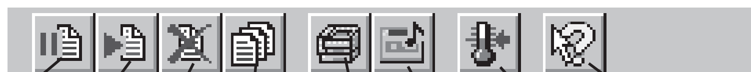
ビジュアル情報エリア
装置の構成、接続状態、印刷状況、障害の状況などをアニメーションで表示します。(193ページ参照)

ドキュメント情報エリア
印刷中、送信中のドキュメント情報を表示します。(194ページ参照)

ステータスバー
プリンタの機種名とそのプリンタが接続されているポート名またはネットワークパス名

両面インジケータ
両面印刷ユニットの装着状態や両面印刷中であることを示します。

[ツールバー]



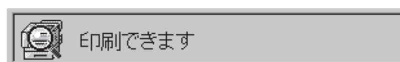
一時停止ボタン　印刷再開ボタン　印刷中止ボタン　リプリントボタン　構成情報ボタン　通知形式ボタン　ウォームアップボタン　ヘルプボタン

プリンタの状態を知る

ステータス情報エリア

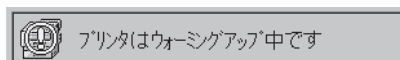
3種類のアイコンでプリンタの状態を表示します。文字によるメッセージ(ステータスメッセージ)と音声によるメッセージが付随します。1400Xが表示するステータスメッセージについてはプリンタソフトウェアCD-ROMの[MANUAL]から「PrintAgent通知一覧」を参照ください。

- 通常表示



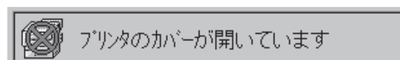
通常に印刷できる状態、または処理中の表示です。

- 通知表示



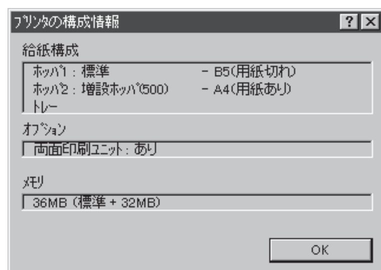
「トナーの減少」など印刷を続行するために必要な情報を表示します。プリンタアイコン上の黄色い通知アイコンが回転します。

- エラー表示



「用紙切れ」など印刷を再開するために必要な情報が表示されます。プリンタアイコン上の赤いエラーアイコンが回転します。

「プリンタの構成情報」ダイアログボックス



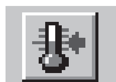
プリンタの構成情報(給紙構成、オプション、メモリ)を確認するダイアログボックスです。

このダイアログボックスを表示させるには構成情報ボタンをクリックするか「オプション」メニューの「プリンタの構成情報」をクリックします。



プリンタとコンピュータで双方向通信が行われていないときは「プリンタのプロパティ」ダイアログボックス(Windows 95またはWindows NT4.0の場合)または「デバイスプロパティ」ダイアログボックス(Windows NT3.51の場合)の「プリンタの設定」の内容が表示されます。

ウォームアップを行う



印刷前にあらかじめウォームアップを開始させておく機能です。
ウォームアップボタンをクリックするか「オプション」メニューの「ウォームアップ開始」をクリックするとウォームアップを開始します。ただし本機能はウォームアップが終了すると解除されますので、あまり長い時間(5分程度)放置すると印刷開始に効果がありません。

印刷の進行状況を見る

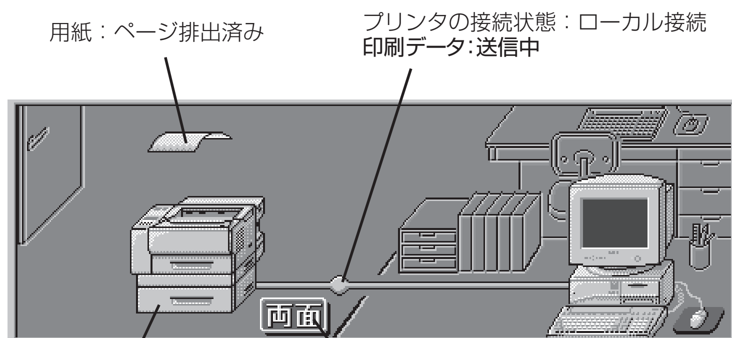
ビジュアル情報エリア

このエリアはイラストと動画（アニメーション）で次の情報を表示します。

- プリンタの接続状態
- 給紙装置の構成
- 両面印刷の状況
- 用紙の処理状況
- エラーの対処方法
- 印刷データの処理状況

用紙：ページ排出済み

プリンタの接続状態：ローカル接続
印刷データ:送信中

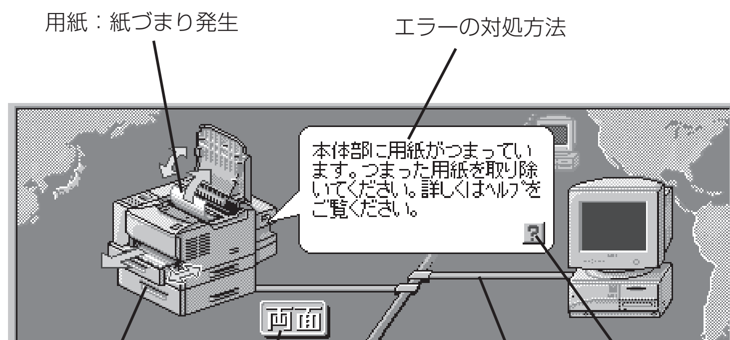


青色表示：両面印刷中

給紙装置：
トレー、ホッパ1、ホッパ2（増設ホッパ(500)）

用紙：紙づまり発生

エラーの対処方法



ステータスヘルプボタン

グレー表示：両面印刷中以外
両面印刷ユニット装着中

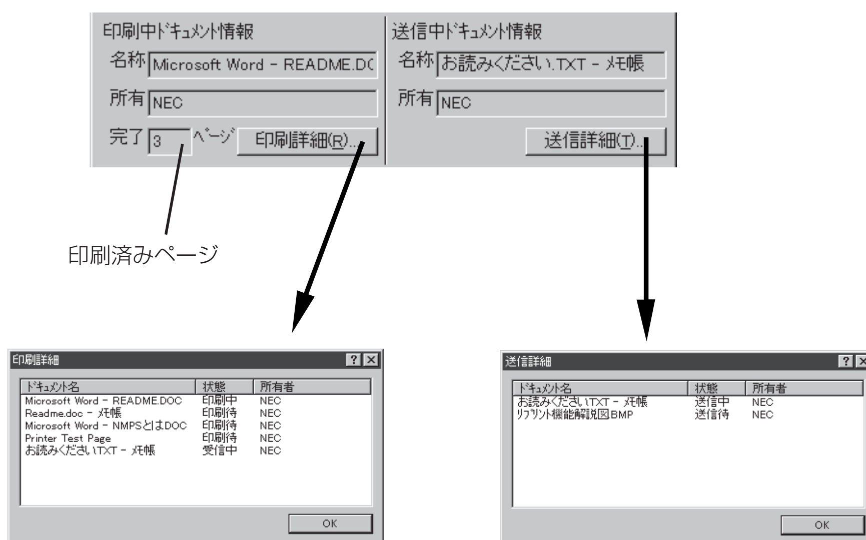
給紙装置：
トレー、ホッパ1、
ホッパ2（増設ホッパ(500)）

プリンタの接続状態：ネットワーク接続
印刷データ:未送信

ドキュメント情報エリア

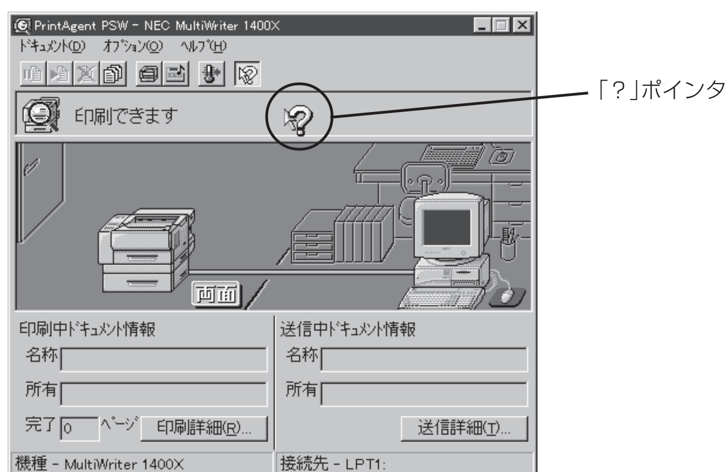
現在処理中の印刷データのドキュメント情報（ドキュメント名称、所有者名、印刷完了ページ）を表示します。

[送信中ドキュメント情報]はコンピュータからプリンタへ「送信中」のドキュメント情報を表示します。
[印刷中ドキュメント情報]はプリンタで「印刷中」のドキュメント情報を表示します。さらに[詳細]ボタンをクリックすれば詳細なドキュメント情報がリスト表示されます。



ヘルプを見る

ヘルプを見るためには「？」ボタンをクリックし、そのままポインタを移動させウィンドウ内の各部分をクリックするか、「ヘルプ」メニューの「目次」をクリックし「PSWヘルプ目次」を表示させます。



送信中のドキュメントを制御する

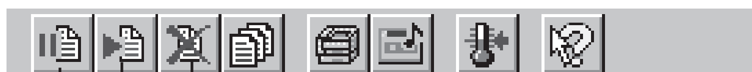
ボタンまたは「ドキュメント」メニューを使って送信中のドキュメントを制御することができます。



Windows NTではセキュリティにより「一時停止」、「印刷再開」は実行できません。また、ネットワーク上のWindows 95クライアントにもこの機能は実行できません。

送信中のドキュメントを制御するためには、次の2つの方法があります。

- **ボタンをクリックする**

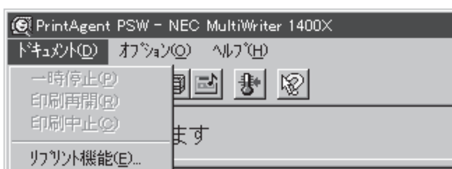


印刷中止： クリックすると印刷を中止します。

印刷再開： クリックすると印刷を再開します。

一時停止： クリックすると印刷を一時停止します。

- **「ドキュメント」メニューを使う**



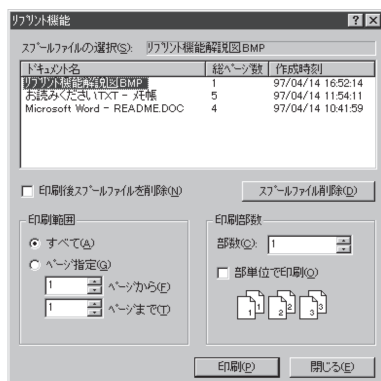


複数のドキュメントが送られていた場合、一時停止を行うとプリンタは次の印刷待ちドキュメントの印刷を始めるわけではありません。一時停止されたドキュメントを「印刷再開」または「印刷中止」しないかぎり、以降のドキュメントは処理されません。

リプリント機能を使う

リプリント機能を利用すると一度印刷したデータはアプリケーションから再び印刷を実行することなく、PSWのダイアログボックスから直接再出力(リプリント)できるようになります。リプリント出力の方法については、「リプリントの実行」(221ページ)をご覧ください。

リプリントは以下の「リプリント機能」ダイアログを使って行います。このダイアログは「リプリント」ボタンをクリックするか「ドキュメント」メニューの「リプリント」をクリックすると表示されます。



「スプールファイルの選択」

リプリントを行うドキュメントを選択します。

「印刷後スプールファイルを削除」

リプリントを行った後に、プライベートスプールしてあるドキュメントを削除します。プライベートスプールしてあるドキュメントとは、リプリントのために保存されたドキュメントのことです。

「印刷範囲」

「スプールファイルの選択」で選択ドキュメントの印刷範囲を指定します。

[スプールファイル削除]ボタン

クリックすると「スプールファイルの選択」で選択したドキュメントを削除します。

「印刷部数」

印刷時の部数(コピー枚数)を指定することができます(1〜99枚まで設定可能)。印刷時の部数を複数枚指定した場合、部単位で印刷するかどうかについて指定します。

[印刷]ボタン

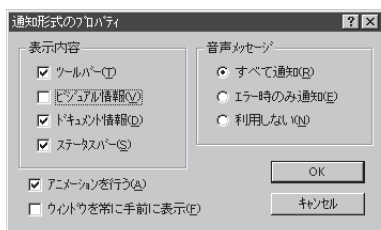
クリックするとリプリントを実行します。

[閉じる]ボタン

クリックするとリプリントを実行せずに、「リプリント機能」ダイアログボックスを閉じます。

通知形式を変更する

通知形式を変更すると必要とする情報だけを選択することにより、ウィンドウをコンパクトにすることができます。



通知形式は「通知形式のプロパティ」ダイアログボックスで変更します。このダイアログボックスを表示するためには、通知形式ボタンをクリックするか「オプション」メニューの「通知形式」をクリックします。

「表示内容」

ウィンドウに表示する内容を次の項目で選択します。

- ツールバー
- ビジュアル情報
- ドキュメント情報
- ステータスバー

「音声メッセージ」

音声メッセージの利用方法を切り替えます。

- すべて通知
- エラー時のみ通知
- 利用しない



- 音声メッセージは、自分のドキュメントの印刷中にはPSWが表示されていない場合でもPrintAgentが起動していれば通知されます。必要ない場合は「音声メッセージ」で「利用しない」を選択してください。
- 音声メッセージは、自分のドキュメントを印刷していないときの通知に関しては、PSWのプロパティの設定内容により変わります。詳細については「PSWのプロパティ」(210ページ)をご覧ください。
- 連続して印刷を行っている場合、印刷開始のメッセージは最初のデータの印刷処理が開始されたときだけ通知されます。同様に印刷終了のメッセージは最後のデータが処理終了したときだけ通知されます。

「アニメーションを行う」

ステータス情報エリアまたはビジュアル情報エリアでアニメーション(エラー/通知アイコン、排紙、印刷データの送信状況の動画表現)を行うかどうかを切り替えます。

「ウィンドウを常に手前に表示」

これをチェックしておくと一番手前にPSWが表示され続けるので、プリンタの状態を常に確認できます。

リモートパネル

通常MS-DOSアプリケーションの印刷に対してプリンタの設定を変更したい場合はメニューモードを使います。しかしWindows環境から「MS-DOSプロンプト」や「DOS互換ボックス」を使ってMS-DOSアプリケーションを使っている場合、リモートパネルを使えばそのままWindowsの画面上で以下の項目の設定ができます。

リモートパネルは主にMS-DOSアプリケーションに対して有効な機能ですが、Windowsアプリケーションに対してもそのまま有効な設定項目もあります。

リモートパネル設定項目一覧（1/2）

設定項目	設定*1	MS-DOS AP	Windows AP
自動縮小	有効にする／無効にする	○	○
トレーのリレー給紙	有効にする／無効にする	○	○
ホッパ1のリレー給紙	有効にする／無効にする	○	○
ホッパ2のリレー給紙*2	有効にする／無効にする	○	○
トレーの用紙サイズ	● レター ● A4 ● A5 ● B5 ● はがき	○	○
半角ゼロのスラッシュ	付ける／付けない	○	○
全角ゼロのスラッシュ	付ける／付けない	○	○
国別文字セット	● 日本 ● アメリカ ● イギリス ● ドイツ ● スウェーデン	○	○
B4→A4縮小率	● 4/5縮小 ● 2/3縮小	○	○
ページプロテクト*3	有効にする／無効にする	○	○
メモリ割り当て*3	● 標準 ● 受信バッファ優先 ● 文字キャッシュ優先 ● フォーム登録優先	○	○
給紙方法	● ホッパ1 ● ホッパ2*2 ● トレー	○	×
排出方法	● フェイスダウン ● フェイスアップ	○	×
印刷部数	1 ～ 99枚	○	×
用紙方向	● ポートレート ● ランドスケープ	○	×
エミュレーションモード	● ページプリンタ（NPDL） ● 201PLエミュレーション	○	×
201PLエミュレーション時の設定 DC1, DC3コード グラフィックモード 8/7ビットデータ	 有効／無効 ネイティブ／コピー 8ビット／7ビット		

*1 グレー部分が初期設定です。
*2 オプションの増設ホッパ（500）を装着したときのみ設定が可能です。
*3 オプションの増設RAMサブボードを装着したときのみ設定が可能です。

リモートパネル設定項目一覧(2/2)

設定項目	設定*1	MS-DOS AP	Windows AP
印刷位置調整	● レフトマージン初期設定 ● 136桁モード	○	×
レフトマージン初期設定 レフトマージン量	0 ～ 15/10インチ		
136桁モード*2 印刷位置基準 印刷位置調整方向 印刷位置調整量	左端合わせ／中央合わせ 左へ移動／右へ移動 0 ～ 15/10インチ	○	×
A4ポートレート桁数	● 78桁 ● 80桁	○	×
半角フォント	● 標準 ● イタリック ● クーリエ ● ゴシック	○	×
全角フォント	● 明朝 ● 漢字1 ● 漢字2	○	×
文字セット	● JIS1978 ● JIS1983 ● JIS1990	○	×
解像度指定	● 600dpi/400dpi切り替え ● 400dpi固定	○	×
印刷濃度	(淡) 1 ～ 3 ～ 5 (濃)	○	×
SET機能	使用する／使用しない	○	×
トナー節約モード	使用する／使用しない	○	×
セントロポートのエミュレーション	● NPDL ● ESC/P 自動切り換え： する／しない	○	×
LANボードのエミュレーション*3	● NPDL ● ESC/P 自動切り換え： する／しない	○	×
ジョブタイムアウト	● 5秒 ● 15秒 ● 30秒	○	×
メモリオーバ時の動作	● 印刷停止 ● 解像度を落として印刷	○	×
自動排出時間	● 無効 ● 5秒 ● 15秒 ● 30秒	○	×
両面印刷*4	する／しない	○	×
とじしろ とじしろ付加サイズ クリップ機能	● 長辺とじ1 ● 長辺とじ2 ● 短辺とじ1 ● 短辺とじ2 0 ～ 20ミリ 利用する／利用しない		
ESC c 1 (リセット) コードで登録データを消す	消す／消さない	○	×
FFコードでの白紙出力	出力する／出力しない	○	×
自動復帰改行	● 復帰改行 ● 復帰のみ	○	×
印刷開始コード	● CRコードのみ ● CRコードやその他のコード	○	×
CRコードの機能	● 復帰のみ ● 復帰改行	○	×

*1 グレー部分が初期設定です。
*2 201PLエミュレーションが設定されているときのみ設定が可能です。
*3 オプションのマルチプロトコルLANボードが装着されているときのみ設定が可能です。
*4 オプションの両面印刷ユニットが装着されているときのみ設定が可能です。

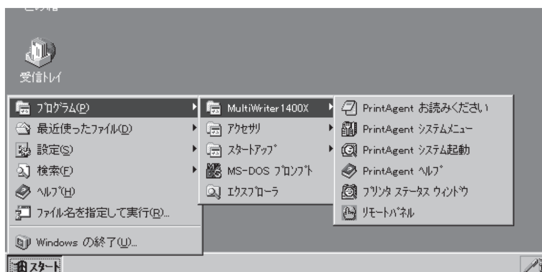
リモートパネルの起動

リモートパネルは次の2通りの起動方法があります。

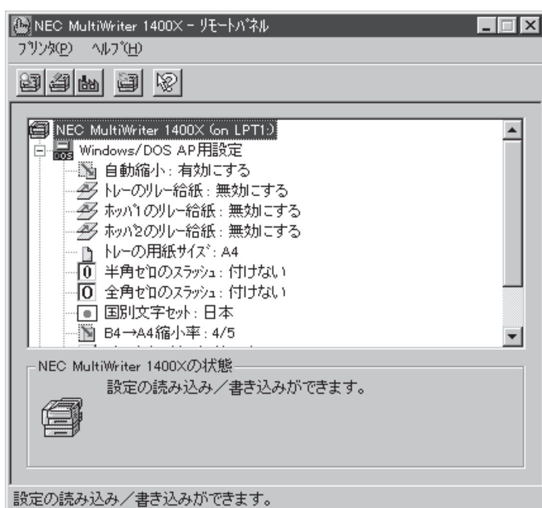
[スタート]ボタンから起動させる

[スタート]ボタンをクリックし、[プログラム]-[MultiWriter 1400X]をポイントします。次にリモートパネルをクリックします。

Windows NT3.51の場合は[MultiWriter 1400X]ウィンドウのリモートパネルをクリックします。



このようなリモートパネル画面が現れます。



「プロパティ」ダイアログボックスから起動させる

Windows 95の場合「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスから、Windows NT4.0/NT3.51の場合「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックスから起動させる方法です。ここではWindows 95の手順を説明します。Windows NT4.0/NT3.51に関してはそれぞれの章の「印刷の詳細設定を行う」を参照してください。

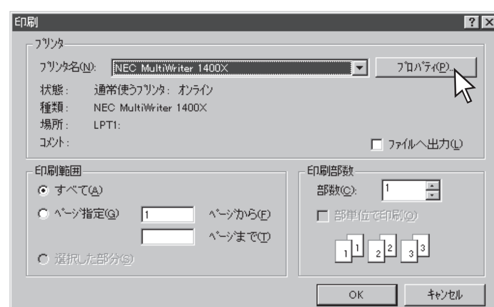
1. **「ファイル」メニューの「印刷」をクリックする。**

「印刷」ダイアログボックスが開きます。

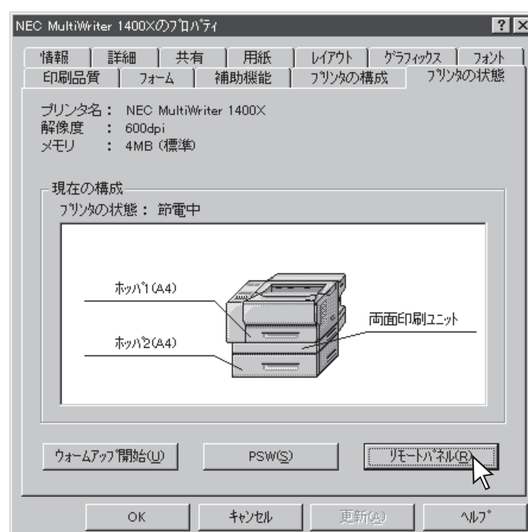


2. **［プロパティ］ボタンをクリックする。**

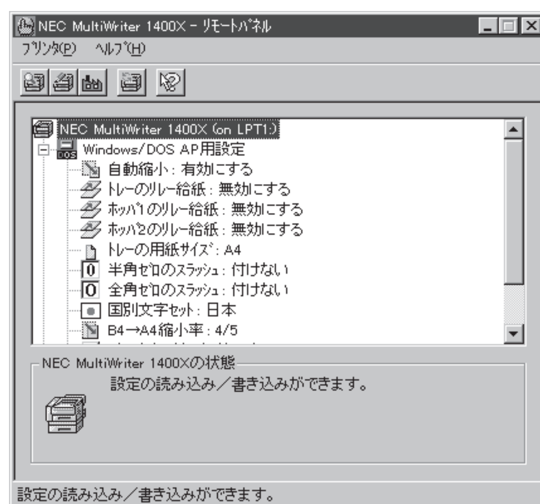
「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスが開きます。



3. **［プリンタの状態］タブをクリックし、［リモートパネル］ボタンをクリックする。**



右のようなリモートパネル画面が現れます。



リモートパネルの使い方

リモートパネルで共通に使うボタン類の機能について説明します。


プリンタの設定内容を読み込みます。


プリンタに設定内容を書き込みます。


設定値を工場出荷時の設定に戻します。


対象とするプリンタを変更します。クリックすると「プリンタの選択」ダイアログボックスが表示されます。


ポインタでウィンドウ内の各部分をクリックすると対応する説明が表示されます。

プリンタに付けられた名前を表示します。

メニュー（下記参照）

ツリービュー
設定できる項目と現在の設定が表示されます。項目名を直接クリックすると選択できます。

ツリービューで選択した項目の説明が表示され設定の変更ができます。

ステータスバー
現在のプリンタの状態、またはポインタが指している機能の説明が表示されます。

「プリンタ」メニュー



「設定の読み込み」
プリンタの設定内容を読み込みます。

「設定の書き込み」
プリンタに現在の設定内容を書き込みます。

「初期値を表示」
設定値を工場出荷時の設定に戻します。

「プリンタの変更」
対象とするプリンタを変更します。

「終了」
リモートパネルを終了します。

「ヘルプ」メニュー



「トピックの検索」
ヘルプの目次を表示します。

「バージョン情報」
リモートパネルのバージョン情報を表示します。

リモートパネルを使った設定変更は以下の手順で行います。

プリンタ名

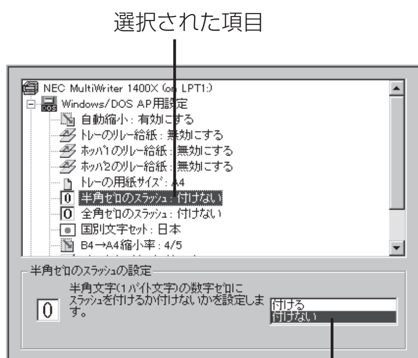


「プリンタ変更」ボタン

1. 設定を変えたいプリンタかどうか確認する。

タイトルバーのプリンタ名で確認してください。もし希望のプリンタでない場合は「プリンタの変更」ボタンをクリックするか「プリンタ」メニューから「プリンタの変更」を選んで変更します。

選択された項目

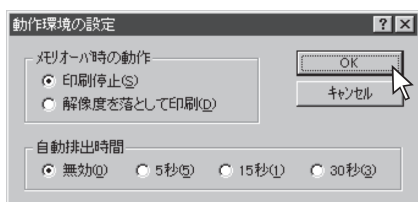


現状の設定

2. ツリービューから希望の設定項目を選ぶ。

クリックしてください。選択されると黒く反転表示になります。

もし設定項目が表示されない、見つからない場合は「設定読み込み」ボタンをクリックするか「プリンタ」メニューから「設定の読み込み」を選びます。それでも表示されない場合はプリンタとコンピュータが双方向通信していない可能性があります。188、189ページを参照して設定を確認してください。



3. 設定ウィンドウで設定を変更する。

ダイアログボックスで設定を変えた場合、必ず最後に[OK]ボタンをクリックします。

「設定書き込み」ボタン



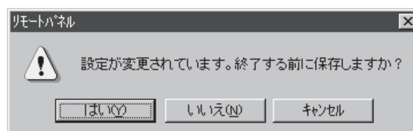
4. 変更した設定内容をプリンタに書き込む。

「設定書き込み」ボタンをクリックするか「プリンタ」メニューから「設定の書き込み」を選びます。

5. 「プリンタ」メニューから「終了」を選びリモートパネルを終了する。

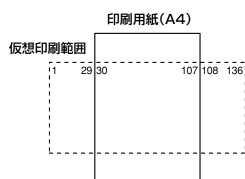
これでリモートパネルの設定変更は終了です。

もし変更した設定内容が書き込まれていないと次のようなダイアログボックスが表示されますので該当するボタンをクリックしてください。

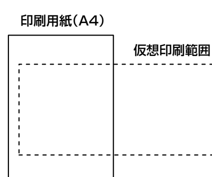


設定項目

リモートパネルで設定できる内容を項目の五十音順に説明します。なおリモートパネルはお使いになる状況やコンピュータの設定により、利用できる範囲が限定される場合があります。詳しくはPrintAgentの「ヘルプ」で「リモートパネルのセキュリティ」の項をご覧ください。



用紙位置中央合わせ



用紙位置左端合わせ

136桁モード

用紙の印刷位置調整をするとき基準は左端合わせにするか中央合わせにするか、位置調整の方向は右方向にするか左方向にするかを切り替えます。位置調整量は「位置微調整量」スピンボックスで設定します。

- 用紙位置中央合わせでは、A4サイズの用紙を使用した場合、136桁の仮想印刷範囲の30桁目から107桁目までが印刷されます。
- 用紙位置左端合わせでは、136桁の仮想印刷範囲と印刷用紙の左端を合わせます。また、用紙位置調整によって、右の図のように仮想印刷範囲を超えて用紙位置を設定することもできます。

201PLエミュレーション

プリンタの動作モードを201PLエミュレーションモードにします。201PL対応ソフトウェアがそのまま使用できるようになります。

8/7ビットモード

インタフェースのデータが8ビット有効か7ビット有効かを切り替えます。201PLエミュレーションモード時のみ設定可能です。

A4ポートレート桁数

用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数をパイカ文字で78桁にするか80桁にするかを設定します。

B4→A4縮小率

B4→A4縮小モードを指定したときに、縮小率を2/3にするか4/5にするかを切り替えます。

CRコードの機能

CRコード(印刷位置の復帰)を受信したとき復帰のみをさせるか、復帰改行動作をさせるかを切り替えます。

DC1, DC3コード

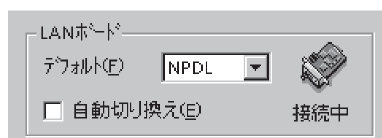
DC1, DC3コード(セレクト/ディセレクトの設定)を有効にするか無効にするかを切り替えます。201PLエミュレーションモード時のみ設定可能です。

ESC c1（リセット）コードで登録データを消す

ESC c1コード（ソフトウェアリセット）で登録データの初期化をするかどうかを切り替えます。OFFにするとESC c8コード（パラメータリセット）と同じ機能になります。リセットされる内容についてはプリンタソフトウェアCD-ROMの［MANUAL］をご覧ください。

FFコードで白紙を出力する

FFコード（改ページ指令）のみで白紙を出力するかどうかを切り替えます。OFFにするとESC a、ESC bコード（未印刷データ排出）と同じ機能になります。



LANボード

この設定画面はオプションのマルチプロトコルLANボードを装着すると表示されます。LANボードの動作エミュレーションを指定します。リストボックスには次の項目が表示されます。

- NPDL
- ESC/P

また、自動切り替えチェックボックスをONにすると、送られてくる印刷データから動作モードを判断し、自動的にエミュレーションを切り替えて印刷します。ただし、印刷データによっては印刷結果が不正になる場合があります。

SET機能を使用する

SET機能を使用するかしないかを選択します。SET機能を使用するとテキストやグラフィックのエッジのギザギザをなくし、画質を向上させることができます。

印刷位置調整

第一印刷位置を「レフトマージン初期設定」か「136桁モード」かで設定します。「136桁モード」は201PLエミュレーションが選択されているときのみ設定可能です。

印刷位置微調整量

136桁モード時の位置調整量を1/10インチ単位で設定します。設定範囲は0/10～15/10インチです。

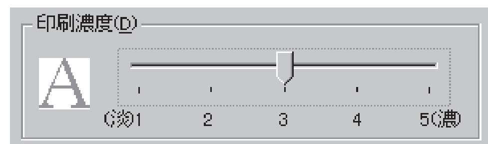


印刷開始コード

印刷をCRコード（印刷位置の復帰）のみで開始するか、CRを含んだその他のコード（LF、VT、FF、US、ESC a、ESC b）で開始させるかを切り替えます。

印刷濃度

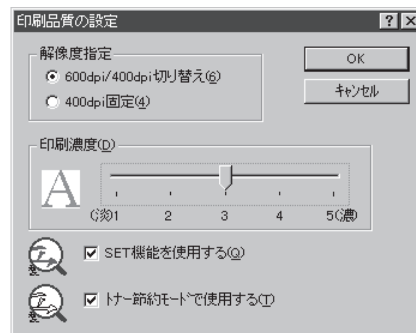
印刷濃度の設定を行います。EPカートリッジおよび装置ごとの濃度のバラツキを吸収するための設定です。



印刷品質



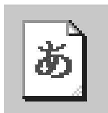
[印刷品質]ボタンをクリックすると印刷品質に関する詳細な設定ができるダイアログボックスが表示されます。



印刷部数

印刷部数を指定することができます。1〜99枚まで設定可能です。

印刷方向





ポートレート　　ランドスケープ

ページを縦長(ポートレート)か横長(ランドスケープ)で印刷するかを設定します。

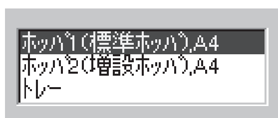
エミュレーションモード

201PLエミュレーションかページプリンタかを切り替えます。
201PLエミュレーションを選択すると201PLエミュレーションに関する詳細な設定が行えます。

解像度指定

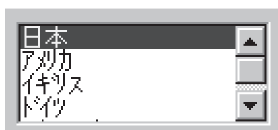
プリンタの解像度を指定します。

給紙方法



使用するホッパ(トレイ)をリストボックスから選択します。リストボックスには使用できる給紙方法が表示されます。プリンタとコンピュータで双方向通信が行われていると、ホッパにセットされている用紙サイズも表示します。

国別文字セット



各国文字セットを選択します。

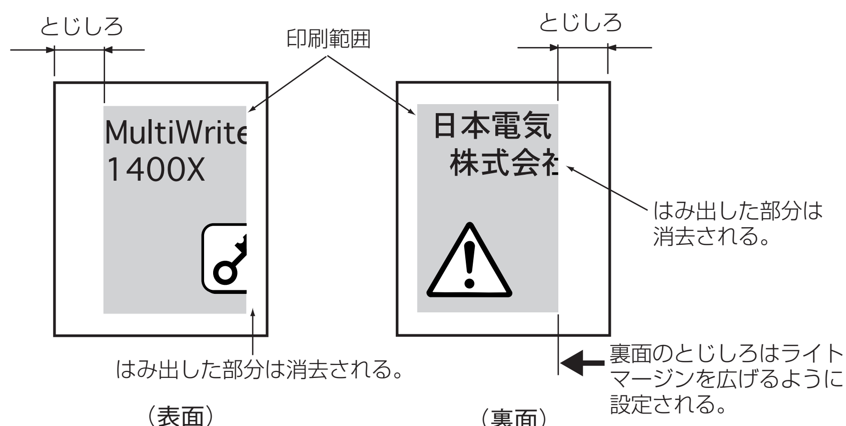
グラフィックモード

グラフィックモード(ドット列印刷)時に横ドット数をネイティブモードにするかコピーモードにするかを切り替えます。コピーモードにすると横ドット数がネイティブモードのときの1/2になります。201PLエミュレーションモード時のみ設定可能です。

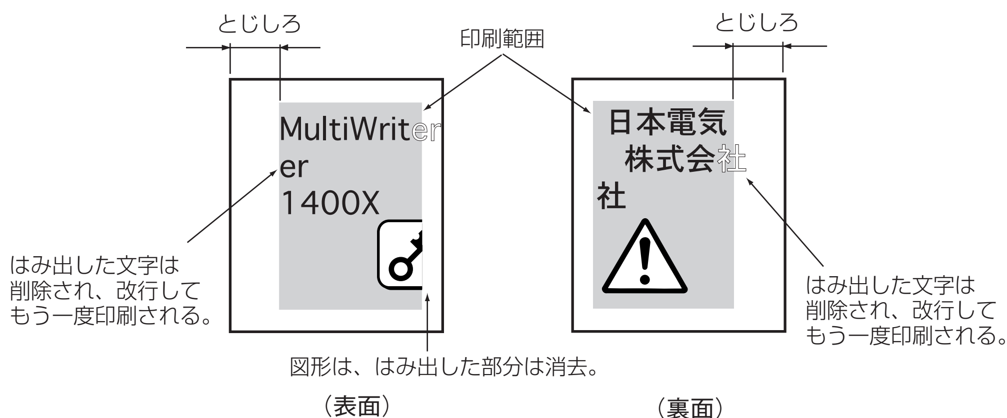
クリップ機能を使用する

とじしろ(とじ側の余白)を多く取り過ぎると印刷データが用紙の印刷範囲を超えてしまう場合があります。クリッピング機能を利用すると、印刷範囲からはみ出した文字を次の行に印刷するか、はみ出した分を消去してそのまま残りのデータを印刷するかを選択できます。クリッピング機能はメニューモード(ユーザーズマニュアル[1/2]を参照)またはリモートパネル(198ページ)で設定できます。

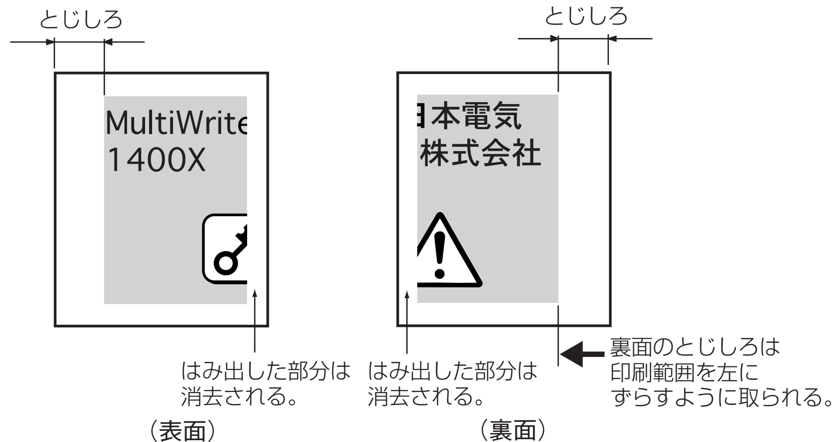
● 「クリップ機能」:OFF
  印刷範囲をはみ出した部分は消去されます。両面印刷時の裏面は、とじしろにかかった右側部分が消去されます。



201エミュレーション、ESC/Pエミュレーションで印刷したとき、またはアプリケーションによっては印刷範囲をはみ出した文字を削除し、改行してからもう一度印刷されます。



- 「クリップ」: ON
  印刷範囲をはみ出した部分は消去されます。両面印刷時の裏面は、とじしろが印刷範囲を左にずらすように設定されるので、レフトマージンにかかった部分が消去されます。



自動縮小

指定用紙サイズがなかった場合、自動縮小して印刷するかどうかを選択します。

自動排出時間

自動排出の有効/無効、および設定時間を指定します。
データを送り終わったのに印刷を開始しない状態が多く発生するソフトウェアを使用している場合、設定時間を選択することをお勧めします。



自動復帰改行

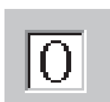
バッファフル印刷を行うとき、復帰のみにするか復帰改行をさせるかを切り替えます。この設定はメモリスイッチ5-1がOFFのとき(同期コード無効)のみ有効です。

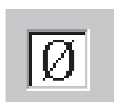
ジョブタイムアウト

ポートエミュレーションの切り替え(NPDLかESC/P)を自動切り替えするまでのタイムアウト時間を指定します。5秒、15秒、30秒から選択できます。

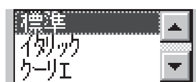
全角ゼロのスラッシュ

全角の数字ゼロに使う字体を「0」か「Ø」に切り替えます。





全角フォント



リストボックスの中から全角文字(2バイト系文字)のフォントを選択します。漢字アウトラインフォントカードのフォントを選択したいときは「漢字1」または「漢字2」を選択します。

セントロポート

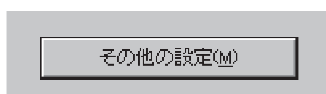


リアポートの動作エミュレーションを指定します。リストボックスには次の項目が表示されます。

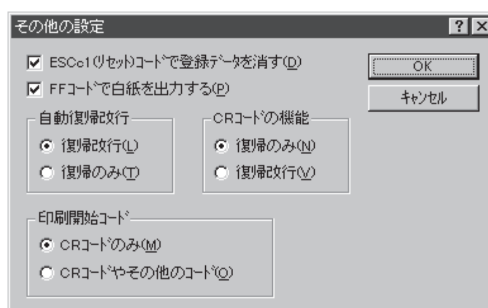
- NPDL
- ESC/P

また、自動切り替えチェックボックスをONにすると、送られてくる印刷データから動作モードを判断し、自動的にエミュレーションを切り替えて印刷します。ただし、印刷データによっては印刷結果が不正になる場合があります。

その他

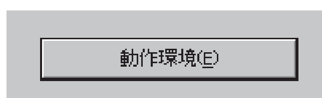


[その他]ボタンクリックするとその他制御コードに関する設定ができるダイアログボックスが表示されます。

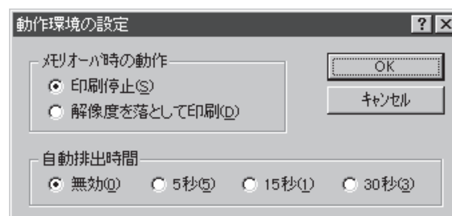


「その他の環境」ダイアログボックス

動作環境

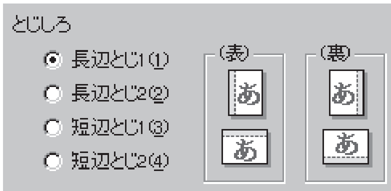


[動作環境]ボタンクリックすると動作環境に関する詳細な設定ができるダイアログボックスが表示されます。



「動作環境」ダイアログボックス

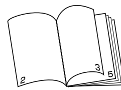
とじしろ



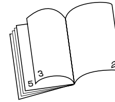
両面に印刷した用紙を本のようにとじるときに、そのとじ方を選択します。

用紙のとじ方には、用紙の長い辺でまとめてとじる「長辺とじ」と、用紙の短い辺でとじる「短辺とじ」の二種類があります。また、それぞれのとじ方の中でも用紙のどの辺(上下または左右の辺)をとじるかを選択することができます。

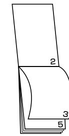
- 「印刷の向き」が「縦(ポートレート)」のとき



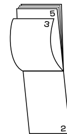
長辺とじ1



長辺とじ2

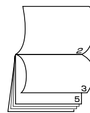


短辺とじ1

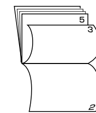


短辺とじ2

- 「印刷の向き」が「横(ランドスケープ)」のとき



長辺とじ1



長辺とじ2



短辺とじ1



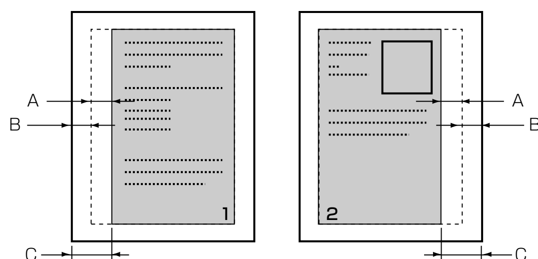
短辺とじ2

とじしろ付加サイズ



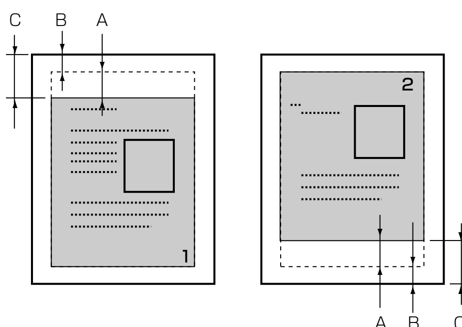
印刷した用紙に穴を開けてファイルにとじたいときなど、穴を開ける余白(とじしろ)の幅を設定することができます。0ミリから20ミリまで1ミリ単位で余白の設定ができます。

プリンタには、用紙の上下左右に数ミリほど印刷できない部分があります。「とじしろ付加サイズ」で設定した値にこの印刷できない部分の幅を加えた余白がとじしろになるため、実際に印刷されたとじしろと「とじしろ付加サイズ」で設定した値は異なります(印刷できない部分についてはプリンタソフトウェアCD-ROMの[MANUAL]をご覧ください)。



A: とじしろ付加サイズで設定した余白
B: 印刷できない範囲
C: 印刷後のとじしろ

長辺とじの場合



A: とじしろ付加サイズで設定した余白
B: 印刷できない範囲
C: 印刷後のとじしろ

短辺とじの場合

トナー節約モードで使用する

トナー節約モードを使用するかしないかを切り替えます。

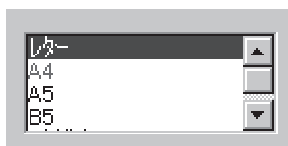


トナー節約機能を使用すると、細い線、濃度の薄い印刷、網かけおよびグラデーションが不鮮明になることがあります。本機能は試し印刷などにご使用ください。また、1400Xは内蔵の疑似OCR-Bフォントの印刷もできますが、疑似OCR-Bフォントの印刷を行う場合にはトナー節約機能は使用しないでください。印刷がかすれ、OCR読み取り装置が読み取りエラーを起こすことがあります。

トレーのリレー給紙

トレーに対してリレー給紙機能を使用するかどうかを設定します。

トレーの用紙サイズ

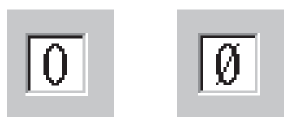


トレーの用紙サイズを設定します。用紙サイズはレター、A4、A5、B5、はがきから選択できます。



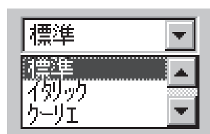
排出方法

印刷文書の印刷面を下にして排出(フェイスダウン)するか印刷面を上にして排出するか(フェイスアップ)を選択します。



半角ゼロのスラッシュ

半角の数字ゼロに使う字体を「0」か「Ø」に切り替えます。



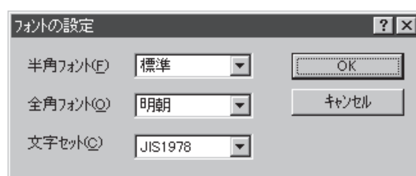
半角フォント

リストボックスの中から半角文字(1バイト系のアルファベット、数字、カタカナ)のフォントを選択します。



フォント

[フォント]ボタンクリックするとフォントに関する詳細な設定ができるダイアログボックスが表示されます。



「フォントの設定」ダイアログボックス

ページプロテクト

プリンタが受信した印刷データをメモリにどのように蓄えるかを設定します。

設定を「OFF」にすると、印刷データは圧縮され、メモリに蓄えられます。印刷データによるメモリ消費が少なくなり、メモリを他の処理に有効に使用できるため処理性能が向上します。しかしデータが非常に複雑な場合や両面印刷設定の場合、プリンタは操作パネルに"メモリオーバー"あるいは"インサツフカ"を表示し印刷を中止したり、印刷結果が不正になることがあります。

設定を「ON」にすると、印刷データは圧縮処理されない状態でメモリに蓄えられます。このためどんなに複雑なデータであっても、メモリオーバーあるいはインサツフカで印刷を中止することなく、印刷することができます。ただし、メモリ増設サイズによっては、両面印刷ができない用紙サイズが存在します。



ページプロテクトをONにするためには8MB以上のメモリを増設する必要があります。また、両面印刷をすべての用紙サイズで実行できるようにするためには、8MB以上のメモリを増設することをお勧めします。詳細については各OSの「両面印刷の手順」のページをご覧ください。

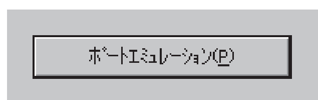
ホッパ1のリレー給紙

ホッパ1に対してリレー給紙機能を使用するかどうかを設定します。

ホッパ2のリレー給紙

ホッパ2に対してリレー給紙機能を使用するかどうかを設定します。

ポートエミュレーション



[ポートエミュレーション]ボタンクリックするとポートエミュレーションに関する詳細な設定ができるダイアログボックスが表示されます。「LANボード」はマルチプロトコルLANボード(オプション)を装着したときのみ設定できます。

また自動切替えチェックボックスをONにすると、送られてくる印刷データから動作モードを判断し、自動的にエミュレーションを切り替えて印刷します。ただし、印刷データによっては正しく印刷されない場合があります。



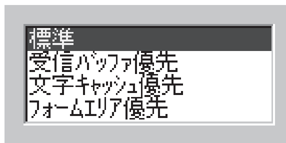
「ポートエミュレーションの設定」ダイアログボックス

メモリオーバ時の動作

「ページプロテクト」をOFFに設定しているとき、メモリオーバーが起きた場合の動作を指定します。

印刷停止を選択した場合、一時的に印刷を停止し、“メモリオーバー”あるいは“インサツフカ”のアラームを表示します。その場合、[印刷可]スイッチを押すことにより解像度を落として印刷を再開することができます。解像度を落として印刷を選択した場合、アラームを表示せずに解像度を落として印刷が継続されます。

メモリ割り当て



印刷する場合に「ページプロテクト」で印刷データのために割り当てられた容量を除く残りのメモリをどのように利用するかを指定します。

8MB以上のメモリを増設した場合は、「標準」以外を選択することができます。

- 標準
  通常の用途で最も性能が発揮できるように、それぞれのバッファにメモリを最適に割り当てます。通常はこの設定のままでお使いください。

- 受信バッファ優先
  印刷データをプリンタ内部に蓄えるために使用されるメモリ(受信バッファ)に優先してメモリを割り当てます。これにより、コンピュータが印刷のために行う処理を少なくすることができます。



「受信バッファ優先」に設定した場合、ネットワーク用プリンタユーティリティ使用時に表示される「メモリサイズ」の各々の項には実装されているメモリ容量よりも少ない値が表示されます。NPDLのステータス印刷では正しい値が表示されます。

- 文字キャッシュ優先
  印刷データ中の文字データを認識するために使用されるメモリ(文字キャッシュ)に優先してメモリを割り当てます。文字データの多いもの(テキストデータなど)を印刷するときこの設定を指定しておくと、処理能力が向上します。

- フォーム登録優先
  フォーム登録のために使用されるメモリに優先してメモリを割り当てます。定型の印刷データを使う場合はこの設定に指定しておくと、多量の印刷データを取り扱うことができます。フォーム登録についての詳細は、別売の「日本語ページプリンタ言語NPDL(Level 2)リファレンスマニュアル」を参照してください。

文字セット

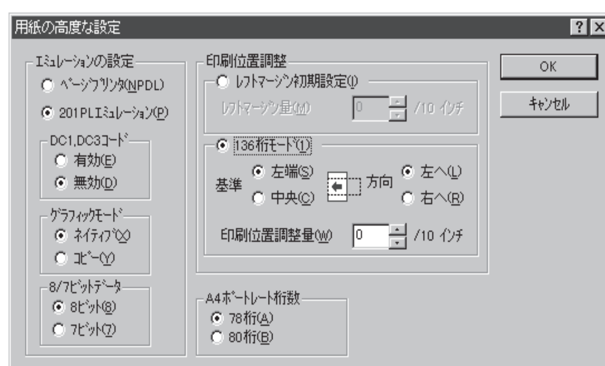


全角(2バイト系の文字)の文字セットを選択します。

用紙の高度な設定

用紙の高度な設定(S)...

[用紙の高度な設定]ボタンクリックすると用紙に関する詳細な設定ができるダイアログボックスが表示されます。

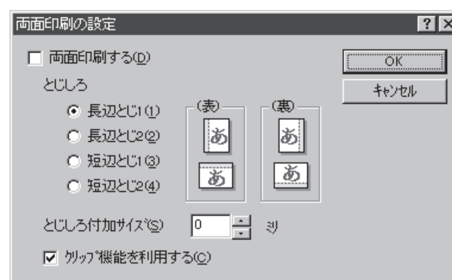


「用紙の高度な設定」ダイアログボックス

両面印刷

両面印刷(D)

[両面印刷]ボタンクリックすると両面印刷に関する詳細な設定ができるダイアログボックスが表示されます。両面印刷の詳細については各OSの「両面印刷の手順」のページをご覧ください。

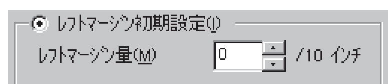


「用紙の高度な設定」ダイアログボックス



> 用紙サイズに「はがき」が選択されている場合や、[給紙方法]で「トレー」が選択されている場合には、両面印刷はできません。

レフトマージン初期設定



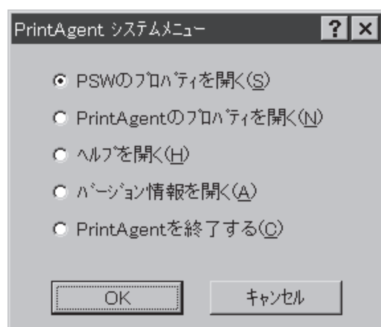
選択すると最左端印刷位置を基準にしてレフトマージンを1/10インチ単位で設定できます。レフトマージン量は「レフトマージン量」のスピンボックスで設定します。

レフトマージン量

レフトマージン量の位置調整量を1/10インチ単位で設定します。設定範囲は0/10〜15/10インチです。

システムメニュー

システムメニューを使って以下のようなPrintAgentの設定項目を選ぶことができます。



- PrintAgentの起動・終了
- プリンタステータスウィンドウの起動・終了
- 共有プリンタに対するPrintAgentの機能提供
- リプリント機能

メニューの表示

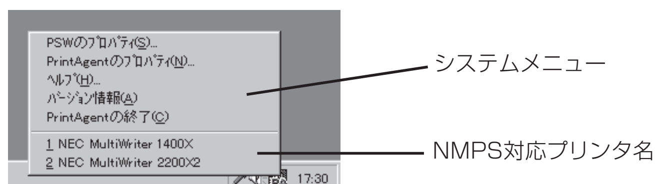
システムメニューは次の2通りの方法で表示できます。

- [スタート]ボタンまたは「プログラムマネージャ」から表示させる

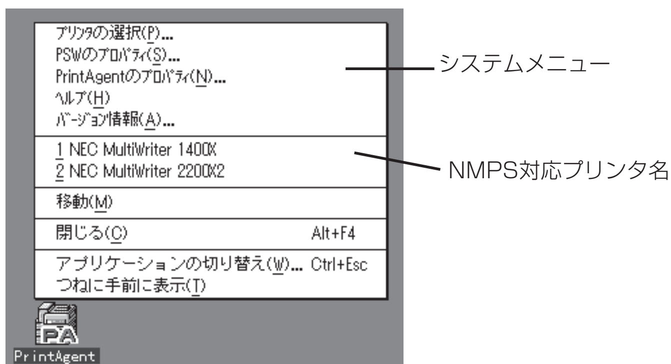
  Windows 95またはWindows NT4.0なら[スタート]ボタンから、Windows NT3.51なら「プログラムマネージャ」から「MultiWriter 1400X」フォルダの「システムメニュー」を開きます（190ページ参照）。

- 「トレーアイコン」から表示させる

  Windows 95/NT4.0の場合、「システムアイコン」を右クリックして表示させます。



  Windows NT3.51の場合、「システムアイコン」を左クリックして表示させます。



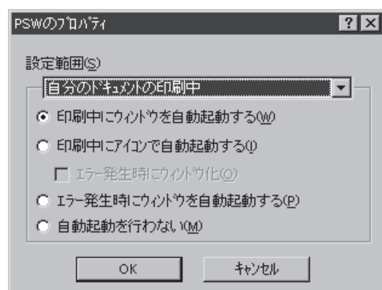


システムメニュー下段のグループは複数のNMPS対応プリンタの中から希望のプリンタのPSWを表示させるためのものです。

PSWのプロパティ

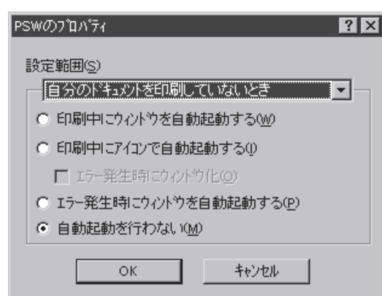
「PSWのプロパティ」ダイアログボックスはプリンタステータスウィンドウをいつ自動起動（表示）させるかを設定します。設定範囲のリストボックスから以下の2つのいずれかを選択できます。

［自分のドキュメントを印刷中］



画面枠内の設定は、自分が印刷を行ったときのPSWの自動起動に関して設定できます。

［自分のドキュメントを印刷していないとき］



自分が印刷していない場合（ネットワーク上でプリンタを共有しているときに他の人が印刷を行った場合を含む）のPSWの自動起動に関して設定できます。

特定のクライアントで、プリンタを管理する場合等は、［自分のドキュメントを印刷していないとき］を選択し、自動起動を行うようにすれば便利です。

リストボックスから設定を適用する範囲におけるプリンタステータスウィンドウを起動させる条件（タイミング）を枠内の項目から選択します。

「印刷中にウィンドウを自動起動する」

印刷を開始すると自動的にPSWを表示し、印刷が終了すると自動的にウィンドウを閉じます。

「印刷中にアイコンで自動起動する」

印刷を開始すると自動的にPSWのアイコンをディスクトップ上に（Windows 95、Windows NT4.0ではタスクバー上）表示します。印刷が終了すると自動的にPSWアイコンは消えます。必要に応じてウィンドウとして表示することができます。また、「エラー発生時にウィンドウ化」をチェックすると、印刷中にエラーが発生したとき、自動的にウィンドウが表示されます。

「エラー発生時にウィンドウを自動起動する」

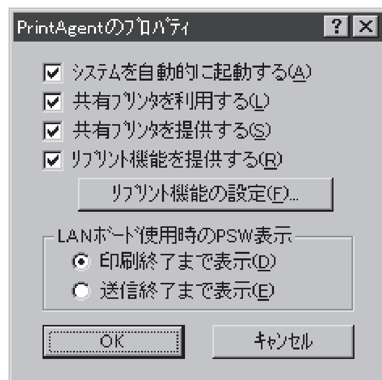
なんらかの対処をしなければ印刷を継続できないエラーが発生した場合に自動的にPSWを表示します。エラー状態が解除されると自動的にウィンドウは閉じます。

「自動起動を行わない」

印刷時の自動起動を行いません。

PrintAgentのプロパティ

「PrintAgentのプロパティ」ダイアログボックスでは、おもにネットワークでPrintAgentを使って1400Xを効率よく運用していただくために必要な項目が設定できます。



「システムを自動的に起動する」

Windowsの起動時にPrintAgentシステムが自動的に起動します。設定した内容は、次回のWindows起動時またはログオン時から有効となります。

「共有プリンタを利用する」

他のコンピュータ(プリントサーバ)がネットワーク共有プリンタとして提供している1400Xに対してPrintAgentの機能(プリンタステータスウィンドウ、リモートパネル)を利用できるようになります。
この設定は、共有プリンタに対するPrintAgent機能の利用のみを設定するもので、OFFになっていても印刷自体は可能です。



設定が有効になるためには、プリントサーバ側のPrintAgentのプロパティで「共有プリンタを提供する」がチェックされている必要があります。

「共有プリンタを提供する」

お使いのコンピュータに接続されている1400Xをネットワーク共有プリンタとして他のコンピュータに対して提供している場合に、他のコンピュータからPrintAgentの機能(プリンタステータスウィンドウ、リモートパネル)が利用できるようになります。

この設定は、PrintAgentの機能の利用のみを設定するもので、OFFになっていてもクライアントから共有プリンタに印刷することはできます。また共有プリンタを提供するコンピュータがWindowsのログオン画面表示中(ユーザーがログオンしていない間)であっても他のコンピュータからPrintAgent機能は利用可能です。



本項目は、Windows NTでは、管理者レベルのユーザのみ設定を変更できます。

「共有プリンタを利用する」、「共有プリンタを提供する」は、通常はONのままで支障ありませんが、次の場合はOFFにすることをお勧めします。

- ネットワークの回線速度が遅い

  低速回線を経由する共有プリンタに対して、PrintAgentを使用すると、通信速度の関係でPSWなどの操作がしにくかったり、状態の表示が遅れたりすることがあります。



- コンピュータの処理能力が十分でない

  コンピュータの性能があまり高くない場合、PrintAgentのご利用により、他の作業の処理速度に影響する可能性があります。この設定を外してもローカルに接続しているプリンタでは、引き続きPrintAgentがご利用になれます。

- 課金されるネットワークを使用している

  プリントサーバとクライアントが電話回線やルータなどを介して通信する場合、PrintAgentは共有プリンタを利用する時に印刷を行わなくても通信を行うため、予想以上に課金されることがあります。ただし、PrintAgentのプロパティで共有プリンタを利用・提供しない設定になっている場合は、これらの設定は何も影響を与えません。

「リプリント機能を提供する」

チェックすると、印刷済みデータがコンピュータ上に保管(スプール)されるようになります。いったんスプールされたデータはアプリケーションを起動することなくPSWのダイアログボックスから再出力(リプリント)できるようになります。

[リプリント機能の設定]ボタン

リプリント機能の設定(F)...

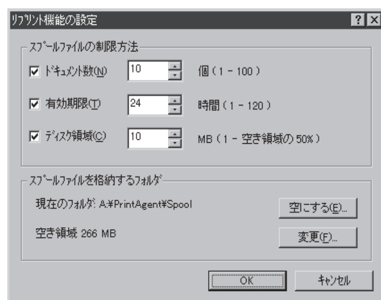
クリックすることにより、「リプリント機能の設定」ダイアログボックスが表示されれます。

「LANボード使用時のPSW表示」

LANボード使用時にいつまでPSWを表示させるか設定します。
LANボードを使用してネットワーク接続された共有プリンタに対して「印刷ログ出力機能」を利用したい場合は「印刷終了まで表示」に設定する必要があります(226ページ参照)。

LANボード使用時のPSW表示
- (●) 印刷終了まで表示(D)
- ( ) 送信終了まで表示(E)

「リプリント機能の設定」ダイアログボックス

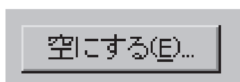


リプリント機能を利用するためのスプールファイル関係の設定をするダイアログボックスです。

スプールファイルの制限方法

以下の制限のいずれかに相当した場合は、すでにスプールしてあるドキュメントの中から最も古いファイルから消去されます。

- ドキュメント数
  スプールする最大ドキュメント数を限定します。1～100個の範囲で設定できます。
- 有効期限
  スプールしておく時間を設定します。1～120時間の範囲で設定できます。
- ディスク領域
  スプールに使う最大ディスク領域を設定します。指定するディスクの空き容量の50%を上限にMB単位で設定できます。



[空にする]ボタン

スプールしてあるドキュメントをすべて削除します。



[変更]ボタン

スプールするフォルダを変更します。空き容量が不足した場合には、ボタンをクリックし、以下のフォルダの参照画面により、スプールするフォルダを変更します。



ネットワークで接続されたフォルダやリムーバブルディスクはスプールするフォルダとして指定できません。

リプリントの実行

リプリント機能を利用すると一度印刷したデータはアプリケーションから再び印刷を実行することなく、PSWのダイアログボックスから直接再出力(リプリント)できるようになります。

たとえば次のように利用すると短時間に印刷できるだけでなく、用紙の節約にもなります。

- 複数の部数を印刷するようなコピー印刷をするとき、1部だけ試しに印刷してフォントサイズや配置などを確認してから、残りの部数を印刷する
- 一度印刷した文書を追加印刷する



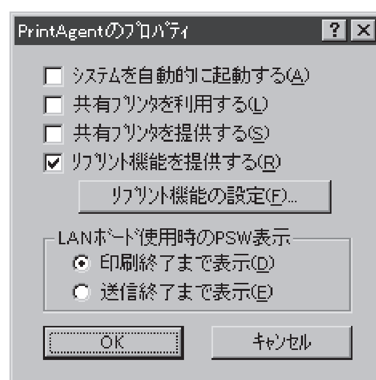
ご使用のコンピュータにPrintAgentおよびプリンタドライバがインストールされて、プリンタとの間で双方向通信が行われていることが必要です。ローカル接続、ネットワーク接続どちらでも機能します。

ここではリプリント機能を使った印刷方法をWindows 95での操作を例に説明します。Windows NT4.0/NT3.51でも同様の操作で印刷できます。

1. ローカル接続されているコンピュータまたはプリンタサーバのPrintAgentのシステムメニューからPrintAgentのプロパティを開き、「リプリント機能を提供する」をチェックする。

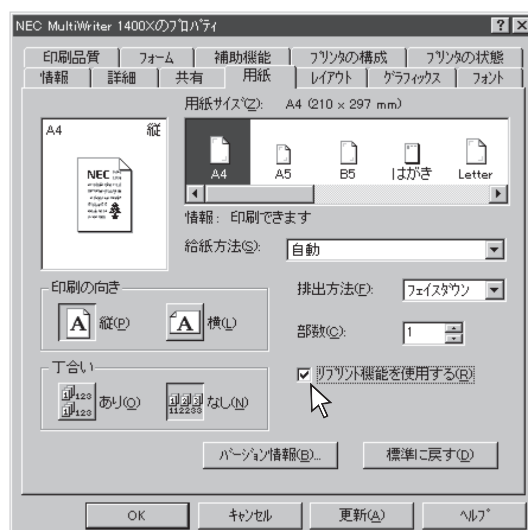


プリントサーバがWindows NT4.0/NT3.51の場合、権限がないと、この設定できません。



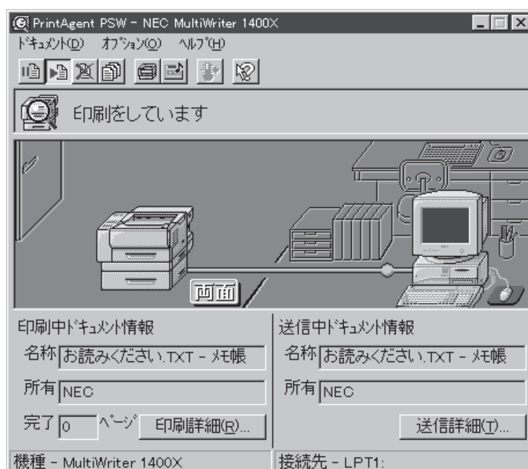
2. リプリント機能を利用するコンピュータの「プロパティ」ダイアログボックスから[用紙]シートを開き、「リプリント機能を使用する」をチェックする。

Windows NT4.0/NT3.51の場合は、「ドキュメントプロパティ」ダイアログボックスの[用紙]シートを開き、「リプリント機能を使用する」をチェックします。

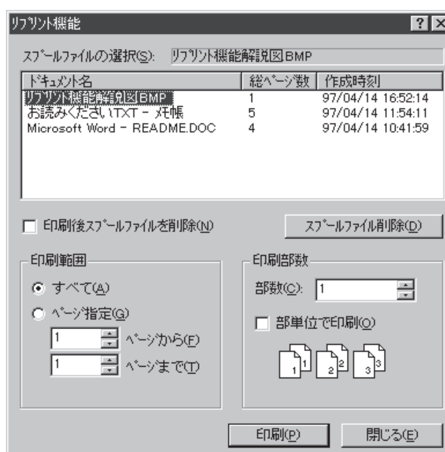


3. アプリケーションでドキュメントを印刷する。

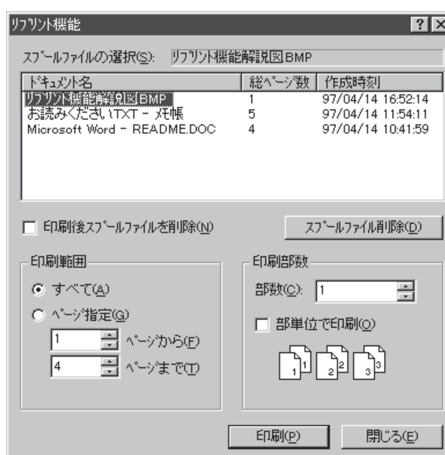
同時にリプリント用文書データがローカル接続されているコンピュータまたはプリントサーバに保管(スプール)されます。



4. PSWの「リプリント機能」ダイアログボックスを開き、リプリントしたいドキュメントを選ぶ。



5. 再印刷する印刷範囲、印刷部数、丁合いを設定し、印刷する。

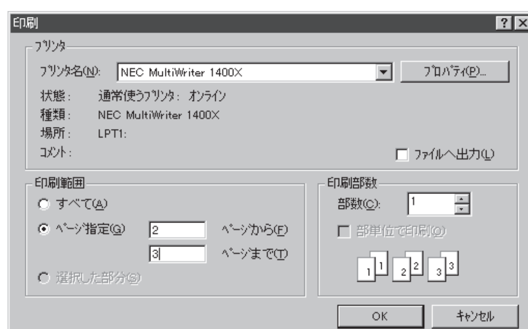


リプリント機能のヒント

リプリント機能を利用するにあたって以下の内容を参考にしてください。

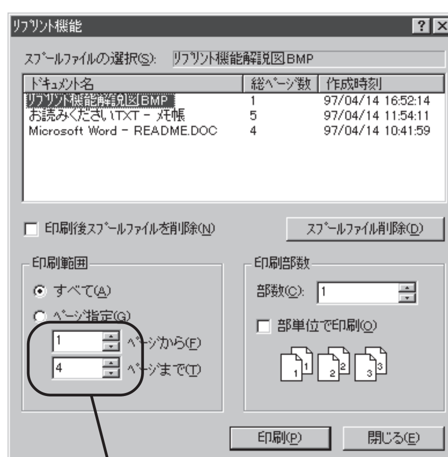
- **リプリント機能で印刷できるページは最初にアプリケーションで実際に印刷したページのみです。**

  たとえば10ページある文書の中から右の「印刷」ダイアログボックスのように2〜3ページを印刷した場合、1、4〜10ページをリプリントすることはできません。



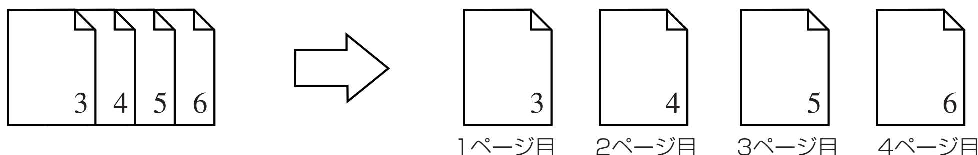
- **リプリント機能で印刷するページを指定する場合、最初にアプリケーションで印刷したときの開始ページが「1ページ目」として設定されます。**

  たとえば文書の3〜6ページを印刷して、リプリント機能で3ページのみを印刷するときのページ指定は「1」です。また、4、5ページを印刷するときの開始ページは「2」、終了ページは「3」です。



アプリケーションでの印刷：
[3]ページから
[6]ページまで

リプリント機能での印刷：
[1]ページから
[4]ページまで



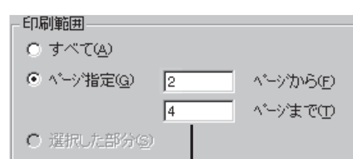
- **ネットワーク環境ではプリントサーバや1400Xを共有プリンタとして他のクライアント(利用者)に提供しているコンピュータにスプールされます。**

  スプールされたファイルは「リプリント機能の設定」ダイアログボックスで設定された制限に従って古いものから消去されます。(詳細は220ページ)

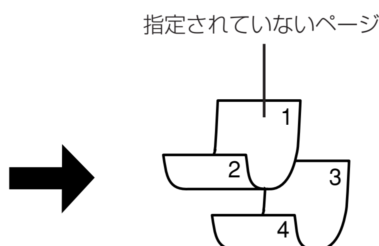


- **両面印刷を使ってリプリントを実行すると印刷データの印刷範囲に奇数ページが指定されたとき、指定ページ以外のページ数が印刷されることがあります。**

  例えば1〜5ページある印刷データで、2〜4ページの印刷範囲を指定した場合、1枚目は1ページと2ページが印刷され、2枚目は3ページと4ページが印刷される場合があります。



印刷の合計ページは
3ページ(奇数)



印刷ログの出力

MultiWriter 1400Xには印刷した履歴をログ情報として、プリントサーバ(Windows NT4.0/NT3.51)の「PrintAgent」フォルダに出力し記録させる機能があります(この機能はプリンタ管理者のみご使用になれます)。

プリンタが、どのクライアントに一番多く使用されているか、毎月何日頃に多く使用されているか、一回の印刷で使用されている用紙の枚数は、どの程度かなどを集計することができます。これらの情報から、年間・月ごとやクライアント別のプリンタの使用頻度の統計、消耗品の準備時期などの管理ができます。

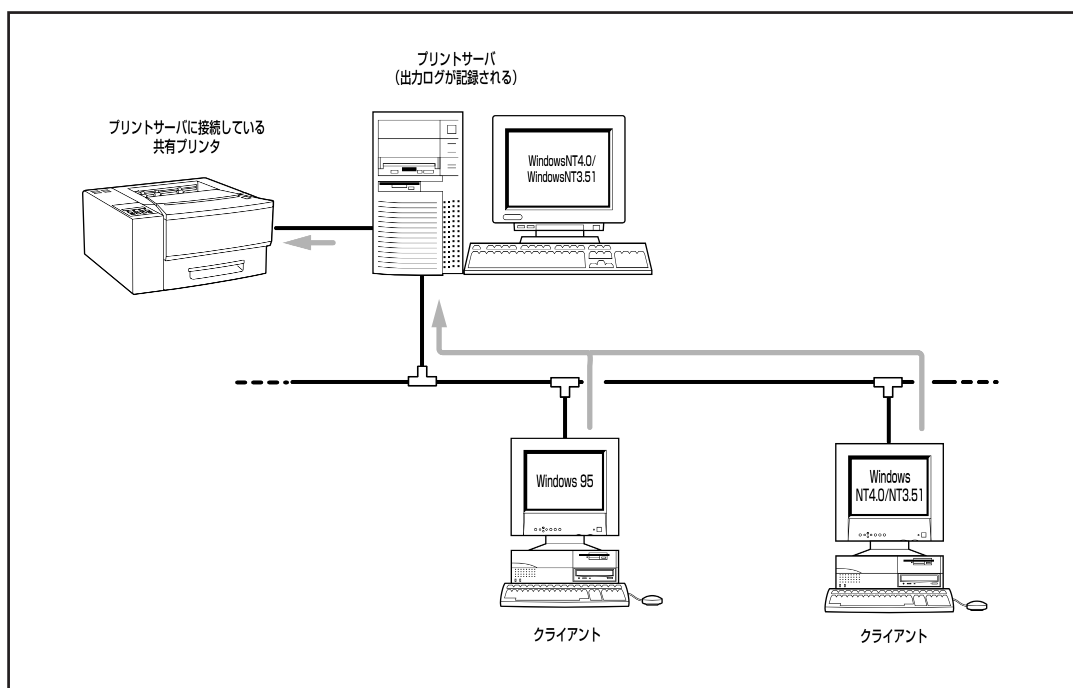
この機能を利用するにはプリントサーバ(Windows NT4.0/NT3.51)と1400Xが以下のいずれかの形態で接続されている必要があります。



Windows 95では、ローカル接続、LANボード接続に関係なくWindows 95上に印刷ログは記録できません。

ローカル接続

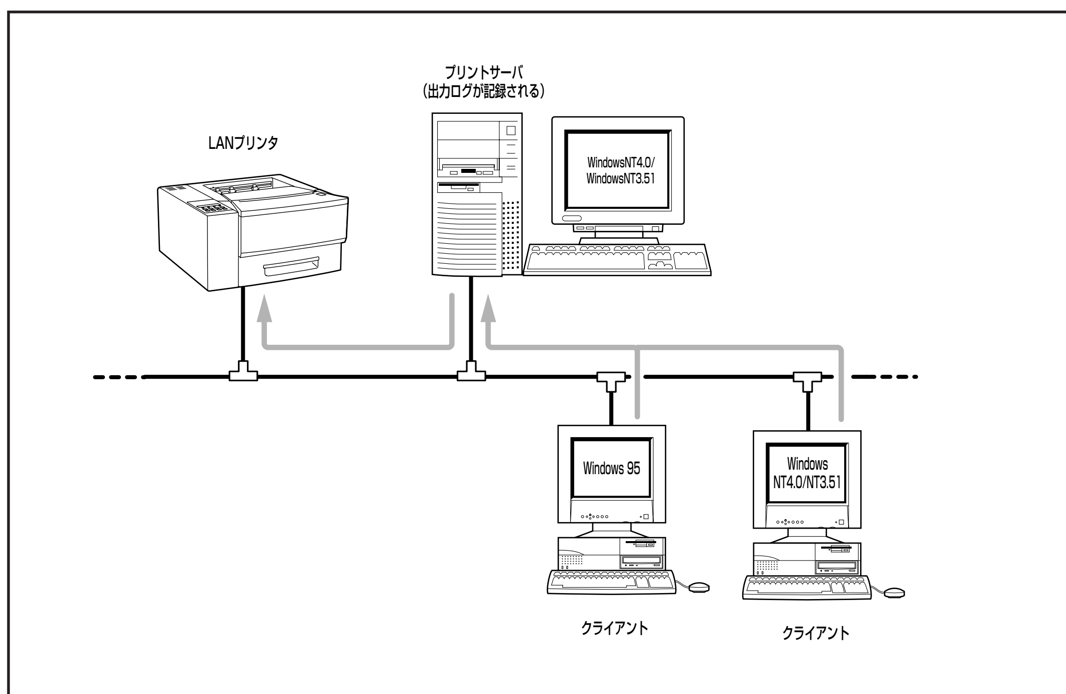
プリントサーバが直接接続されている1400Xを共有プリンタに設定している形態です。



ローカル接続されたプリンタの共有

ネットワーク接続

プリントサーバがマルチプロトコルLANボードネットワークに接続されている1400Xを共有プリンタに設定している形態です。

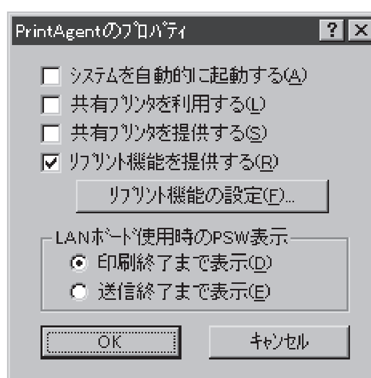


LANボード接続されたプリンタの共有

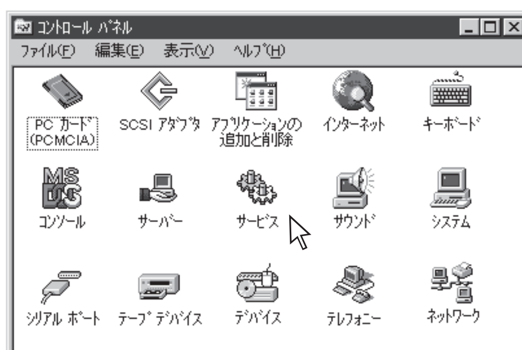
印刷ログ出力機能を設定する

1. **「LANボード使用時のPSW表示」を「印刷終了まで表示」にする。**

LANボード接続されているプリンタを共有している場合のみ、「PrintAgentのプロパティ」ダイアログボックスで設定してください。

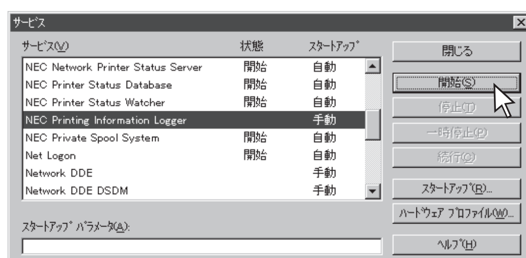


2. プリントサーバ(Windows NT4.0/3.51)の[コントロール パネル]から[サービス]ダイアログボックスを開く。

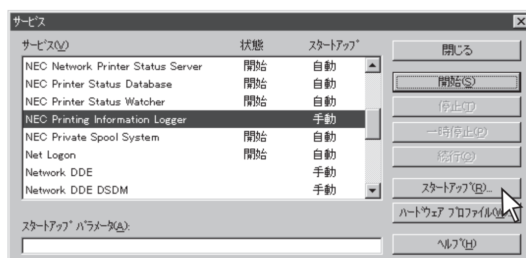


3. [サービス]リストボックスから「NEC Printing Information Logger」を選んで、[開始]ボタンをクリックする。

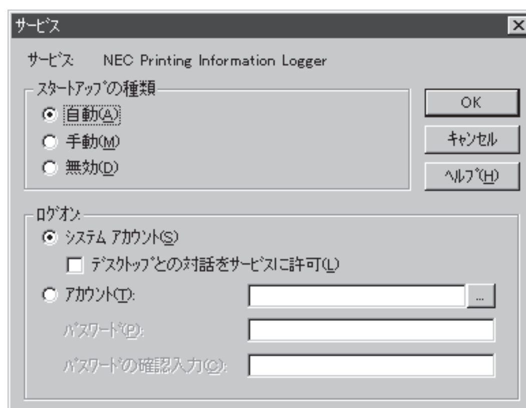
サービスが起動されます。



4. 次回起動時も自動的にサービスを起動する場合は、[スタートアップ]をクリックする。



5. スタートアップの種類を「自動」にして、[OK]をクリックする。



印刷ログファイルの出力

印刷ログ出力機能を利用する設定にして、サービスが起動すると、PrintAgentをインストールしたフォルダに「LOG」というサブフォルダが作成されます。



また印刷が行われると、そのサブフォルダ内に「NEC MultiWriter 1400X.log」というログファイルが作成され、印刷履歴情報が記録されます。



Aドライブのルートにprintagentをインストールし、NEC MultiWriter 1400Xで印刷を行ったとき、ログファイルは以下のディレクトリに作成されます。

ログファイル：A:¥PrintAgent¥LOG¥NEC MultiWriter 1400X.log

印刷するたびにログファイルには次のような情報が記録されます。

“プリンタ名”,“ドキュメント名”,“ドキュメント所有者名”,印刷開始日,印刷開始時刻,印刷終了日,印刷終了時刻,印刷枚数


ヒント

- ログファイルはCSV形式で記録されます。このファイル形式は表計算ソフトやデータベースソフトなどで読み込むことができます。
- ログファイルのサイズが1MB を超えると自動的にバックアップされます。バックアップファイルの拡張子は".log"から".001", "002"...のようになります。

（例） ログファイルの内容

"NEC MultiWriter 1400X", "お読みください - メモ帳", "近藤", 97/04/25, 午後 07:12:20,97/04/25, 午後 19:12:44, 5,
"NEC MultiWriter 1400X", "海辺の思い出", "山田", 97/04/25, 午後 07:13:53, 97/04/25, 午後 19:14:05, 1,
"NEC MultiWriter 1400X", "NEC MultiWriter 1400X - メモ帳", "鈴木", 97/04/25, 午後 07:17:49, 97/04/25, 午後 19:17:57, 1,
"NEC MultiWriter 1400X", "network", "田中", 97/04/25, 午後 07:20:45, 97/04/25, 午後 19:21:40, 16,

PrintAgentが正しく動作しない

次の表にPrintAgentが正しく動作しないときの症状とその原因、処理方法を示します。それぞれの方法に従って対処してください。

PrintAgentが正しく動作しない(1/3)

症　状	原因と処理方法
画面上にPrintAgentのシステムアイコンが表示されていない	**「PrintAgentのプロパティ」ダイアログボックスで、「システムを自動的に起動する」をチェックしていない。** →チェックしてください。Windows 95の場合、次回起動時から、Windows NTの場合、次回ログオン時から自動的に表示されます。
	PrintAgentを終了している。 →Windows 95/NT4.0: [スタート]-[プログラム]-[MultiWriter 1400X]-[PrintAgentシステム起動]を実行してください。 →Windows NT3.51: [プログラムマネージャ]-[MultiWriter 1400X]-[PrintAgentシステム起動]を実行してください。
プリンタステータスウィンドウやリモートパネルが［スタート］メニューまたは［プログラムマネージャ］に登録されていない	**カスタムインストールによって、インストール対象とされなかった。** →システムの管理者にご相談ください。
	必要なファイルが削除されている。 →PrintAgentを再インストールしてください。
使用したいプリンタのプリンタステータスウィンドウやリモートパネルが選択できない	**プリンタフォルダまたはプリントマネージャに「NEC MultiWriter 1400X」のプリンタが登録されていない。** →プリンタドライバをインストールしてください。
	プリンタドライバが変更されている。 →プリンタドライバを「NEC MultiWriter 1400X」に変更する、または再インストールしてください。
プリンタステータスウィンドウやリモートパネルが起動しない	**プリンタのアクセス権がない。** →権限を確認してください。
	必要なファイルが削除されている。 →PrintAgentを再インストールしてください。
	コンピュータのメモリ不足。 →必要のないアプリケーションを終了してください。
	プリンタポートを直接アクセスしてプリンタの状態を監視するユーティリティが使用されている。 →コンピュータで使用されているユーティリティに応じて、プリンタの監視を行わないように設定してください。
	パラレルポートの設定が正しくない。 →コンピュータのパラレルポートの設定を変更してください。
プリンタステータスウィンドウの表示内容が不正である、アニメーションが行われない	**印刷データを直接プリンタに送信している。** →印刷データ（ジョブ）をスプールするように設定してください。
	[通知形式のプロパティ]の設定が変更されている。 →設定内容を確認してください。
プリンタステータスウィンドウがプリンタの状態を正しく表示しない	**14ピンパラレルインタフェースでプリンタを接続している。** →このインタフェースではプリンタの情報を取得することができずプリンタステータスウィンドウの機能が大幅に制限されます。プリンタ増設インタフェース（PC-9801-94）をお使いになることをお勧めします。
	プリンタのメモリスイッチ5-1がONになっている。 →メモリスイッチ5-1をOFFにしてください。ただし、PC-PTOSの場合は、メモリスイッチ5-1をONにする必要があるためPrintAgentはお使いになれません。その場合はPrintAgentをアンインストールしてください。

PrintAgentが正しく動作しない(2/3)

症　状	原因と処理方法
プリンタステータスウィンドウがプリンタの状態を正しく表示しない	**赤外線通信アダプタまたはUSBプリンタケーブルでプリンタと通信している。** →双方向通信（または双方向通信の一部の機能）はお使いになれません。プリンタドライバのプロパティの[詳細]-[スプールの設定]で[このプリンタの双方向通信機能をサポートしない]をチェックし、再起動してください。
	プリンタが直接つながっているコンピュータで双方向通信ができない設定になっている。 →Windows 95: プリンタのプロパティの[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタで双方向通信機能をサポートする]をチェックしてください。 →Windows NT4.0: プリンタのプロパティの[ポート]-[双方向サポートを有効にする]をチェックしてください。 →Windows NT3.51: ［印刷先］をLPT1（LPT2、LPT3）からLPTN1（LPTN2、LPTN3）に変更してください。
	プリンタが直接つながっているコンピュータがWindows NT4.0でプリンタプールを使用している。 →Windows NT4.0上のすべてのプリンタの[プリンタのプロパティ]-[ポート]-[プリンタプールを有効にする]のチェックを外してください。
プリンタステータスウィンドウの音声メッセージが通知されない	**音声を通知しない設定となっている。** →[通知形式のプロパティ]の設定を確認してください。
	[プリンタステータスウィンドウのプロパティ]の[自分のドキュメントを印刷していないときの設定]が自動起動するになっていない。 →自分のドキュメントを印刷していないときの音声メッセージは「自動起動しない」と設定されているときは通知されません。「エラー発生時にウィンドウで自動起動する」と設定されているときはエラー時のみ通知されます。
	ボリューム、Windowsのサウンドの設定が変更されている。 →設定を確認してください。
プリンタステータスウィンドウ上から印刷ドキュメントの一時停止、削除ができない	**印刷ドキュメントがすでにプリンタへ送られてしまった。** →すでにプリンタへ送信済みのドキュメントに対しては、一時停止、削除はで　きません。
	プリンタのアクセス権がない。 →ネットワーク管理者に権限を確認してください。
	印刷先がネットワーク共有プリンタである。 →ネットワーク共有プリンタに対してはセキュリティにより一時停止はできません。
	Windows NTである。 →Windows NTではセキュリティにより一時停止はできません。
プリンタステータスウィンドウが自動起動しない／自動起動してしまう	**[PSWのプロパティ]の設定を変更されている。** →設定を確認してください。
	LANボードを装着したLANプリンタに直接接続して使用している。 →LANプリンタをサーバを介さずに使用している場合は[PSWのプロパティ]で[自分のドキュメントを印刷していないとき]の起動条件として[印刷中にアイコンで自動起動する]を設定しても、他の人の印刷時には自動起動しません。ただしこの場合でもエラー発生時には自動起動を行います。
プリンタの構成情報の表示が実際の構成と食い違っている	**プリンタが、双方向通信できないインタフェースで接続されている。もしくはプリンタがバッファ等を経由して接続されている。** →プリンタの現在の設定は読み込むことができません。双方向通信できない時は、初期状態として、最大構成が入っています。この場合の構成は、プリンタドライバから設定が可能です。 詳しくは、プリンタドライバのヘルプをご確認ください。

PrintAgentが正しく動作しない(3/3)

症　状	原因と処理方法
プリンタの構成情報の表示が実際の構成と食い違っている	**プリンタの情報をうまく取得できていない。** →プリンタの電源を入れ直してください。
リモートパネルでプリンタの設定が読み込めない	**プリンタの[印刷可]スイッチが押されていない。（ディセレクト状態）** →セレクト状態でないとプリンタの設定を読み込めません。[印刷可]スイッチを押してください。
	プリンタが印刷中である。 →印刷中の場合はプリンタの設定は読み込めません。プリンタステータスウィンドウなどでご確認のうえ、印刷終了をお待ちください。
リモートパネルでプリンタへの設定ができない	**プリンタのアクセス権がない。** →権限を確認してください。
	プリンタの[印刷可]スイッチが押されていない。（ディセレクト状態） →セレクト状態でないとプリンタの設定ができません。[印刷可]スイッチを押してください。
	プリンタが印刷中である。 →印刷中の場合はプリンタに設定できません。プリンタステータスウィンドウなどでご確認のうえ、印刷終了をお待ちください
	共有プリンタを使用している。 →共有プリンタへの設定はセキュリティによりできません。
リモートパネルでの表示と実際のプリンタの設定が異なる	**プリンタと双方向通信ができていない。** →プリンタの現在の設定は読み込むことができません。
	リモートパネルを表示後、プリンタで直接設定が変更された。 →リモートパネルの設定読み込みボタンをクリックしてプリンタの設定を読み込んでください。

用語解説

[?]ボタン
Windows 95、Windows NT4.0/3.51で、ダイアログボックスの項目についてのヘルプ画面を表示するためのボタン。[?]ボタンをクリックしてからウィンドウ内の項目をクリックすると項目の説明が表示される。

16進ダンプ印刷
プリンタが受信したデータを処理せず、そのまま16進数で印刷すること。

201PL
NECのシリアルプリンタ用標準コードのこと。

AppleTalk
アップル社が開発したMacintosh専用のネットワーク用ソフトウエアまたはプロトコル。1400Xの場合マルチプロトコルLANボード「PC-PR-L01」と拡張プリンタドライバ「PR2200NW2-21」が必要。

CR
Carriage Return キャリッジリターンの略。プリンタの制御コード(コマンド)のひとつ。

DPI
Dots Per Inchの略。プリンタの解像度などを表す単位。1インチ当たりのドット数。(→解像度)

ESC/P
セイコーエプソン社が開発したプリンタを制御する命令(コマンド)の集まりのこと。

FF
改ページを行うこと。

IPX/SPX
NetWareをネットワークOSとしてインストールしたコンピュータが使用するプロトコル。

IrDA
Infrared Data Associationの略。[ポイントアンドビーム]データ転送に関する国際規格で、赤外線接続によるコンピュータおよびプリンタ相互間の通信方式を規定するもの。1400Xの場合「赤外線通信アダプタPC-CA291」を接続することにより赤外線通信が可能となる。
PrintAgentのような双方向通信はサポートしていない。

ISO 9660
ISO(International Organization for Standardization:国際標準化機構)が定めたCD-ROM用のファイル形式。多くのCDはこの方式を採っており、OSによって異なるフォルダやファイルの名前の規則を守ればMacintoshやUNIXマシンでも読み出すことが可能。

LAN Manager
マイクロソフト社が開発したネットワークOS。NetBEUIプロトコルを用いる。1400Xの場合マルチプロトコルLANボード「PC-PR-L01」か「PC-PR-L02」を装着することで対応可能。

LPI
Lines Per Inchの略。1インチ当たりの行数。

Macintosh
アップル社が開発したパーソナルコンピュータ。Mac OSには、あらかじめAppleTalkソフトウェアが組み込まれており、LocalTalkケーブルシステムやEtherTalkケーブルシステムを使ってネットワークを構築する。1400Xと接続する場合マルチプロトコルLANボード「PC-PR-L01」と拡張プリンタドライバ「PR2200NW2-21」が必要。

MS-DOS
Microsoft Disk Operating Systemの略。マイクロソフト社が開発したOS。双方向通信ができないためPrintAgent機能はサポートされないが1400Xへの印刷は可能。ただしWindows 95、Windows NT4.0/NT3.51から「MS-DOSプロンプト」や「DOS互換ボックス」を使ってMS-DOSアプリケーションを使っている場合はリモートパネルを使ったプリンタの設定が可能。

NetBEUI
IBM社によって開発された小規模LAN用のプロトコル。おもにLAN ManagerをネットワークOSにしたときに用いられる。

NetWare
ノベル社が開発したネットワークOS。プロトコルにはIPX/SPXが用いられる。1400Xの場合マルチプロトコルLANボード「PC-PR-L01」か「PC-PR-L02」を装着することで対応可能。

NMPS
NEC MultiWriter Printing Systemの略。Windowsで使用するプリンタの機能を向上させ、より速く印刷し、より簡単に操作できるためのシステム。次の3要素を含む。

- プリンタドライバ
- PrintAgent
- NEC TCP/IP Printing System

NPDL
NEC Printer Description Languageの略。NECプリンタ記述言語。

OS
Operating Systemの略。コンピュータのハードウェア、ソフトウェアを有効に利用するために総合的管理を行うソフトウェアのこと。本書では特に区別して説明する場合、MS-DOSやWindowsなどプログラムの実行管理などを行う基本的なソフトウェアを「基本OS」、Windows NTやNetWareなどネットワークを強く意識したOSを「ネットワークOS」と呼ぶことがある。

PrintAgent
NMPS機能の一部で双方向通信を可能にし、印刷状況の確認、プリンタの設定をコンピュータ画面上から実現したソフトウェア。

RGBガンマ
Red Green Blueガンマ
使用しているモニタで中間トーンをどの程度調整する必要があるかを示すもの。専門的にはモニタの特性曲線を線形にするのに使用される指数。

SET
Sharp Edge Technologyの略。NECのプリンタに採用されている高精細印字機能の一種。

TCP/IP
Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。ネットワークのプロトコルのひとつ。UNIXをはじめWindows NT、Windows 95、Macintoshなど、主要なOSでサポートされる世界的な標準プロトコルになっている。

TrueType
アップル社とマイクロソフト社が開発したソフトウェアで、Macintosh用のアウトラインフォントを用いた画面表示と印刷を行う。どんなアプリケーションソフトからでも利用できるアウトラインフォントが使えるので、文字サイズが大きくなってもギザギザにならない。

UNIX
AT&T社のベル研究所で開発された一般的にワークステーションで用いられるOS。プロトコルはTCP/IPを用いるのが標準的。クライアント・サーバシステムにおいてはUNIXマシンをサーバにする例が多い。

Windows 95
マイクロソフト社が開発したOS。OS自身に通信ソフトウェアを持つためTCP/IPプロトコルを使ってネットワークの構築が可能。さらにNetWare、LAN Managerなどのネットワーク OSを使えば IPX/SPX、NetBEUIプロトコルを使った通信が可能。

Windows NT
マイクロソフト社が開発したOS。1400Xと通信可能なバージョンはNT4.0、NT3.51でプロトコルにはDLC、TCP/IPを使う。

Windowsアプリケーション
Windows専用のソフトウェアプログラム。Windowsオペレーティングシステム(OS)がないと起動できない。

アイコン
アプリケーションやドキュメントなどWindowsのいろいろな要素を表す小さな絵。

アウトラインフォント
文字の形を直線や曲線で表された輪郭として記憶し、出力時にその文字データを論理的に処理して表現すること。文字サイズの自由な設定や文字の変形が可能となり、ドット密度に関係なく美しい文字を表現できる。

アプリケーション
文書作成や作図など特定の作業に使うプログラム。

アンインストール
インストールしたNMPSソフトウェアを取り除く作業。ソフトウェア名は「アンインストーラ」。本プリンタのNMPSを削除するときは、必ずこのソフトウェアを使用する。

イニシャライズ
初期状態にすること。例えば、メモリの内容を全部ゼロにしたり、プログラム中のカウンタをゼロにしたりすること。

印刷ジョブ
Windowsアプリケーションで作成された文書を印刷する作業のこと。スプールされて印刷待ちに追加されるか、直接プリンタに送られる。

印刷の向き
用紙に対して文字やグラフィックが印刷される方向。縦向きと横向きがある。

印刷範囲
プリンタ用紙に印刷ができる限界のこと。用紙の上下および左右の余白部分を除いた印刷可能領域を指す。

インストール
一般には設置するという意味であるがここではソフトウェアをコンピュータに組み込むという意味。

インタフェース
2つの装置〈デバイス〉を通信できるように接続するための仕様、ケーブルシステム。1400Xの場合、標準のコネクタでセントロニクスデータコンピュータ社に準拠したインタフェースが利用できる。さらにマルチプロトコルLANボードを装着すれば10BASE-2、10BASE-T、100BASE-TX、LocalTalkインタフェースが利用できる。

ウィンドウ
アプリケーションやドキュメントが表示される画面上の領域で、開いたり、閉じたりすることができる。

ウォームアップ
プリンタの電源をONにした後、ヒートローラが一定の温度まで上昇して印刷が可能になるまでの状態をいう。1400Xでは節電機能により長時間印刷を行わないと自動的にヒータをOFFにしているが、印刷データの受信を待たずともPSWのウォームアップボタンをクリックすることによりウォームアップをただちに開始できる。

エミュレーション機能
他の装置（プリンタ）のために開発されたソフトウェアの制御コードが使用できる機能。PC-PR201系シリアルプリンタの制御コードが使用できる場合を201PLエミュレーションと呼ぶ。

エリート文字
1インチ当たり12文字で印刷する文字のこと。

解像度
プリンタが文字や画像を印刷するときの細かさのこと。1インチ当たりのドット数で表す（単位はDPI）。

拡張制御コード
制御コードのうち、ESC（1BH）、FS（1CH）、のように、あとに続くコードと組み合わせて機能を表すコードをいう。

輝度
CRTモニタなどの管面上の明るさ。画面の明るさ。

基本制御コード
制御コードのうち、CR（0DH）、LF（0AH）のように単独で機能を表すコード。

クライアント
ネットワークを介して他のコンピュータ（またはサーバ）にアクセスしている利用者または、利用者のコンピュータ。

クライアント・サーバLAN
中規模/大規模のネットワークに適した接続形態。専用のコンピュータ（サーバ）が共有の資源（ハードディスクやプリンタ）を管理し、接続を許されたコンピュータ（クライアント）が利用できるようにしたもの。本書ではクライアント・サーバ型ネットワークとも呼んでいる。（→ピア・ツー・ピアLAN）

クリック
マウスのボタンを押して素早く放す操作のこと。

グレイスケールイメージ
それぞれのドットを、白黒ではなくグレイの濃淡として保存しているビットマップイメージ。

コマンド
コンピュータに行わせたい作業を実行するために選択または、入力する命令。

コンデンス文字
1インチ当たり約17文字で印刷する文字のこと。

コントラスト
グラフィックなどの明るい部分と暗い部分の差の度合い。

コントロールパネル
Windowsで、キーボードやマウスの使用条件、スピーカの音量、スクリーンセーバーの種類などといった設定を行うための画面をいう。

自動給紙
カット紙（単票用紙）を連続して自動的に給紙することをいう。

自動排出
コンピュータからのデータが一定時間なかったとき、プリンタ内のデータを自動的に印刷して排出する機能。

シリアルプリンタ
文字単位で印刷を行うプリンタ。

[スタート]ボタン
Windows 95、Windows NT4.0でプログラムの起動やファイルの検索、Windowsの終了などを行うことができるボタン。

スプール
ドキュメント（文書）を印刷する場合に印刷データを直接プリンタに送らず、ハードディスクにファイルとしていったん保存して、保存した順にプリンタに送ること。これによりプリンタが印刷を終了するのを待たずにコンピュータでは別の作業を行うことができるようになる。プリンタに送り終えたファイルは自動的に消去される。

制御コード
プリンタの動作を制御するためのコード。印刷データと異なり印刷されない。

セントロニクス・インタフェース
セントロニクスデータコンピュータ社が開発したプリンタとコンピュータ間の通信仕様。8ビットパラレルデータに制御信号を加えてプリンタ用のインタフェース規格として広く使用されている。1400Xでは標準の36ピン・パラレルコネクタで使用できる。

双方向通信
コンピュータとプリンタとの間で、情報のやり取りをする通信形態のこと。PrintAgent機能を実現するためには必須な条件。コンピュータから印刷データが送られるだけでなく、プリンタからもコンピュータに情報を送ることができるので、印刷の状況がプリンタステータスウィンドウのアニメーションと音声で、正確にわかる。双方向通信には双方向通信可能なプリンタインタフェースを装備したコンピュータであるかネットワークで接続されていることが必要。

ソフトウェア
コンピュータやプリンタなどハードウェアに作業を実行させるための命令の集まり。プログラム、アプリケーション、オペレーティングシステム、プリンタドライバなどが含まれる。

ダイアログボックス
プリンタの設定や操作のために画面に表示されるボタンやリストボックスを持ったウィンドウ。

タイトルバー
ウィンドウやダイアログボックスのタイトルを示す、横向きのバー。多くのウィンドウでは、[コントロールメニュー]ボックスや[最大表示]、[アイコン化]、[最小化]ボタンなどもついている。

タブ
Windows 95で、ダイアログボックスの中に複数の設定画面(シート)がある場合に表示されるインデックスタイプのつまみ。

ダブルクリック
マウスのポインタ(矢印)を動かさず、マウスのボタンを素早く2回押して放す動作。アプリケーションを起動するときなどに使う。

チェックボックス
ダイアログボックスの中の小さな正方形で、オン/オフの切り替えができるオプション(機能)を示す。オンにするとチェックボックスに印が表示される。

通常使うプリンタ
アプリケーションで[印刷]コマンドを実行したときにその印刷データを印刷するプリンタ。本プリンタで印刷を行う前に必ず通常使うプリンタとして設定しておく必要がある。

ツールバー
ウィンドウのメニューバーの下のボタンがついている部分。

ドライバ
プリンタドライバの項を参照

ドライブ名
ドライブに割り当てられている文字。「A」や「C」など。

ドラッグ
マウスのボタンを押したまま、マウスを動かす動作。例えば、ウィンドウのタイトルバーをドラッグするとウィンドウを移動させることができる。

ネットワーク
ケーブルまたは他の手段を用いて接続され、ソフトウェアを使って機器(プリンタなど)を共有し、情報を交換できるようにしたコンピュータの集団。

ハードウェア
コンピュータ本体、キーボード、マウス、コンピュータやプリンタなどコンピュータシステムを構成する個々の機器またはそれらの総称。

バッファフル
ページバッファに1ページ分の印刷データがたまることをバッファフルという。バッファフルになると、自動的にそのページの印刷を行う。これをバッファフル印刷という。

ハーフトーン
グレイスケールイメージを、元のイメージのグレイの濃淡に似せて、白と黒のドットに変換する処理。

ピア・ツー・ピアLAN
小規模のネットワークに適した接続形態。専用のサーバコンピュータを必要とせず、コンピュータどうし、コンピュータとプリンタ間で対等に通信が可能となる。
1400Xをピア・ツー・ピア接続して使用するためにはマルチプロトコルLANボード「PC-PR-L01」か「PC-PR-L02」が必要。本書ではピア・ツー・ピア型ネットワークとも呼んでいる。(→クライアント・サーバLAN)

ピクセル
ディスプレイ上の点。画像の最小単位。

ビットマップ
画面やプリンタに出力されるイメージを表す連続した点の集合。

フォーム印刷
見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文章データと重ね合わせて印刷すること。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要。

フォント
同じ外観、サイズ、スタイルの文字、数字、記号またその他のシンボル等の集合。

不揮発性メモリ
プリンタの電源をOFFにしても記憶した内容が残っているメモリ。

ブラシパターン
図形を塗りつぶすためのある一定のパターン。

プリンタドライバ
コンピュータとプリンタの間のやり取りを仲介するプログラム。インタフェースやフォントの指定、インストールされたプリンタの機能などの情報を、Windowsに提供する。

プリントマネージャ
Windows 3.1、Windows NT3.5/3.51オペレーティングシステムの一部で、Windowsアプリケーションからの印刷をコントロールし、印刷作業の監視も行う。

プログラムマネージャ
Windows 3.1やWindows NT3.5/3.51の操作の基本となるウィンドウ。全体を管理しているもの。

プロパティ
オブジェクトの属性のこと。Windows 95、Windows NT4.0では、タイトルの色の設定やプリンタの設定状態などを示す用語として広く使われている。Windows 95、Windows NT4.0のアプリケーションガイドラインでは、マウスの右ボタンをクリックすることにより、いつでもオブジェクトのプロパティを表示させることができる。

プロポーショナル文字
印刷される文字により、印刷幅を変えて印刷する文字のこと。

ページ記述言語
１ページ分のテキスト（文字）やグラフィック（図形）のデータ、位置情報などを正確に表すための言語。

ページプリンタ
ページ単位で印刷を行うプリンタ。

ポイント（マウスの）
マウスのポインタを目的の項目の上に置く動作。

ポイント（文字の）
印刷される活字の大きさの単位で、1ポイントは1/72インチ。

ポート
プリンタなどの装置をコンピュータに接続するために使うコネクタ。

ボタン
ダイアログボックス中のボタンの絵。選択した動作の実行やキャンセルを行う。[OK]ボタンや[キャンセル]ボタンなどがある。

ポートレート
用紙を縦長にした内容で印刷する印刷フォーマットの一つ。

マウスポインタ
マウスの動きに応じて画面上を移動する矢印の形をしたマーク。

メニュー
ウィンドウで使用できるコマンドの一覧。メニュー名をクリックするとメニュー名に関連するコマンドの一覧が表示される。

メニューモード
プリンタの設定をプリンタの操作パネルを使ってメニュー形式で行うモード。

メニューバー
すべてのメニュー名が表示されるバー。ほとんどのアプリケーションで、このバーは、タイトルバーの下に表示される。

メモリ
データを保存する装置。または情報やプログラムの一時的な記憶場所。

メモリスイッチ
不揮発性メモリを利用してプリンタのさまざまな設定を行うスイッチ。機械的にオン／オフを切り替えるスイッチではなく、電気的に切り替えるスイッチ。

ラジオボタン
ダイアログボックスで複数の選択肢の中から一つを選ぶためのボタン。どれかを選択すると、それまでオンだったものが連動してオフになる。

ランドスケープ
用紙を横長にした内容で印刷する印刷フォーマットの一つ。

リストボックス
ユーザーに対して、項目の一覧を表示するためのボックス。通常、現在選択されている項目を表示している。

リプリント
一度印刷したデータを、再度印刷したいときに短時間に印刷出力を可能にした印刷システム。

連量
用紙の重さを表す単位。一般に788×1091mmのサイズの用紙1000枚当たりの重さをいう（本マニュアルで使用している用紙の連量は、70kg）。

ローカルプリンタ
コンピュータと直接プリンタケーブルで接続しているプリンタ。

索引

記号

A

B

C

D

E

F

I

J

L

M

N

タ

チ

ツ

テ

ト

ネ

ノ

ハ

ヒ

リ

レ

ロ